

高砂ポンプ場耐震補強工事特記仕様書		
総 則		
工 事 概 要	1. 工事場所	四日市市尾上町 地内
	2. 工事種目	雨水ポンプ棟・汚水ポンプ棟耐震補強工事
1. 共通仕様		(1) 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(以下「標仕」という。)による。
2. 特記仕様		(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、ⓐ印の付いたものを適用する。 ⓐ印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ⓐ印とⓑ印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 . . . 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の(標 . . .)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
部分完成		・無 ・有()
部分引渡し		・無 ・有()
1) 保険及び保証	○建設工事保険 (保険証の写しを提出) ○請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (ⓐ管理財物担保特約に加入のこと)	
2) 建設 共 済 等	・任意にて加入 下記の制度について加入すること。 ○法定外労災保証制度 (加入証明書の写しを提出) ○建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 1/1000以上 なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする ・任意にて加入 ※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にして施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。	

章	項 目	特 記 事 項
1章 一般 共通 事項	①適用基準等	○建築工事標準詳細図 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成 28 年版) ○工事写真の撮り方(平成24年版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。 [1. 1. 4] ※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速 (Vo)=34 m毎秒 地表面粗度 ※Ⅲ (Zb=5 Zg=450 α=0.20) ・Ⅱ (Zb=5 Zg=350 α=0.15) 積雪区分 ※30 cm ・40 cm
	④電気保安技術者	・適用する。 ・適用しない。 [1. 3. 3] 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする
	⑤条件明示項目	○工用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 ・ [1. 3. 5] ○施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行った上で、施設の運営に支障をきたさないように協力すること。 ○工事期間中は、施設利用者の安全につとめること。 ○資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 ○大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること ○現場工事は月～金とし、土、日、祝日に作業を行う場合は施設管理者と協議の上、監理職員の承諾を得ること。 ・振動、騒音、ほにりのる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣と調整を行うこと。
	⑥発生材の処理	・引渡しを要するもの() [1. 3. 12] ・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有() 処理方法() ・特定建設資材の搬出 再資源化等を行う(再資源化が困難な場合には縮減) ・特定建設資材以外の搬出 ・構外搬出適正処理
		※暴力団等不当介入に関する事項 2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号)(2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。 (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

7 交通安全管理	※ 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督職員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録(電子マニフェスト)により確認を行う場合は、この限りではない。 ※建設発生土(50m3以上)を搬出する場合は、書面にて処分地の報告(位置図等)を行うこと。 また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。 交通誘導員 ※配置する 名以上(大型車の出入は必ず) ・配置しない [1. 3. 9] ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・品質及び性能を試験により証明を求めた材料は以下の物とする。 [1. 4. 5] 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJ A S規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧J I SのEo規格品 ④旧J A SのFco規格品 改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 ※適用する ⓐ適用しない [1. 6. 2] ・鉄筋施工 ・型枠施工 ・鉄工 ・塗装 ・左官 ※防水施工 ・建築大工 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン [1. 6. 9] エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 測定は、パンプ型採集機器により行う。 着工前測定 ・行う ・行わない 測定対象室 ・図示 ・ 測定箇所数 ・図示 ・ 採取方法 ・文部科学省の定めるところによる。 ・ 報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり 1. 工事名 2. 測定年月日 3. 天候 4. 測定前の換気及び閉鎖時間 5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具 8. 化学物質採取方法 9. 分析装置
⑧建築材料等	
⑨化学物質を発生する建築材料等	
⑩特別な材料の工法	
⑪技能士	
12 化学物質の濃度測定	
⑬完成図	ⓐ提出する ※提出しない [1. 8. 1~1. 8. 3] 種類 ※改修標仕 表1. 8. 1による ・ ・配置図及び案内図 ・各階平面図 ・各立面図 ・断面図 ・仕上表 ・施工図 ・施工計画書 ・ ※C A Dデータの提出 ※提出する ・提出しない ・保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・
⑭記 録	工事記録については以下による。(A4版) ※工事着手前写真 1部 ※工程写真 各工程毎 1部 ※竣工写真 ※内部、外部 2部 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。 ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。

⑮設備工事との取合い	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※図示のベンチマーク (B. M) mm (現地地盤はB. M mm) かし期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。 ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。 予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。
⑯設計G L	
⑰完成引渡し後の点検	
⑱随時検査	
⑲施工体制台帳の提出	
2章 仮設 工事	①足場その他 内部足場 種別 ※きやつた、足場板等 ⓐくさび緊結式(手すり先行工法) [2. 2. 1] 外部足場 種別 ※くさび緊結式(手すり先行工法) ・ [2. 2. 1] 防護シートによる養生 ・行わない ⓑ行う 材料、撤去材等の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・ [2. 3. 1] 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示)
②養生その他	
③仮設間仕切り	(a)設置箇所 ※図示 ・ [2. 3. 2][表2. 3. 1] 種別 下地 仕上材(厚さmm) 充てん材 塗装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・) ※無し ⓐB種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・) 厚さ mm ・片面 ⓑC種 単管下地 防災シート 仮設扉 ※木製扉 ⓐ合板張り程度 ※無し ・鋼製扉 ・片面フラッシュ程度 ・有り
4 監督職員事務所	・設ける 規模等は以下による ・既存施設の一部を使用する ※設けない [2. 4. 1] (・規模 m程度 ・仕上げ:床 、壁 、天井 程度)
⑤工事用水	構内既存の施設 ※利用できる(・有償 ※無償) ・利用できない
⑥工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる(・有償 ※無償) ・利用できない
3章 防水 改修 工事	1 既存下地の補修及び処置 ※図示による [3. 2. 6] 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない
2 アスファルト防水	[3. 3. 2~3][表3. 1. 1][表3. 3. 3~3. 3. 10] 防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種類 アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度) 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量()箇所 改修用ドレン ※設ける(箇所) ※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3. 2. 5] 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり) 厚さ(mm) ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 厚さ(mm) ※35 乾式保護材 製造所の仕様による ・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 仕上塗装 (P2A, M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1, 工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・設けない [表3. 1. 1][3. 4. 2~3][表3. 4. 1~3] 防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種類(厚さmm) 仕上げ塗料等
3 改質アスファルトシート防水	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量()箇所 露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない
事業名	平成30年度公共下水道事業
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市尾上町 地内
名称	特記仕様書(1)
縮尺	— 設計年月日 平成30年1月
工種	設計者 オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号 A-1/87

3章 防水改修工事	4 合成高分子系ルーフィングシート防水	[表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2]
	5 塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1]
	6 保証期間	
	⑦シーリング	
	8 と い	
	9 アルミニウム製笠木	
4章 外壁改修工事 (内装仕上共)	1 施工数量調査	[1.5.2]
	2 改修工法の種類	[4.1.4~5]
	3 ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.3.4]

4 欠損部改修工法	※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
5 浮き部改修工法	[4.1.4][4.4.10~4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]
⑥既存塗膜等の除去及び下地処理	
⑦仕上げ塗材仕上	
8 設計数量	

※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]	充填材料 ・ポリマーセメントモルタル(・モルタル面 ・コンクリート面 ・C/B面) ・エポキシ樹脂モルタル() ・モルタル塗替え工法(改修標仕4.2.2(g)による)			
改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/m ²) 注入口の箇所数(箇所/m ²) 充てん量 注入量			
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ※25 ※12 ※20 ※25ml			
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml			
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml			
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 ※16 ※16 ※25ml			
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml			
※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする				
アンカーピン [4.2.2]	材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの			
注入口付アンカーピン [4.2.2]	材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm			
既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1~4.6.5]				
工 法	処 理 範 囲			
・サンダー工法	※既存仕上面全体			
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体			
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体			
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体			
下地調整材 [4.2.2][4.6.3]	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用			
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5]				
種 類	呼 び 名	仕 上 の 形 状		
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・凹凸状		
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 上塗材 ・水系アクリル ・水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ・行う		
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	菊水化学工業(株) 下塗り材「フワワカラー」+上塗り材「ビニートップ」 エスケー化研(株) 下塗り材「水性トップ」+上塗り材「水性トップ」 スズカファイン(株) 下塗り材「フワワカラー」+上塗り材「水性トップ」 上記同等品とする ※塗工法はローラー塗りとする ※塗工法及び塗布量はメーカー仕様による 尚、下塗り材の塗布量は薄塗を適用する		
外 壁 部 位	種 類	工 法	数 量	備 考
・コンクリート打放し面	・ひび割れ	※リカットシール材充填工法		m
・欠損部	・欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法		箇所
・モルタル塗り仕上げ面	・ひび割れ	※リカットシール材充填工法 ・自動式低圧球状樹脂注入工法	m	m
	・欠損部	※充填工法		m
	・浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		m ²
※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。				

5章 建具改修工事	①改修工法	・かぶせ工法 ○撤去工法(・引き抜き工法 ○はつり工法) [5.1.3]
	2 見本の製作等	・建具見本の製作 ・特殊な建具の仮組 [5.1.5]
	③アルミニウム製建具	外部に面する建具(フロントサッシは除く) [5.2.2][表5.2.1]
	4 網戸	防虫網 [5.2.3]
	5 樹脂製建具	外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2][表5.3.1]
	6 鋼製建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5.4.1]
	7 鋼製軽量建具	品質規格 ※改修標仕5.5.11による [5.5.2][5.5.4]
	8 ステンレス製建具	表面仕上げ ※H/L仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4]
	⑨建具用金物	マスターキー ・製作する ○製作しない [5.7.4]
	10 自動ドア開閉装置	開閉方法 ※スライディングドア ・スイングドア [5.8.2][5.8.3][表5.8.1~5.8.3]
	11 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.31による [5.9.3][表5.9.1]
	12 重量シャッター	種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター [5.10.2][表5.10.1]
	13 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1]
	14 その他のシャッター	・オーバーヘッドドア ・リンググレルシャッター
		事業名 平成30年度公共下水道事業
		工事名 高砂ポンプ場耐震補強工事
		工事場所 四日市市尾上町 地内
		名称 特記仕様書(2)
		縮尺 - 設計年月日 平成30年1月
		工種 設計者 オリジナル設計株式会社
		事業主体 四日市市 図面番号 A-2/87

5章 建具 改修工事	⑮ ガラス	種類・厚さ ※ 建具表による [5.13.2]
	⑯ ガラスの留め材	種別(区分は図示による) [5.13.2][表5.13.1] ※シーリング材(SR-1, シュコン系, 9030G) ・ガスケット 品質は、JIS A5759による ※ガラス飛散防止フィルム 種類(・第2種 ・) 張り面(※内張 ・外張) 性能値 ※飛散防止率D-1
6章 内装 改修工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示による範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示による範囲 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲 ※既存のまま ○ 図示による範囲
	② 既存床の撤去並びに 下地補修	ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ○下地モルタルとも(※図示の範囲 ○ 除去範囲全て) 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示 合成樹脂塗床の除去 ・機械的除去工法 ・目荒工法
	③ 既存壁の撤去 並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.4.9][6.3.2] ※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない)
	4 木下地等	表面の仕上がり ・A種 ・B種 ・C種 [6.5.1][表6.5.1] 木材の含水率 ※A種 ・B種 [6.5.2][表6.5.2] 木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 [6.5.2][表6.5.3] 樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき 造作材 ※杉 ・松 ・ひのき 代用樹種 ※改修標仕6.5.4による [6.5.2][表6.5.4] ・代用樹種を適用しない箇所() 防蟻処理 ※行わない ・行う(箇所ー) 木材保存(木材の防蟻・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。 ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。
	5 集成材等	集成材の材質 ※6.5.2(b)による ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 集成材の等級 品名 規格・品質 芯材の樹種 施工箇所 ※集成材 ・一般材 ・たも ・なら ・しおじ ・構造用集成材 ・1種 ※2種 ・ ・造作用集成材 ※1等 ・2等 ・ ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等 ・針葉樹単一樹種
	6 接着剤	※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.2] ※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	7 床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.10] 下張り用床板 ※無し ・有り ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 床板 ※単層フローリング(標仕19.5.2による) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・縁甲板 ※ひのき
	⑧ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内(※19形 ・25形) 屋外(※25形 ・19形) [6.6.2][表6.6.1] 既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない [6.6.4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない 耐震補強 ・行う(図示) 屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示
	9 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示
	10 ビニル床シート	工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所) [6.8.2][6.8.3] 種類 JISの記号 色柄 厚さ(mm) 備考 ※発泡層のないもの ※FS ・無地 ※マーブル柄 ・2.5 ※2.0 ・発泡層のあるもの ※柄物 ・無地 ・ 接着材 ※改修標仕6.8.1による ・エポキシ樹脂系
⑪ ビニル床タイル	[6.8.2] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※単層ビニル床タイル TT ※2.0 ・複層ビニル床タイル FT ・ ・コンポジションビニル床タイル KT ・ 接着材 ※改修標仕6.8.1による ・エポキシ樹脂系	

12 帯電防止ビニル 床タイル	[6.8.2] 種類 厚さ(mm) 性能 ※単層ビニル床タイル ※2.0 体積抵抗値 1.0x10 ⁹ Ω以下又は ・複層ビニル床タイル 漏えい抵抗値 1.0x10 ¹⁰ Ω以下 ・コンポジションビニル床タイル			
	視覚障害者用床タイル [6.8.2] 種類 寸法(mm) 施工箇所 ・塩化ビニル製 ※300×300 ・レジンコンクリート製 ・ ・磁器又はせっ器質タイル			
	高さ(mm) ※60 ○75 ・100 ・織じゅうたん [6.9.2][6.9.3][表6.9.1]			
	種別	パイル形状	色柄等	備考
	・A種	・カットパイル	※無地	
	・B種	・ループパイル	・柄物(標準品)	
	・C種	・カット、ループパイル併用	・	
	耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]			
	パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
	・カットパイル	※5～7	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※4～6	・グリッパー工法	※3kV以下	
・カット、ループパイル併用				
耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タイルカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]				
パイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm) 施工箇所	
・ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				
下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8.0mm				
[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8] ⑬ 弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ・防汚仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種				
[6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.4] 種別 樹種 工法 塗装 ※天然木化粧複合フローリング ※なら ※釘止め工法(C種) ※塗装品 ・単層フローリング ・ひのき ・接着剤併用釘留め ・無塗装品 ・モザイクパーケット張り				
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.12.2][表6.12.1] 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種(KT-Ⅲ) [6.13.2][表6.13.1]				
種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等		
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・		
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・		
・けい酸カルシウム板	0.8FK	無石棉 ※6 ・8 ・		
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(不燃) ○12 ・) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15 ・19 ・)		
○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ○9.5(準不燃)		
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバ-チン模様)		
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)		
・シージング石こうボード	GB-S	・12.5(不燃)		
・化粧せっこうボード	GB-D	・12.5(不燃) ・9.5(準不燃)		
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5		
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2		
・パーティクルボード				
・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	※6		
合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない				
13 誘導用及び 注意喚起用床材	⑭ ビニル幅木			
	15 カーペット敷き			
⑬ 合成樹脂塗床材	[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8] ⑭ 弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ・防汚仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種			
	[6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.4] 種別 樹種 工法 塗装 ※天然木化粧複合フローリング ※なら ※釘止め工法(C種) ※塗装品 ・単層フローリング ・ひのき ・接着剤併用釘留め ・無塗装品 ・モザイクパーケット張り			
17 フローリング張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.12.2][表6.12.1] 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種(KT-Ⅲ) [6.13.2][表6.13.1]			
	種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	
18 畳敷き	⑮ せっこうボード			
	その他ボード張り			

20 せっこうボードの 目地処理	目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5] ・継目処理工法 施工場所() ○突付け工法 施工場所(図示) ・目透し工法 施工場所()		
	21 壁紙張り [6.14.3] 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考 ※AA級 ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・不燃 ・準不燃 ・難燃		
22 陶磁器質タイル張り	モルタル及びプラスチック一面の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [表7.2.5] 石こうボード及びその他ボード面の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [表7.2.7] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種		
	タイルの種類 (6.16.3) 施工箇所 形状寸法(mm) 用途による区分 耐凍害性 色調 うわぐすり 役物 無 有 標準 特注 無釉 施釉 無 有 ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ※ ※ ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ※ ※		
23 セルフレベリング	タイルの見本焼き ※行わない ・行う(※外装タイル ・) 内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り [6.16.5][表6.16.5]		
	セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.1][表6.17.1] ※厚み(mm程度)		
24 断熱材	(標19.9.2)(標19.9.3) 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・押出法 ※2種b ※一般部 ※25 ※ノンフロンもの ポリスチレン ・特定フロンを使用しないもの フォーム ※3種b ・接地部分 ※25 保温板 ・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 ノンフロンタイプ ・一般部 ※15 ・HFCタイプ 難燃性・3級 ・2級 ・難燃材料相当品		
	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種		
25 可動間仕切	(標20.2.3) 構造形式 ハ 裨部の総厚さ(mm) 表面材種 厚さ(mm) 表面仕上げ ※パネル式 ※鋼板 ※メラミン樹脂又は ・スタッド式 (※0.6 ・0.8) アクリル樹脂焼付け ・スタッドパネル式 ・ 遮音性 ・あり() ・なし		
	(標20.2.2) 施工箇所 仕上り高 耐震性能 耐荷重性能 表面仕上げ材 ・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		
26 フリーアクセス フロア	製造所 (標20.2.4) パネル表面材(・) 遮音性(・) パネル及び圧着装置の操作方法 (・) (標20.2.5) パネル表面材 (・高圧メラミン化粧版 ・) 脚部 ※幅木タイプ ・脚金物タイプ 材種 ※ステンレス製ビニルタイヤ入り (標20.2.6) 寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法 黒板 (暗線工場製作品) (標20.2.8) 種類 ※ホーロー黒板 ・焼付け鋼製黒板 ・ホーロー白板		
	27 移動間仕切り	28 トイレブース	
29 階段滑り止め	29 階段滑り止め (標20.2.6) 寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法 黒板 (暗線工場製作品) (標20.2.8) 種類 ※ホーロー黒板 ・焼付け鋼製黒板 ・ホーロー白板		
	30 黒板及び ホワイトボード		
事業名		平成30年度公共下水道事業	
工事名		高砂ポンプ場耐震補強工事	
工事場所		四日市市尾上町 地内	
名称		特記仕様書(3)	
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-3/87

6章 内装 改修 工事	31 ブラインド	・既存再使用する（養生方法 [2.3.1][5.1.6] ・新設する (標20.2.12)	8 つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	・コンクリート面、押出成型セメント板面 工法は、表7.8.3 種別は(・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2 ・C-1種 ・C-2種) (7.8.4) (表7.8.3)	9 コンクリートの材料	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 [8.2.5][表8.2.3] ・高炉セメントB種 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 () ・アルカリシリカ反応による区分 ※A ・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない	
	32 カーテン	・既存再使用する（養生方法 [2.3.1][5.1.6] ・新設する (標20.2.14)		上塗種別 ・ JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級) ・ JISK5658 主要原料 シリコン樹脂(2級) ・ JISK5658 主要原料 ポリウレタン樹脂(3級)		10 モルタル及び グラウト材	グラウト材 ※無収縮グラウト材 (圧縮強度 45N/mm ² 以上) [8.2.6][8.2.10][8.5.10] 太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト(BASFボゾリス) ノンシュリンクライトグラウト(A B C 商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業) 社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの
	33 点検口	天井点検口 ※アルミニウム製 (※額縁タイプ ・ 目地タイプ) 床点検口 ※アルミニウム製 ・ 受け枠()		9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		11 無筋コンクリート	柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル 太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFボゾリス) ノンシュリンクライトグラウト(A B C 商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業) 社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの
	34 流し台ユニット	種 類 寸 法 適用内容 規格・品質等 流し台 ※1200 ・ 1500 ・ トラップ付 ※優良住宅部品 コンロ台 ※600 ・ 700 ・ バックガード付		10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		12 調管理強度	構造体強度補正值 (S) [8.5.5][表8.5.1] (普通ポルトランドセメント) 打 設 期 間 補正值(N/mm ²) 備 考 3/ 1~7/ 9 9/ 9~11/23 3.0 11/24~2/28 6.0 7/10~9/ 8 6.0 暑中コンクリート
7章 塗装 改修 工事	①材料一般	①屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。() 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [7.1.3] ※規制対象外 ・第三種	9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	11 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	10 コンクリートの 試験	※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 [8.8.2][8.8.3] 20m ³ 以下の場合の試験については、監督職員の指示による。 20~50m ³ の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。 50m ³ 以上は 改修標仕8.8.3による。	
	②下地調整	RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1] 下地調整 [表7.2.1~表7.2.7]		12 木材保護塗料塗り (WP)		13 型枠	打ち出し仕上げの種別 [8.1.4] 種 別 施 工 箇 所 ・A 種 ※B 種 図示 ・C 種 外部に面するコンクリート打ち出し仕上げの打増し ・ 20 ※図示 [8.7.8]
	3 錆止め塗料塗り	既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4~表7.2.6] ・行わない ・行う(補修範囲及び補修方法は図示) 塗料種別 [表7.3.1] 屋外 (※A種 () ・ B種) 屋内 (※A種 ・ B種 ・ C種) 鉄鋼面 E P - G の場合 (・ A種 ※B種) 塗り工法 [表7.3.3][表7.3.4] 鉄鋼面塗り替えの場合の種別 ・ A種 ・ B種 ※C種 亜鉛めっき面の塗りの種別 ・ A種 ・ B種 ※C種 亜鉛めっき面 E P - G 塗り替えの場合の種別 ・ A種 ・ B種 ※C種 新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種別 ※標仕18.3.3による		13 床用塗料塗		14 鉄骨製作工場	・監督職員の承諾する工場 ・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場(下記認定グレード以上) (・ S ・ H ・ M ・ R ・ J)
	4 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	塗り工法 [7.4.1~7.4.5][表7.4.1][表7.4.2][表7.4.3] 下地の種類 塗料種類 塗り工法 木部 ※1種 ・ 2種 新規(※A種 ・) 塗替え(※B種 ・) 鉄鋼面 ※1種 ・ 2種 ・ A種 ※B種 ・ C種 亜鉛めっき面 ※1種 ・ 2種 ※改修標仕7.4.3による		8章 耐震 改修 工事		15 鉄骨工作図	※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、[8.1.6] 国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による
5 フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	木部 種別 (・ A種 ※B種 ・ C種) [7.6.2][表7.6.1] 鉄鋼面、亜鉛めっき面 種別 (・ A種 ※B種 ・ C種) [7.6.3][表7.6.2]	①鉄筋の種類 [8.2.1][表8.2.1] 種類 の 記 号 径 ・ S D 295 A ※ D 16以下 ・ S D 345 ※ D 19以上	16 溶接金網	17 溶接管理技術者	・適用する ・適用しない [8.15.2]		
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	塗替えの場合の下地調整 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 [7.2.5][7.2.6] 塗り工法の種別 ・ A種 ※B種 [7.7.2][表7.7.1]	②鉄筋の材料試験 [8.2.2] 網目の形状 (※ 150x150 ・ 100x100 ・ 50x50) [8.2.2] 鉄線の径 (mm) (※ 6.0 ・ 3.2)	17 溶接管理技術者	18 鋼材	鋼材の材質、規格は下表による。 [8.2.8] 材 質 品名又は使用箇所 規 格 ※JISの規格品 ※JISの規格品 ※JISの規格品 ※JISの規格品 ※JISの規格品 ※JISの規格品		
⑦耐候性塗料塗り (DP)	塗替えの場合の下地調整 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 [7.2.2][表7.2.1] ~ [7.2.7][表7.2.7] ・鉄鋼面 工法は、表7.8.1 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.2) (表7.8.1) ・亜鉛めっき面 工法は、表7.8.2 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.3) (表7.8.2) 上塗種別 ・ JISK5659 (1級) ふっ素系樹脂塗料 ・ JISK5659 (2級) シリコン系樹脂塗料 ① JISK5659 (3級) ポリウレタン系樹脂塗料	③鉄筋の材料試験 [8.2.3] ※JIS規格品については径の異なるごとに1 t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。	18 鋼材	19 高力ボルト	※トルシア高力ボルト ・ JIS高力ボルト ・ 熔融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9] 径 () すべり係数試験 ・実施する ※実施しない [8.14.2] 試験方法 ()、試験片の摩擦面の状態 ()		

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書 (4)		
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-4/87

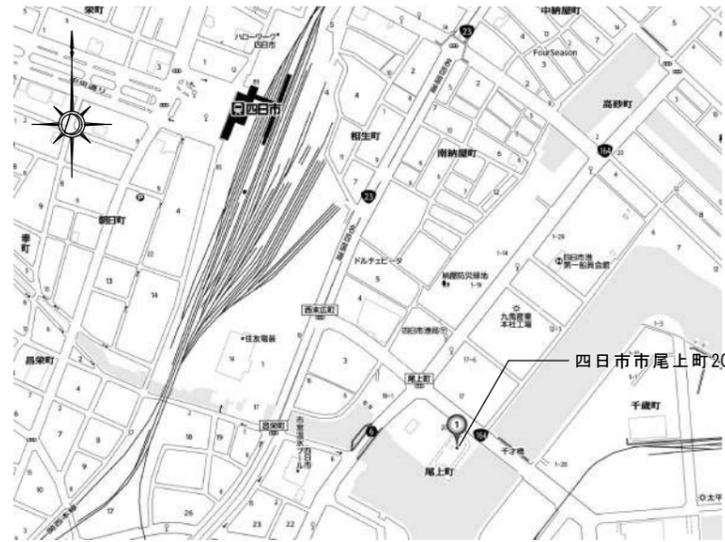
8章 耐震改修工事	20 鋼材の材料試験	※JIS規格品については種類の異なるごとに1t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。	[8. 2. 13]
	21 スカラップ等	スカラップ ※改良型スカラップ	[8. 15. 7]
	22 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う(9mm以上) ・行わない 試験箇所数 耐震ブレース ※改修標準8.14.11(b)による ・ その他 ※標準7.6.11(b)による ・	[8. 15. 11]
	23 錆止め塗料	・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種類は、下記とする。 ・JIS K 5625 ・JIS K 5674 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない	[8. 17. 3]
	24 耐火被覆材	[8. 18. 2~8. 18. 7]	
25 既存コンクリート面の目荒し	適用範囲 [8. 21. 3][8. 22. 3] ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面 ・ 目荒らしの範囲 ※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 ・ 目荒らしの程度 ※平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹部を施す	[8. 21. 3][8. 22. 3]	
26 あと施工アンカーの材料	・金属拡張アンカー [8. 2. 4] ※接着系アンカー 接着剤の材質及びカプセルの種類 (ガラス管タイプ) 日本デコラックス(株) ケミカルアンカー-R、RSタイプ 旭化成ジオテック(株) ARケミカルセッター-SUPER LL AP 日本ヒルティ(株) HVU-G/E A もしくは同等品以上 接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼(D16以上SD345) ・全ねじボルト	[8. 2. 4]	
27 あと施工アンカーの施工	施工管理技術者 ※置く ・置かない	[8. 12. 1]	
28 あと施工アンカーの穿孔	穿孔前の埋込み配管等の探査 [8. 12. 2] 範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ○構造特記仕様書参照 方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。 ○構造特記仕様書参照 穿孔方法 ○低騒音、低振動工法とする(工法については、監督員の承諾を得ること)	[8. 12. 2]	
29 あと施工アンカーの確認試験	施工確認試験 [8. 12. 5] ※全数打音試験を行う。 ○引張試験は増設壁又は鉄骨ブレース1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。	[8. 12. 5]	
30 既存構造体との取り合い	グラウト材の品質管理 [8. 21. 9][8. 22. 7] ※圧縮強度試験を行う(3日、28日、封かん養生) ※コンシステンシー試験を行う。	[8. 21. 9][8. 22. 7]	

9章 環境配慮改修工事	1 一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針(建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針)を遵守すること。 ○アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。																
	2 アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ○行わない アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ○行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ○行う ・行わない 施工箇所及び工法 ※図示	[9. 1. 1]															
	3 アスベストの含有調査	分析による確認 ・行う(下表による) ○行わない																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法</th> <th>1材料あたりの試料数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 .)</td> <td>※定量分析(※3 .)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 .)</td> <td>※定量分析(※3 .)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 .)</td> <td>※定量分析(※3 .)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 .)</td> <td>※定量分析(※3 .)</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数		※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)		※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)		※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)		※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)	
材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数																
	※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)																
	※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)																
	※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)																
	※定性分析(3 .)	※定量分析(※3 .)																

4 アスベスト含有吹付け材の除去	吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う [9. 1. 3] 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>計2点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">処理作業中</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>ケリイヤーゾーン入口</td> <td>1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)</td> <td>1点</td> <td>(注)2</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>大気</td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定2	施行区画周辺又は、敷地境界	計2点	大気	処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定4	ケリイヤーゾーン入口	1点	空気の流れを確認	測定5	負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)	1点	(注)2	測定6	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	-	処理作業後(隔離シート撤去前)	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定8	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	大気
測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																					
処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																					
	測定2	施行区画周辺又は、敷地境界	計2点	大気																																					
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																					
	測定4	ケリイヤーゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																					
	測定5	負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)	1点	(注)2																																					
	測定6	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	-																																					
処理作業後(隔離シート撤去前)	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																					
	測定8	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	大気																																					
	(注)1. 各施工箇所ごとの室内面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。 300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 (注)2. 集じん・排気装置の性能確認																																								
	表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td colspan="2">25mm</td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1l/min</td> <td>5l/min</td> <td>10l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>210 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="3">直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table>		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5	計数機器	位相差顕微鏡			メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min	試料の透明化	アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野			計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l				
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																						
計数機器	位相差顕微鏡																																								
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm																																						
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min																																						
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min																																						
試料の透明化	アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法																																								
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野																																								
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上																																								
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																						
	作業場の隔離 ※行う ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う ・粉じん飛散抑制剤については「建設技術審査証明書」の取得に関する資料を監督職員に提出し、承認を得ること。																																								
	アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。																																								
	除去仕上塗材() アスベスト含有箇所 ・吹付主剤 ・下地調整材(吹付仕上) ○下地調整材(ローラー仕上) 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去及び養生はアスベスト含有吹付け材、下地調整材(ローラー仕上)はアスベスト含有成形板として扱う。 撤去の範囲 ・全面撤去 ○塗膜の劣化部及び外壁補修等作業箇所のみ撤去 ○図示による 外壁補修等作業はUカット工法、アンカーピンニング工法、樹脂注入工法、モルタル充填工法 足場アンカー設置、コア抜き等軽微な作業を示す。																																								
	除去工法 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高圧水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 下地調整材(ローラー仕上)の除去工法についてはレベル3(アスベスト含有成形板)の除去工法と同等とする。																																								
	除去工法の試験施工 ※行う ○行わない 作業場の隔離及び養生 ※「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による ○隔離養生不要 ・その他()																																								

	官公署等への届出 労働安全衛生法に基づく届出 ・行う ○行わない 石綿障害予防規則に基づく届出 ・行う ○行わない 大気汚染防止法に基づく届出 ・行う ○行わない 外壁補修作業の内Uカット工法以外は労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づく届出は不要とする。 アスベスト粉じん濃度測定 ※行う(試験施工時) ○行わない [9. 1. 3] 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験施工時</td> <td>測定1</td> <td>※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による</td> <td>2方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考	試験施工時	測定1	※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による	2方向各1点									
測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考															
試験施工時	測定1	※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による	2方向各1点																
	(注)1. 試験施工時に濃度測定を行い、結果を監督職員へ提出すること。 なお、アスベストの飛散が確認された場合は、除去工法及び養生方法を再検討し、監督職員と協議すること。 なお、工法の再選定する場合は、協議の上契約変更を行う事ができる。																		
	表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td>25mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>5l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>120 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>0.5 f/l</td> </tr> </tbody> </table>		測定1	計数機器		メンブレンフィルタの直径	25mm	試料の吸引流量	5l/min	試料の吸引時間	120 min	試料の透明化	アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法	計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野	計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上	定量限界	0.5 f/l
	測定1																		
計数機器																			
メンブレンフィルタの直径	25mm																		
試料の吸引流量	5l/min																		
試料の吸引時間	120 min																		
試料の透明化	アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法																		
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野																		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上																		
定量限界	0.5 f/l																		
	処分方法 ○埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ○中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う																		
6 アスベスト含有保温材等の除去	作業場の隔離 ・行う ・行わない [9. 1. 4] ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う 除去保温材()																		
7 アスベスト含有成形板の除去	作業場の隔離 ・行う ・行わない [9. 1. 5] 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設 除去成形板()																		
8 特記事項	※本工事に配置管理させる者(有資格者) ※特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者)																		

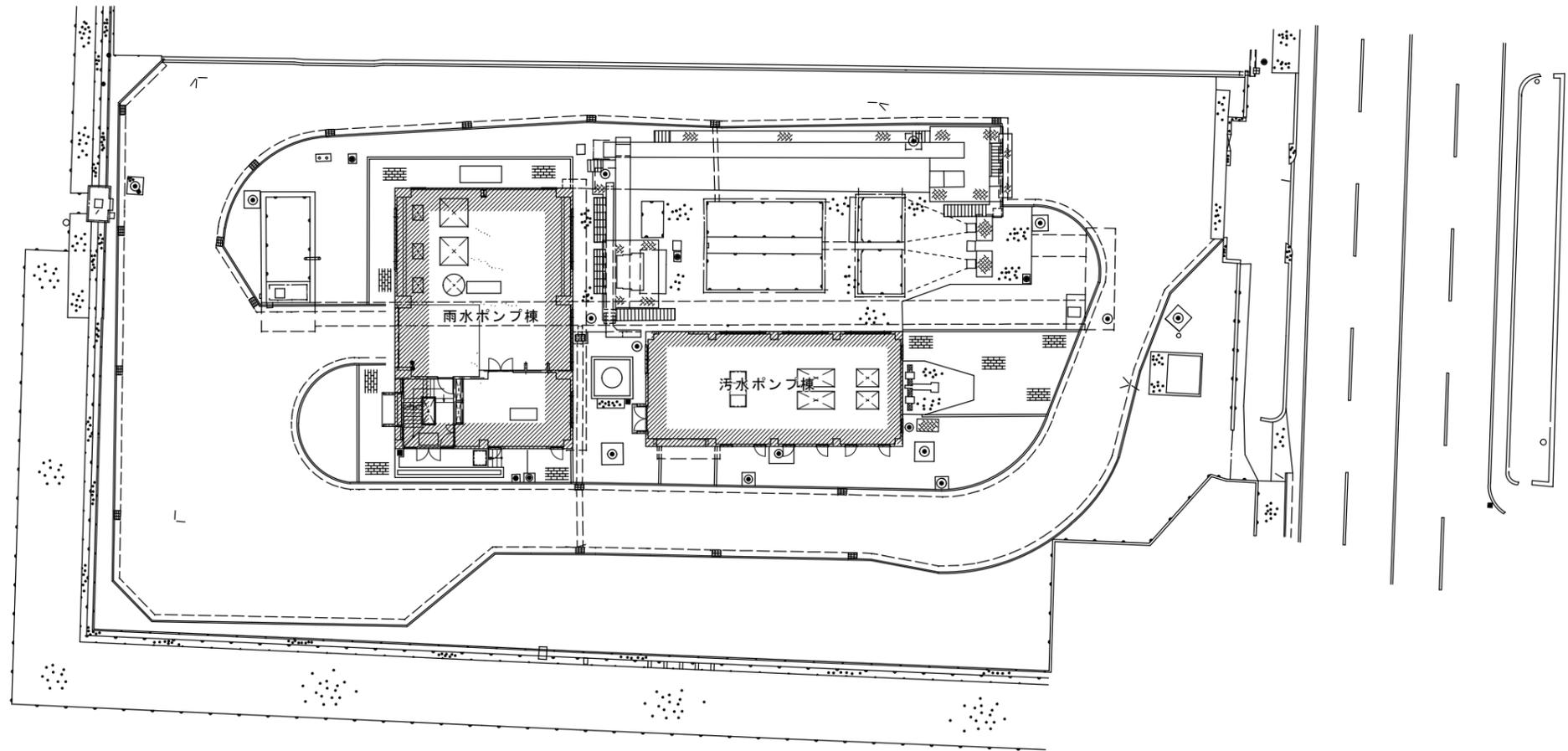
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(5)		
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-5/87



位置図 1/10,000

高砂ポンプ場現況平面図

四日市市尾上町地内



配置図 1/200

 : 対象施設を示す。

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配置図		
縮尺	S=1:200	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-6/87

雨水ポンプ棟 仕上表		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号			
共通事項		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号			
①	外部仕上及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。	C	コンクリート下地	複層塗材 (CE)	ポリマーセメント系複層仕上塗材	・流し台	・6-11-1	・カーテンボックス	・銅製 3-31-1, 2
②	仕上に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁建築部監修)を示す。	CB	コンクリートブロック下地	複層塗材 (E)	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	・フード	・6-11-1・2	・アルミ製	・3-32-5, 6, 7
③	特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室回りは除く。	W	木造下地	複層塗材 (RE)	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	・コンロ台	・6-11-1	・既製品	・アルミ製
④	付属物のうち、室名札、床点検口、掲示板、案内板、ピクトグラフ、階数表示板等は、平面図による。	S	軽量鉄骨下地	複層塗材 (RS)	合成樹脂溶液系複層仕上塗材	・流し上部水切り	・6-11-3	・脱衣箱	・アルミ製
⑤	付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。	GB-R	せつこうボード	CL	クリヤラッカー塗り	・つり戸だな	・6-11-1・5	・手すり	・アルミ製
⑥	P.F.板、木毛板等打込み箇所は、別図による。	GB-N	不燃積層せつこうボード(下地張り用)	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	・水切りだな	・6-11-1・5	・階段手すり	・アルミ
⑦	内壁の見え掛りとなるP.F.板打込み部分は、GB厚12.5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。	GB-D(T)	不燃積層せつこうボード(トラバーチン模様)	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・天井点検口	・3-4-2-2	・断熱材打込み	・7-01-1
⑧	壁のボード張りは水平方向に継手は設けない。	GB-D(W)	不燃積層せつこうボード(木目模様)	DP	耐候性塗料塗り	・便所へだて	・6-23-1	・ホイストレール	・7-01-1
⑨	天井仕上ボード張りのうち、GB(T)及びRB(下地GB共)は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。	GB-S	シーリングせつこうボード	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・躯体不自由者便所	・6-23-1・2・3・4	・クレンジング	・7-01-1
⑩	直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。	GB-F	強化せつこうボード	EP-G(水系)	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・便所へだて	・6-23-1	・クレンジング	・7-01-1
⑪	特記なき打直し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。	ケイカル板	けい酸カルシウム板(タイプ2)	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・躯体不自由者便所	・6-23-1・2・3・4	・クレンジング	・7-01-1
⑫	特記なき建築工事の梁型の打直し面及び塗装下地面の型枠種別は、梁底面C種、梁側面B種とする。	DR	ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・便所へだて	・6-23-1	・クレンジング	・7-01-1

外部仕上表		床		幅木・腰		外壁		屋根		バルコニー		庇・フード上端		庇・フードはな		庇・フード軒天		備考						
改修前	改修後	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	備考	改修内容	
		C	[玄関ポーチ] 100角磁器質タイル貼(踏面・蹴込共) 段鼻：ノンスリップ仕様	1-01-6	F	C	[幅木] コンクリート打直し(B)	2-02-11	F	C	[床] 防水モルタル塗 [手摺] ステンレス製手摺	2-02-11	F	C	[玄関庇・その他] コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	F	S	[玄関庇] アルミスバンドレル	3-01-9	F	C	ルーフドレイン：鉄製 φ100 たてどい：配管用鋼管 φ100 タラップ：ステンレス製 トップライト：FRP製 900角	F
		C	[スロープ] コンクリート直均し仕上	1-01-3	F	C	[一部] 二丁掛タイル貼		F	C	[その他] 防水モルタル塗		F	C	[その他] ケイカル板t=6 AP	3-01-1	F	S	[2階A通り・3通り] ケイカル板t=6 AP	3-01-1	F	C		F
		C	[玄関ポーチ] 100角磁器質タイル貼(踏面・蹴込共) 段鼻：ノンスリップ仕様	1-01-6	f	C	[幅木] コンクリート打直し(B)	2-02-11	f	C	[床] 防水モルタル塗 [手摺] ステンレス製手摺	2-02-11	f	C	[玄関庇・その他] コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	f	S	[玄関庇] アルミスバンドレル	3-01-9	f	C	ルーフドレイン：鉄製 φ100 たてどい：配管用鋼管 φ100 タラップ：ステンレス製 トップライト：FRP製 900角	f
		C	[スロープ] コンクリート直均し仕上	1-01-3	f	C	[一部] 二丁掛タイル貼		f	C	[その他] 防水モルタル塗		f	C	[その他] ケイカル板t=6 AP	3-01-1	f	S	[2階A通り・3通り] ケイカル板t=6 AP	3-01-1	f	C		f

内部仕上表		床		幅木		腰壁		壁		天井		備考																			
階	室名	改修前	改修後	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	備考	改修内容				
1F	玄関ホール	C	無筋コンクリートt=170の上100角磁器質タイル貼	1-01-6	F	M	ビニル幅木	75	2-11-1	F	M	複層塗材E	2-02-7	F	S	アルミスバンドレル	3-01-9	F				S	アルミスバンドレル	3-01-9	F		天井点検口	F			
	電気室	C	無筋コンクリートt=270モルタル塗t=30の上床用塗料	1-01-1	B	C	コンクリート打直し(B)の上外装薄塗材E	2-02-7	B	75	2-02-7	B	C	コンクリート打直し(B)の上外装薄塗材E	2-02-7	B	C	コンクリート打直し(C)の上外装薄塗材E	2-02-7	B	C	コンクリート打直し(C)の上外装薄塗材E	2-02-7	B	C	コンクリート打直し(C)の上外装薄塗材E	2-02-7	B	C	配管ピット蓋/GRP/PL-6	一時撤去
	原動機室	C	無筋コンクリートt=170モルタル塗t=30の上床用塗料	1-01-1	B	C	モルタル塗t=20	1500	2-02-12	B	C	ロックウール吹付t=20	2-02-7	B	C	コンクリート打直し(C)の上ロックウール吹付t=20	3-01-10	F	C	コンクリート打直し(C)の上ロックウール吹付t=20	3-01-10	F	C	コンクリート打直し(C)の上ロックウール吹付t=20	3-01-10	F	C	天井に同じ	直矢	B	
	車搬入口	C	モルタル塗t=40の上床用塗料	1-01-1	F	C	モルタル塗t=40の上床用塗料				C	モルタル塗t=40の上床用塗料	1-01-1	F	C	モルタル塗t=40の上床用塗料	1-01-1	F	C	モルタル塗t=40の上床用塗料	1-01-1	F	C	モルタル塗t=40の上床用塗料	1-01-1	F	C	天井に同じ	直矢	B	

特記なき限り		壁 (m/m)		天井 (m/m)		備考		材料名		種別		壁 (m/m)		天井 (m/m)		備考		工事区分		改修内容		改修後	
仕上材料・厚さ	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	材料名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	工事区分	改修前	改修後	備考	材料名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	<	>	改修前	改修後	
	GB-R	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板(タイプ2)		12	10	NM-8578	土木工事	A: 仕上撤去	a: 仕上新設		グラスウール吸音材		12	10	NM-8578	<	>	B: 図示の仕上撤去	b: 図示の仕上新設	
	GB(N)		9.5	NM-8613	押出法ポリスチレンフォーム保温材		25	25		建築機械設備工事	C: 下地共撤去	c: 下地共新設							<	>	D: 図示の下地共撤去	d: 図示の下地共新設	
	GB(NT)		9.5	又は同等	壁紙					建築電気設備工事	E: 図示の下地調整	e: 図示の塗装塗り替え							<	>	F: 既存のまま	f: 既存のまま	
	GB(W)		12.5		ビニルクロス					プラント機械設備工事									<	>			
	DR		12	NM-8599	EP・EP-G					プラント電気設備工事									<	>			

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仕上表(1)		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-7/87

内部仕上表

階	室名	改修前	床				幅木				腰壁				壁				天井				備考	改修内容							
			下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号			改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高
2F	休憩室	改修前	W	畳敷き		F	W	畳寄せ		F					GB-R	ビニルクロス貼	2-03-9	F	壁に同じ	2-03-9	F	S	GB-D (W) t=12	3-01-1	F			2500	F	押入、物入、木製カーテンボックス、カーテン	F
		改修後	W	畳敷き		f	W	畳寄せ		f					GB-R	ビニルクロス貼	2-03-9	f	壁に同じ	2-03-9	f	S	GB-D (W) t=12	3-01-1	f			2500	f	押入、物入、木製カーテンボックス、カーテン	f
	湯沸室	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F			2-02-7	F	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F		2300	F	天井点検口、流し台、ガス台、吊戸棚、水切棚	F	
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f			2-02-7	f	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f		2300	f	天井点検口、流し台、ガス台、吊戸棚、水切棚	f	
	脱衣室	改修前	W	天然木化粧複合フローリング貼		F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F			2-02-7	F	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F		2400	F	脱衣棚、天井点検口	F	
		改修後	W	天然木化粧複合フローリング貼		f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f			2-02-7	f	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f		2400	f	脱衣棚、天井点検口	f	
	浴室	改修前	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		F	M	アスファルト防水 プラス2号	1200 1500		F			M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	F			2-01-1	F	S	バスリブ		F		2300 2400	F	ステンレスバス (1020×720×650)	F	
		改修後	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		f	M	アスファルト防水 プラス2号	1200 1500		f			M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	f			2-01-1	f	S	バスリブ		F		2300 2400	f	ステンレスバス (1020×720×650)	f	
	便所	改修前	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		F	M	アスファルト防水 プラス2号	600 900		F			M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	F			2-01-1	F	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F		2350 2650	F		F	
		改修後	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		f	M	アスファルト防水 プラス2号	600 900		f			M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	f			2-01-1	f	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f		2350 2650	f		f	
	洗面所	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F			2-02-7	F	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F		2650	F	洗面カウンター	F	
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f			2-02-7	f	S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f		2650	f	洗面カウンター	f	
	廊下	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	F		2650	F	床下点検口 下部二重スラブ内: 床・壁: 打放し仕上の上塗膜防水	F		
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f	幅木・壁に同じ	2-02-7	f	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	f		2650	f	床下点検口 下部二重スラブ内: 床・壁: 打放し仕上の上塗膜防水	f		
3F	事務室・操作室	改修前	C	フリーアクセスフロアH=300 の上ビニル床タイル貼		F	M	ビニル幅木 (特製)	7.5	2-11-1	F			M	複層塗材E	2-11-7	F	幅木・壁に同じ	2-11-7	F	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	F		3000	F	ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口	F		
		改修後	C	フリーアクセスフロアH=300 の上ビニル床タイル貼		f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			C	モルタル塗 t=20 複層塗材E	2-11-7	f	幅木・壁に同じ	2-11-7	f	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	f		3000	f	ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口	f		
	原動機室上部 (点検 見晴通路)	改修前	C	無筋コンクリート t=70 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	F			C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	F	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	F	腰壁・壁に同じ	2-02-7	F	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	F	天井に同じ	直天	B	ステンレス製手摺	F		
		改修後	C	無筋コンクリート t=70 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	f			C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	f	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	f	腰壁・壁に同じ	2-02-7	f	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	f	天井に同じ	直天	b	ステンレス製手摺	f		
点検バルコニー	改修前	C	床用塗料	1-01-3	F			C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	F	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	F	腰壁・壁に同じ	2-02-7	F	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	F	天井に同じ	直天	B	ステンレス製手摺	F			
	改修後	C	床用塗料	1-01-3	f			C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	f	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	f	腰壁・壁に同じ	2-02-7	f	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	f	天井に同じ	直天	b	ステンレス製手摺	f			
4F	工具室	改修前	C	無筋コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		F	壁に同じ	直天	F		F		
		改修後	C	無筋コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f	幅木・壁に同じ	2-02-7	f	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		f	壁に同じ	直天	f		f		
共通	階段室	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F			M	EP	2-02-7	F			2-02-7	F	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		F	壁に同じ	直天	F	ステンレスノンスリップ、 ビニル手摺	F	
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f			M	EP	2-02-7	f			2-02-7	f	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		f	壁に同じ	直天	f	ステンレスノンスリップ、 ビニル手摺	f	

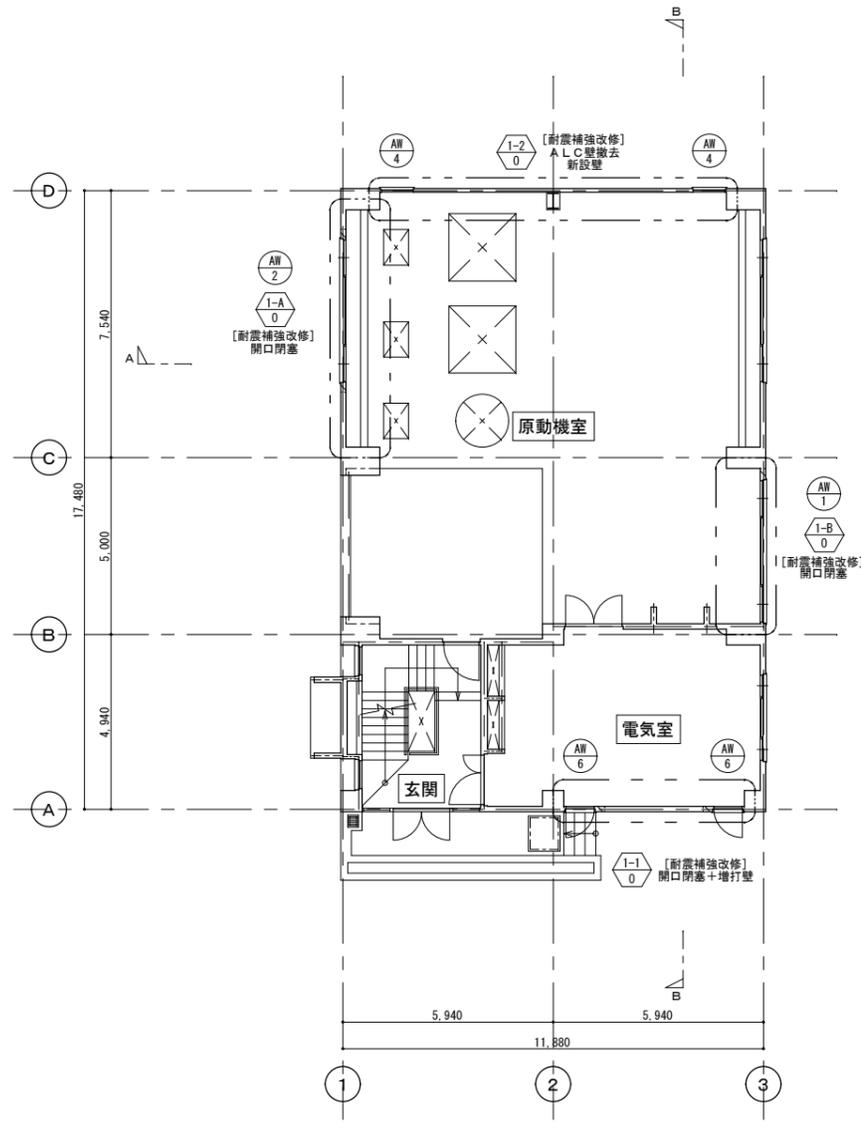
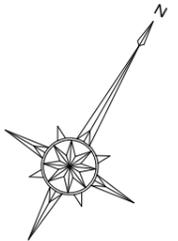
凡例  今回改修対象箇所を示す。

【雨水ポンプ棟】

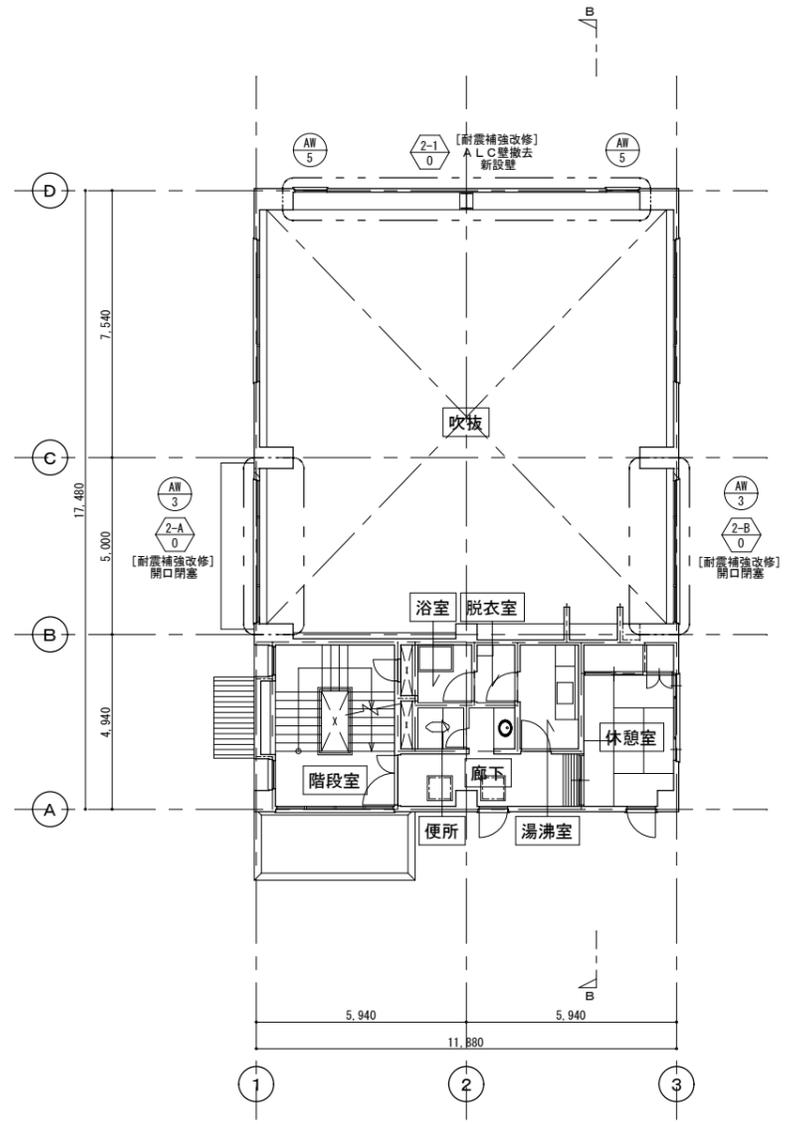
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仕上表 (2)		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-8/87

仕上材料・厚さ	材料名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	材料名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	工事区分略号	改修内容		
												改修前	改修後	
GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板 (タイプ2)	12	10	NM-8578			C	<	>	
	下地	12.5				押出法ポリスチレンフォーム保温材	25	25				AM	<	>
GB (N)	下地	9.5		NM-8613 又は同等	壁 紙							<	>	
GB (NT)		9.5			グラスウール吸音材			NM-8606				<	>	
GB (W)		12.5		不燃 (個別認定)	ビニルクロス			QM-9164				<	>	
DR		12		NM-8599	EP・EP-G			NM-8585				<	>	

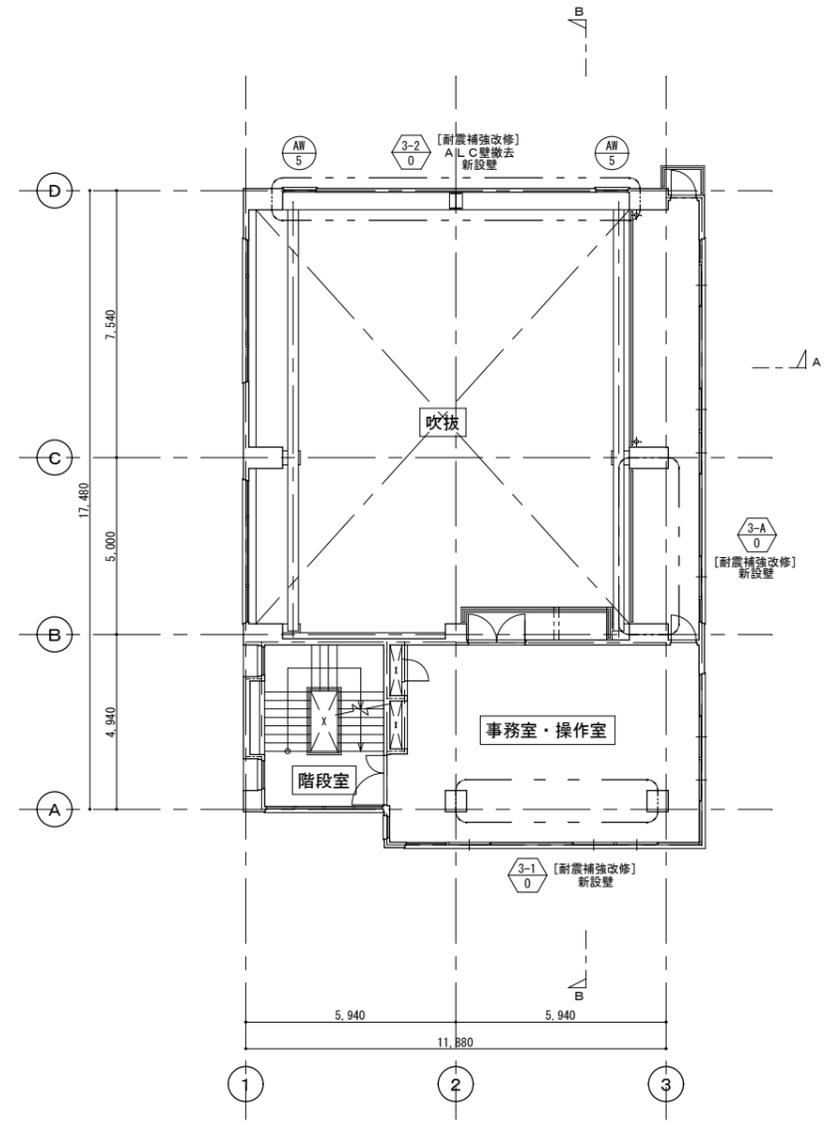
改 修 前



1階平面図 1/100



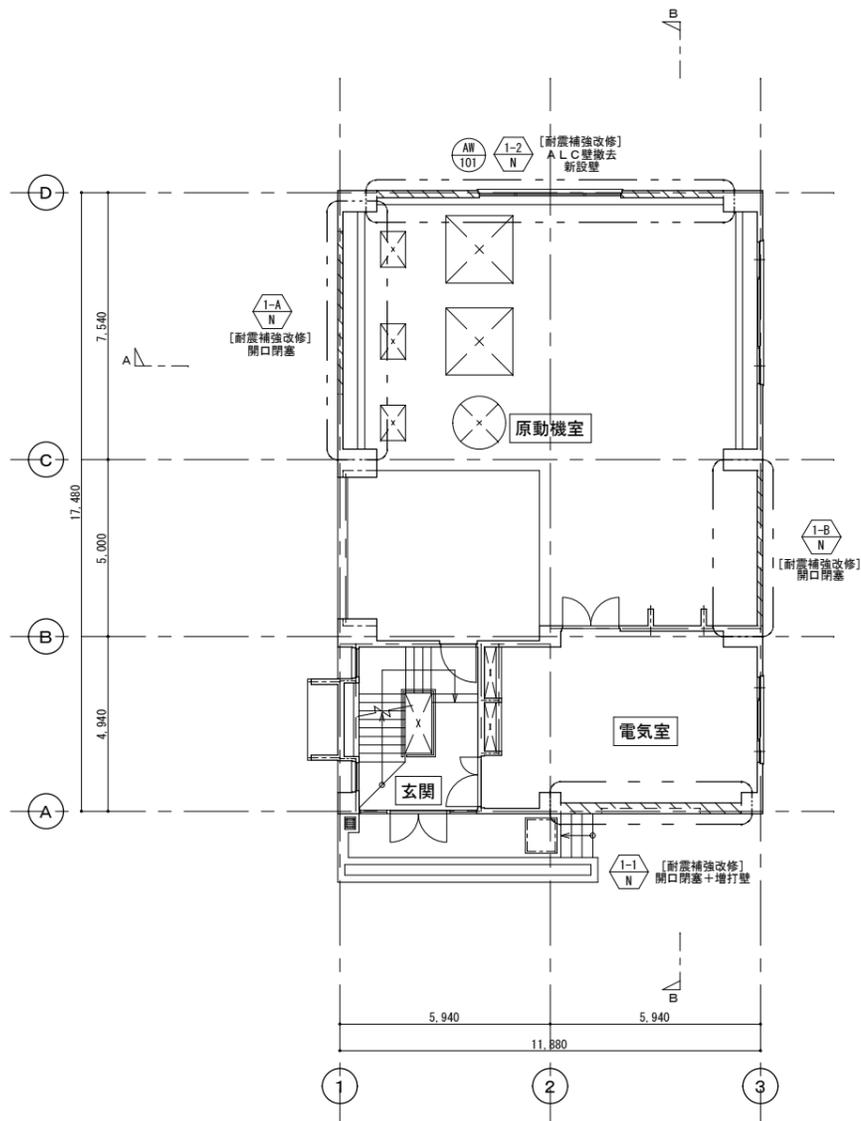
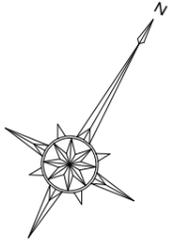
2階平面図 1/100



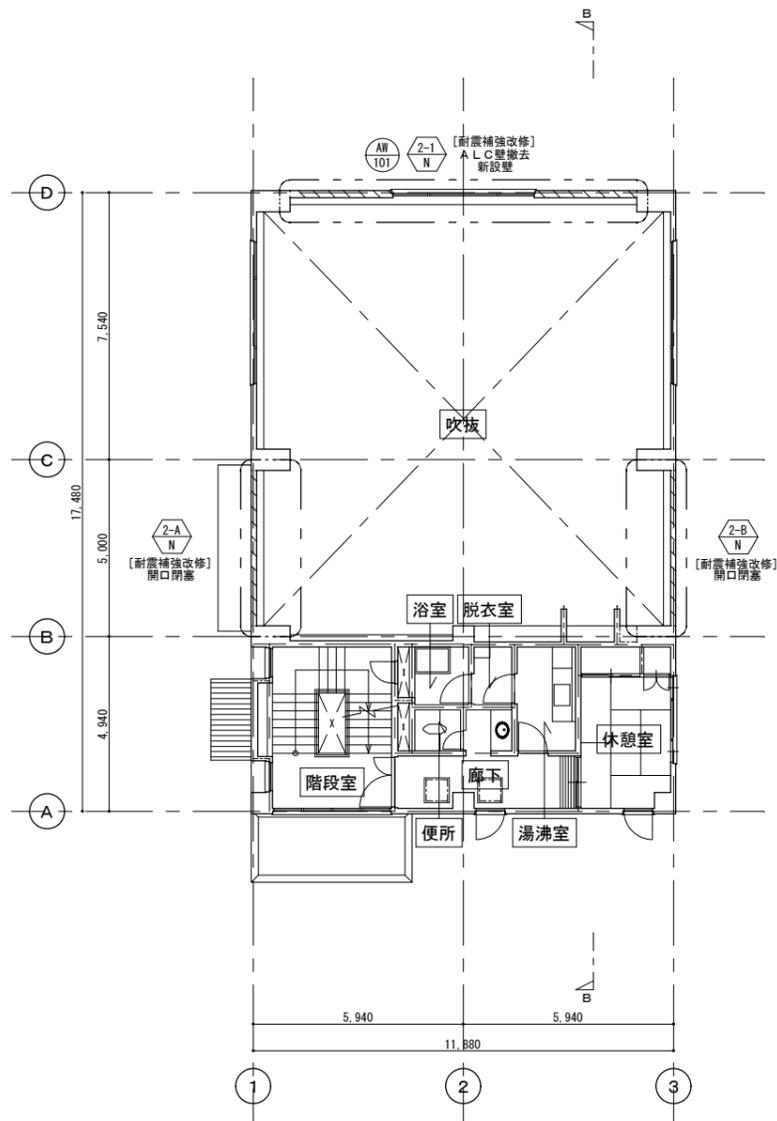
3階平面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
 - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - RC躯体撤去範囲を示す。

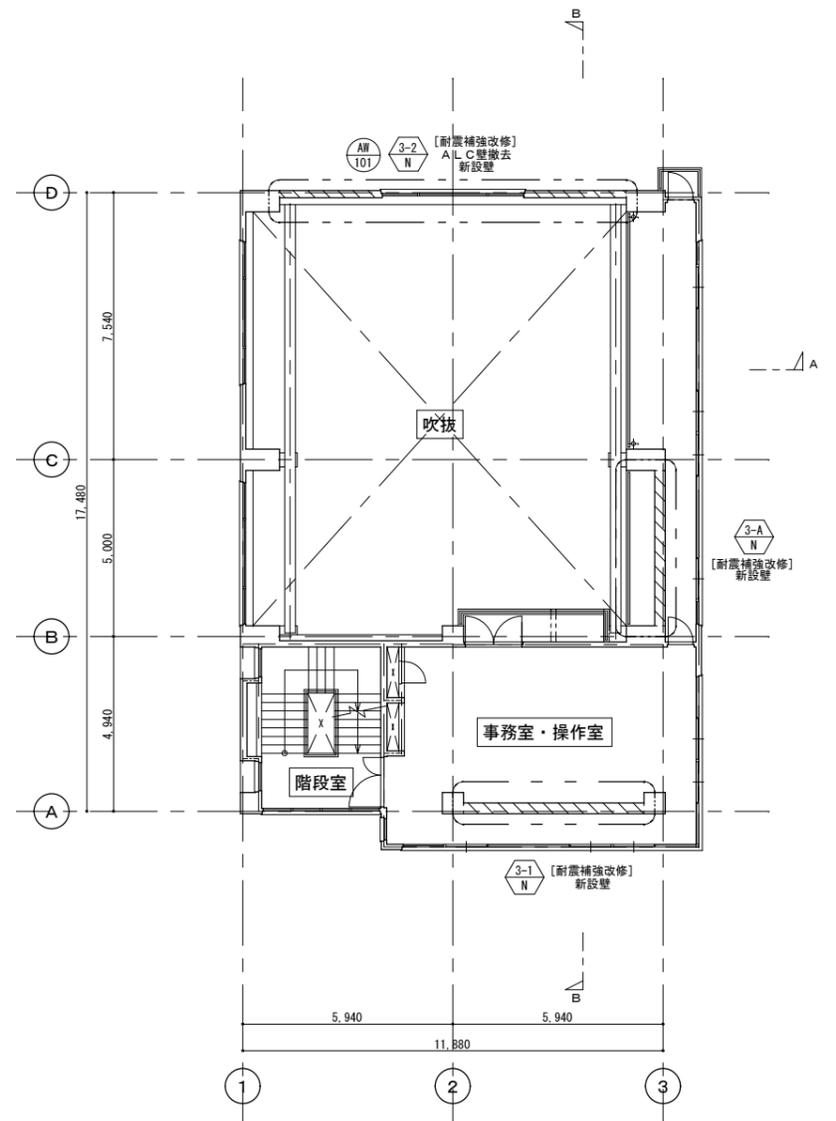
【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-9/87



1階平面図 1/100



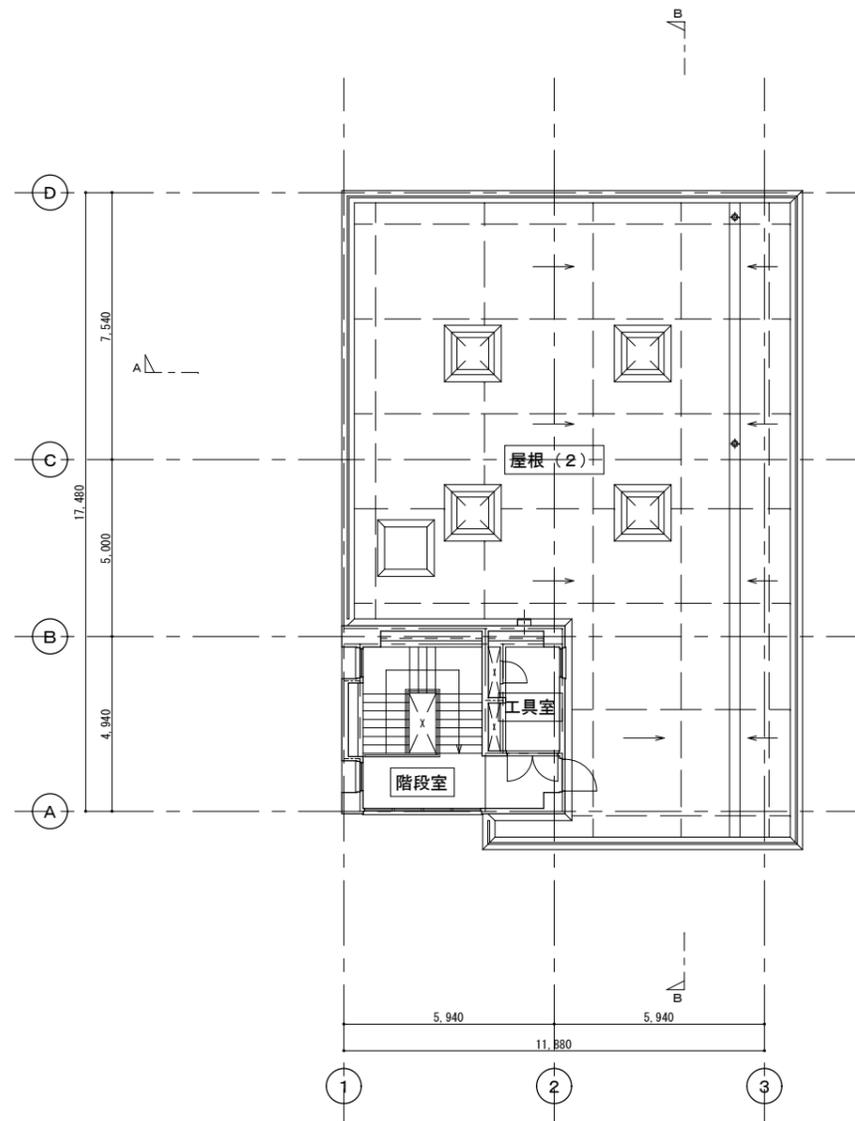
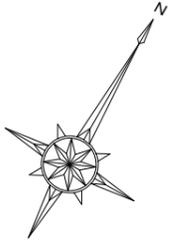
2階平面図 1/100



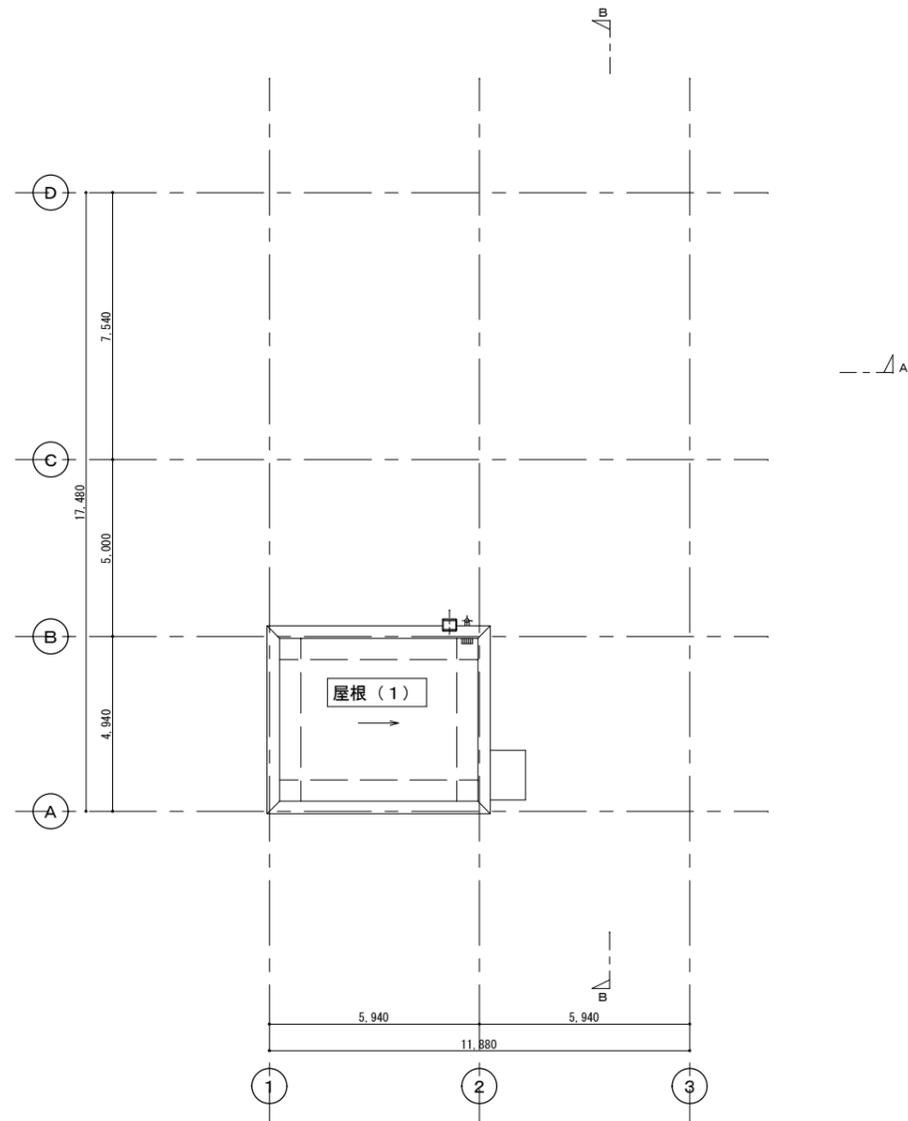
3階平面図 1/100

- 凡 例
- 新設建具を示す。
 - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-10/87



4階平面図 1/100

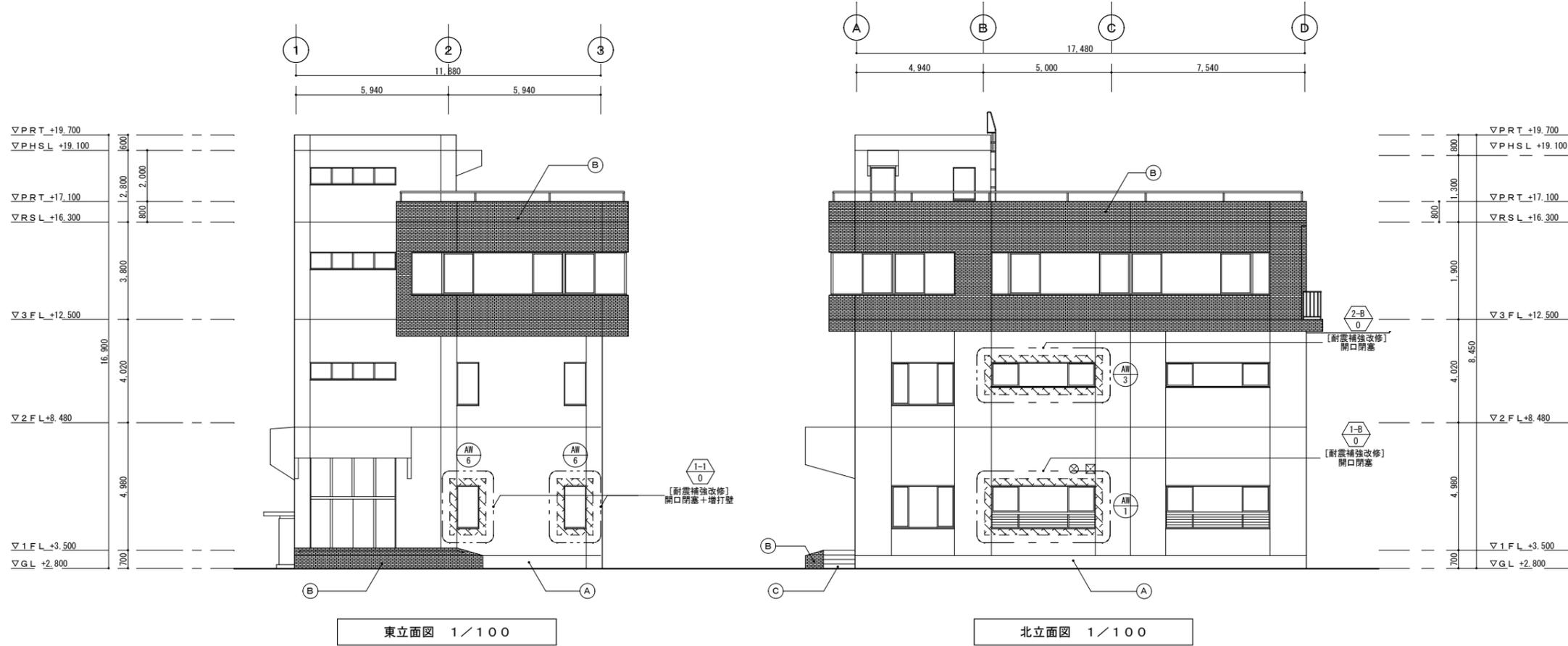


PH階平面図 1/100

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(3)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-11/87

改修前

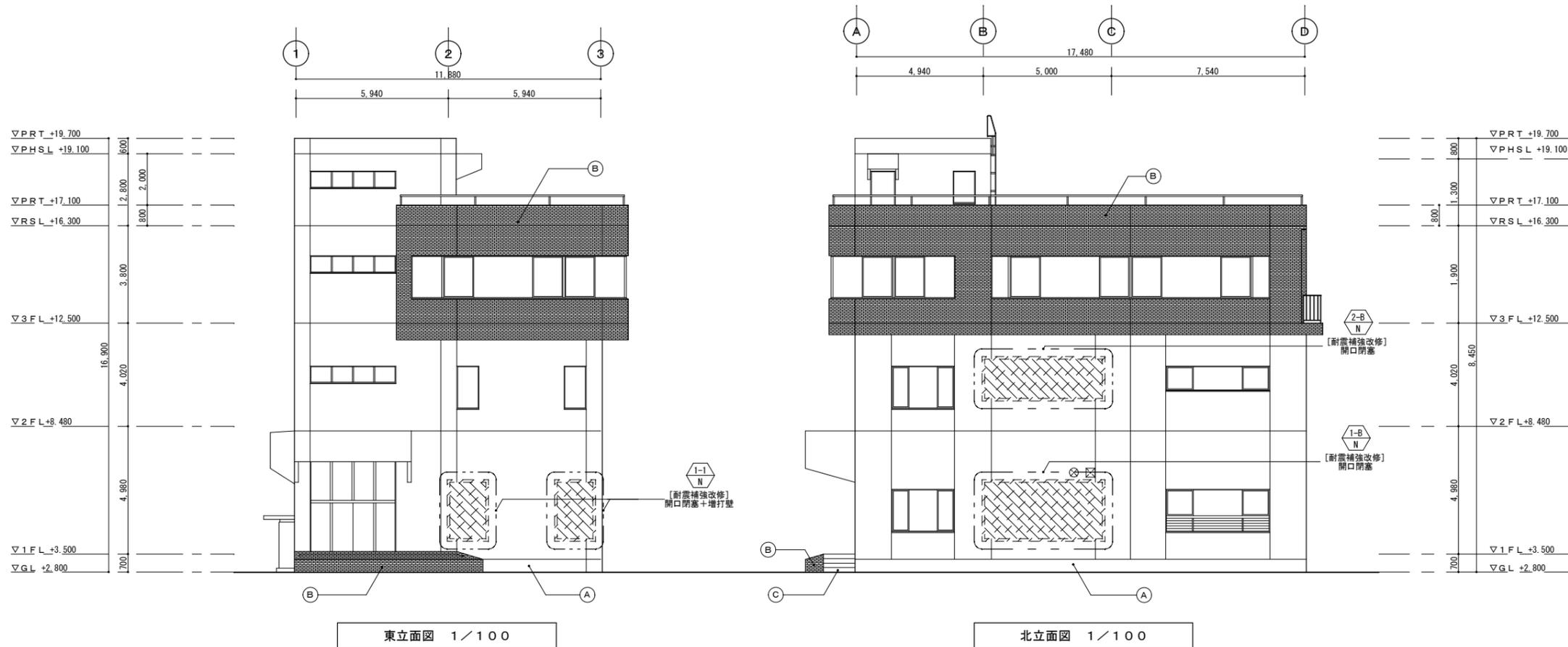


凡例

- 撤去建具を示す。
 - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - RC躯体撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含まれています)
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含まれています)
- 注記(特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し(B)の上複層塗材Eとする。

(A)	コンクリート打放し(B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼
(D)	A L C板 t=100の上複層塗材E

改修後



凡例

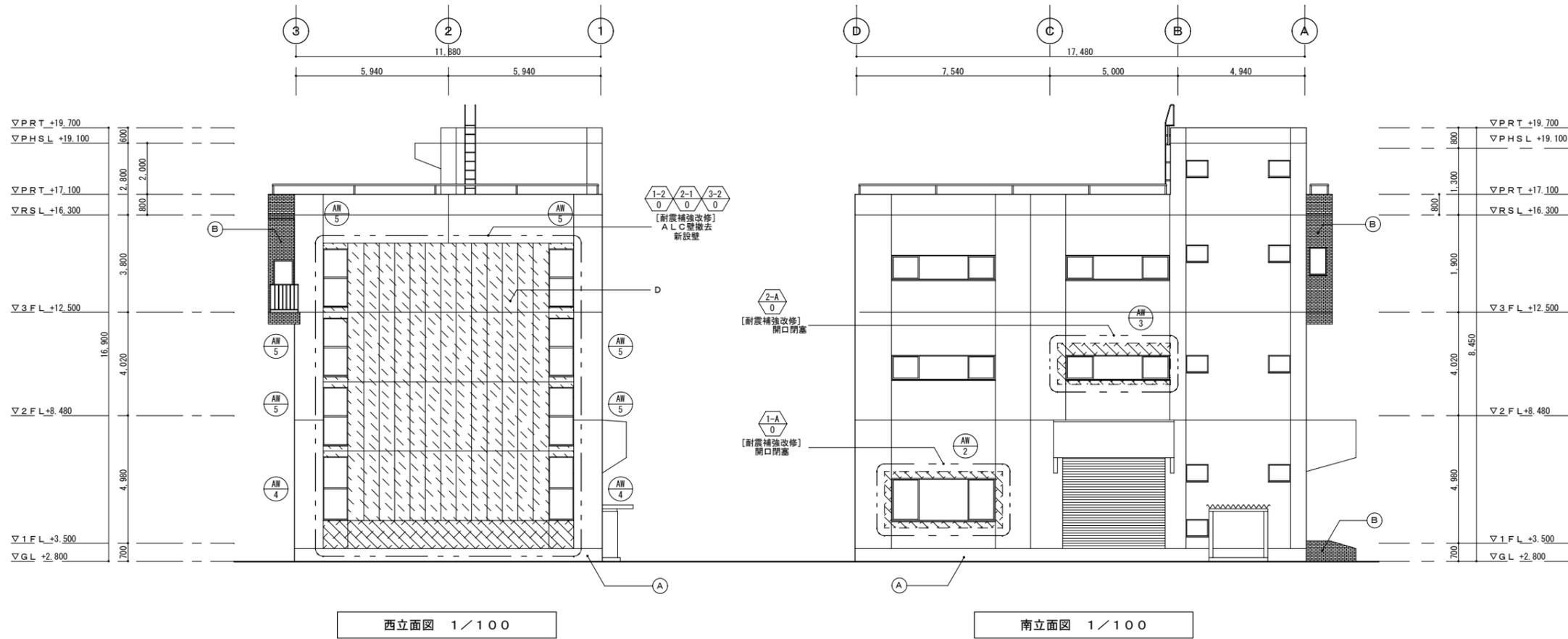
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。
- 注記(特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し(B)の上複層塗材Eとする。

(A)	コンクリート打放し(B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-12/87

改修前



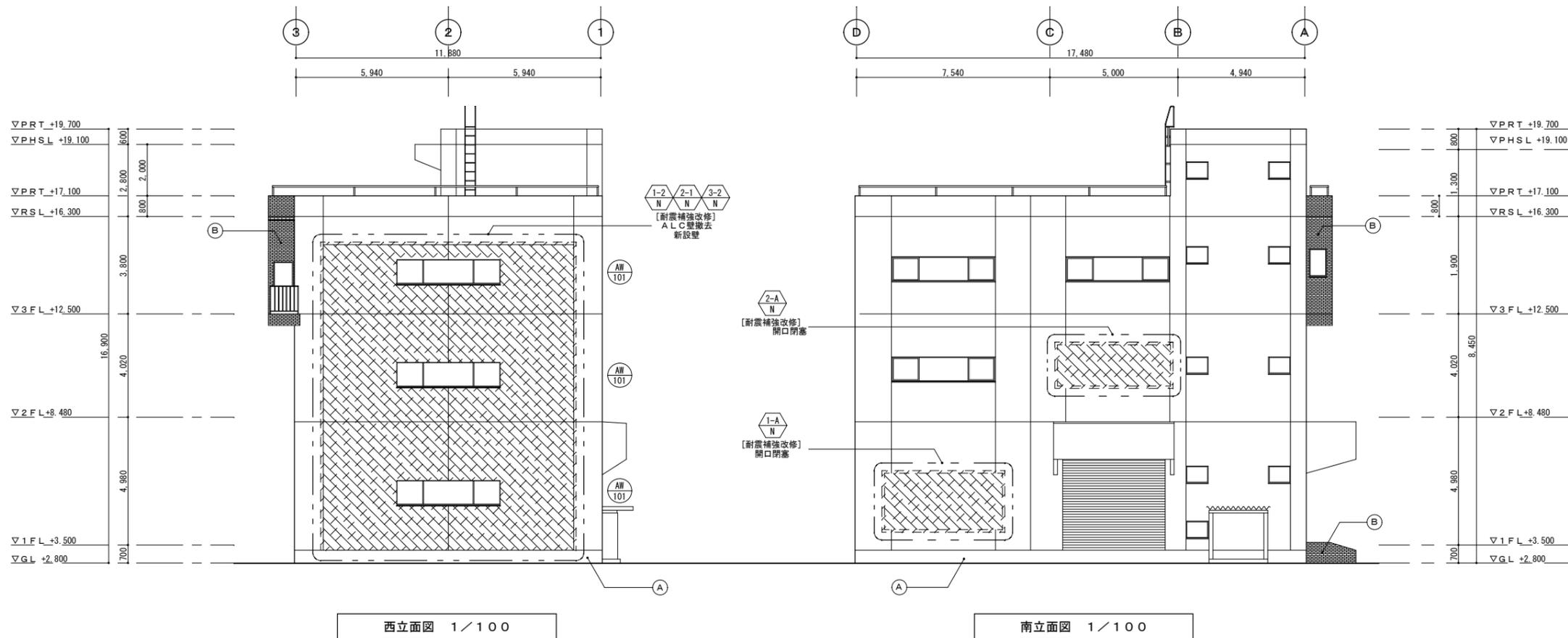
凡例

- 撤去建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- ▨ R/C躯体撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- ▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- ▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されていません)

注 (特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

(A)	コンクリート打放し (B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼
(D)	ALC板 t=100の上複層塗材 E

改修後



凡例

- 新設建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- ▨ R/C躯体新設範囲を示す。
- ▨ 仕上・下地新設範囲を示す。

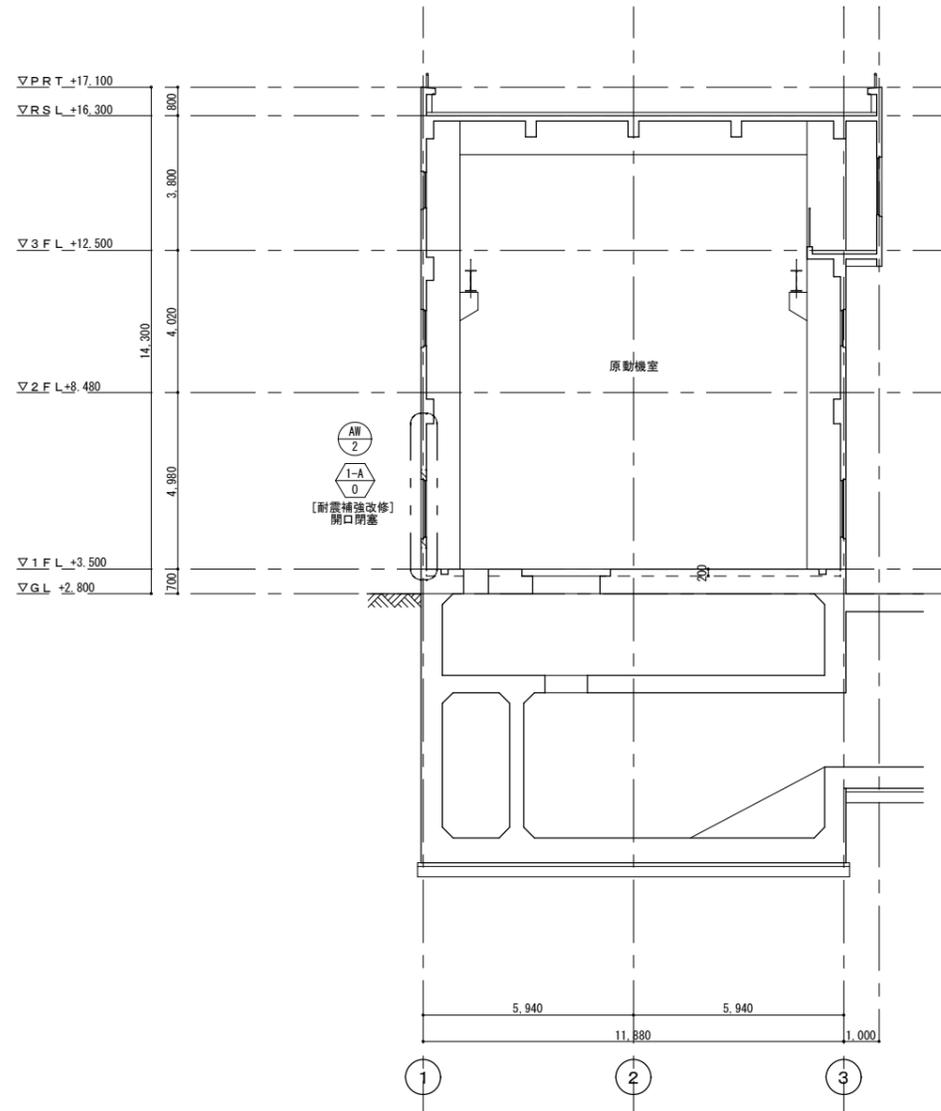
注 (特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

(A)	コンクリート打放し (B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼

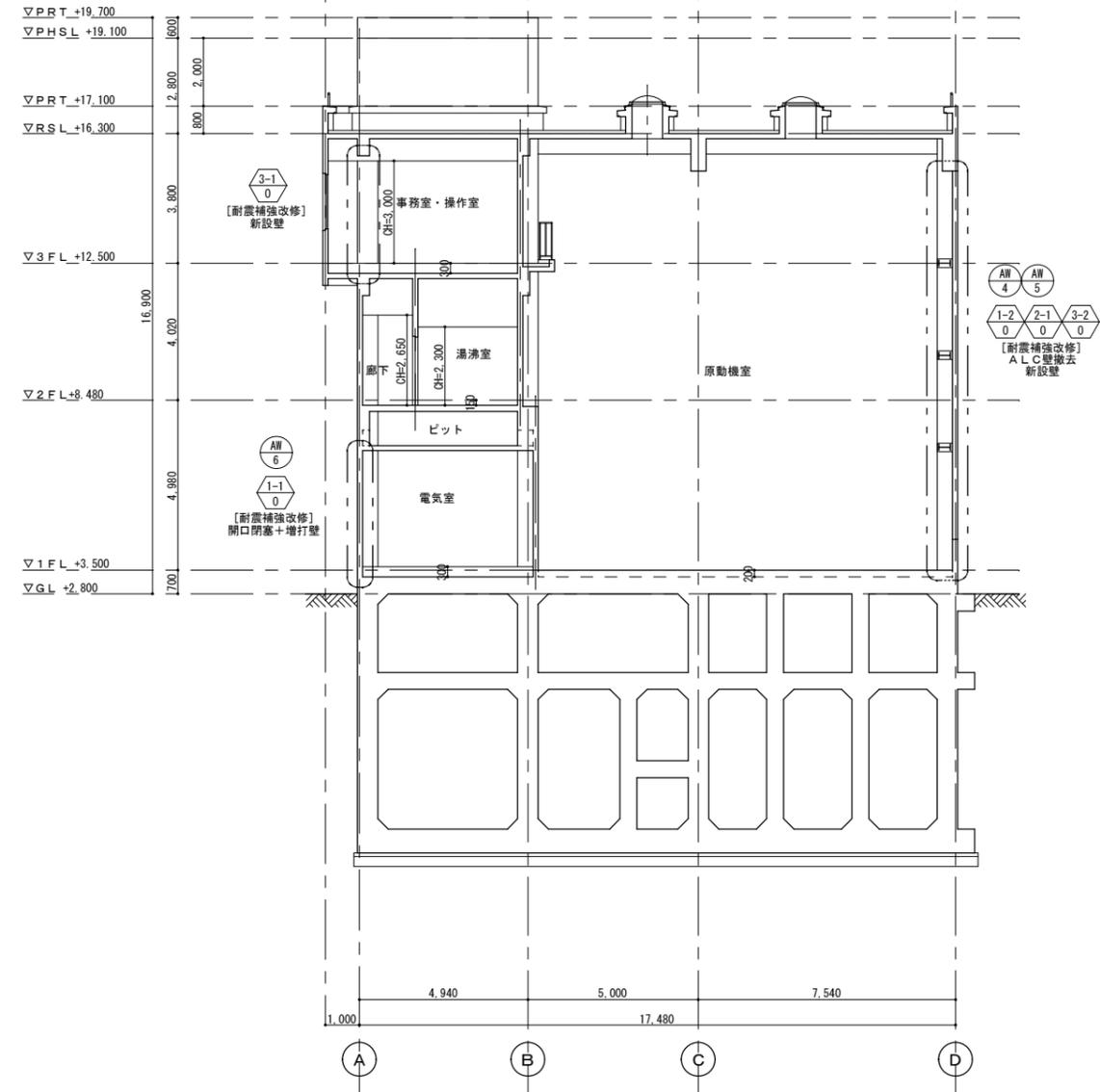
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-13/87

改 修 前



A-A断面図 1/100



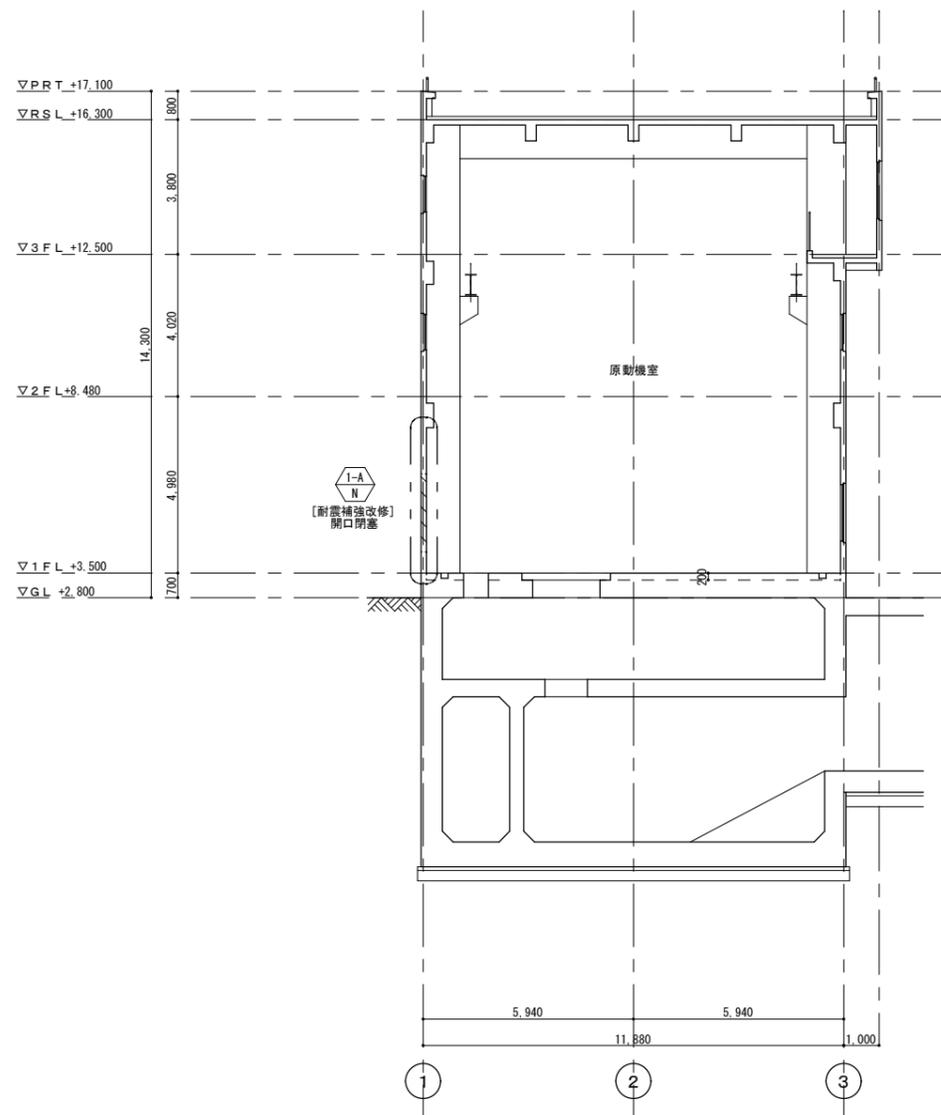
B-B断面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
 - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。

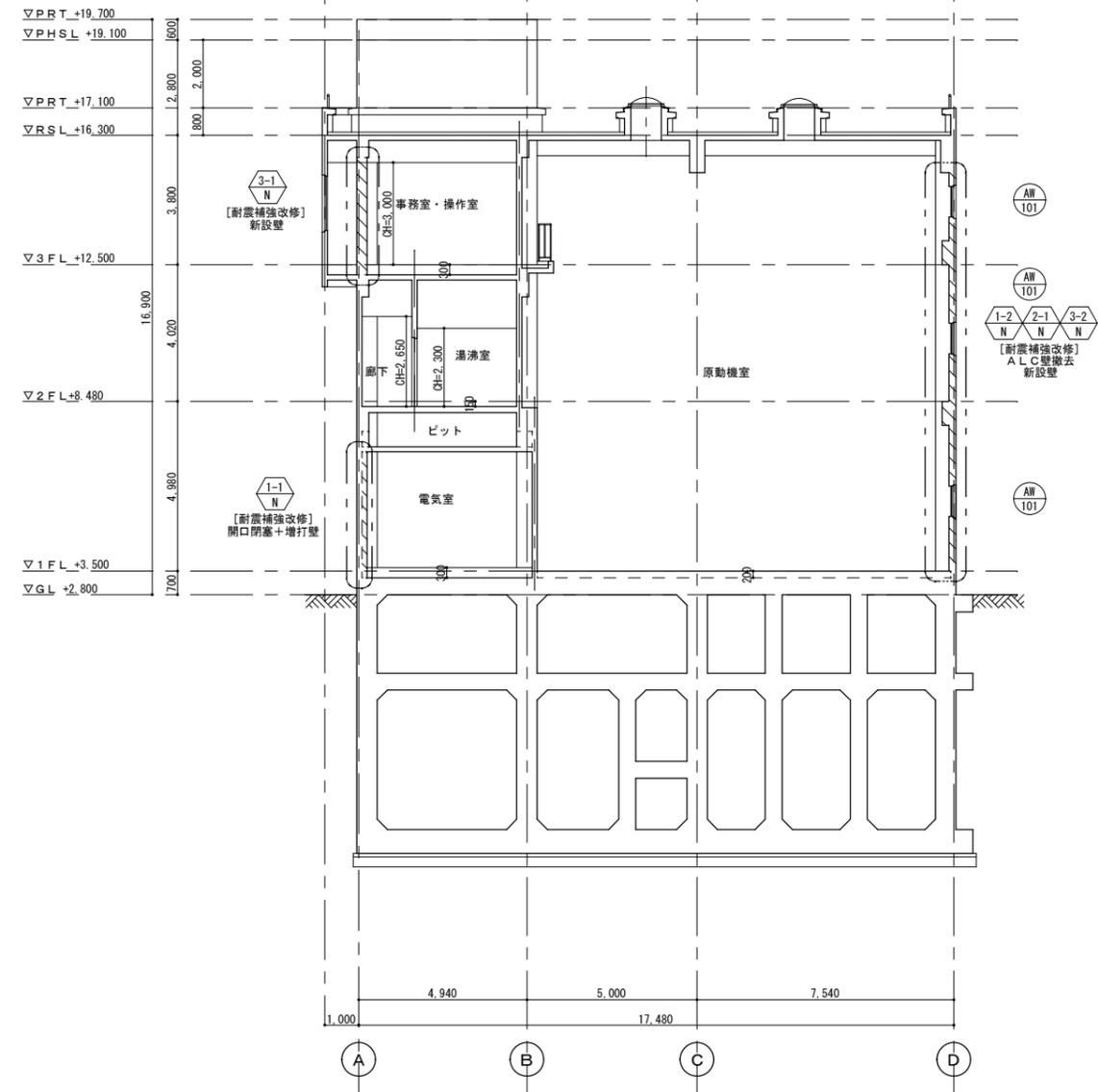
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-14/87

改 修 後



A-A断面図 1/100

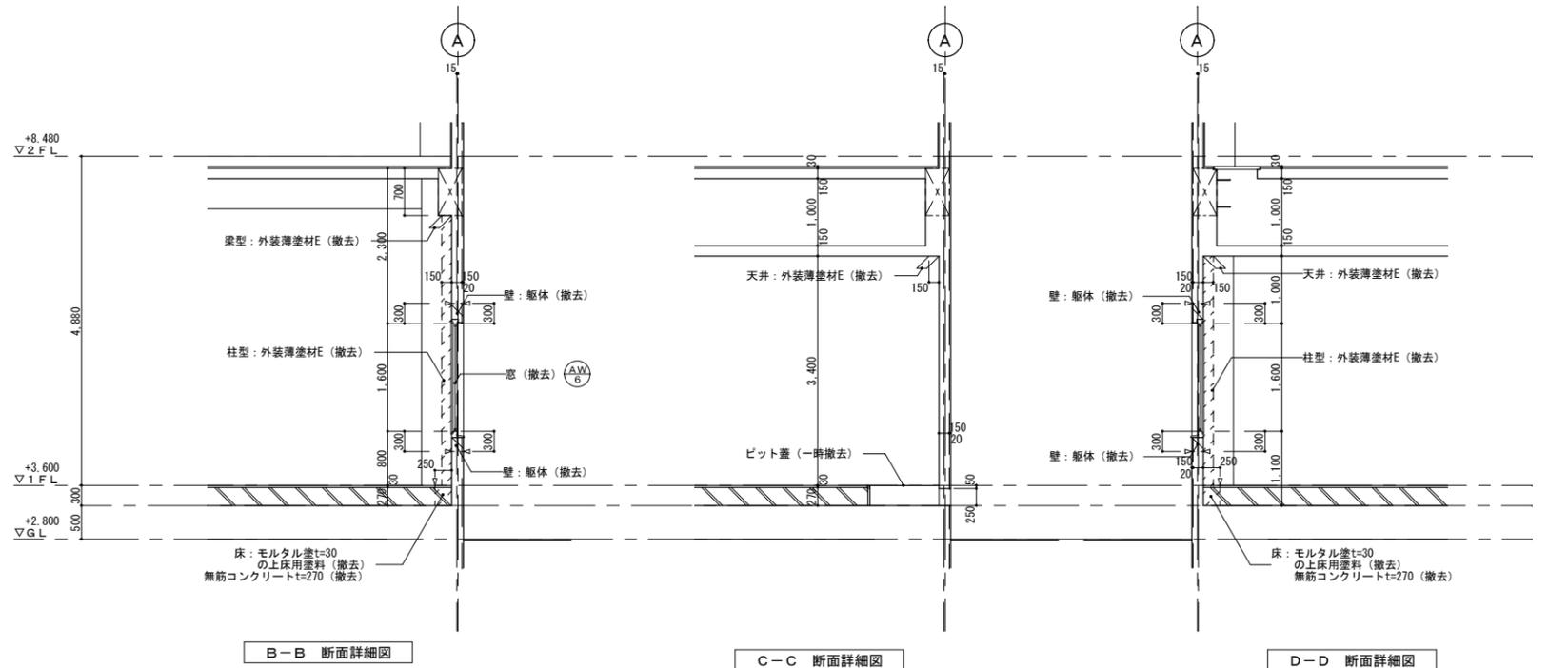
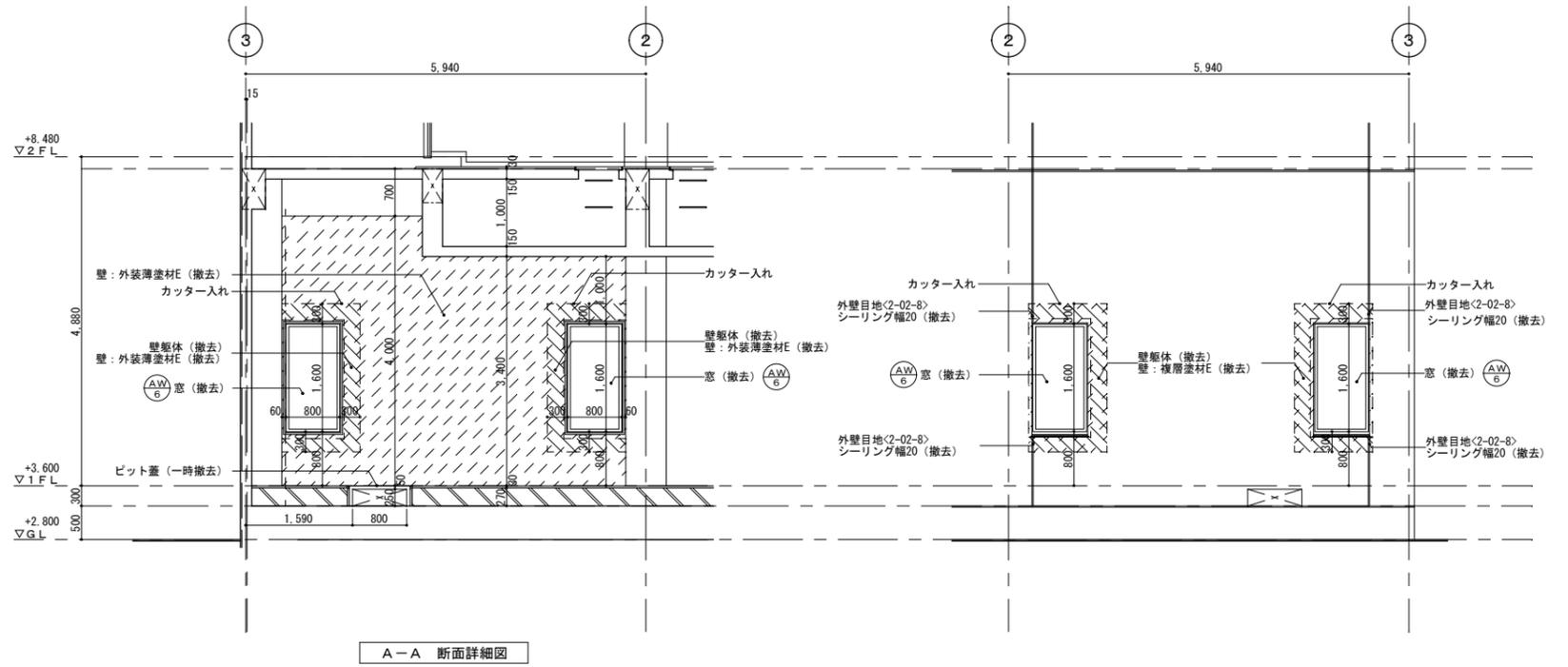
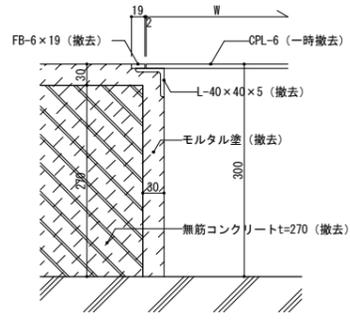
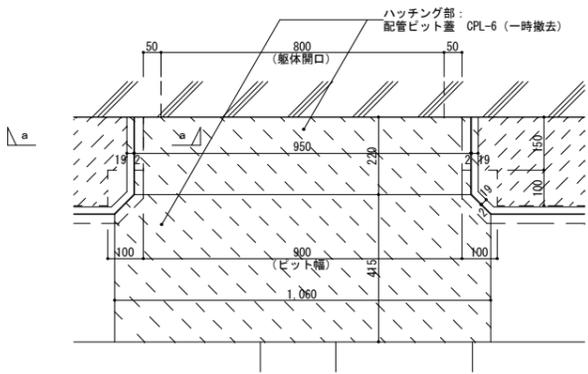
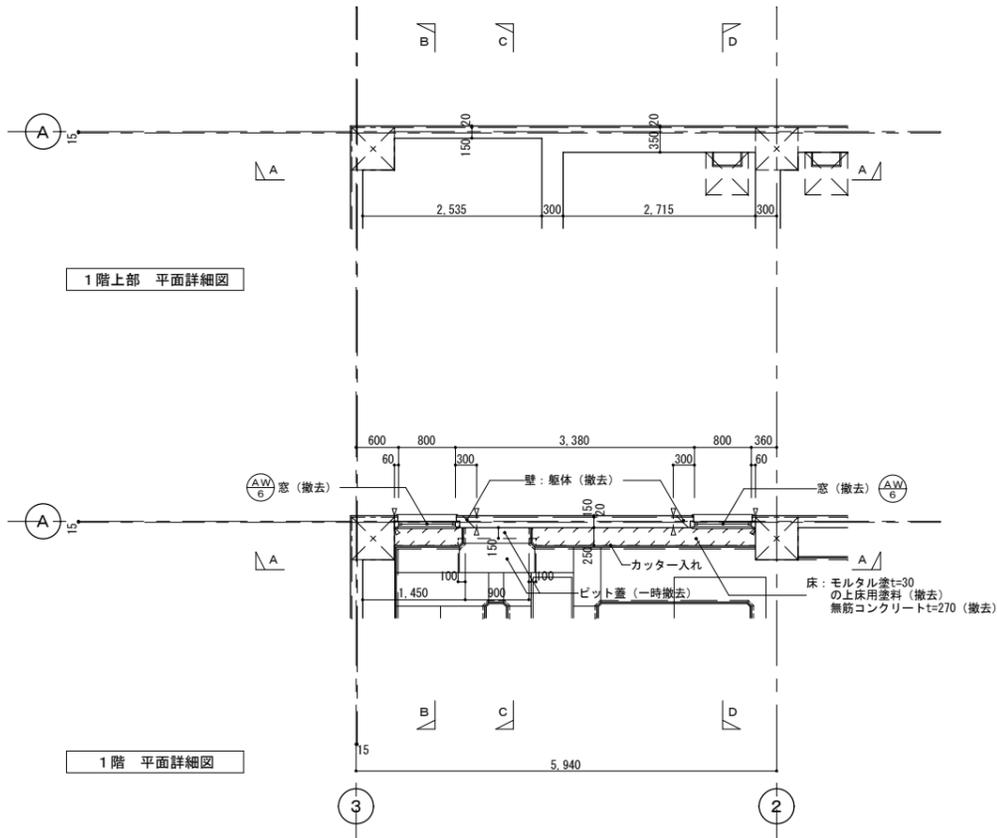


B-B断面図 1/100

- 凡 例
- 新設建具を示す。
 - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-15/87

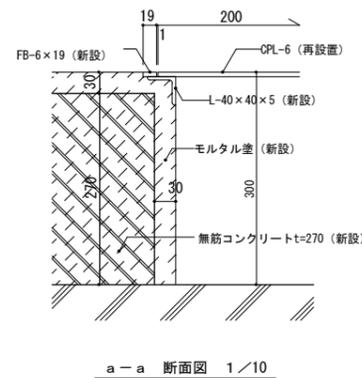
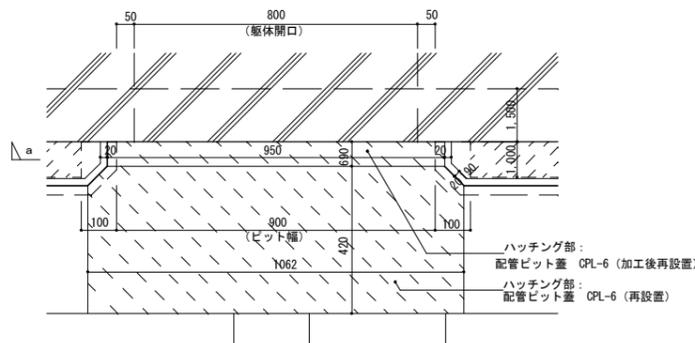
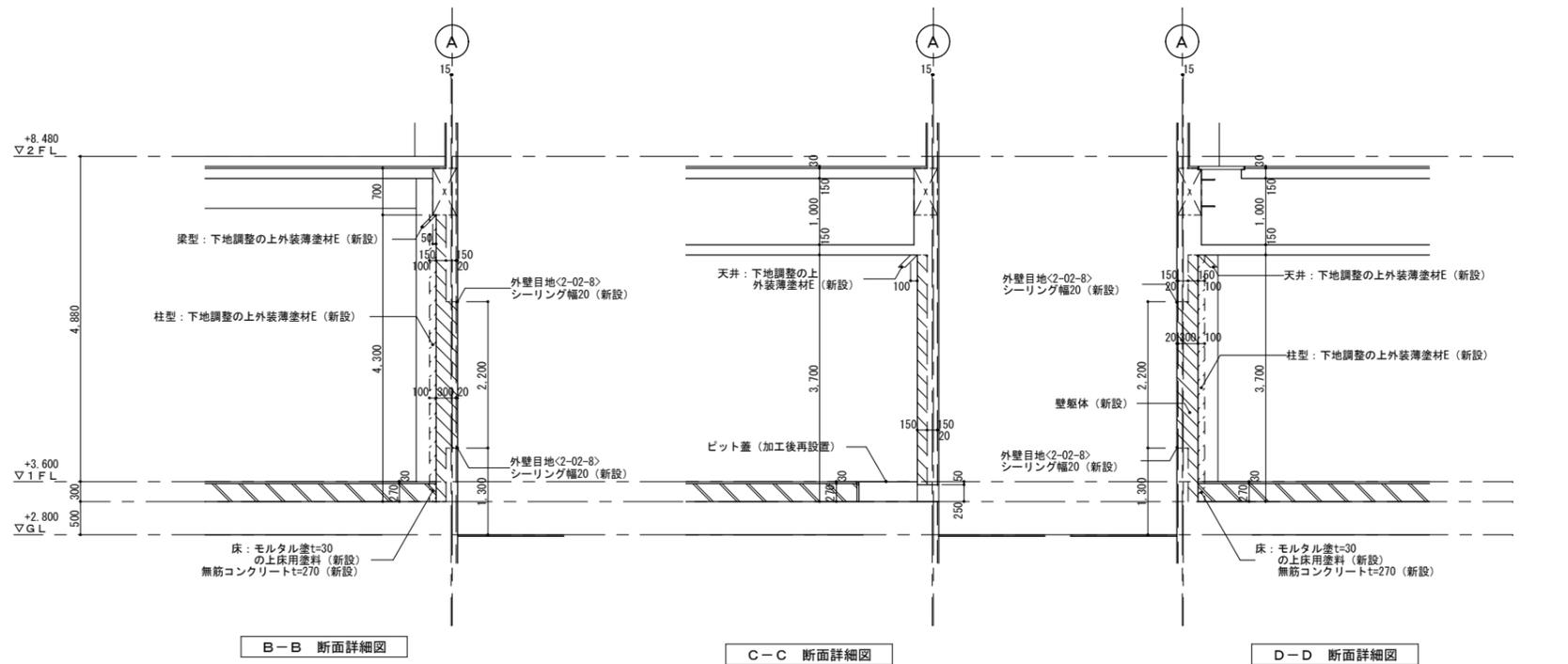
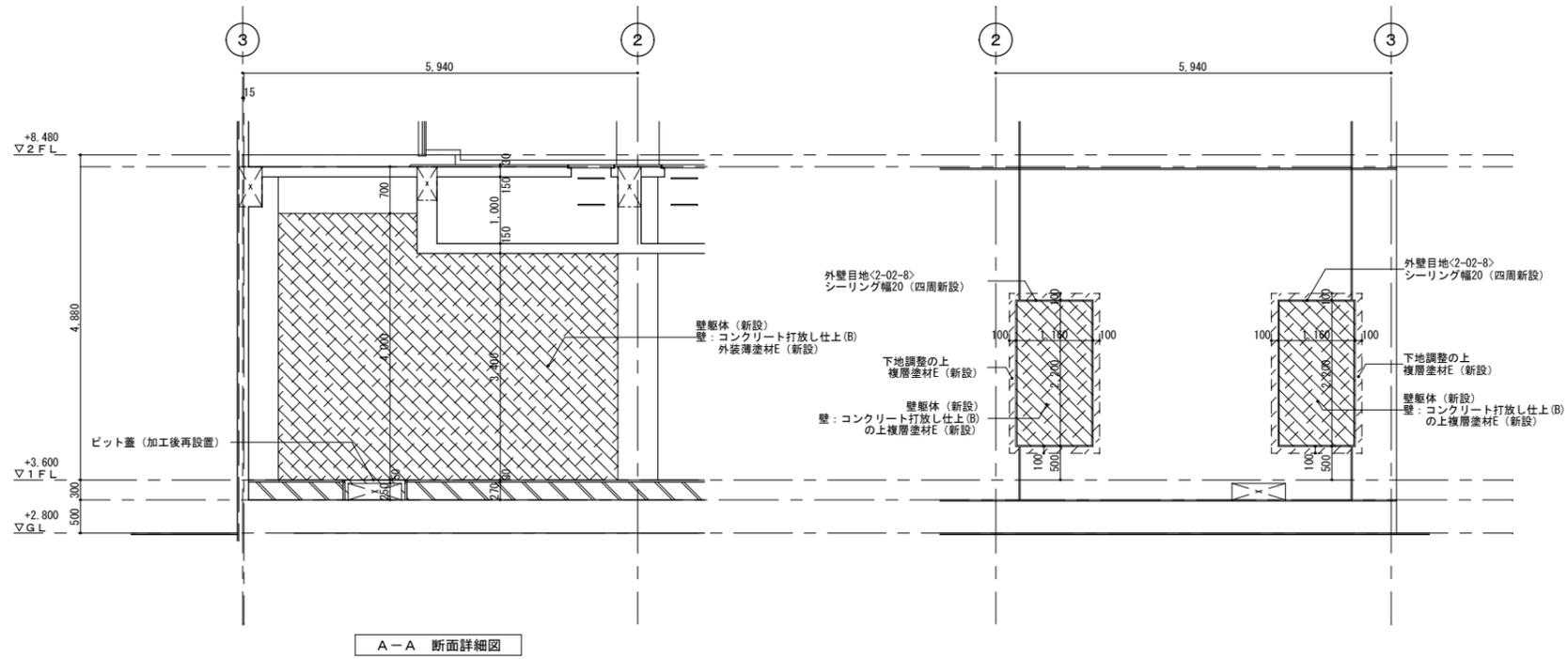
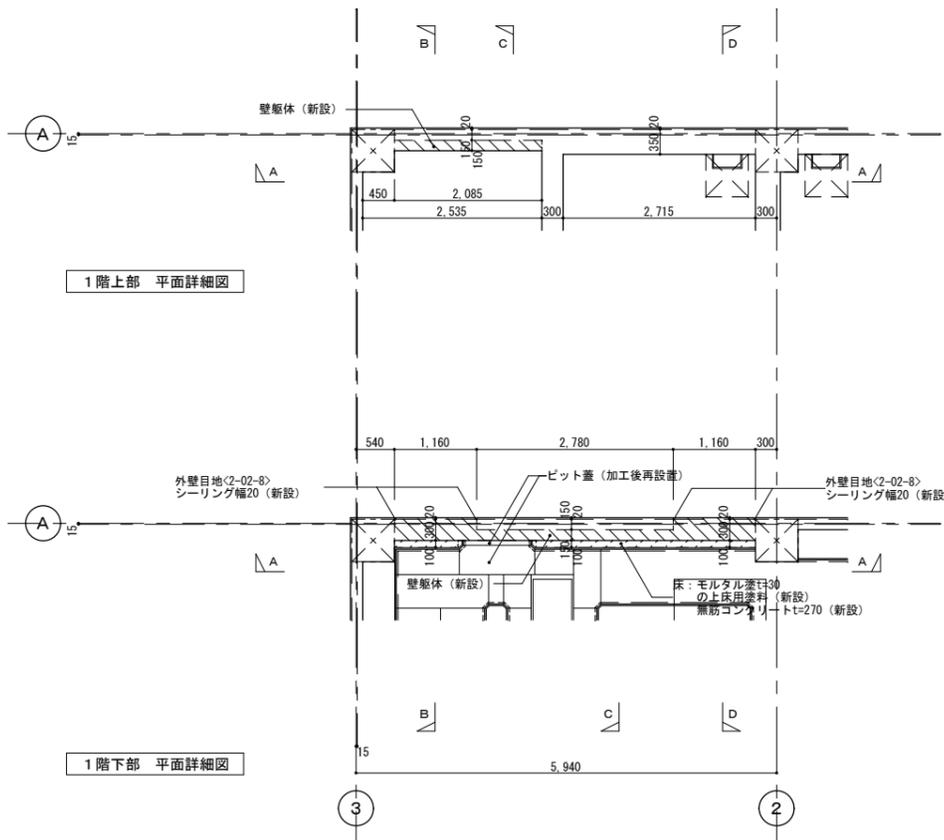


- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カット入部を示す。

1階 電気室	
床	軽量コンクリート t=270 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: _____ 腰: _____
壁・柱型	壁: 外装薄塗材E 柱型: 外装薄塗材E
梁型・天井	梁型: 外装薄塗材E 天井: 外装薄塗材E

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (1)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-16/87

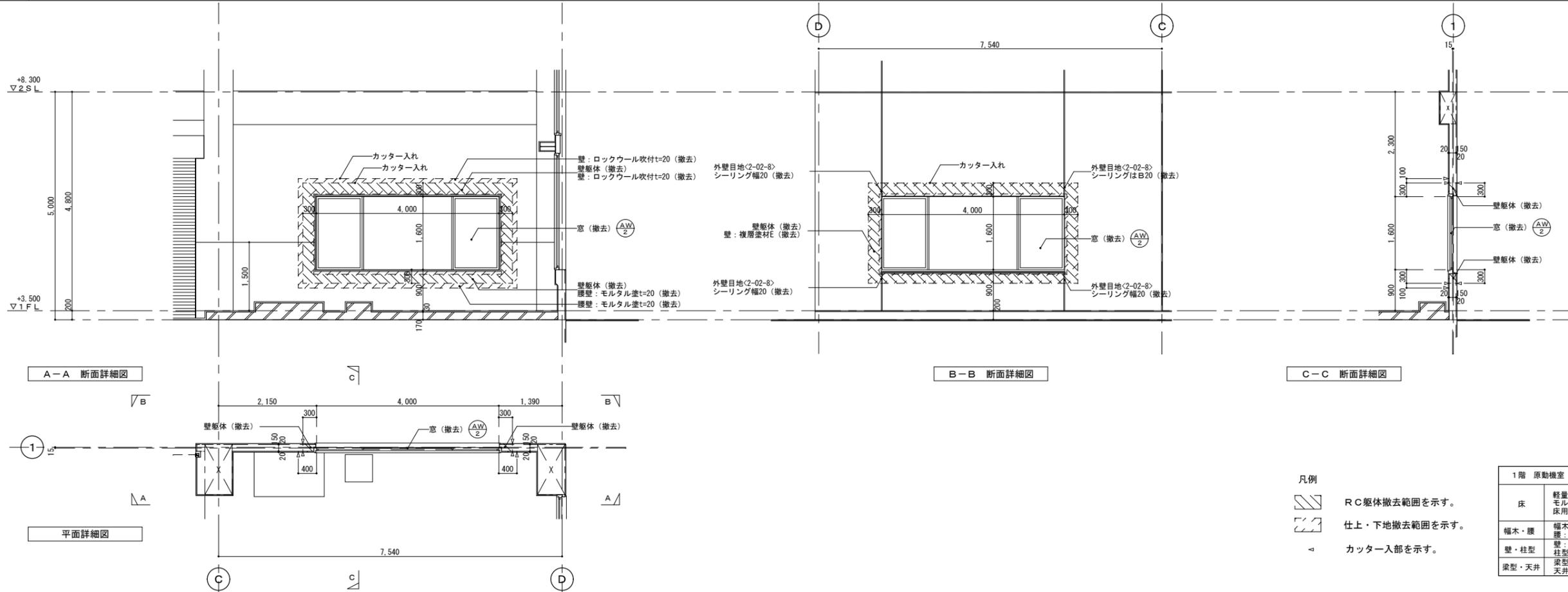


- 凡例
- R C躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-17/87

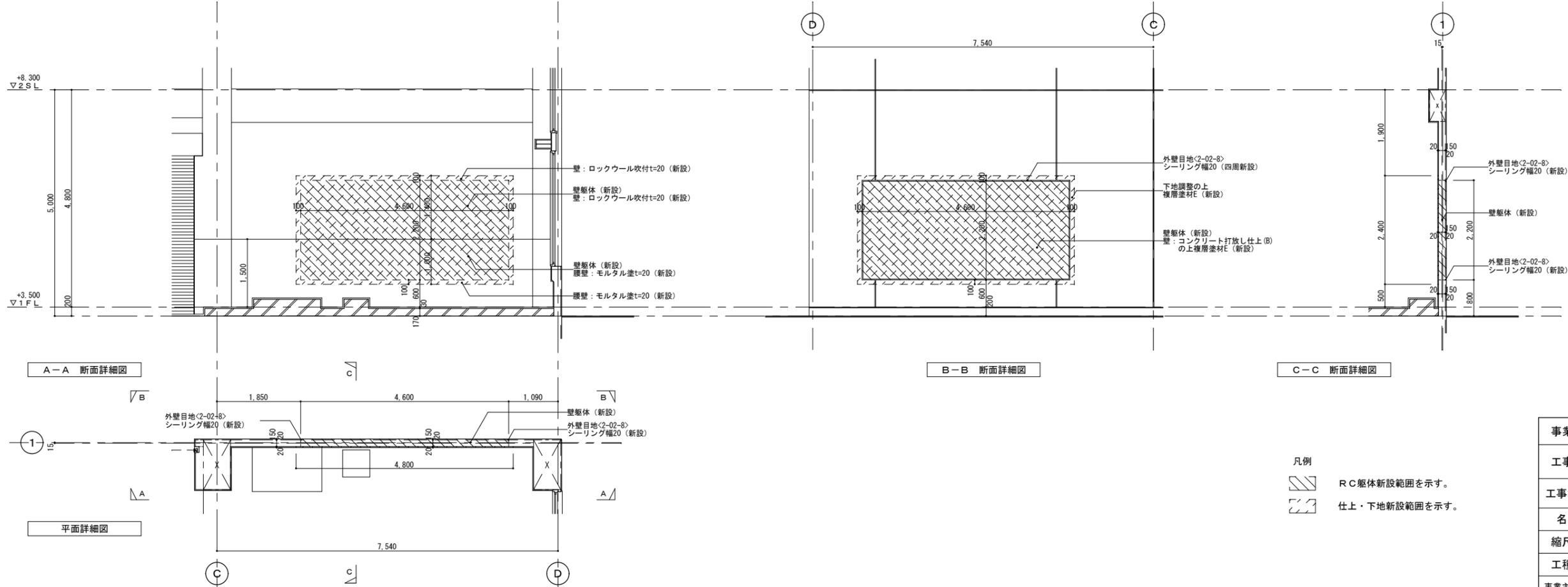
1-A
0
1F 1通りC~D間 改修前



- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰:モルタル塗
壁・柱型	壁:ロックウール吹付 t=20 柱型:モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型:ロックウール吹付 t=20 天井:ロックウール吹付 t=20

1-A
N
1F 1通りC~D間 改修後

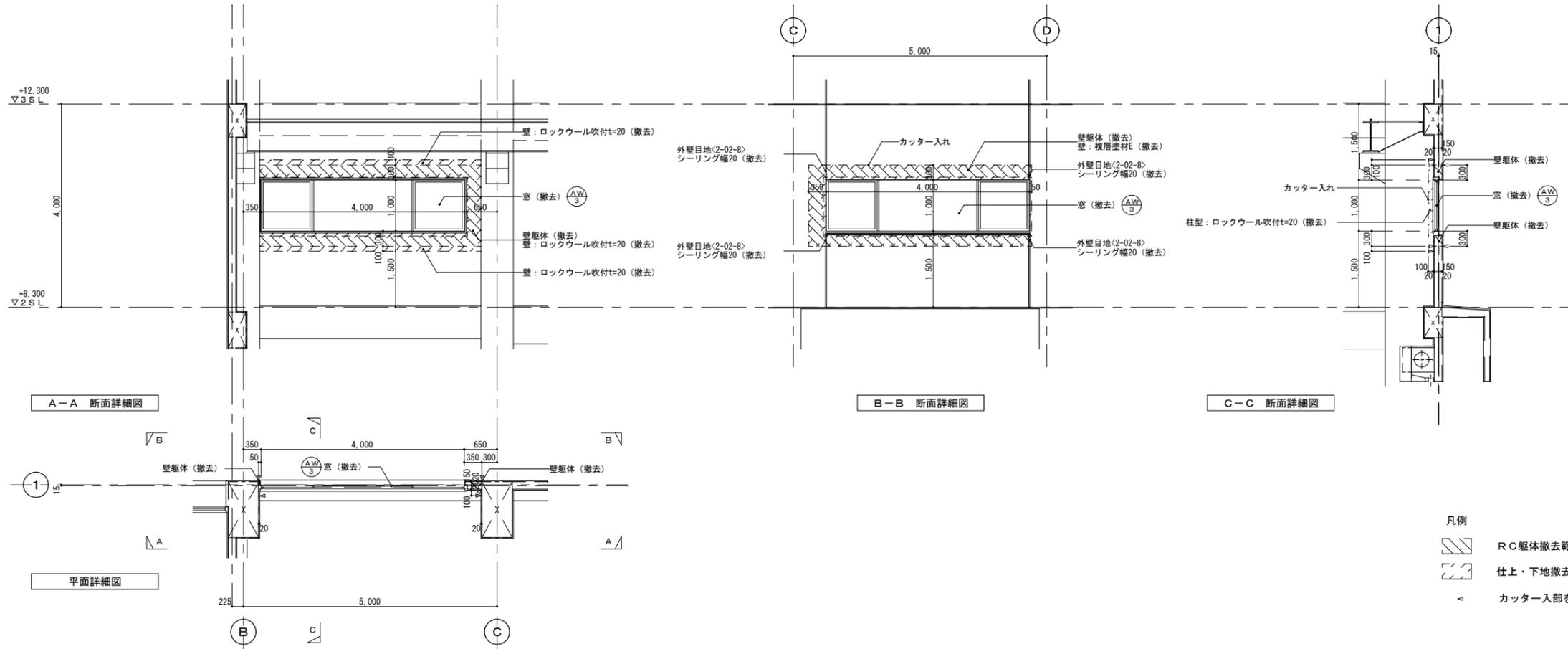


- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-18/87

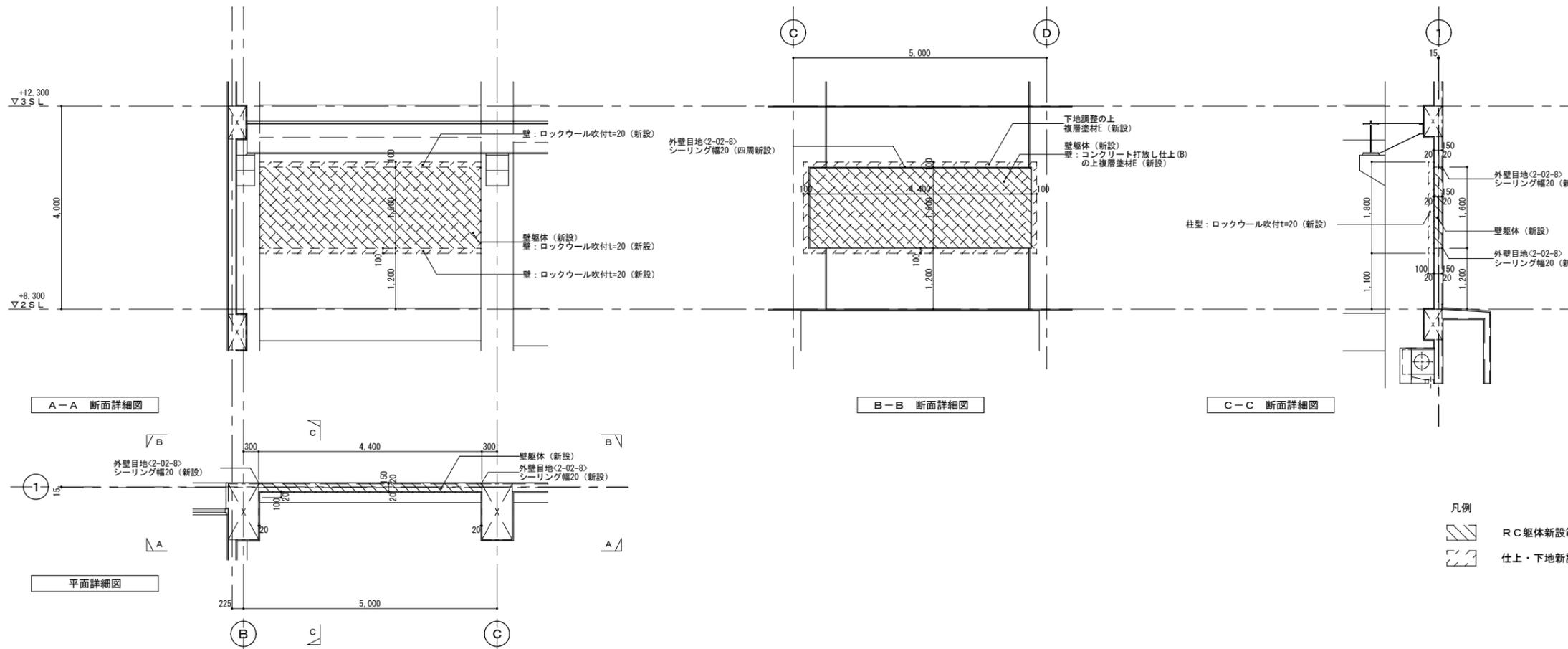
2-A
0 2F 1通りB~C間 改修前



- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰:モルタル塗
壁・柱型	壁:ロックウール吹付 t=20 柱型:モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型:ロックウール吹付 t=20 天井:ロックウール吹付 t=20

2-A
N 2F 1通りB~C間 改修後

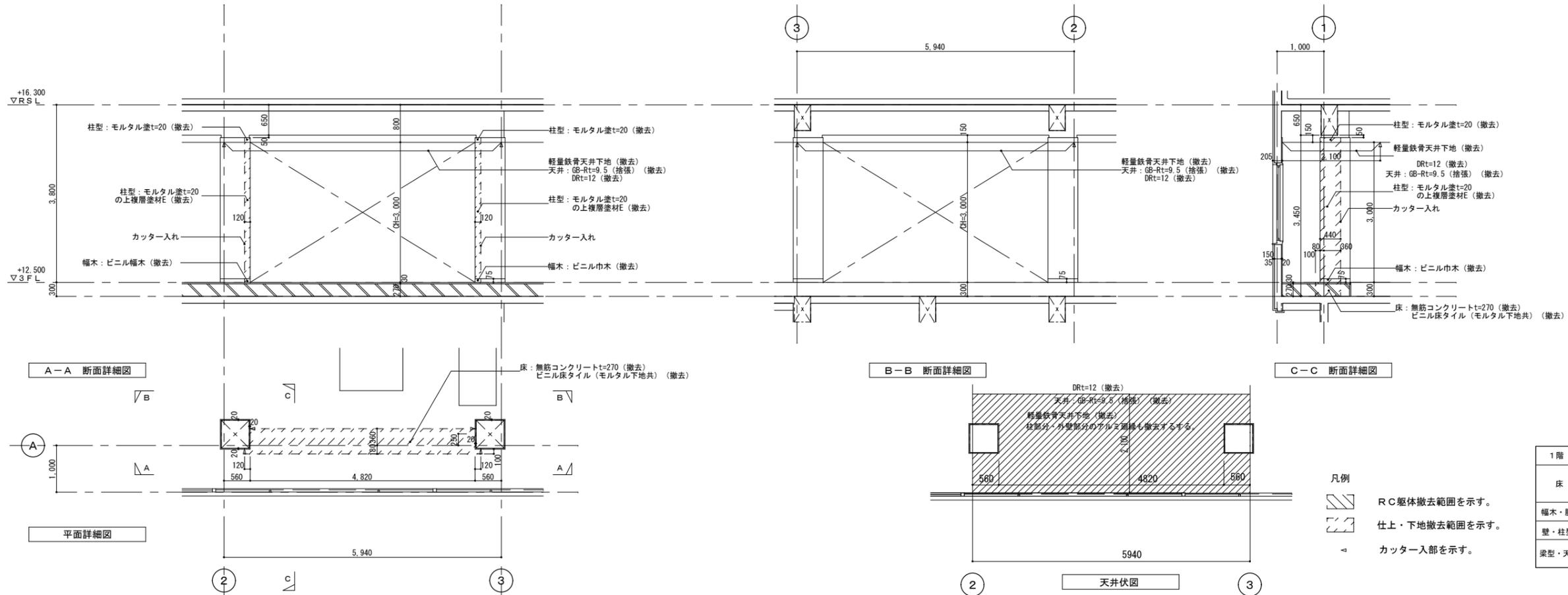


- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。

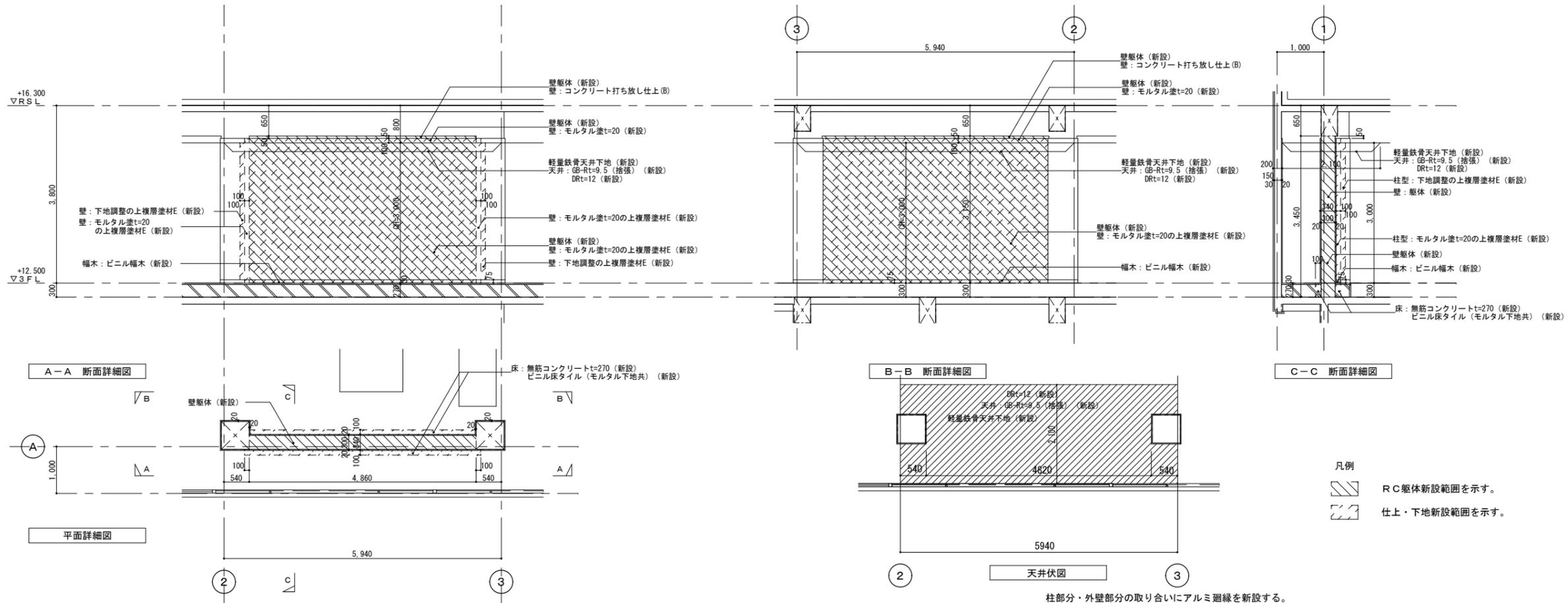
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-19/87

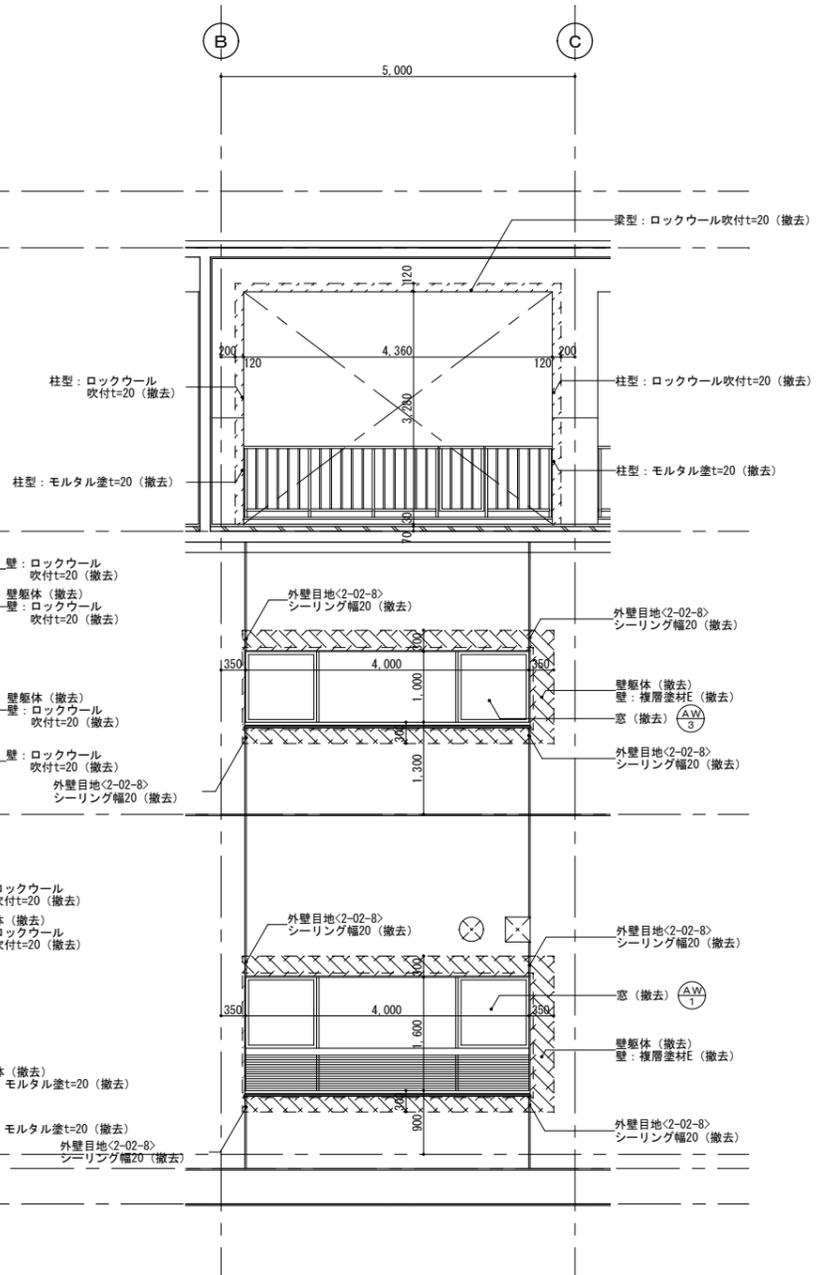
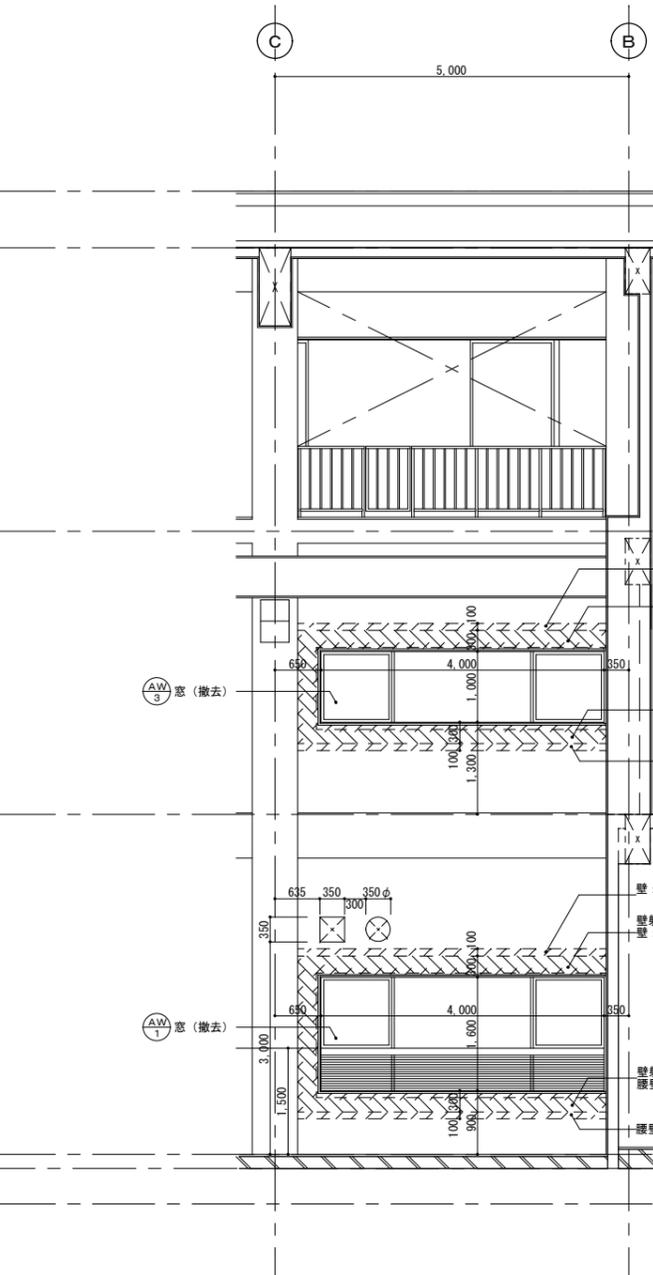
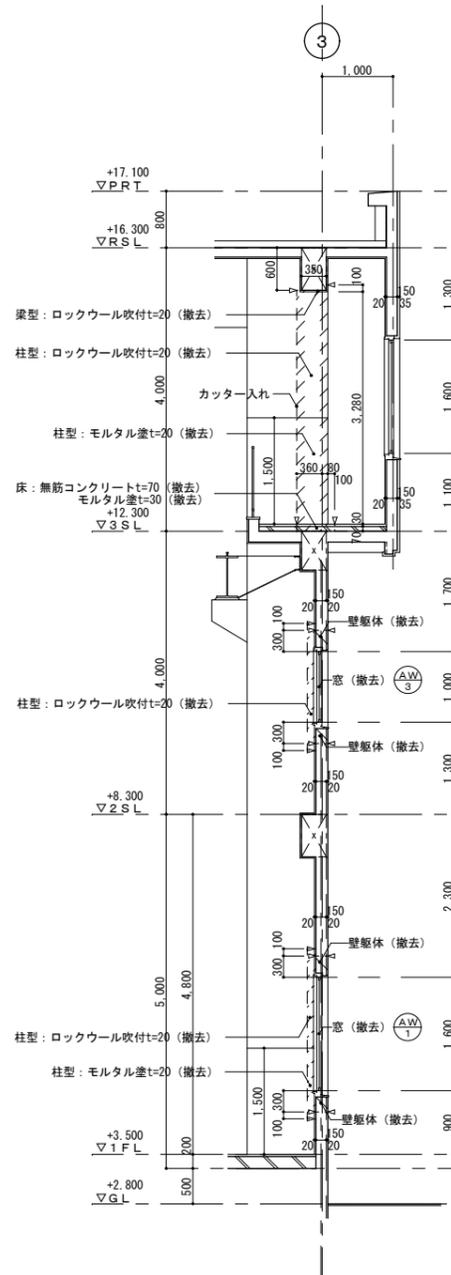
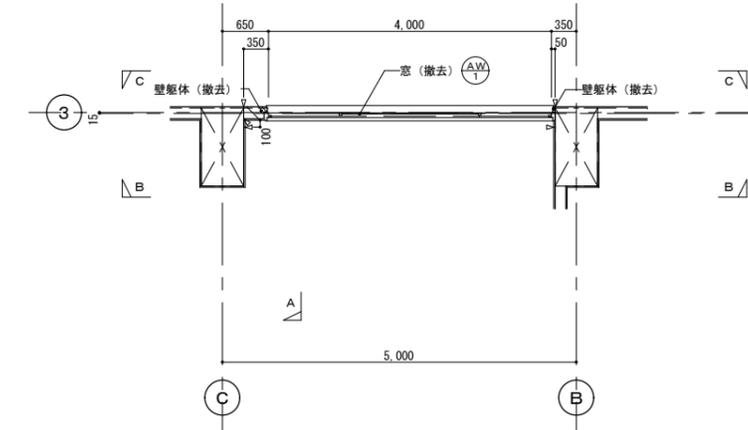
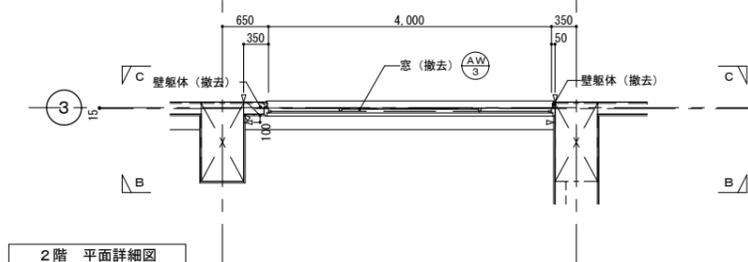
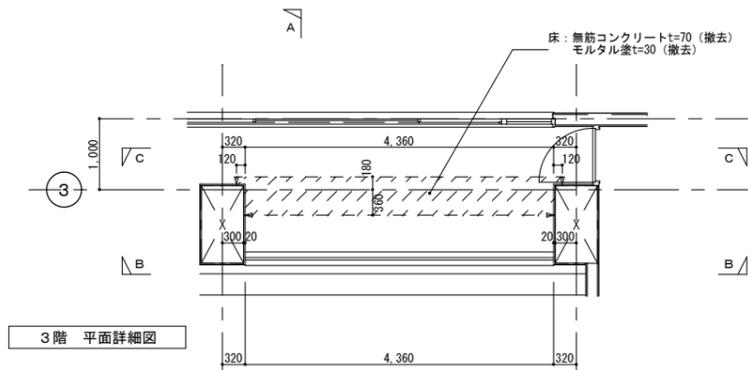
3-1
0 3 F A通り2~3間 改修前



3-1
N 3 F A通り2~3間 改修後



柱部分・外壁部分の取り合いにアルミ廻縁を新設する。

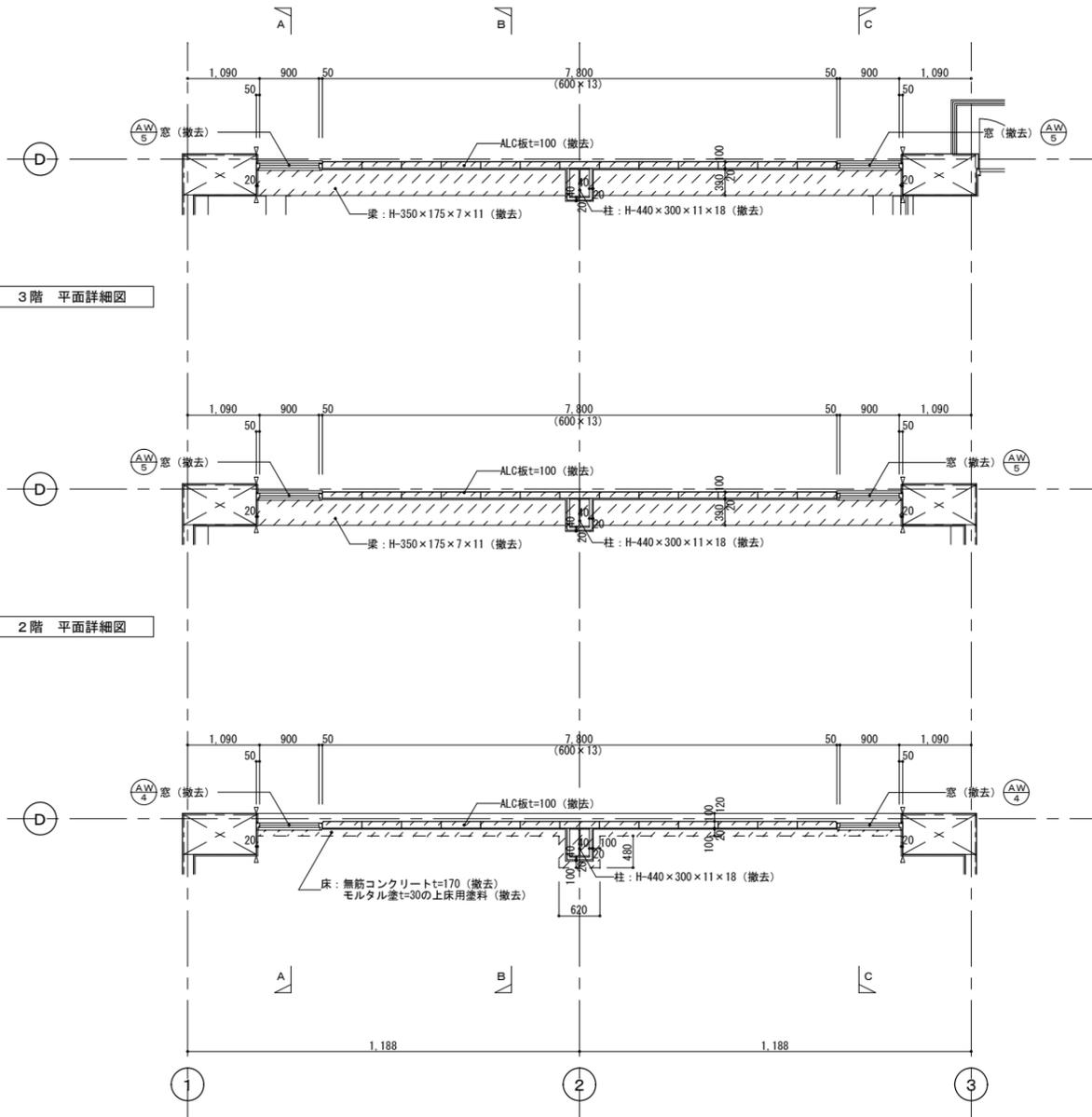


- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰: モルタル塗
壁・柱型	壁: ロックウール吹付 t=20 柱型: モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型: ロックウール吹付 t=20 天井: ロックウール吹付 t=20

【雨水ポンプ棟】

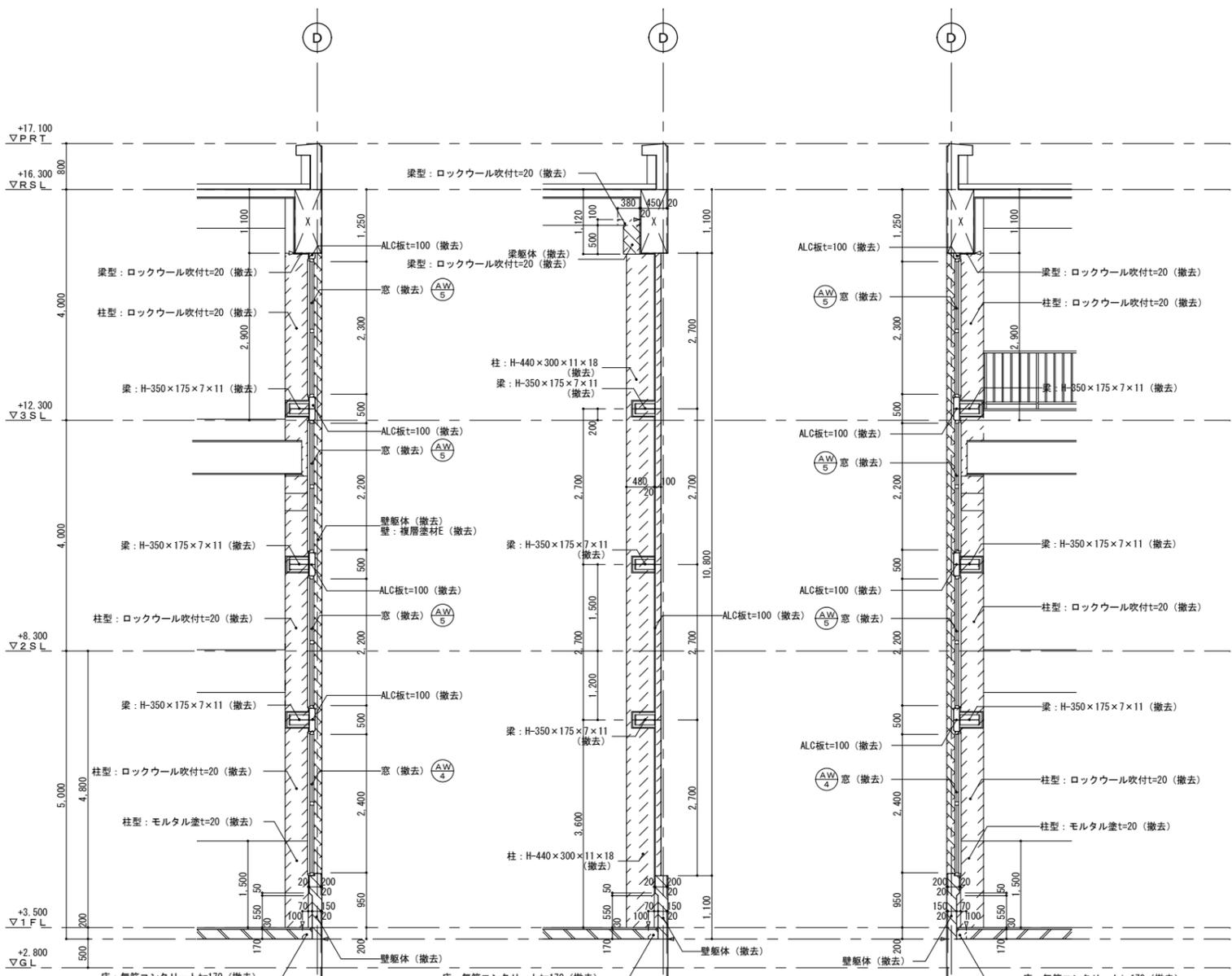
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (6)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	A-21/87



3階 平面詳細図

2階 平面詳細図

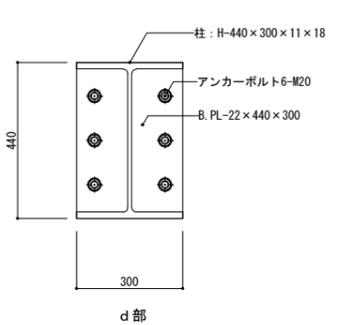
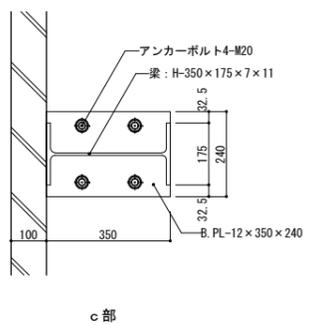
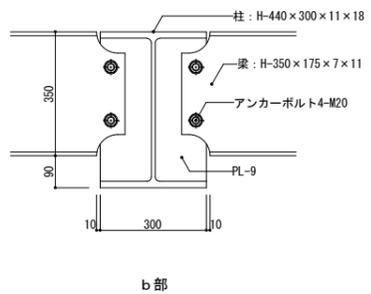
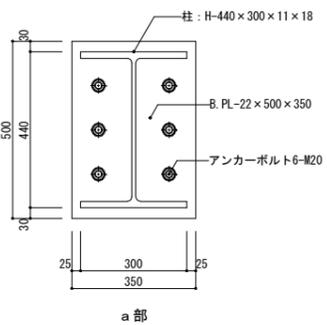
1階 平面詳細図



A-A 断面詳細図

B-B 断面詳細図

C-C 断面詳細図



鉄骨部 詳細図 1/10

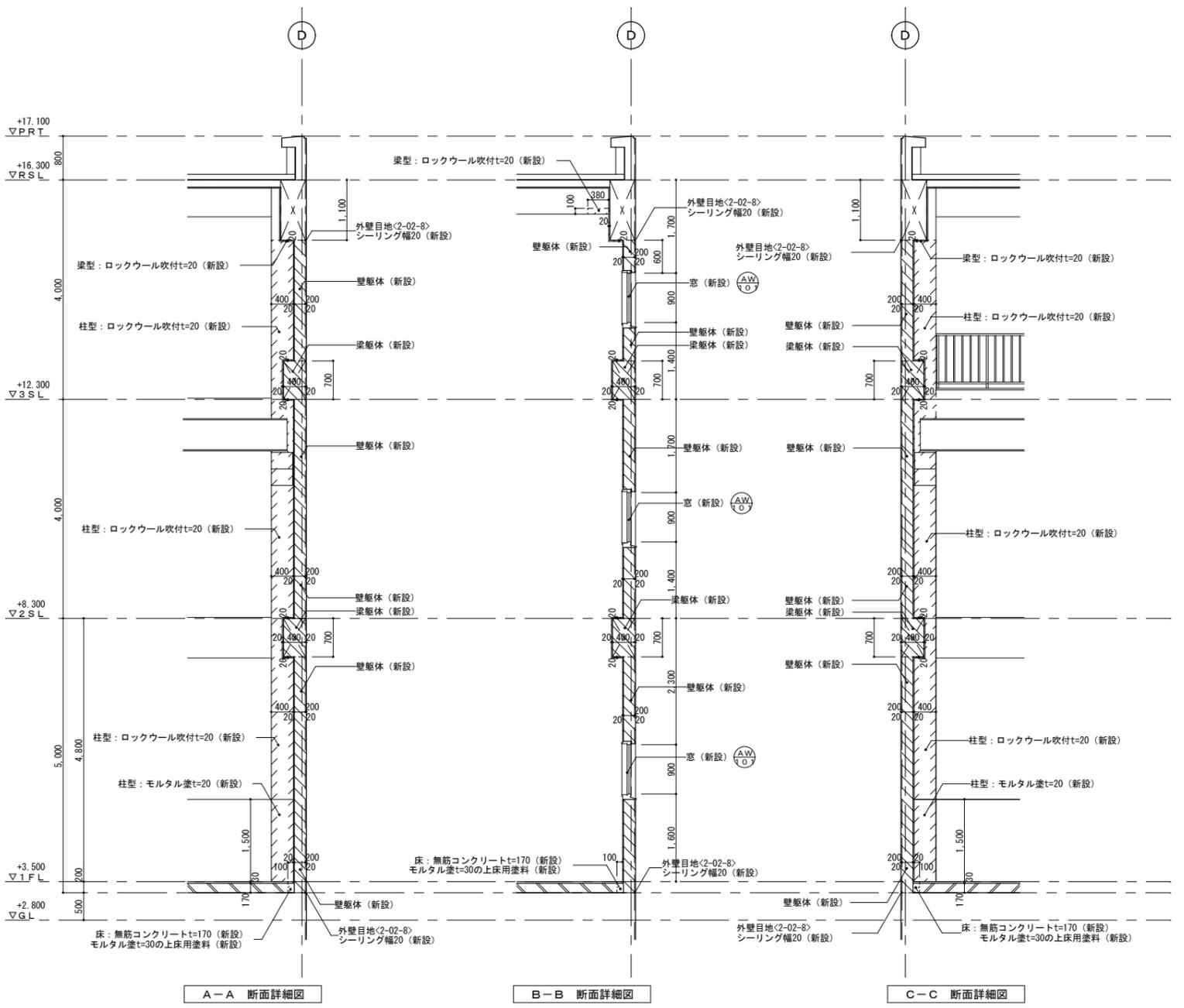
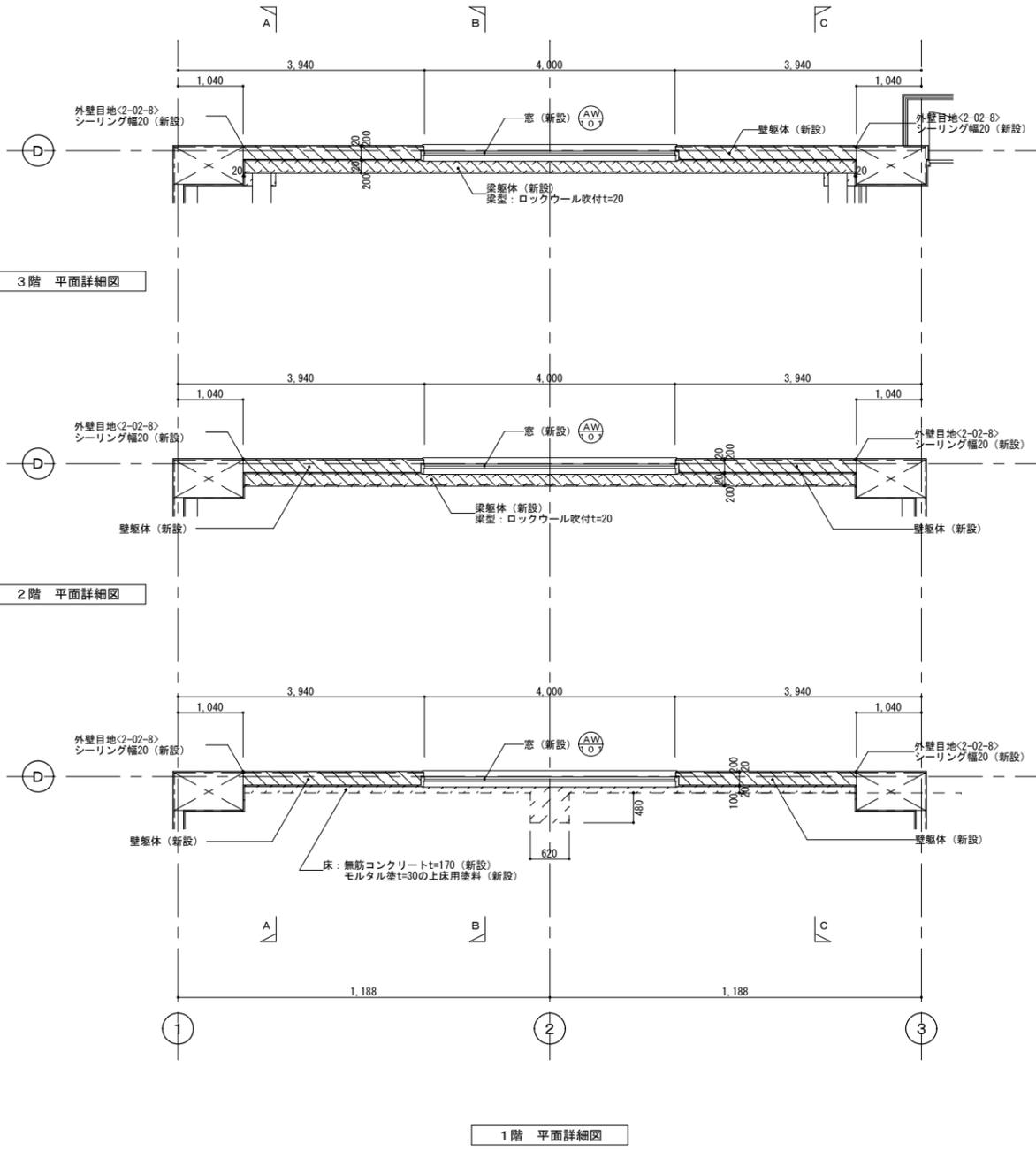
注記 図中表記材は全て撤去とする。

- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリートt=170 モルタル塗t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰:モルタル塗
壁・柱型	壁:ロックウール吹付t=20 柱型:モルタル塗・ロックウール吹付t=20 ※鉄骨柱:ラスモルタルシートt=40 ロックウール吹付t=20
梁型・天井	梁型:ロックウール吹付t=20 天井:ロックウール吹付t=20 ※鉄骨梁:ラスモルタルシートt=40 ロックウール吹付t=20

【雨水ポンプ棟】

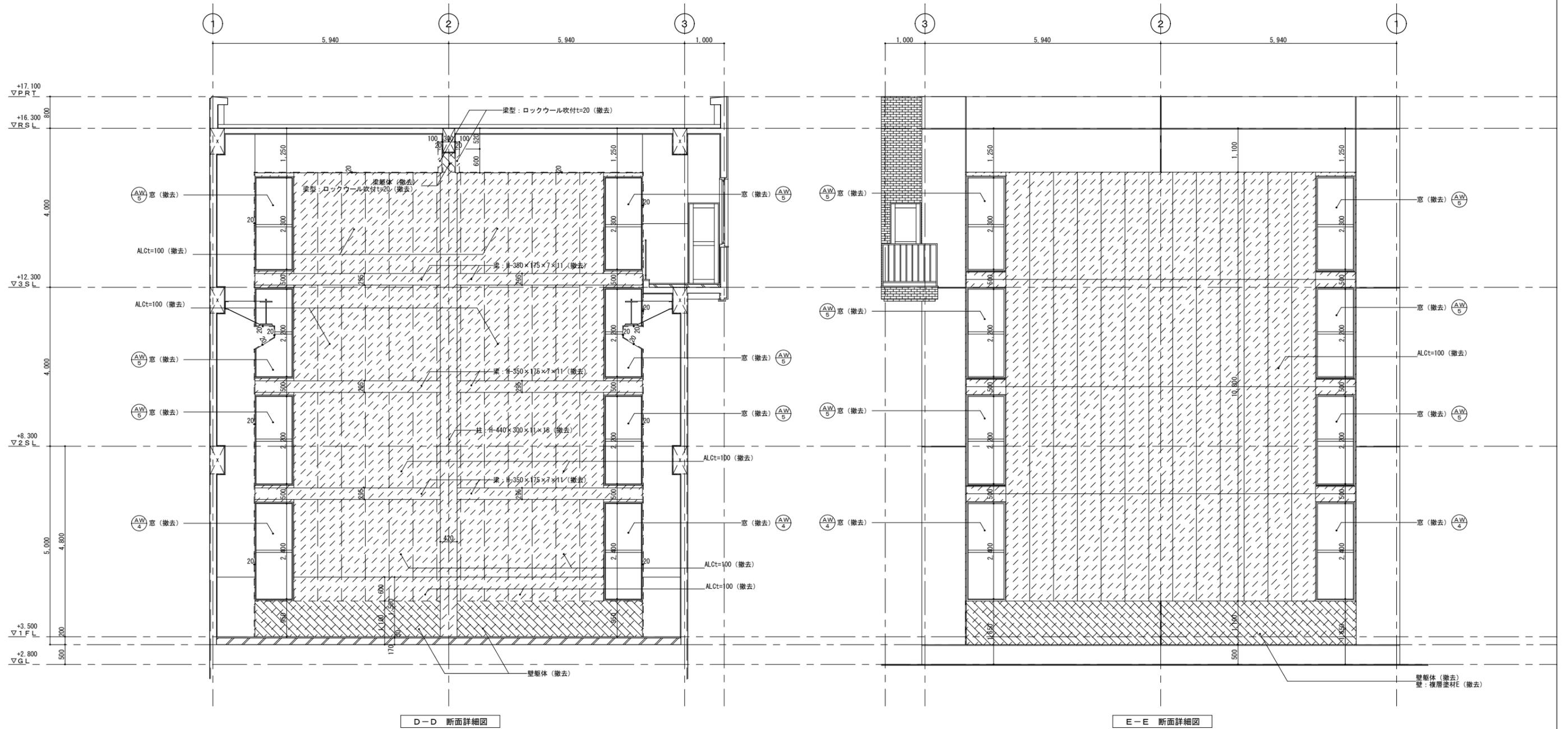
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(8)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-23/87



凡例
 RC躯体新設範囲を示す。
 仕上・下地新設範囲を示す。

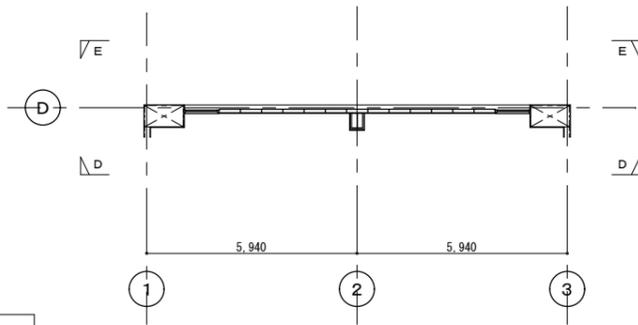
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(9)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-24/87



D-D 断面詳細図

E-E 断面詳細図



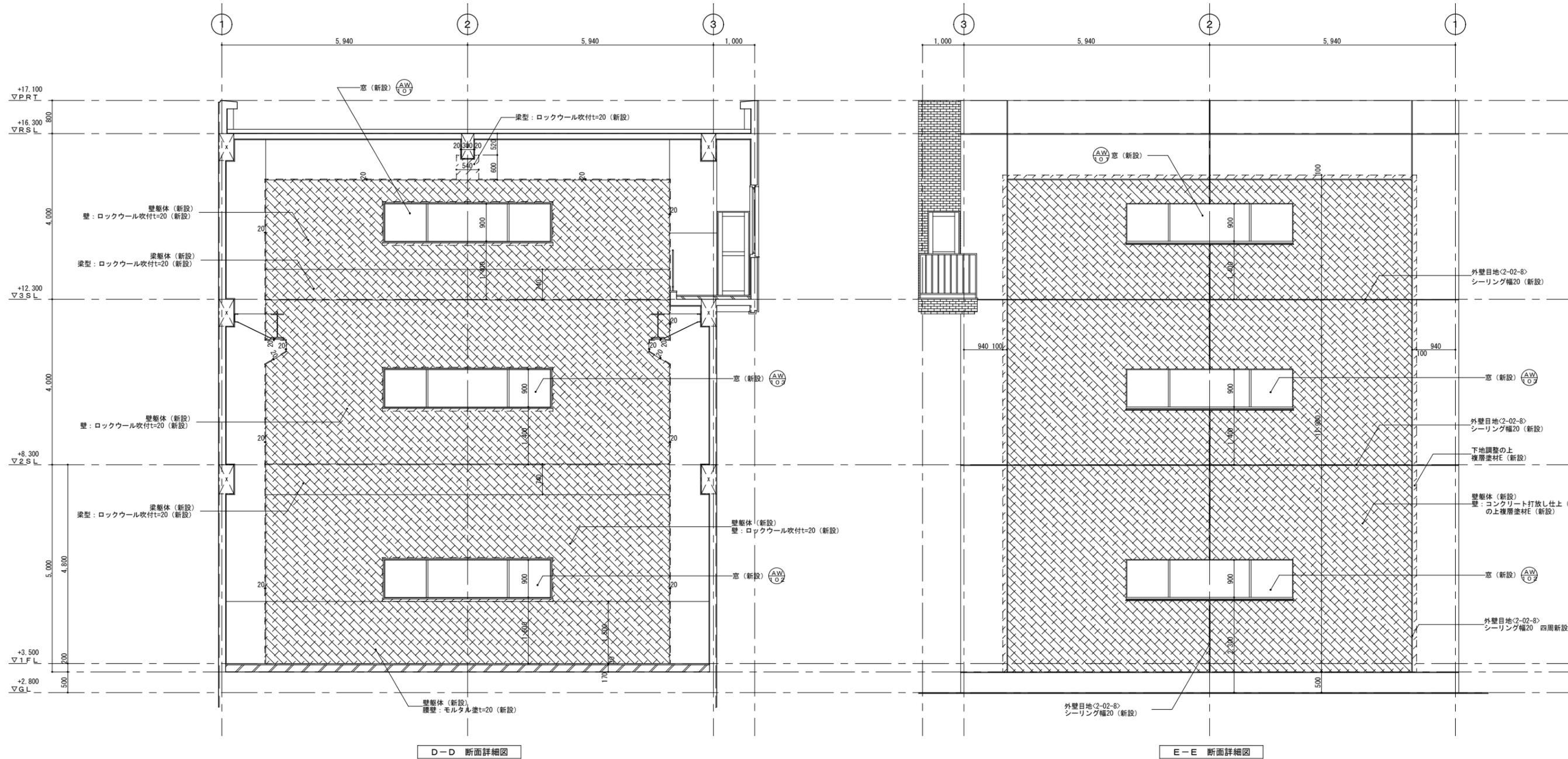
キープラン

- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木： 腰：モルタル塗
壁・柱型	壁：ロックウール吹付 t=20 柱型：モルタル塗・ロックウール吹付 t=20 ※鉄骨柱：ラスモルタルシート t=40 ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型：ロックウール吹付 t=20 天井：ロックウール吹付 t=20 ※鉄骨梁：ラスモルタルシート t=40 ロックウール吹付 t=20

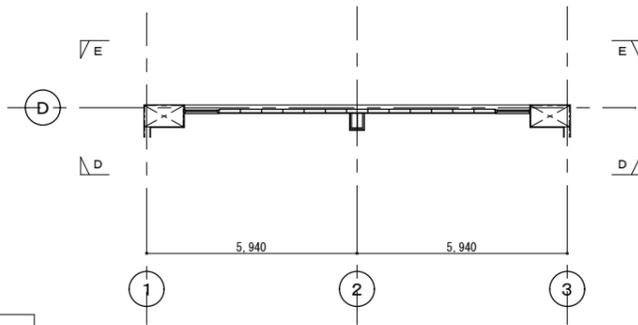
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(10)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	A-25/87



D-D 断面詳細図

E-E 断面詳細図



キープラン

- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(11)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-26/87

改 修 前

符号・名称・個数	AW-1 中央FIX両袖片引き窓 (下部ガラリ) 撤去 (1)	AW-2 中央FIX両袖片引き窓 撤去 (1)	AW-3 FIX窓 撤去 (2)	AW-4 FIX窓 撤去 (2)	AW-5 FIX窓 撤去 (6)	AW-6 片開き窓 撤去 (2)
場所	1F 原動機室	1F 原動機室	2F 原動機室吹抜	1F 原動機室	2・3F 原動機室吹抜	1F 電気室
仕上 (枠共)						
建具	見込 (ランマ)	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による
	硝子 (ランマ)	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8
	ガラリ	開口率30%				
建具枠	見込取合 番摺	70	70	70	70	70
枠記号 番摺 (水切) 記号						
建具金物						
その他						
形状・寸法						

改 修 後			建具枠廻り詳細図 1 / 10	
符号・名称・個数	AW-101 FIX窓 新設 (3)			
場所	1F 2F 3F 原動機室			
仕上 (枠共)	B-2種			
建具	見込 (ランマ)	メーカー仕様による		
	硝子 (ランマ)	N t = 6 . 8		
	ガラリ			
建具枠	見込取合 番摺	70		
枠記号 番摺 (水切) 記号	枠廻り詳細図による			
建具金物	付属金物一式、三方アルミ顔縁 25 × 95、アルミ隠板 25 × 95、アルミ水切板 見込100			
その他				
形状・寸法				

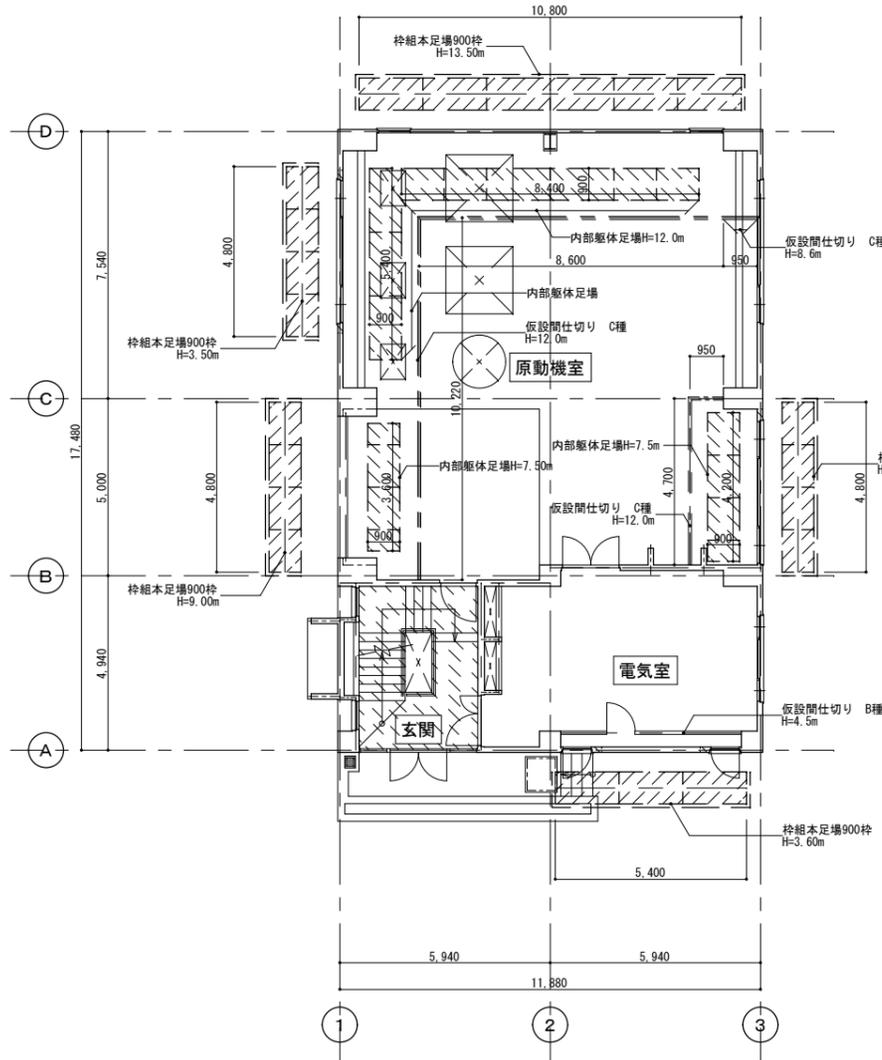
- 共通事項
- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
 - パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。(内部はサムターン付)
 - 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
 - AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め (防火戸を除く) をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
 - 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
 - アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
 - 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。
 - 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠廻り詳細による。)
 - 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
 - 防火戸の位置は建具配置図による。
 - 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
 - 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
 - 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
 - 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

種別	戸	窓	ガラリ	2-ハ-1 ヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	
アルミニウム製	A	D	A	W	A	G	A	O	D
鋼製	S	D	S	W	S	G	S	O	D
鋼製軽量	L	D					L	S	
ステンレス製	S	S	D	S	S	S	S	S	S
木製	W	D	W	W	W	G	P	H	

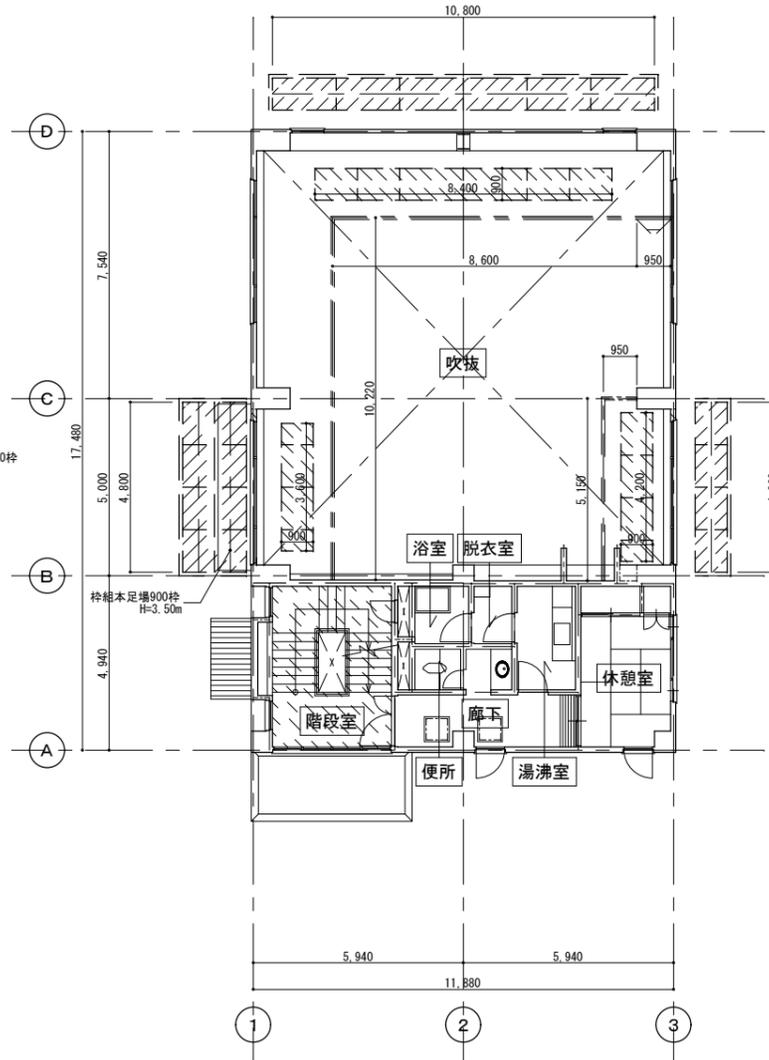
ガラリ	物	略号	金物	略号
F	型板ガラス		DC	ドアクローザー
P	フロート板ガラス		AH	オートヒンジ
N	網入型板ガラス		FH	フロアヒンジ
NP	網入みがき板ガラス		PH	ヒポットヒンジ

【雨水ポンプ棟】

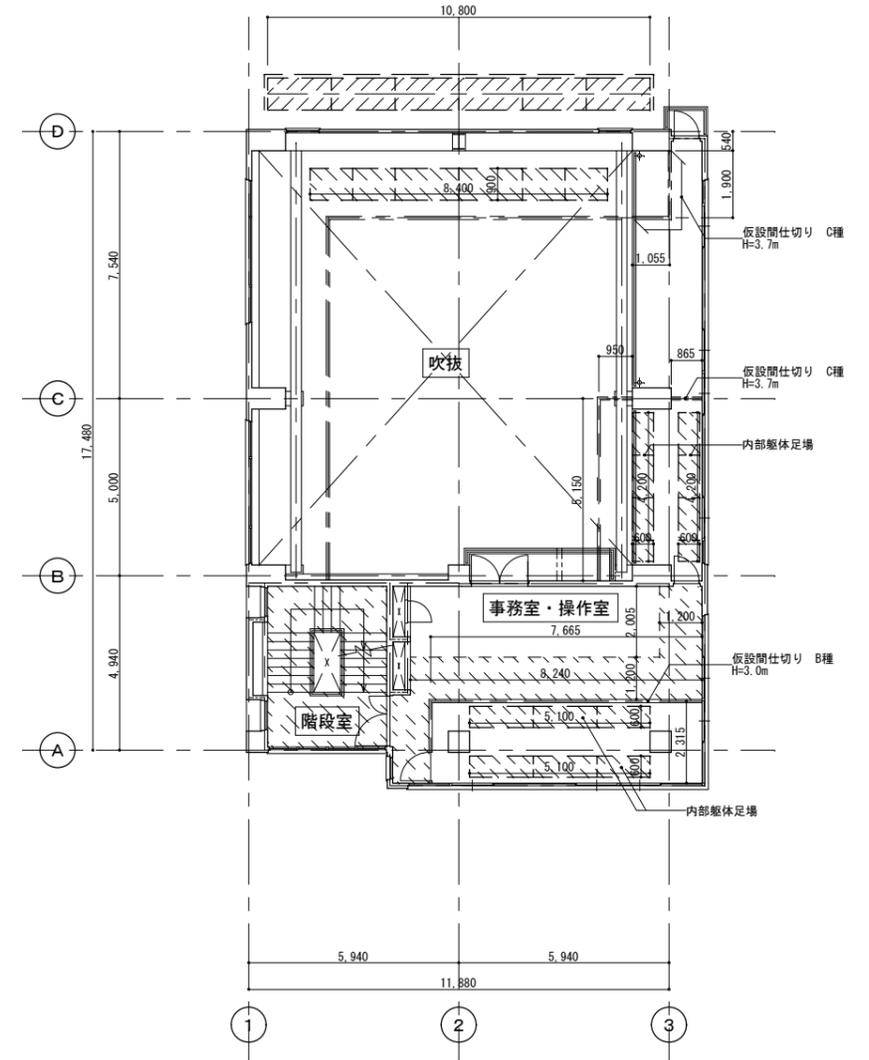
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	建具表		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-27/87



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



3階平面図 1/100

凡例

- 床養生シート敷
- 枠組本足場W900+壁養生シート
- 内部足場(躯体足場)
特記なき限り、躯体足場：H=5.0未満とする。
- 仮設間仕切り B種(不燃)
(軽量鉄骨壁下地+片面石こうボード)
- 仮設間仕切り C種
(単管下地+壁養生シート)

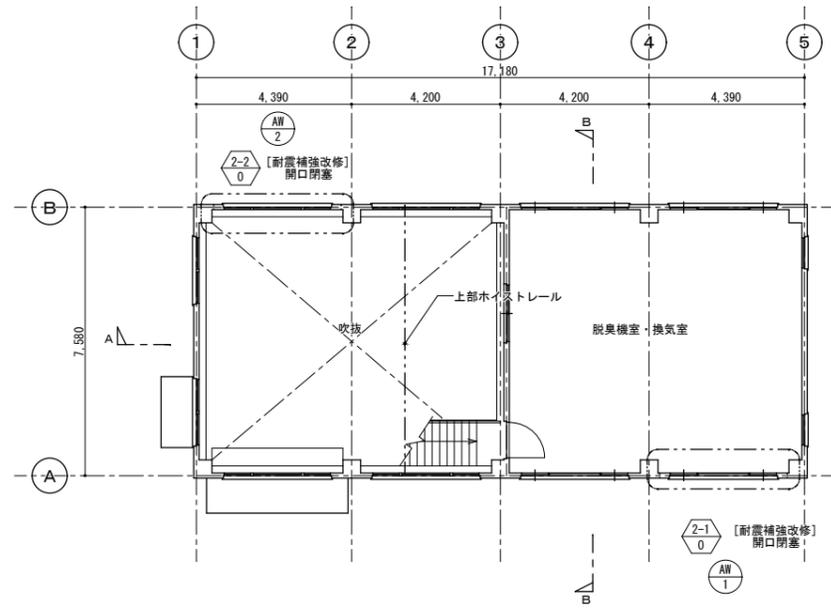
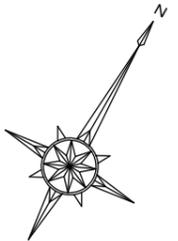
注記 仮設間仕切り、足場等は現場監督員と調整のこと。
 仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目、床、天井部にテープを貼ること。
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。
 特記なき限り仮設間仕切り内の設備機器等はシートにより養生のこと。

外壁での足場の壁つなぎアンカー施工の際は、粉塵が飛散しないような工法で施工を行うこと。(D通りALC部分は除く)

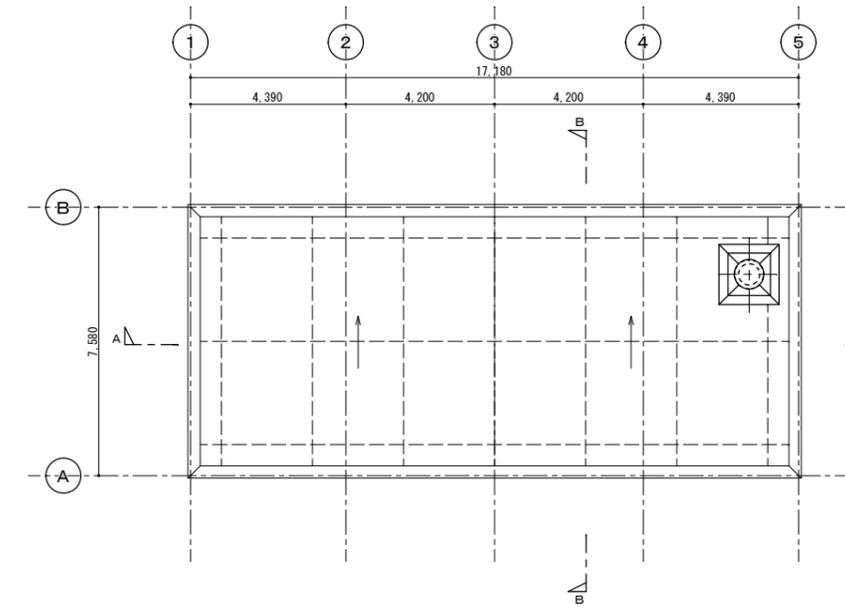
参考図

【雨水ポンプ棟】

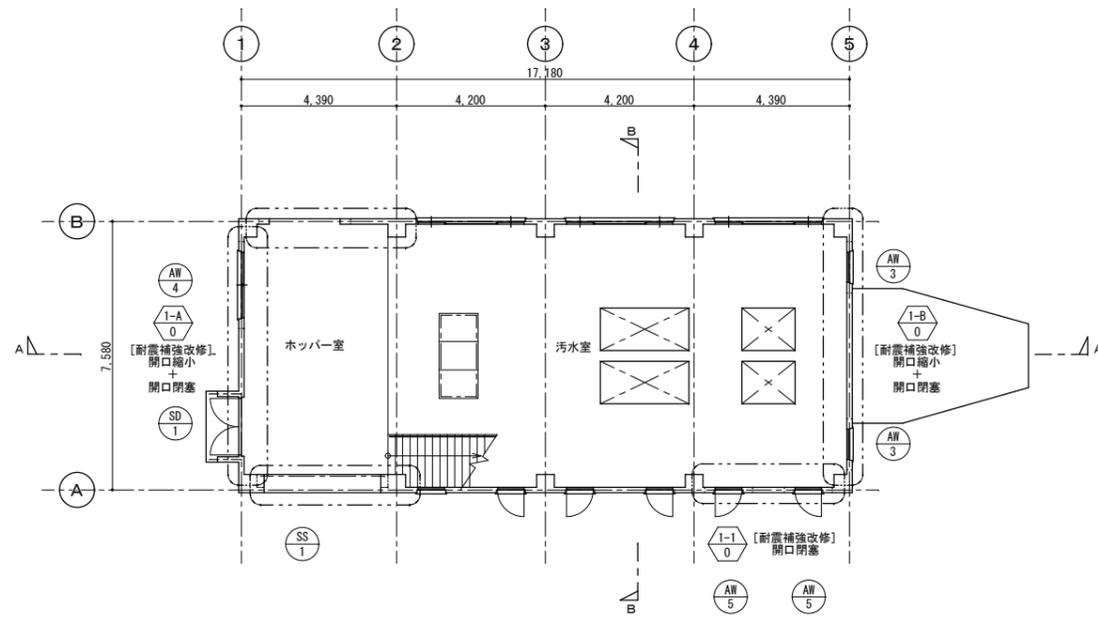
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仮設計画図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-28/87



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

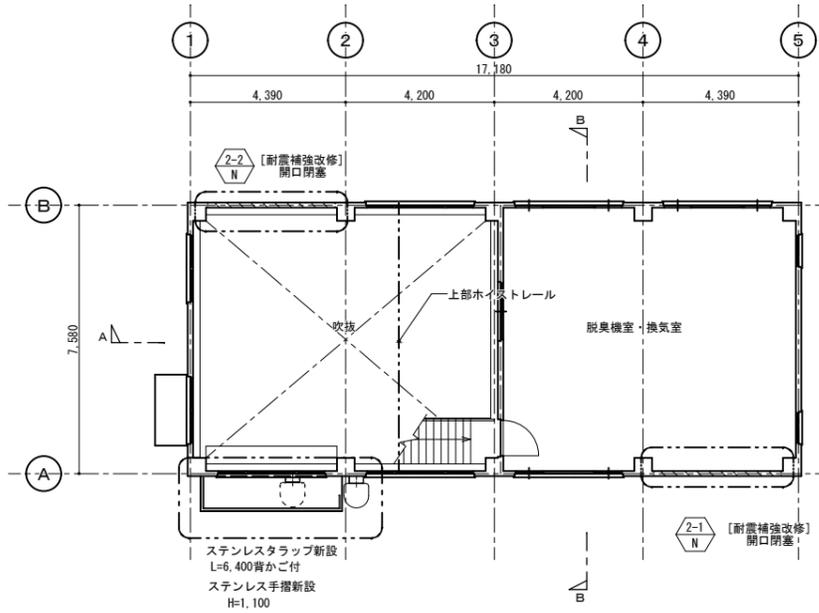
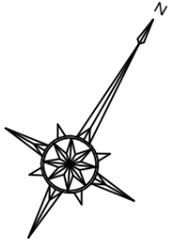


1階平面図 1/100

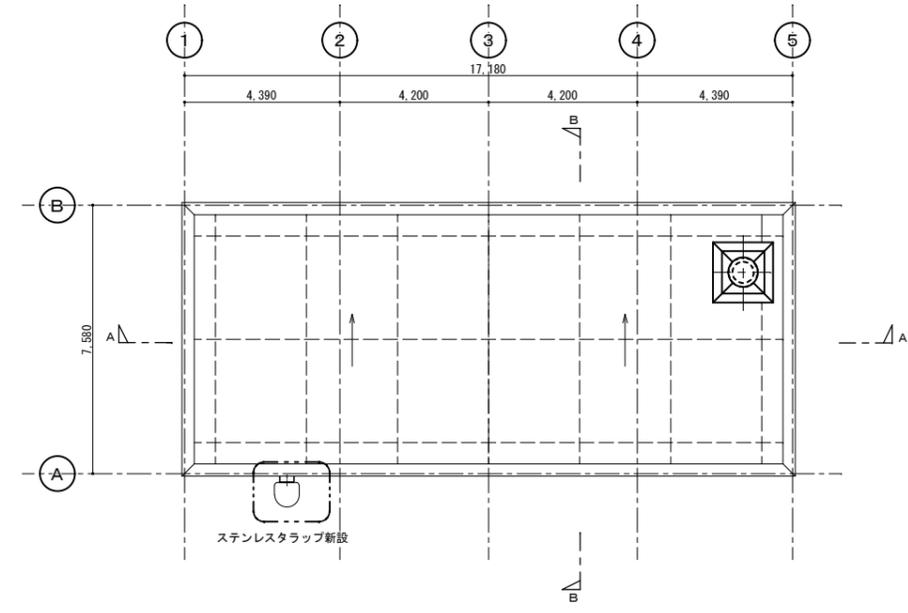
- 凡 例
- 撤去建具を示す。
 - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。
 - △ 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

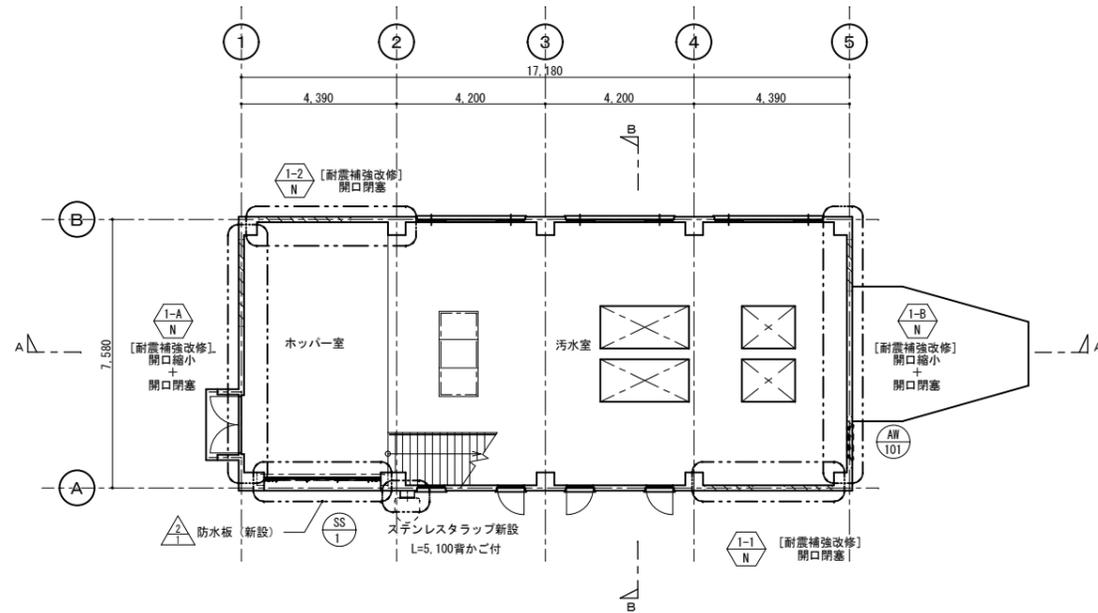
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-30/87



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

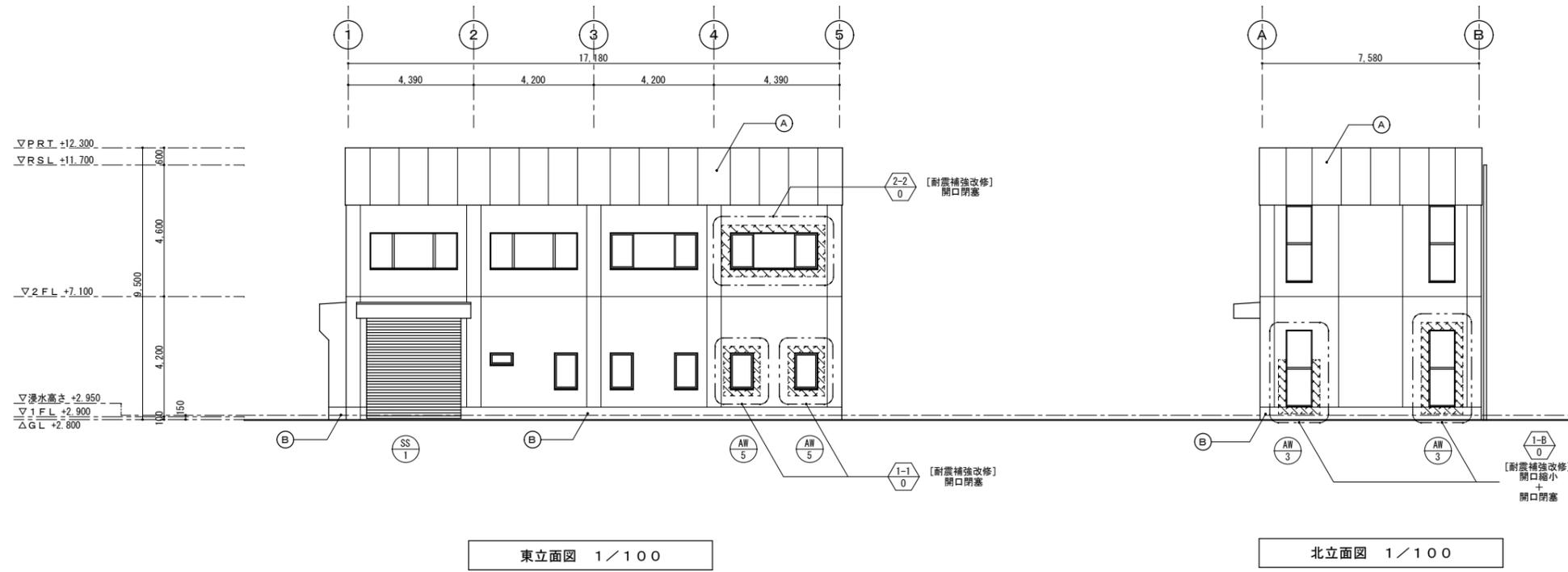


1階平面図 1/100

- 凡 例
- 新設建具を示す。
 - ⬡ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体新設範囲を示す。
 - △ 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-31/87

改 修 前

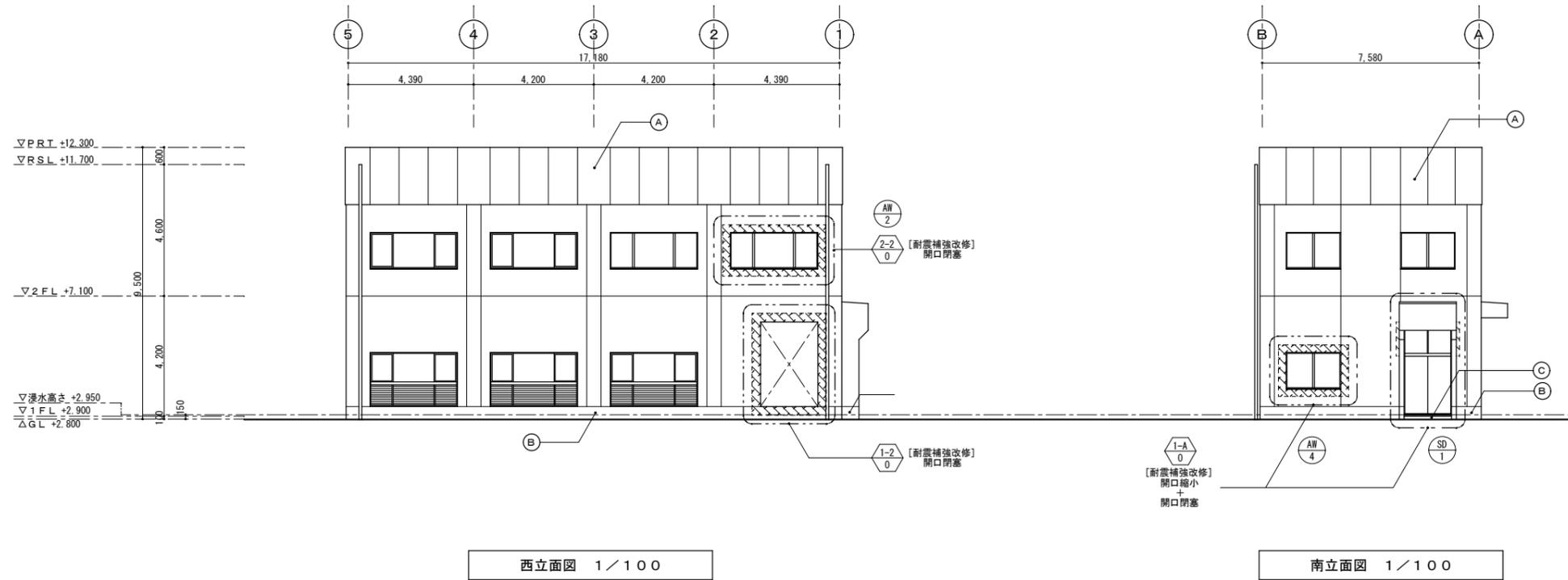


東立面図 1/100

北立面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
 - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- 注 記 (特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

○ A	コンクリート打放し (A)
○ B	コンクリート打放し (B)
○ C	モルタル塗



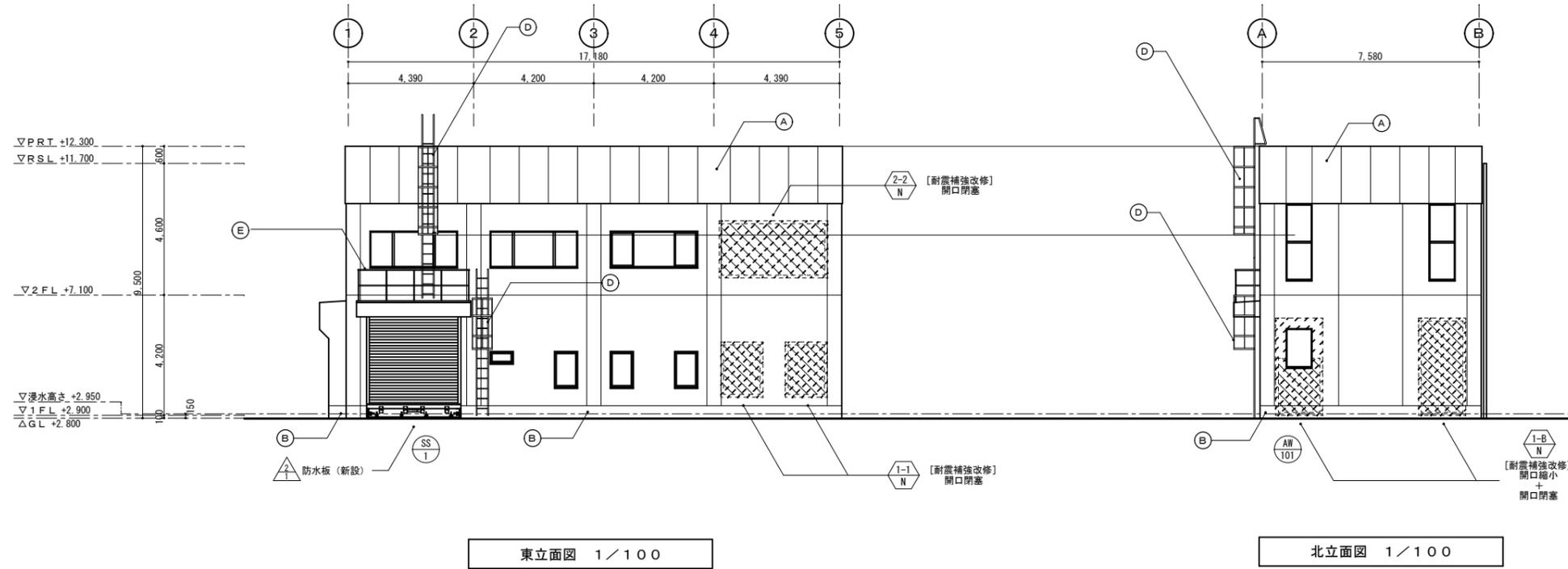
西立面図 1/100

南立面図 1/100

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-32/87

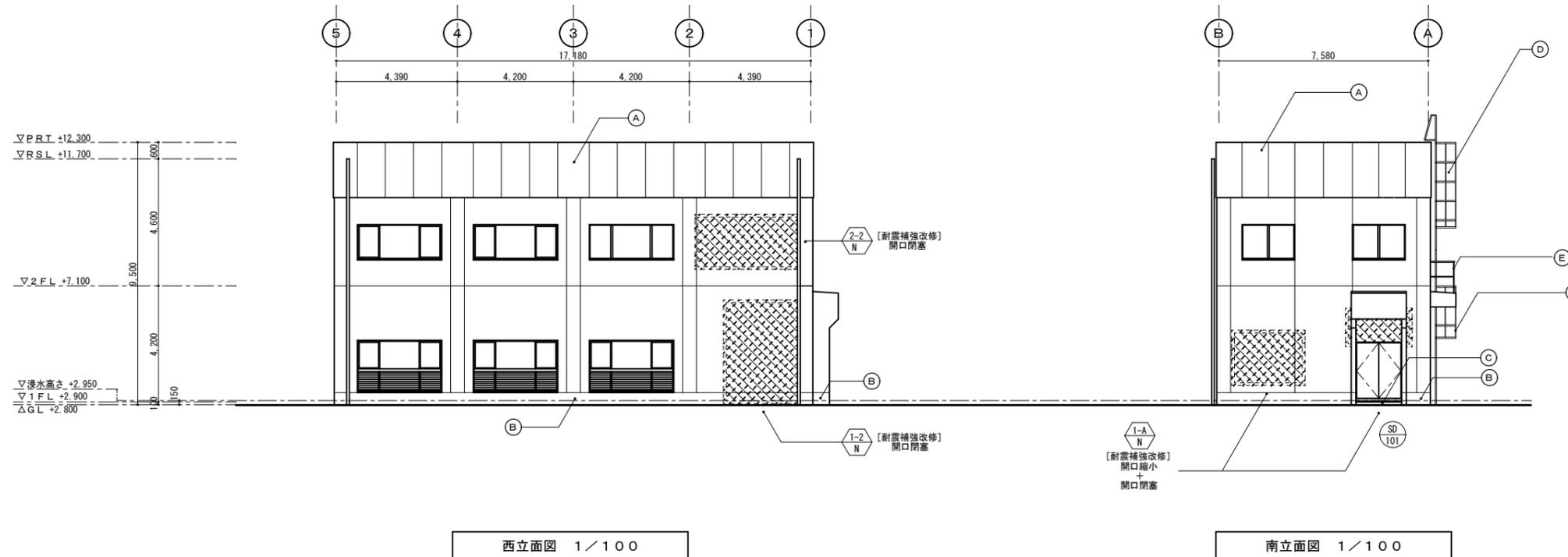
改 修 後



凡 例

- 新設建具を示す。
 - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
 - ▨ RC躯体新設範囲を示す。
 - ▨ 仕上・下地新設範囲を示す。
- 注 記 (特記なき限り)
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材Eとする。

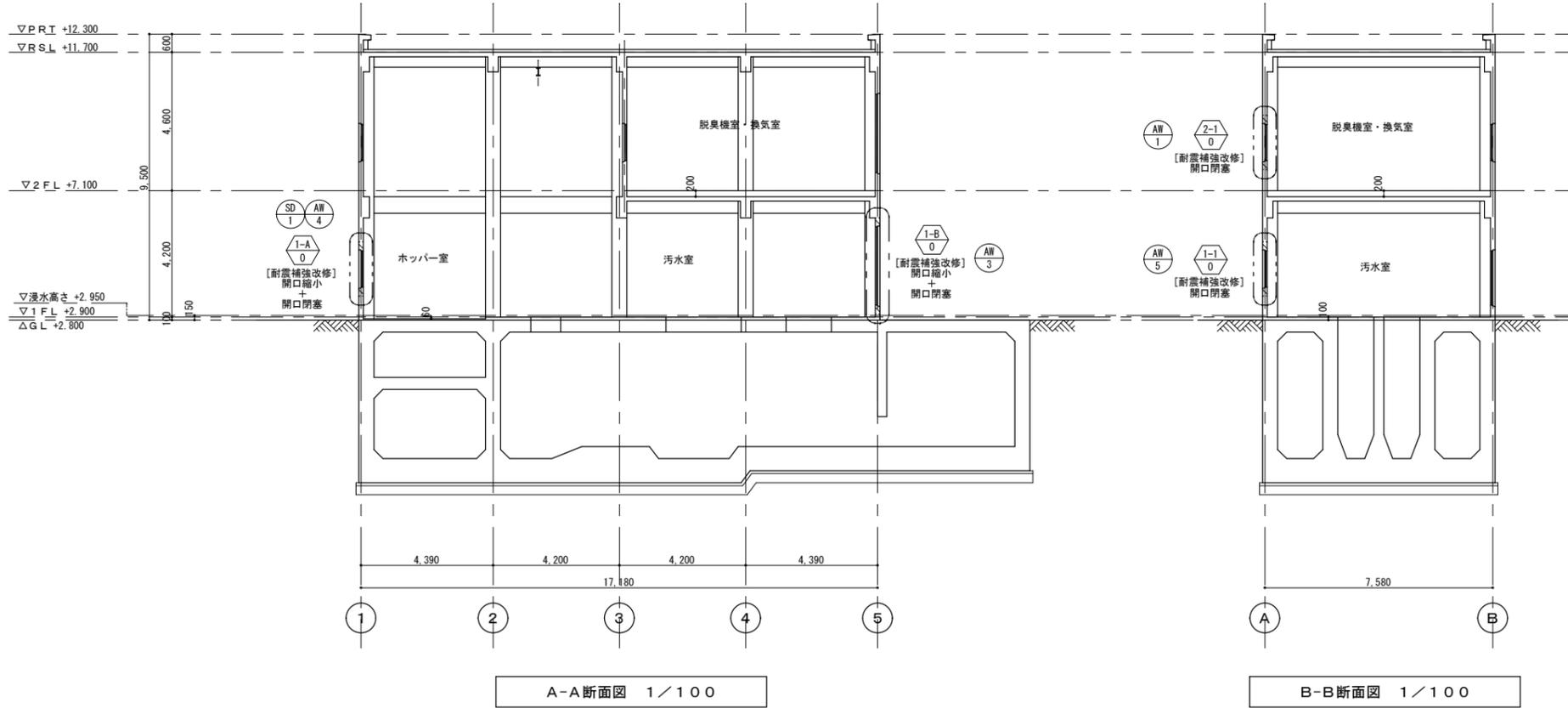
○ A	コンクリート打放し (A)
○ B	コンクリート打放し (B)
○ C	モルタル塗
○ D	ステンレスタラップ SUS304 背かご付
○ E	ステンレス手摺 手摺: SUS304Φ32支柱Φ25



【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-33/87

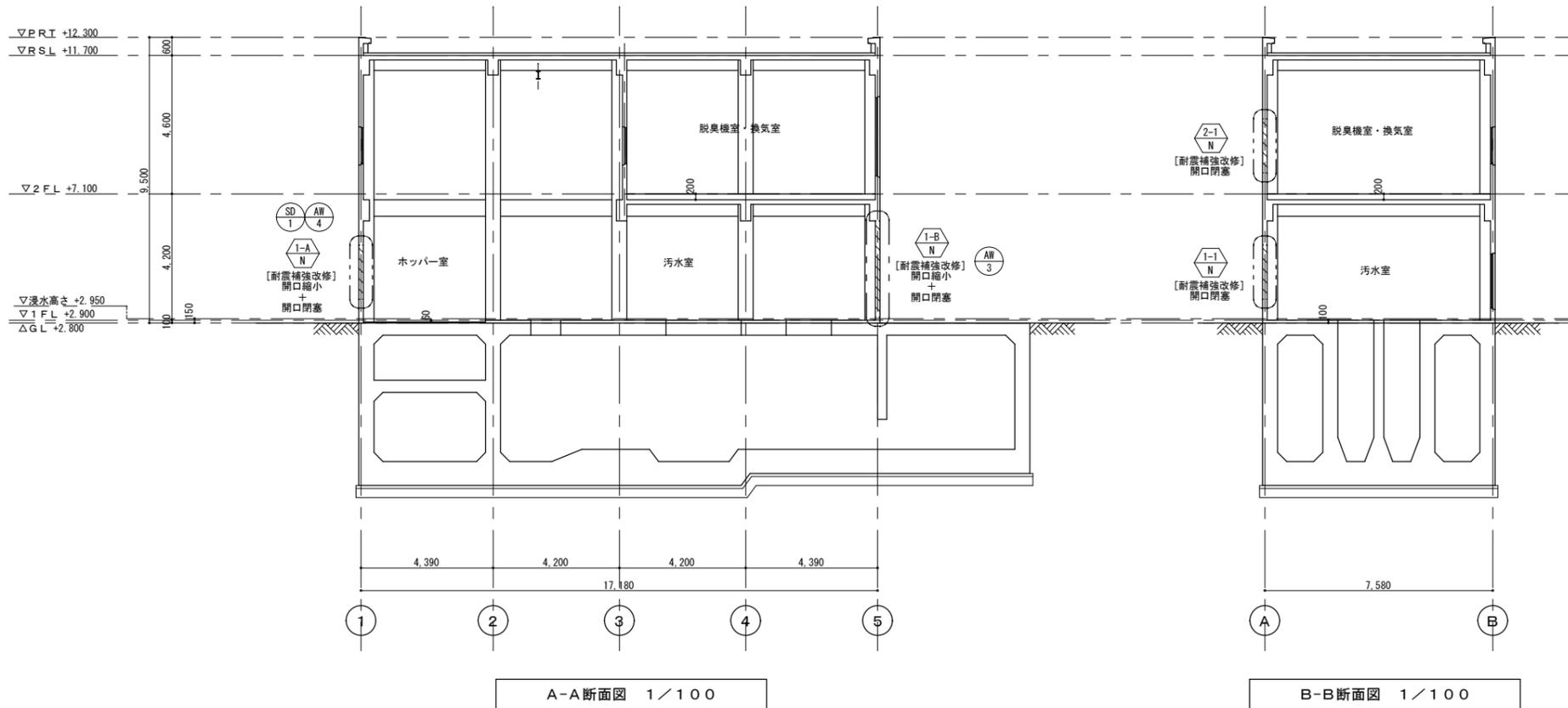
改 修 前



凡 例

- 撤去建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- RC躯体撤去範囲を示す。

改 修 後

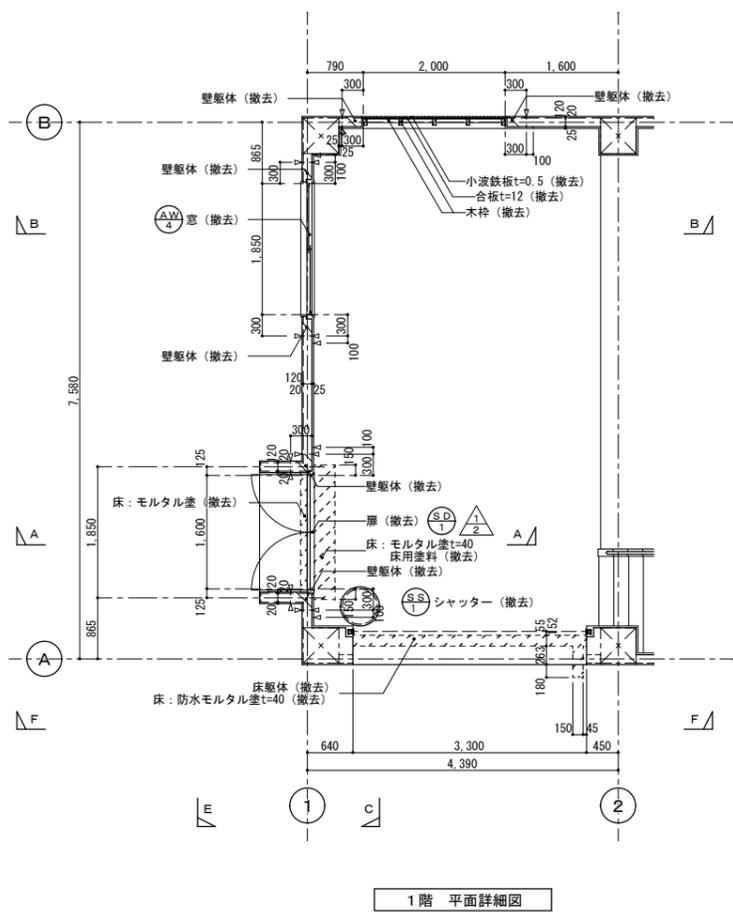
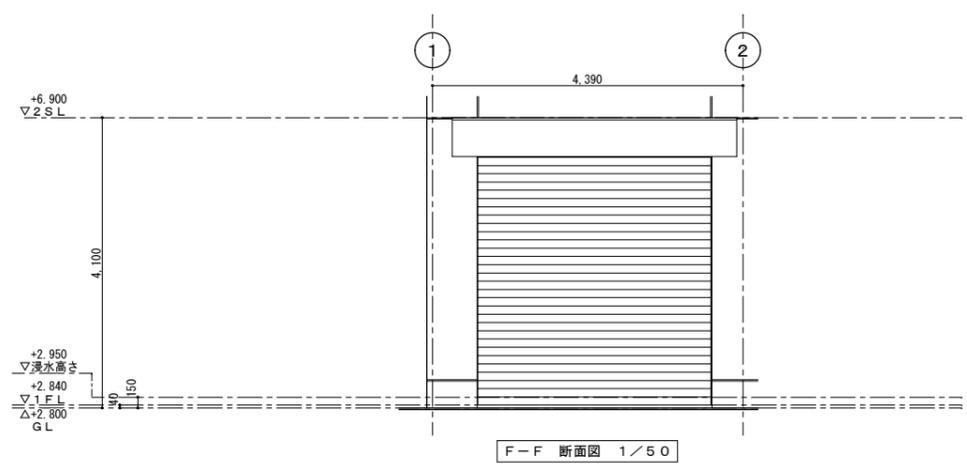
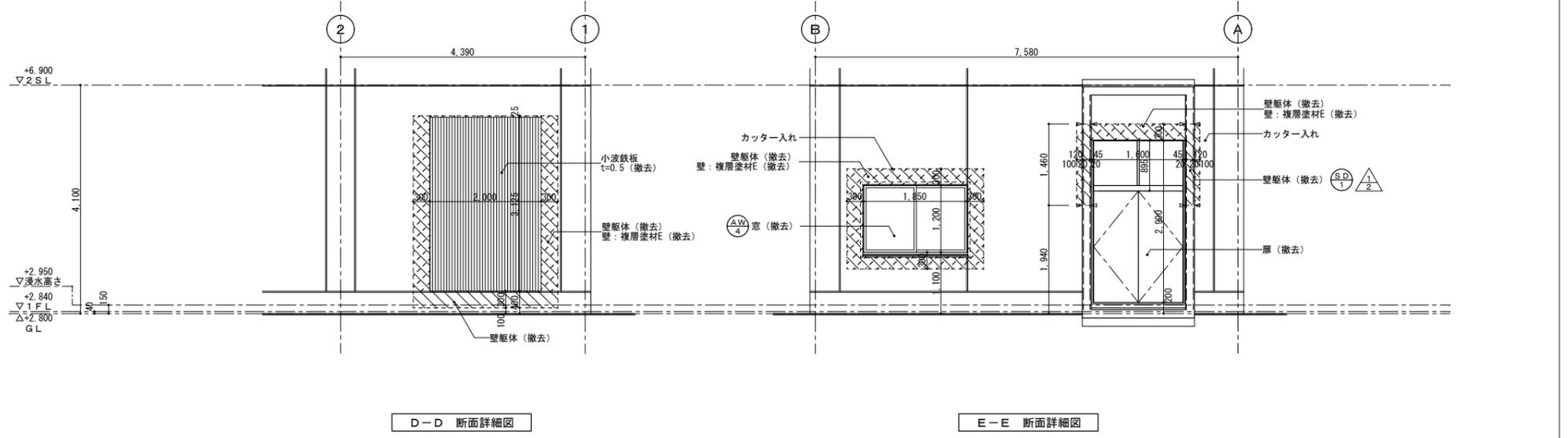
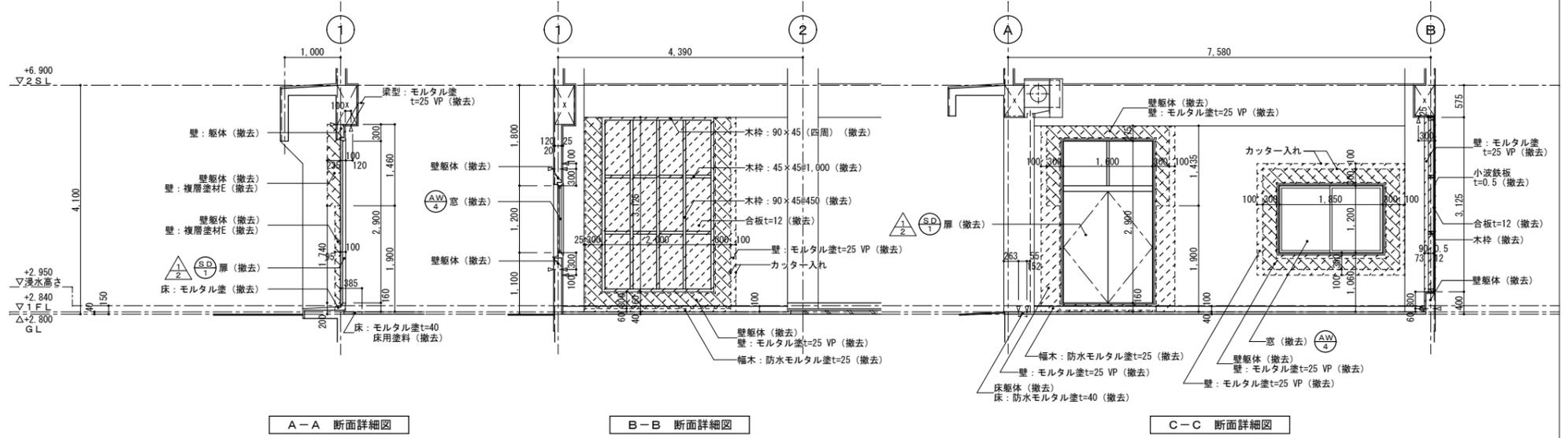


凡 例

- 新設建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- RC躯体新設範囲を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-34/87



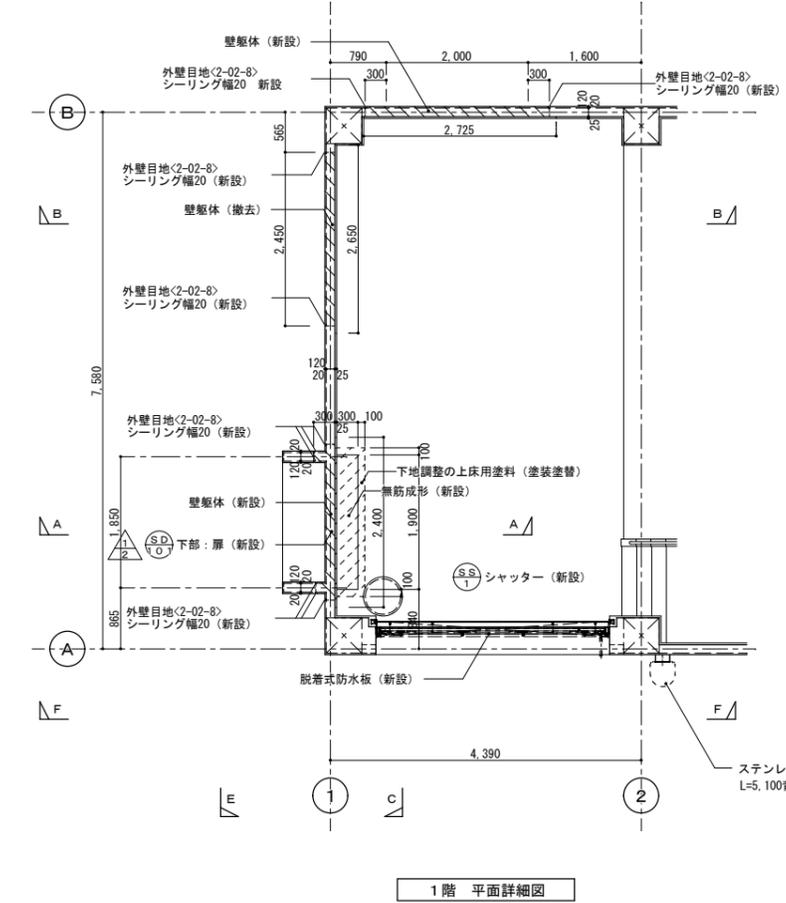
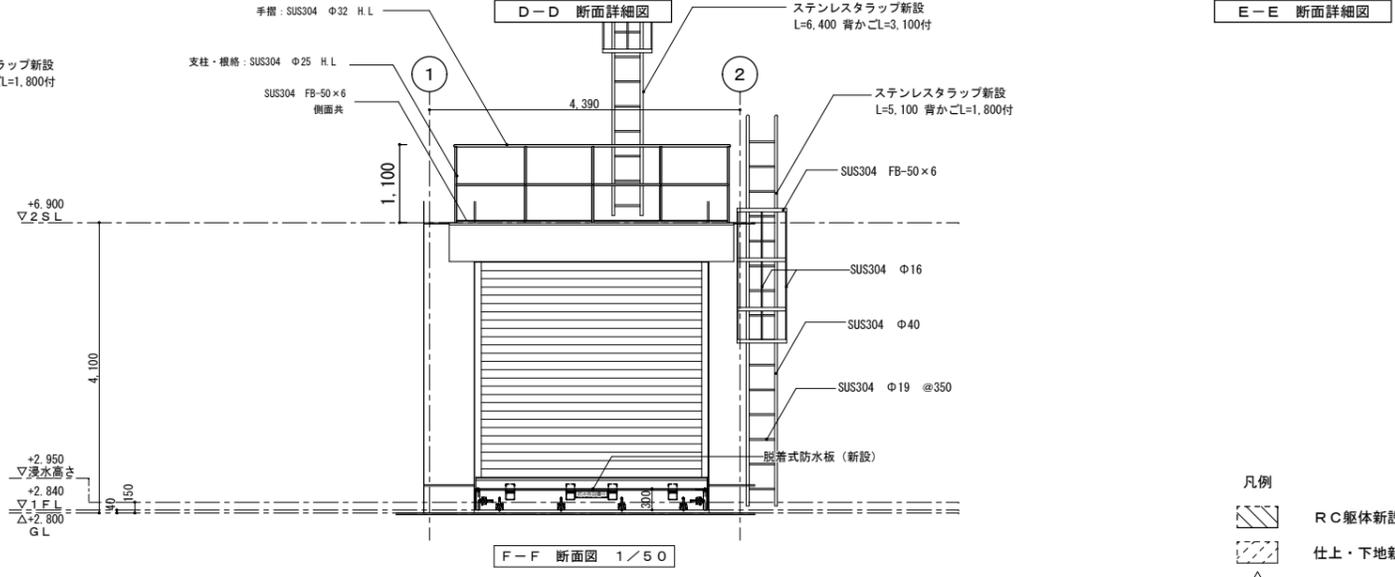
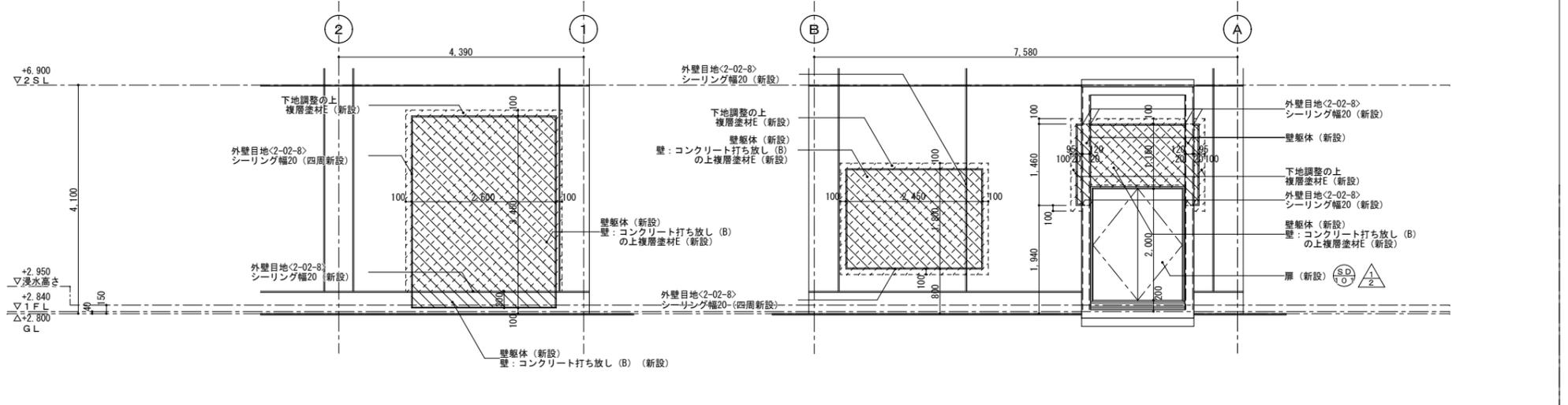
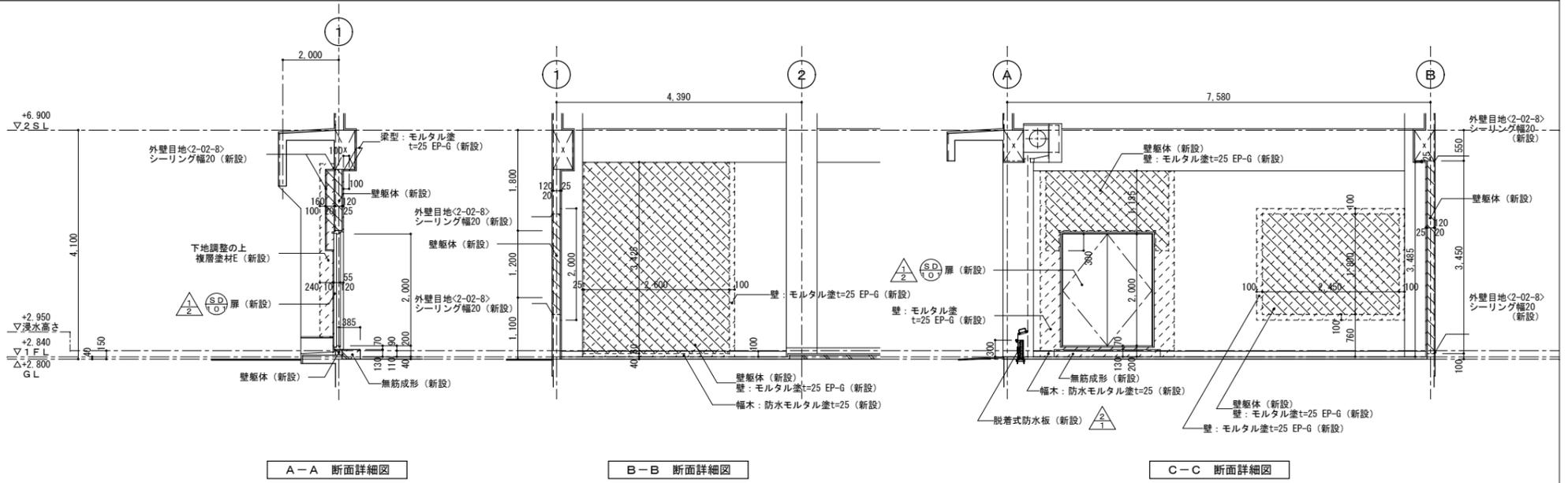
凡例

- R C躯体撤去範囲を示す。
- 仕上・下地撤去範囲を示す。
- カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
巾木・壁	巾木: — 壁: モルタル塗
壁・柱型	壁: ロックウール吹付 t=20 柱型: モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型: ロックウール吹付 t=20 天井: ロックウール吹付 t=20

【汚水ポンプ棟】

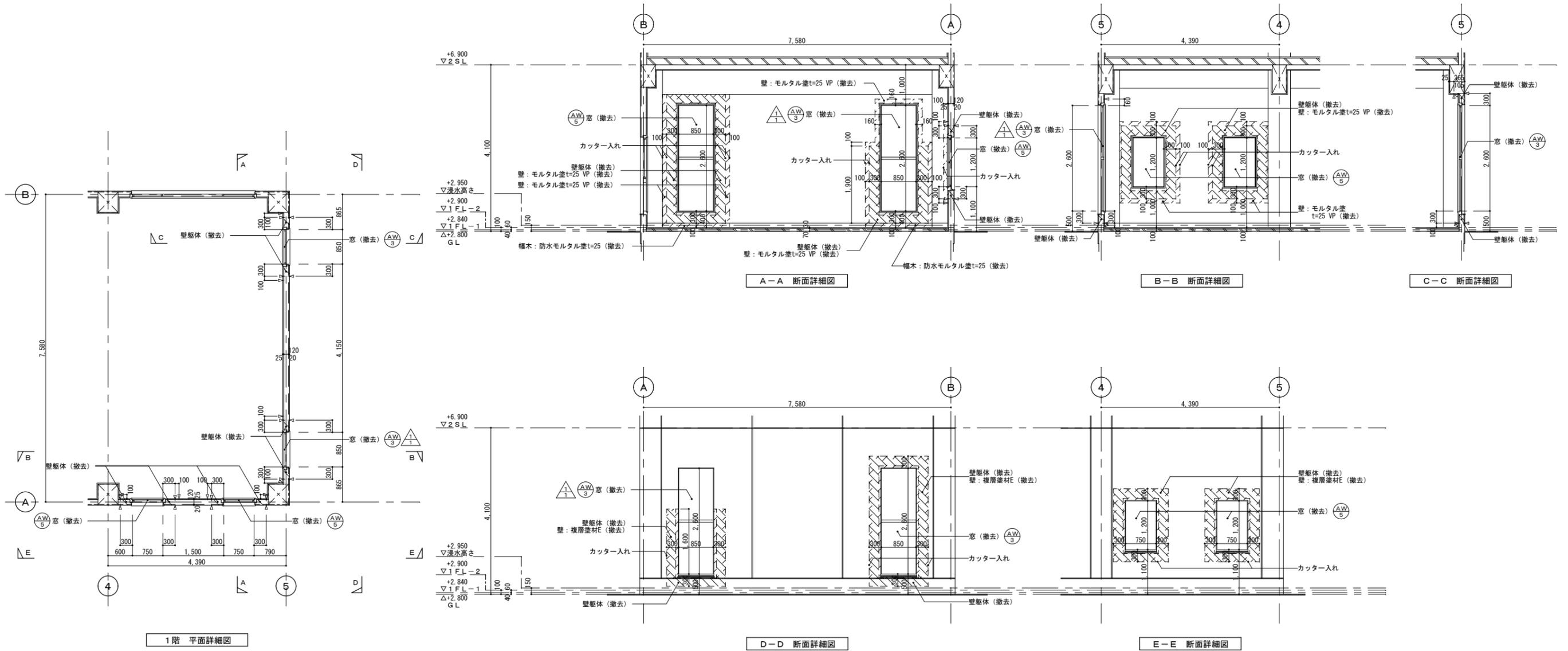
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (1)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-35/87



- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。
 - 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-36/87

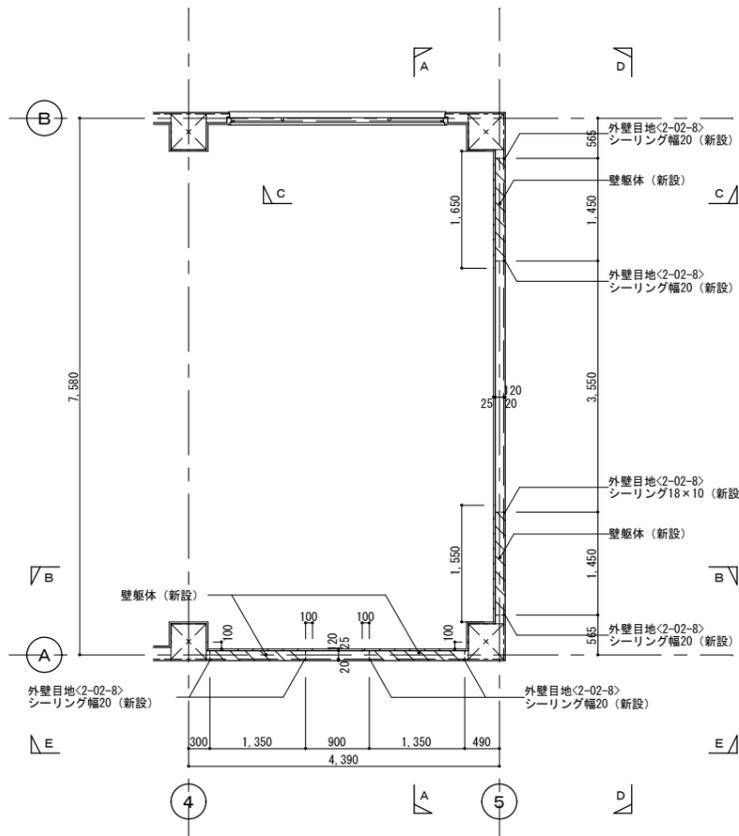


- 凡例
- 撤去建具を示す。
 - RC躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

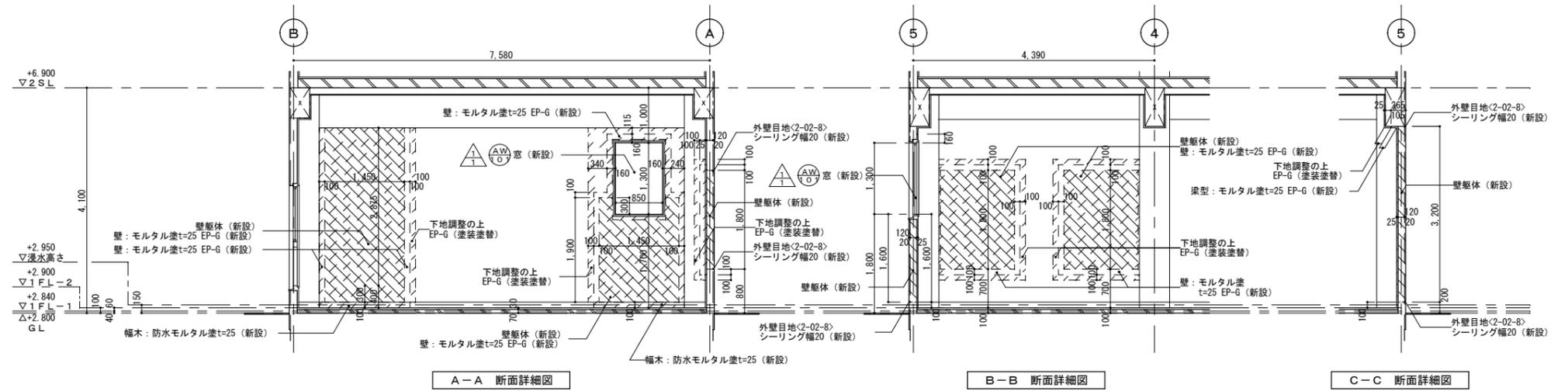
1階 ホッパー室(車搬入口)・汚水室	
床	軽量コンクリートt=70 防水モルタル塗t=30 表面硬化剤仕上
巾木・腰	巾木: 防水モルタル塗t=25 腰:
壁・柱型	壁: モルタル塗t=25 VP 柱型: モルタル塗t=25 VP
梁型・天井	梁型: モルタル塗t=25 VP 天井: パーライト吹付t=10

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-37/87



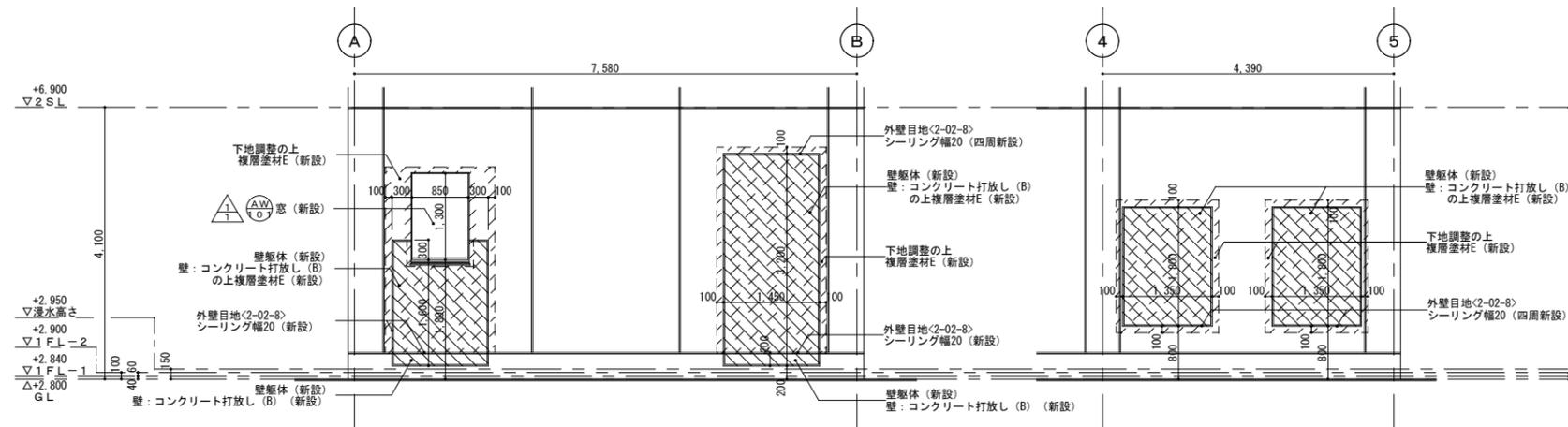
1階 平面詳細図



A-A 断面詳細図

B-B 断面詳細図

C-C 断面詳細図



D-D 断面詳細図

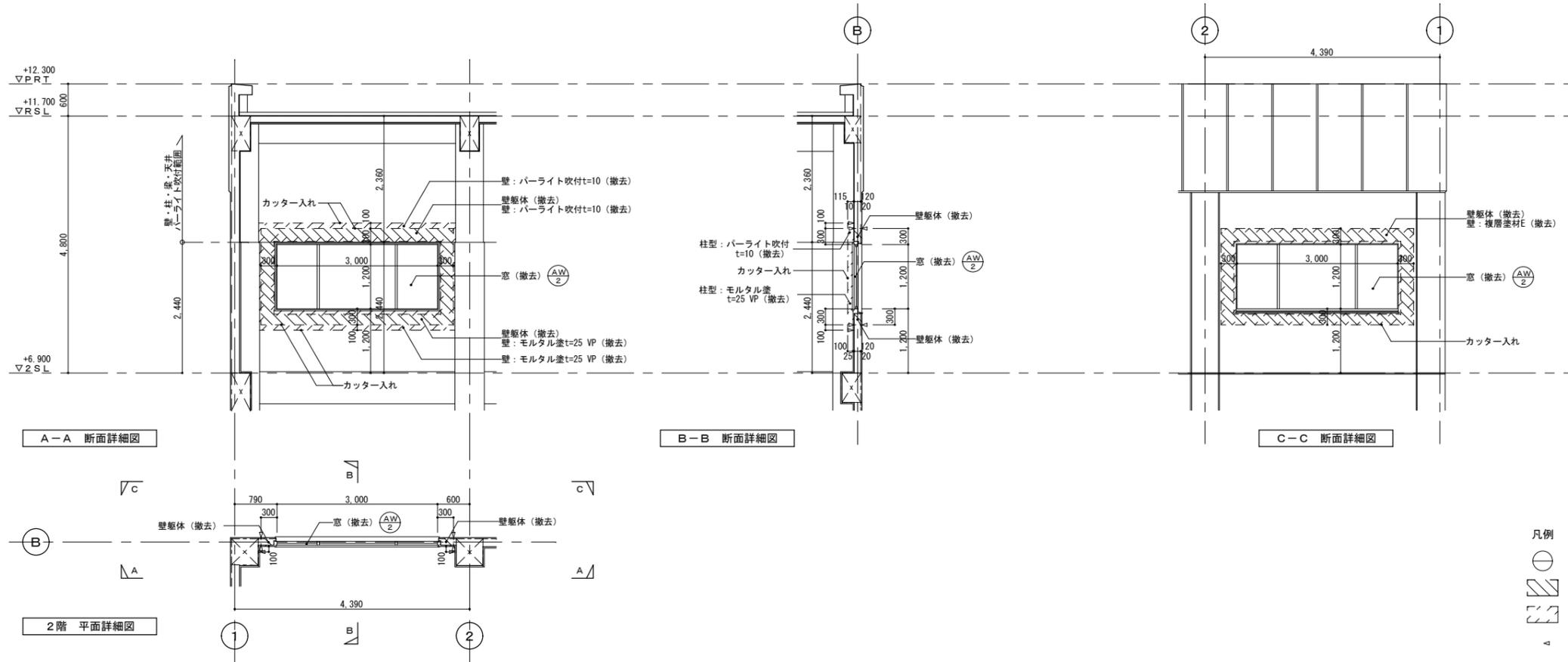
E-E 断面詳細図

- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。
 - 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-38/87

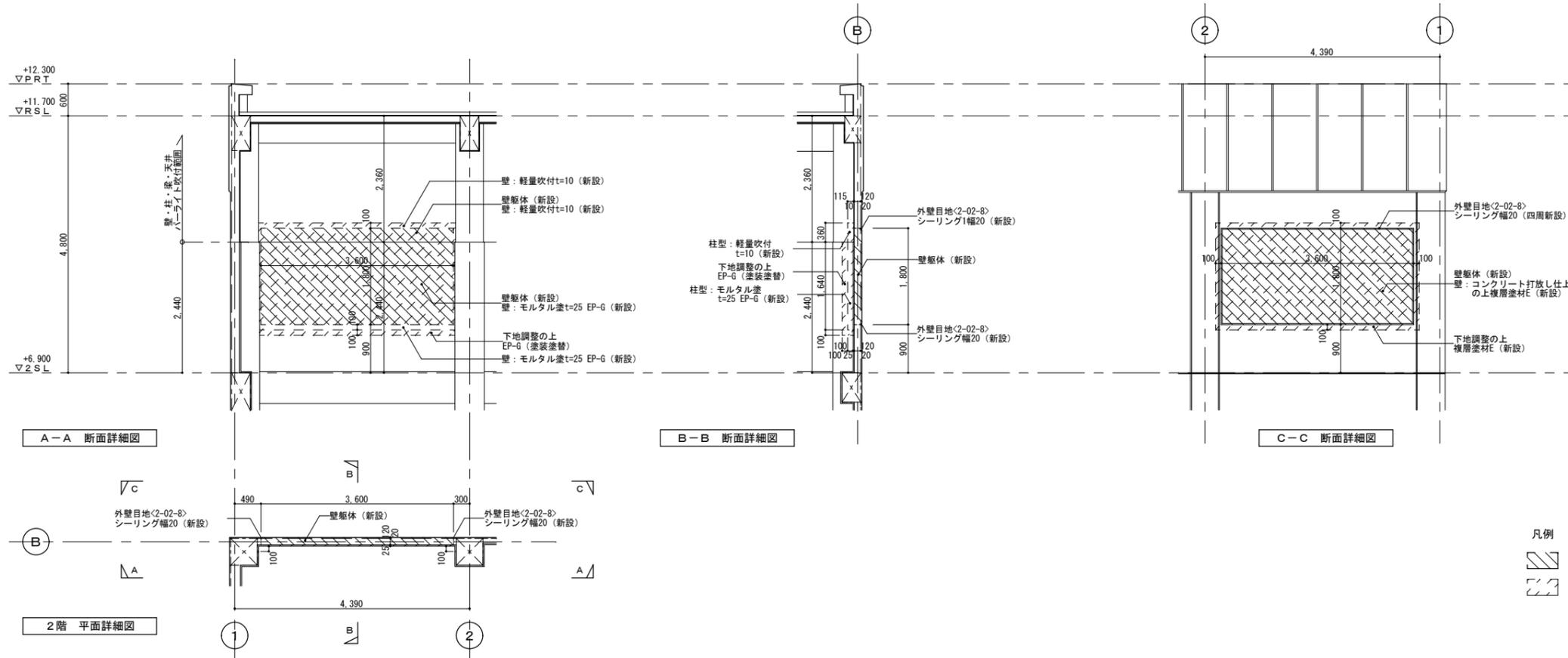
2-2
0
2 F B通り1~2間 改修前



- 凡例
- 撤去建具を示す。
 - R C躯体撤去範囲を示す。
 - 仕上・下地撤去範囲を示す。
 - カッター入部を示す。

2階 ホッパー室 (車搬入口)・汚水室 吹抜	
床	
巾木・腰	巾木: _____ 腰: _____
壁・柱型	壁: モルタル塗 t = 25 VP 一部: パーライト吹付 t = 10 柱型: モルタル塗 t = 25 VP 一部: パーライト吹付 t = 10
梁型・天井	梁型: パーライト吹付 t = 10 一部: モルタル塗 t = 25 VP 天井: P F 板 t = 18 打込パーライト吹付 t = 10

2-2
N
2 F B通り1~2間 改修後

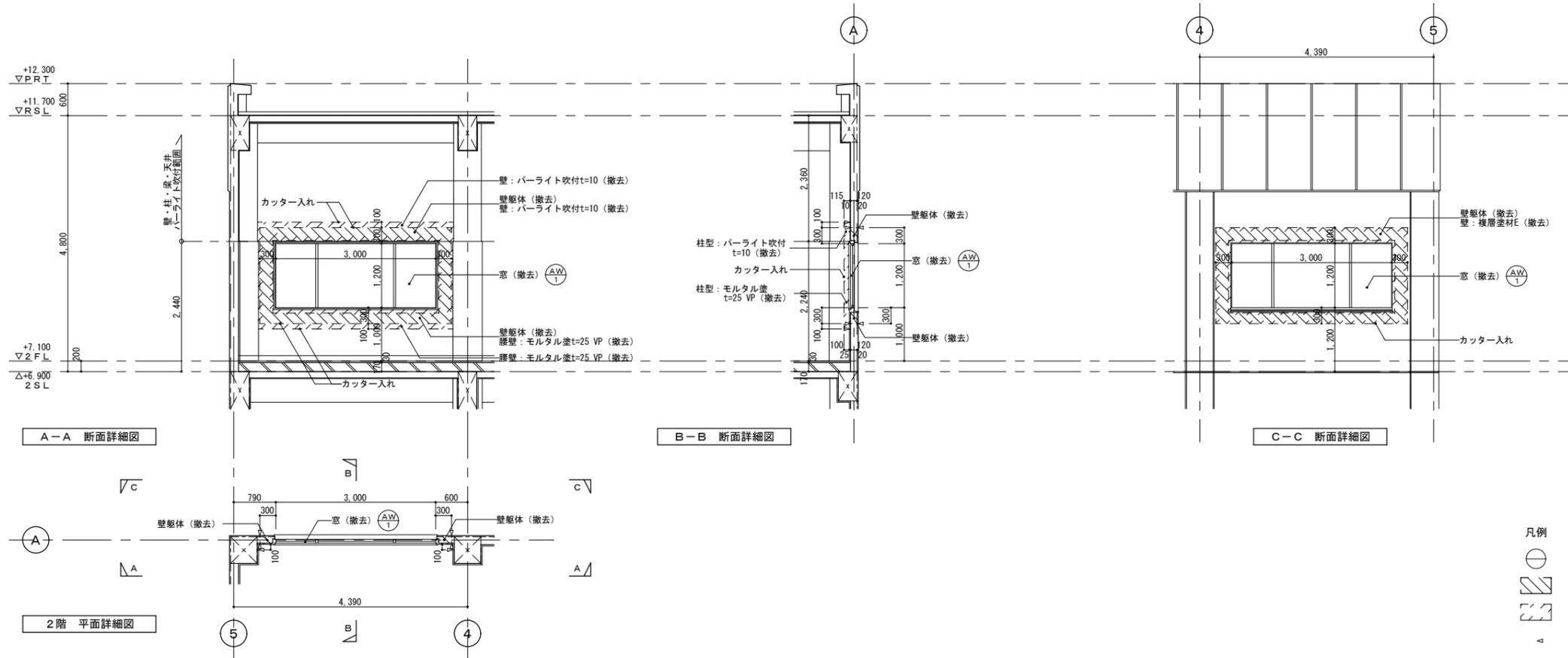


- 凡例
- R C躯体新設範囲を示す。
 - 仕上・下地新設範囲を示す。

【汚水ポンプ棟】

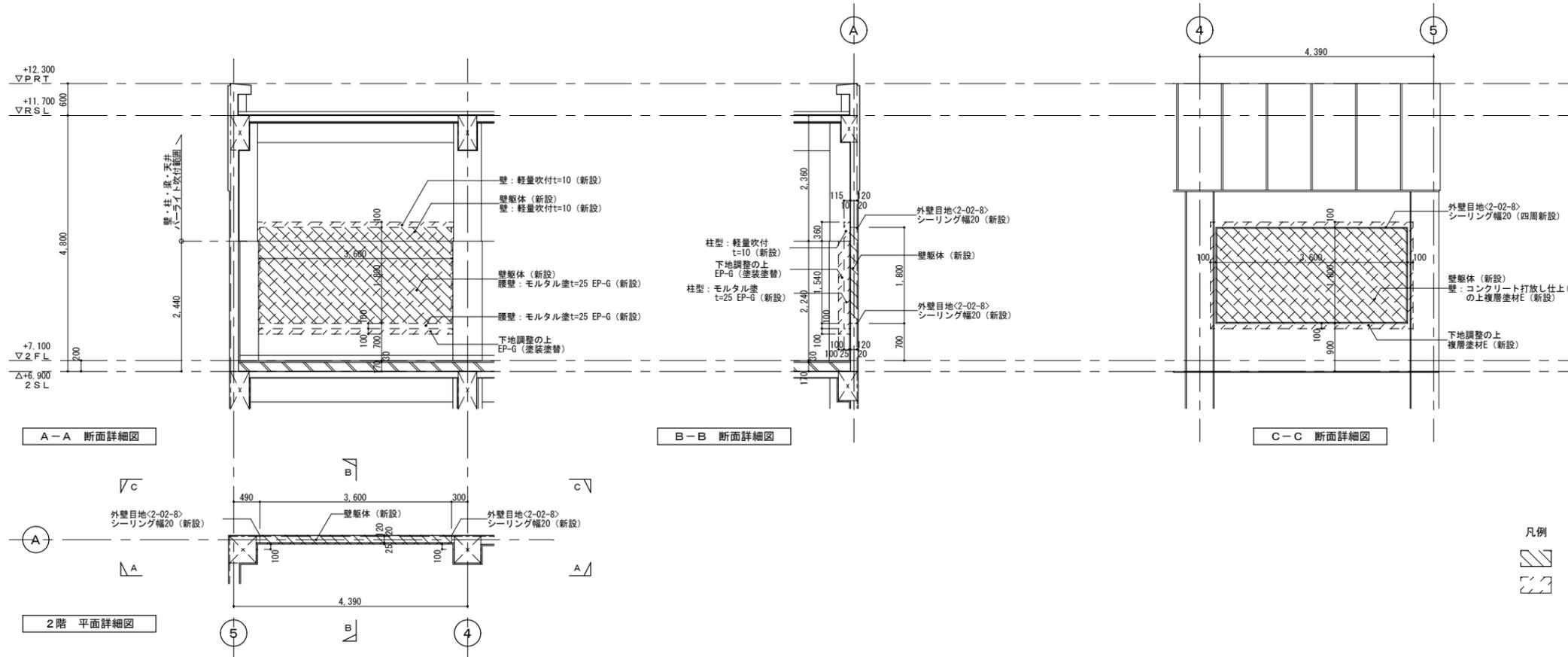
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (5)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-39/87

2-1
0 2 F A通り4~5間 改修前



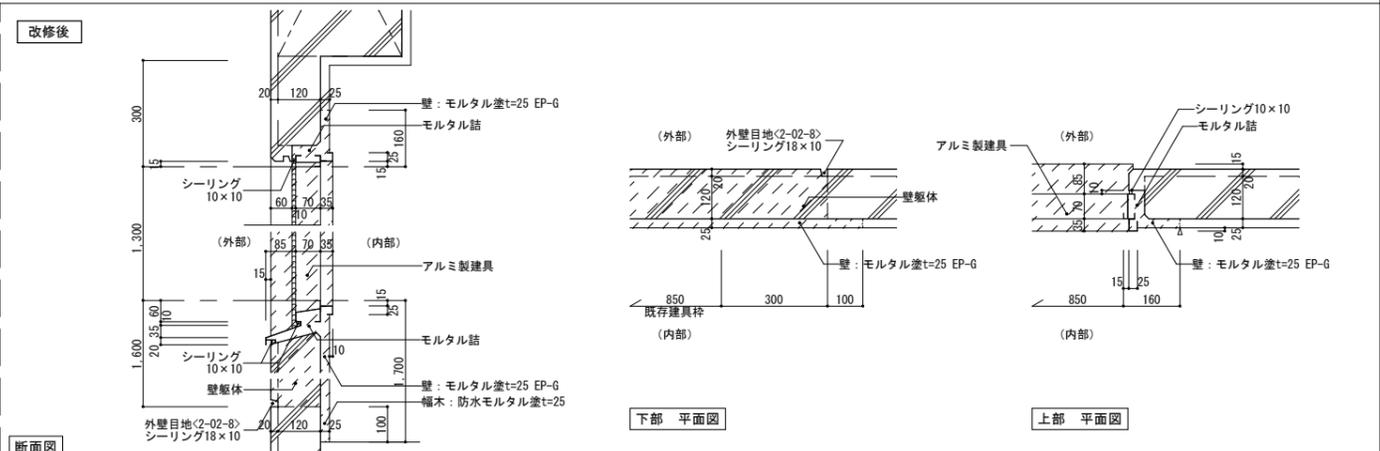
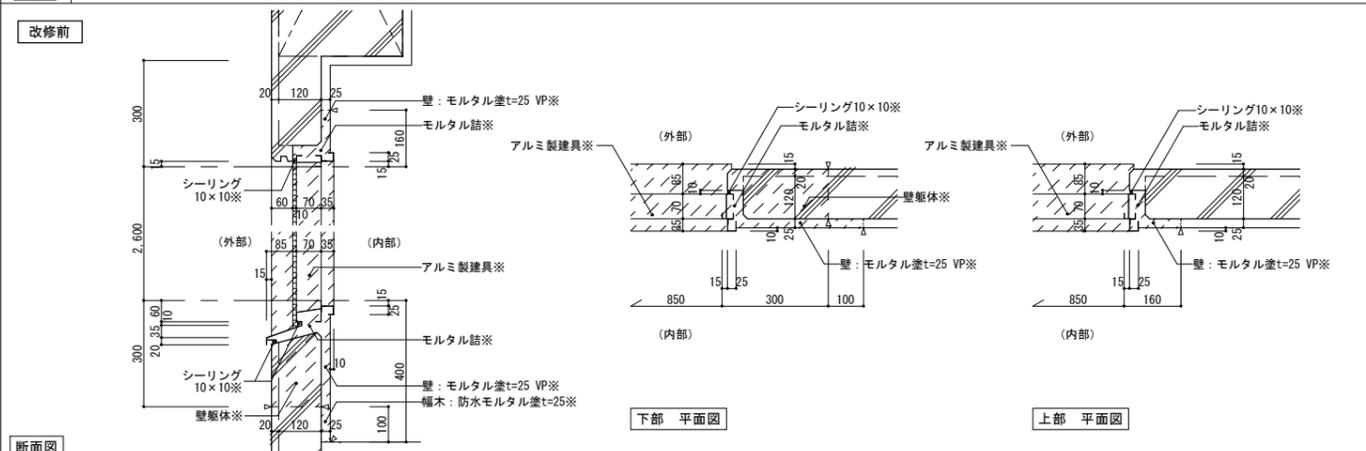
2階 脱臭機室・換気室	
床	軽量コンクリート t=170 防水モルタル塗 t=30 表面硬化剤仕上
巾木・腰	巾木：防水モルタル塗 t=25 腰：モルタル塗 t=25 VP 一部：パーライト吹付 t=10
壁・柱型	柱型：モルタル塗 t=25 VP 一部：パーライト吹付 t=10
梁型・天井	梁型：パーライト吹付 t=10 天井：PF板 t=18打込パーライト吹付 t=10

2-1
N 2 F A通り4~5間 改修後



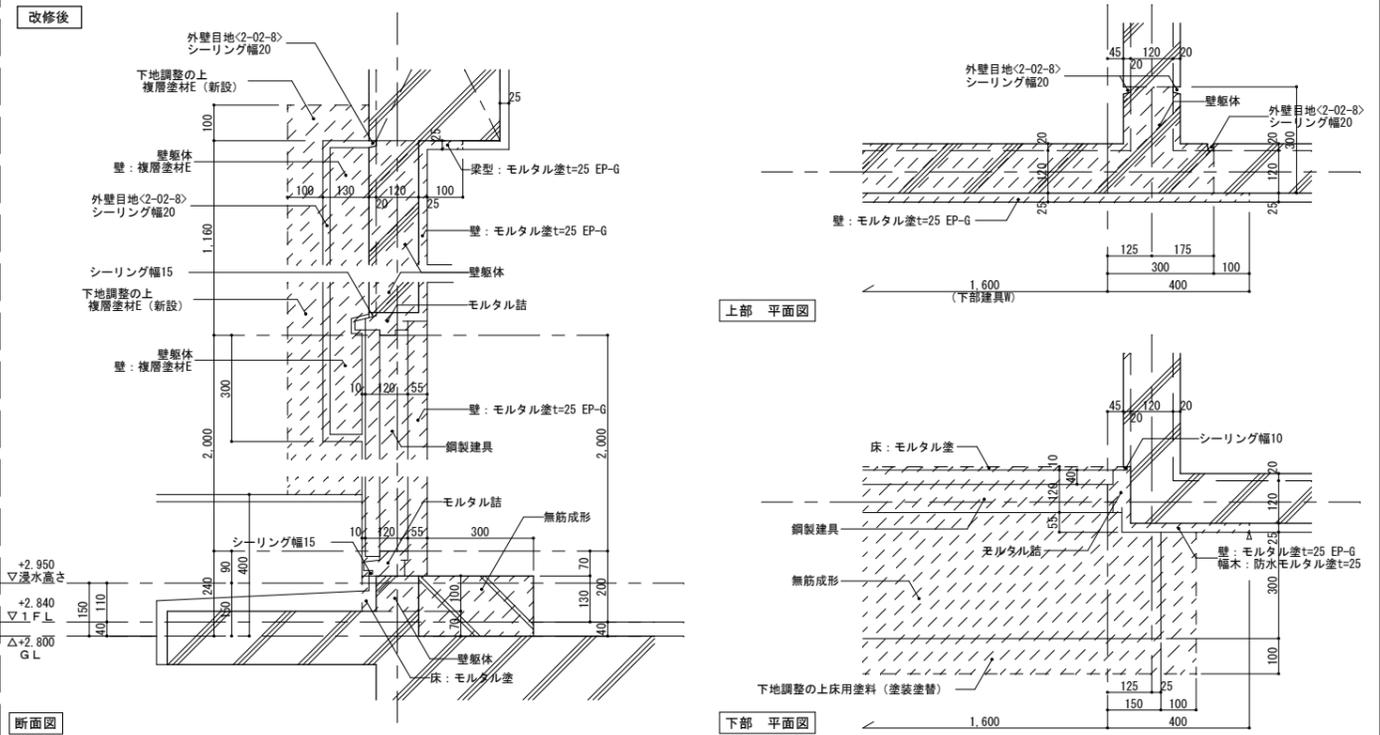
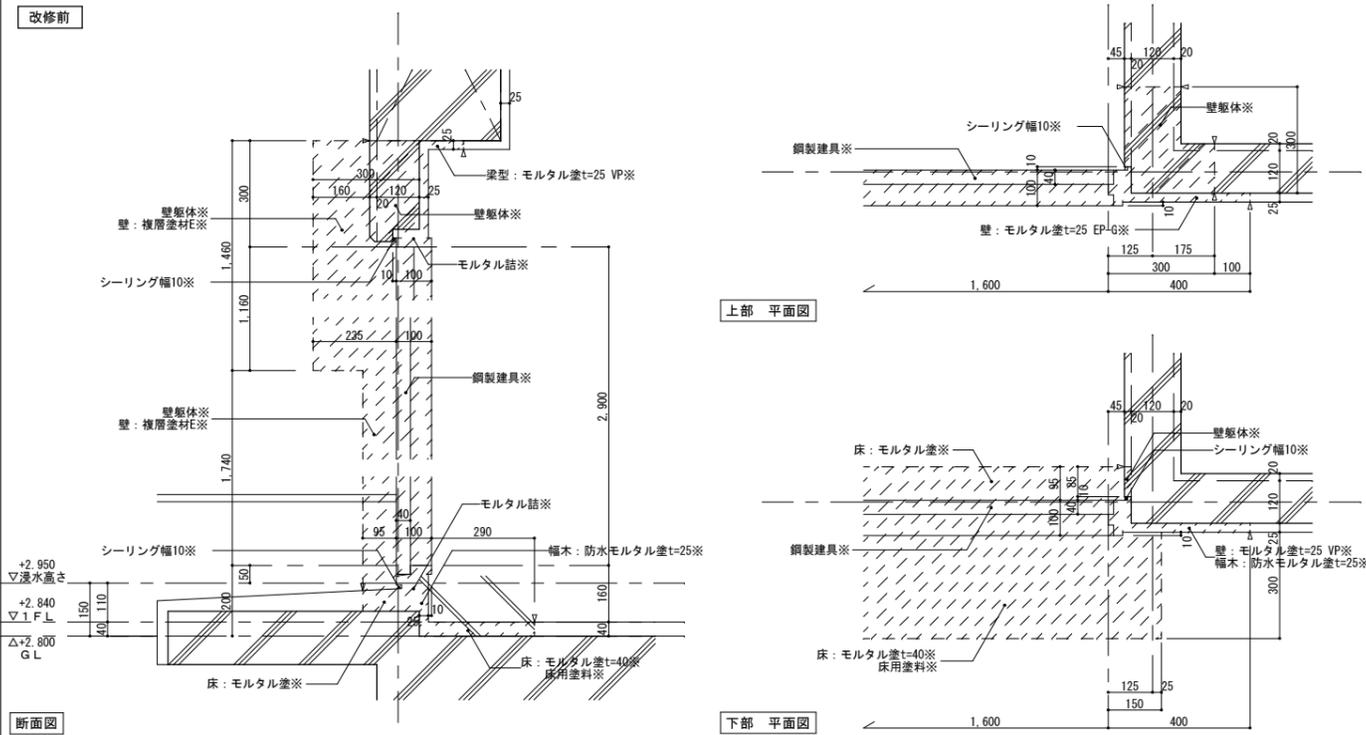
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (6)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-40/87



注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。
 [斜線]印は、撤去部を示す。
 撤去部周囲は、カッター入れの事。

注記 図中表記材は、全て新設部を示す。
 [斜線]印は、新設部を示す。
 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

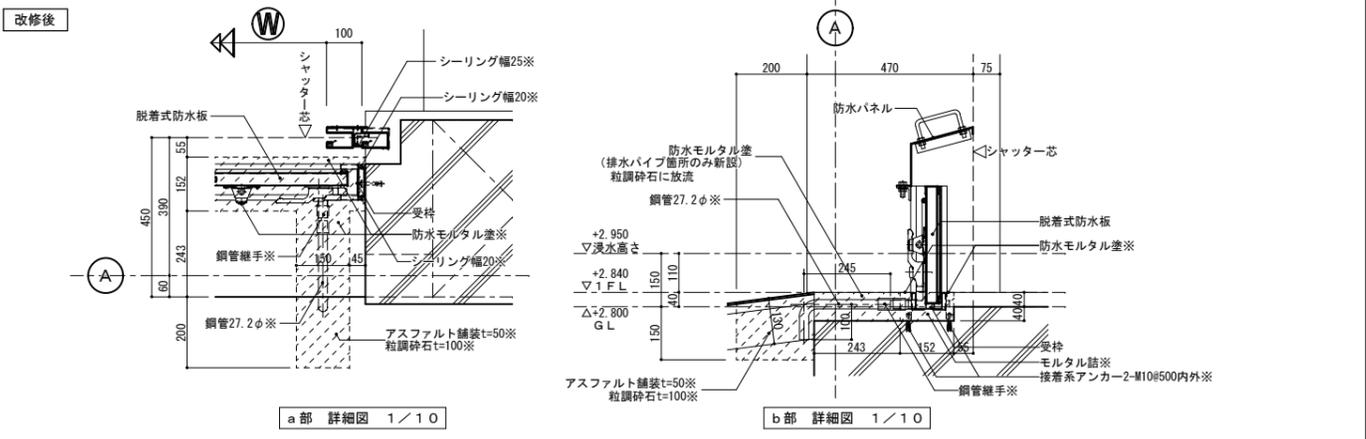
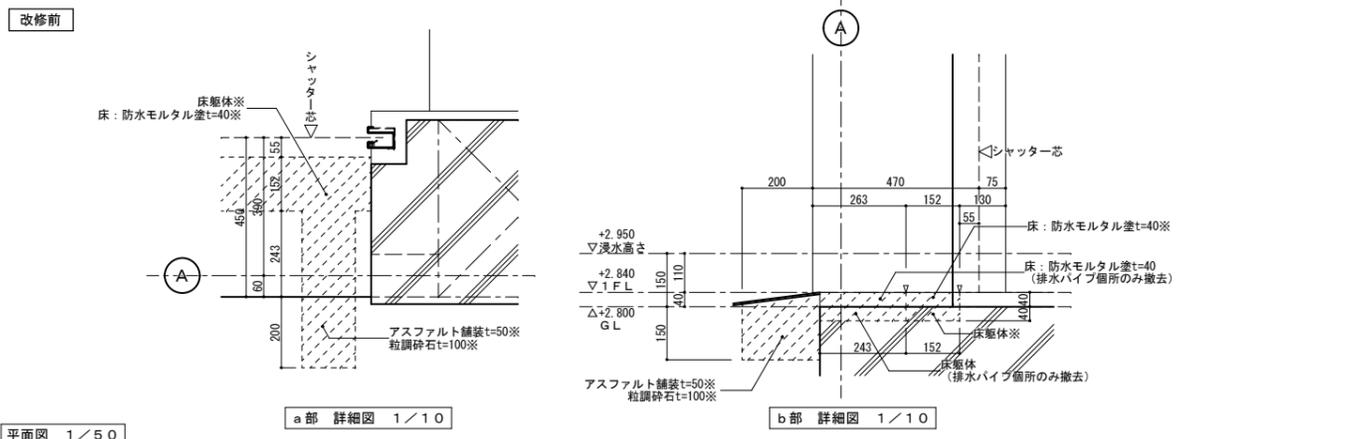


注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。
 [斜線]印は、撤去部を示す。
 撤去部周囲は、カッター入れの事。

注記 図中表記材は、全て新設部を示す。
 [斜線]印は、新設部を示す。
 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	雑詳細図(1)		
縮尺	S=1:10	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-41/87



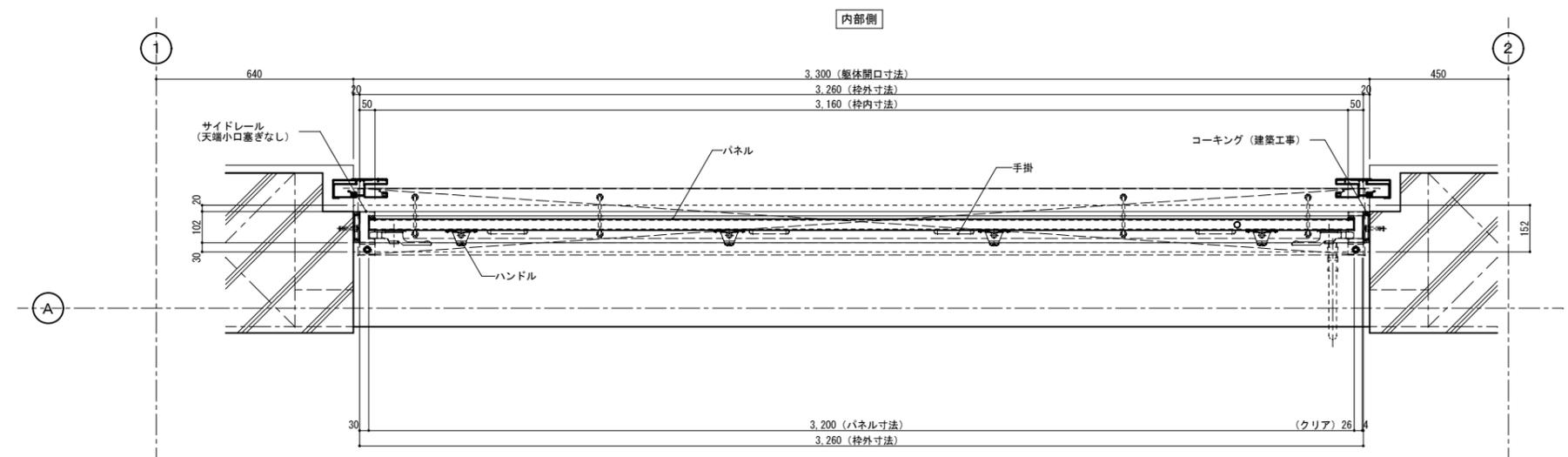
注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。
 印は、撤去部を示す。
 撤去部周囲は、カッター入れの事。

注記 図中表記材は、全て新設部を示す。 ※印表記材は建築工事とする。
 印は、新設部を示す。
 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

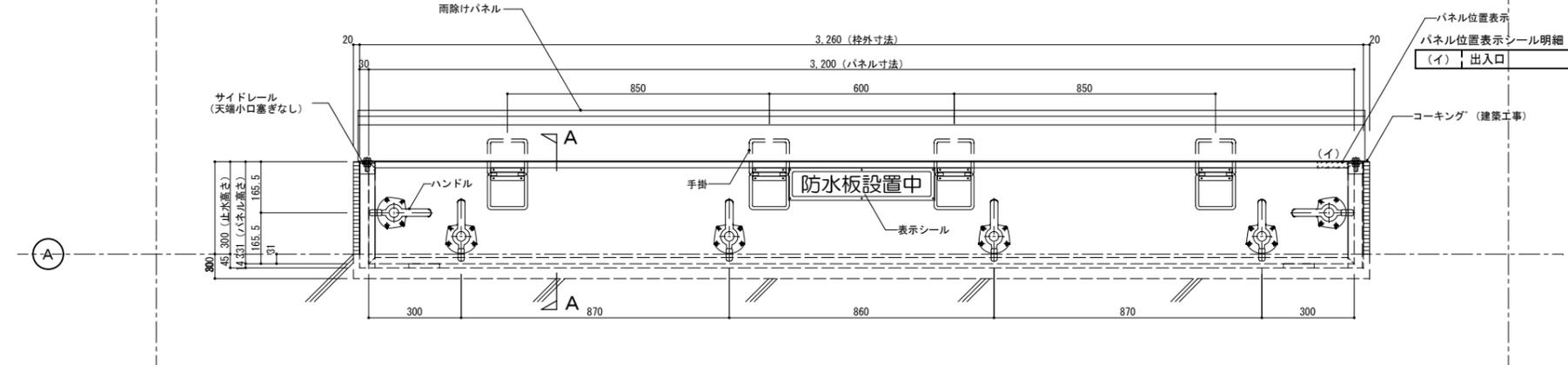
脱着式防水板仕様

※ 防水板仕様

型式	脱着式(外縁・露出枠・下枠有り)
止水高さ	H=300
パネル	3,200×32×331 (≒26kg/枚) 中空アルミ合金押出型材 (A6063S-T5) 陽極酸化塗装複合皮膜 (A2種)
サイドレール	SUS304 PL-2.0 HL
止水ゴム	ネオプレンゴム
ハンドル	亜鉛合金製 (ZDC2)
手掛	SUS RB-10φ
表示シール	黄色下地黒文字 (丸ゴシック)
位置表示	プリントシール貼り (文言打合せの上決定)
ボトムレール	SUS304 PL-2.0 HL (分割) カサアゲ: SUS304 PL-2.0×100×25 H=14
蓋	SUS304 PL-3.0t (ボルカプレート電解研磨) ステンレス把手付 70×45×1,200 (1枚, ≒5kg/枚), 70×45×1,011 (2枚, ≒4kg/枚)
雨除けパネル	SUS PL-2.0 HL
備考	止水性能 0.02m ³ /h・m ² 以下 (単位面積当たり) 「防水板が固定される構造体 (建具等) の強度を別途確認願います。」



防水板 (装着時) 平面図 1/10



防水板正面姿図 1/10

注記 上記作図は参考図であり、各部分材等、仕様はメーカー仕様とする。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	雑詳細図 (2)		
縮尺	図示	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-42/87

改 修 前

符号・名称・個数	SD-1 両開きフラッシュ戸 撤去(1)	SS-1 スチールシャッター(電動) 撤去(1)	AW-1 中央FIX両袖引き窓 撤去(1)	AW-2 FIX窓 撤去(1)	AW-3 FIX窓 撤去(2)	AW-4 引き違い窓 撤去(1)
場所	1F ホッパー室	1F ホッパー室	2F 脱臭機室・換気室	2F ホッパー室吹抜	1F 汚水室	1F ホッパー室
仕上(枠共)		スラット:PL-1.6メラミン樹脂焼付、ケース:SOP				
建具	見込(ランマ)	40	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による
	硝子(ランマ)	(熱線吸収ガラスt=6)	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6
	ガラリ					
建具枠	見込取合 番摺	100	70	70	70	70
枠記号	番摺(水切)記号					
建具金物						
その他		(スラット)スチール1.6mm、メラミン焼付	カバー工法済			
形状・寸法						
符号・名称・個数	AW-5 片開き窓 撤去(2)					
場所	1F 汚水室					
仕上(枠共)						
建具	見込(ランマ)	メーカー仕様による				
	硝子(ランマ)	熱線吸収ガラスt=6				
	ガラリ					
建具枠	見込取合 番摺	70				
枠記号	番摺(水切)記号					
建具金物						
その他						
形状・寸法						

改 修 後

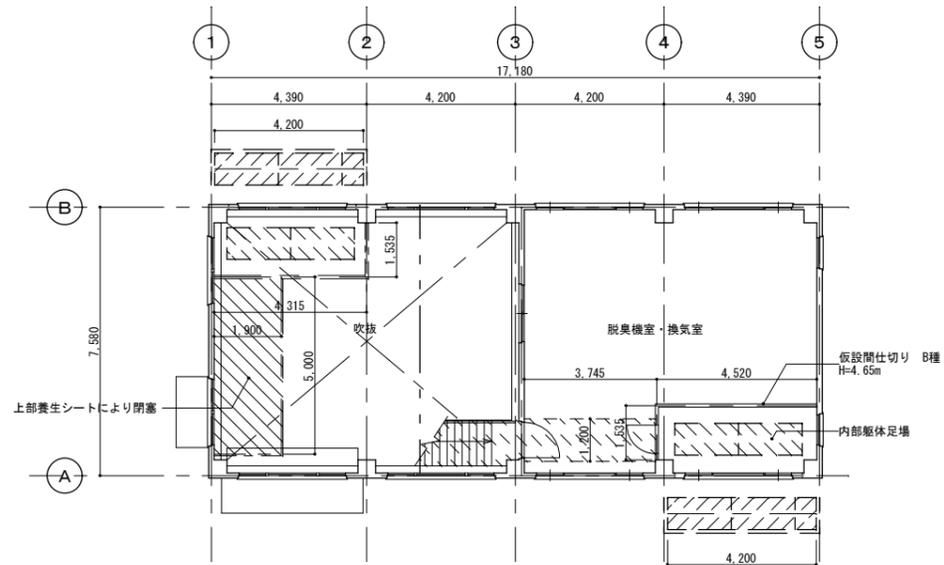
符号・名称・個数	SD-101 両開きフラッシュ戸 新設(1)		AW-101 FIX窓 新設(1)	SS-1 スチールシャッター(電動) 新設(1)	
場所	1F ホッパー室		1F 汚水室	1F ホッパー室	
仕上(枠共)	DP		B-2種	スラット:PL-1.6メラミン樹脂焼付、ケース:SOP	
建具	見込(ランマ)	40	メーカー仕様による		
	硝子(ランマ)		アルミハネルt=6		
	ガラリ				
建具枠	見込取合 番摺	120	70		
枠記号	番摺(水切)記号	<4-44-2>、雑詳細図による	雑詳細図による		
建具金物	丁番、戸当り、D.C、フランス落し、シリンドラ箱錠(レバーハンドル)		付属金物一式、三方アルミ縦線25x35、アルミ扉板25x35、アルミ水切板 見込85	障害物検知装置	
その他	外部簡易気密戸			ガイドレール:SUS304-H.L 既設レールに溶接、押釦再使用	
形状・寸法					

- 共通事項
- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠(内部サムターン)とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
 - バイススペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部はサムターン付)
 - 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
 - AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、および止め(防火戸を除く)をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
 - 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
 - アルミニウム製の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
 - 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。
 - 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠廻り詳細による。)
 - 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
 - 防火戸の位置は建具配置図による。
 - 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
 - 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
 - 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
 - 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

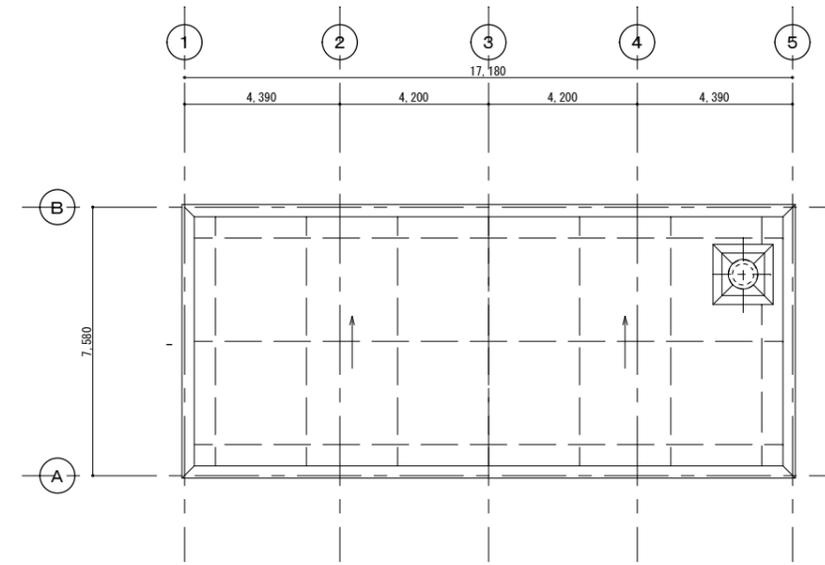
種別	戸	窓	ガラリ	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	A D A W A G	A O D				A S a W	
鋼製	S D S W S G	S O D				S S	
鋼製軽量	L D					L S	
ステンレス製	S S D S S W S S G					S S S	
木製	W D W W W G			P	H		
F	型板ガラス	金	D C	ドアクローザー			
P	フロート板ガラス	物	A H	オートヒンジ			
N	網入型板ガラス	略	F H	フロアヒンジ			
NP	網入みがき板ガラス	号	P H	ヒポットヒンジ			

【汚水ポンプ棟】

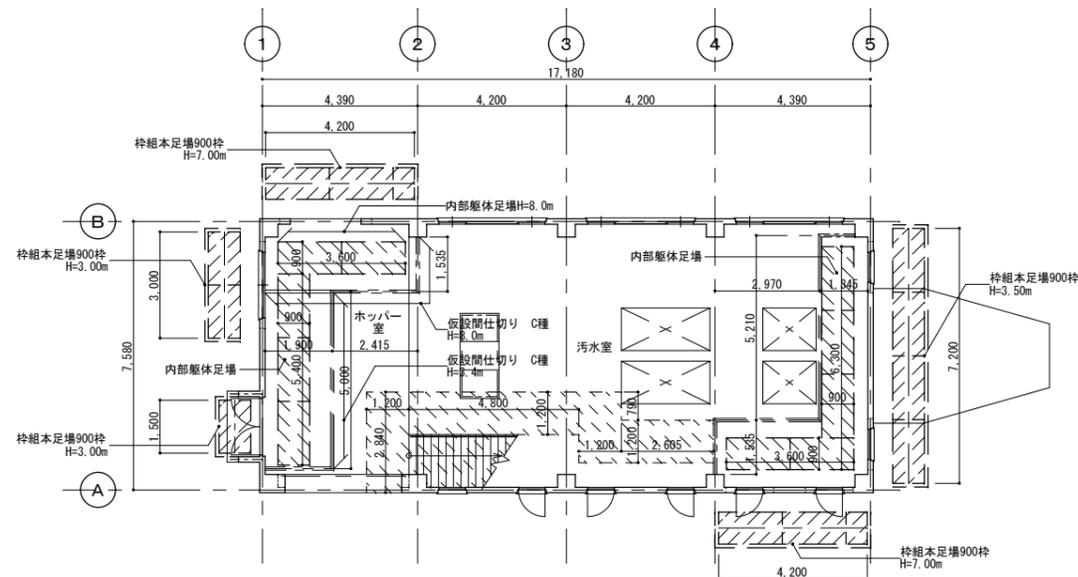
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	建具表		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-43/87



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100



1階平面図 1/100

凡例

- 床養生シート敷
- 枠組本足場W900+壁養生シート
- 内部足場（躯体足場）
特記なき限り、躯体足場：H=5.0未満とする。
- 仮設間仕切り壁 B種（不燃）
（軽量鉄骨壁下地+片面石こうボード）
- 仮設間仕切り壁 C種
（単管下地+壁養生シート）

注記 仮設間仕切り、足場等は現場監督員と調整のこと。
 仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目、床、天井部にテープを貼ること。
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。
 仮設間仕切りに設ける扉位置については、協議の上決定とする。
 特記なき限り仮設間仕切内の設備機器等はシートにより養生のこと。
 外壁での足場の壁つなぎアンカー施工の際は、粉塵が飛散しないような工法で施工を行うこと。

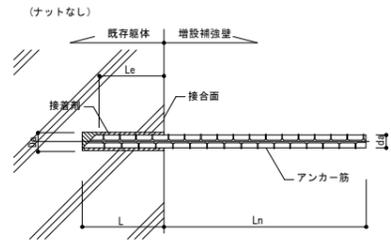
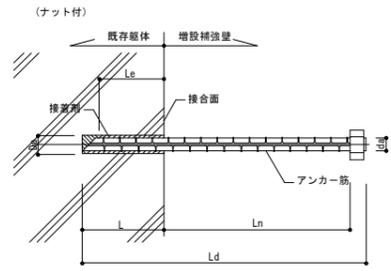
参考図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仮設計画図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-44/87

あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー



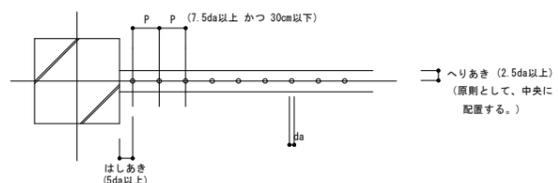
L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ
 Le : アンカーの有効埋め込み長さ
 Ld : アンカー筋の全長
 Ln : 有効定着長さ
 Da : 既存コンクリート躯体への穿孔径
 da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : $Le=7da$ 開口補強筋 : $Le=10da$
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : $Ln=20da$ 開口補強筋 : $Ln=L+5da$ (=補強筋との継手長さ+クリップ)
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼(開口補強筋用はナットなし)とし、ナットからねじ山が2山以上でること。 また、先端形状は45°カットとする。

施工確認試験荷重(終局引張強度)		終局せん断強度
アンカー筋呼び名 (da)	荷重 (kN)	荷重 (kN)
D13 (7da)	31.3	26.2
D13 (10da)	37.5	26.2
D16 (7da)	47.5	41.1
D19 (10da)	74.9	69.3
D22 (10da)	133.5	93.5

- 上記荷重は終局引張強度のため、引張試験はその強度の2/3以上とする。条件変更等がある場合は、耐震改修設計指針(日本建築防災協会)により算出のこと。上記に示す箇所以外とするときは、別途確認強度を算出すること。
- 国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針」(平成18年7月)による。
- 上記試験荷重はコーン破壊面積の欠損は考慮していない。打設位置でコーン破壊面積が欠損する場合は監督職員の指示により別途検討を行う。

(2) あと施工アンカーの位置と間隔



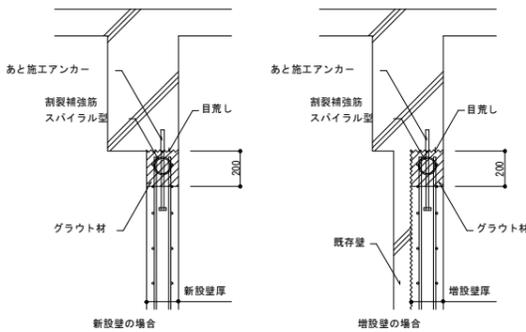
割裂補強筋配筋要領

- 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
- 割裂補強筋は、スパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
- 継手は、2巻以上の重ねとする。

壁厚	スパイラル径	割裂補強筋	備考
150	50φ	6φ#50	
200	100φ	6φ#50	
250	150φ	6φ#50	
300	200φ	9φ#50	
350	250φ	9φ#50	
400	300φ	9φ#50	

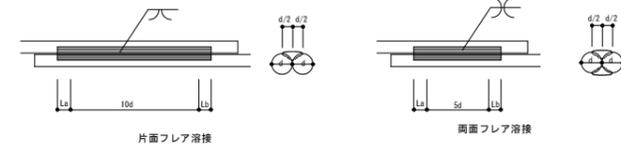
新設・増設壁上部グラウト要領

- 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。

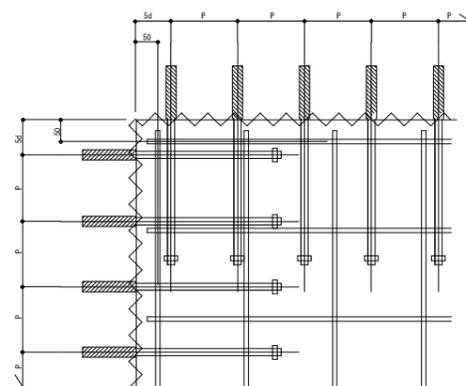


鉄筋フレア溶接要領

- 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(La)及び、クレータ(Lb)を除いた部分の長さとする。但し、La及びLbは2d以上とする。



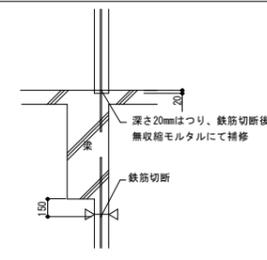
アンカー筋ピッチ標準



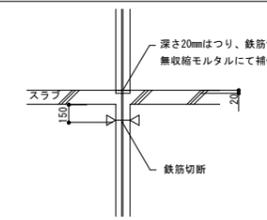
既存壁等撤去要領図 S=1/30

注記) 特記なき壁等の撤去は下図による。
 注記) <印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。
 注記) 鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。
 注記) 鉄筋はつり出しは、特記による。

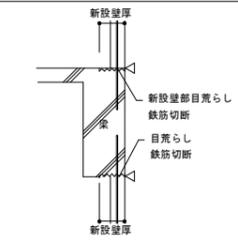
撤去壁-梁 取合部(撤去のみの場合)



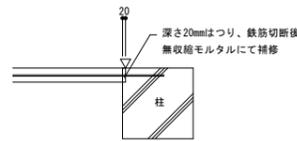
撤去壁-スラブ 取合部



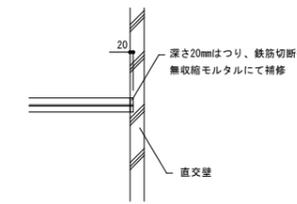
撤去壁-梁 取合部(壁を新設する場合)



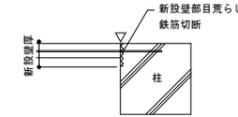
撤去壁-柱 取合部(撤去のみの場合)



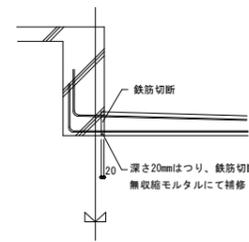
撤去壁-直交壁 取合部



撤去壁-柱 取合部(壁を新設する場合)



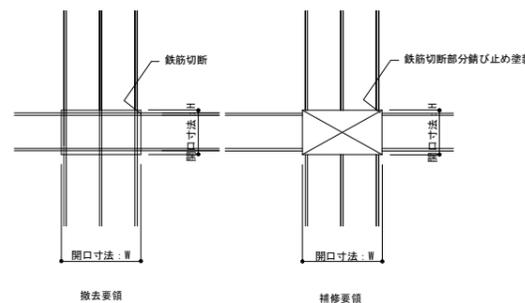
撤去底-梁 取合部



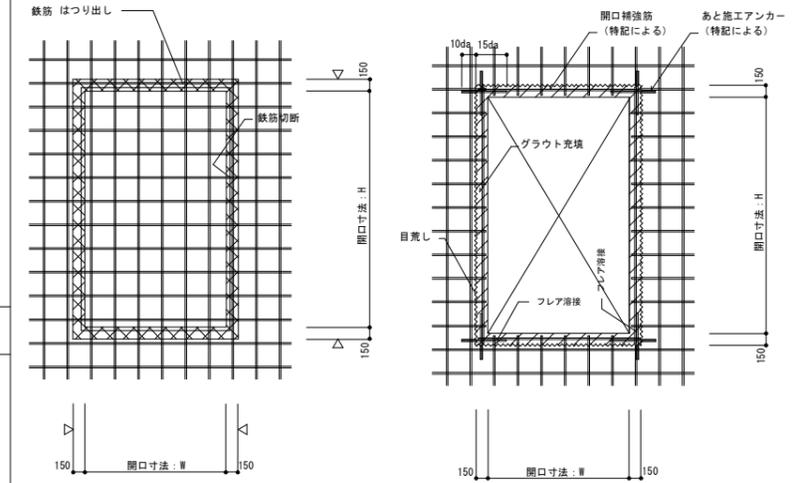
新設壁開口配筋要領図

- 床・壁にコア抜きにより先導孔を開ける。
- 各開口寸法に合わせ、コンクリートカッター及び、はつり出しにより開口部を開ける。
- 小開口部は切断面の補修(錆び止め塗装)を施す。大開口部はあと施工アンカーにより、開口補強筋を設ける。開口補強筋を取り付けた後、内型枠に合わせグラウト材を充填する。

○小開口部 適用は特記による。



○大開口部 適用は特記による。



注記) <印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(1)		
縮尺	NONE	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	S-1/87

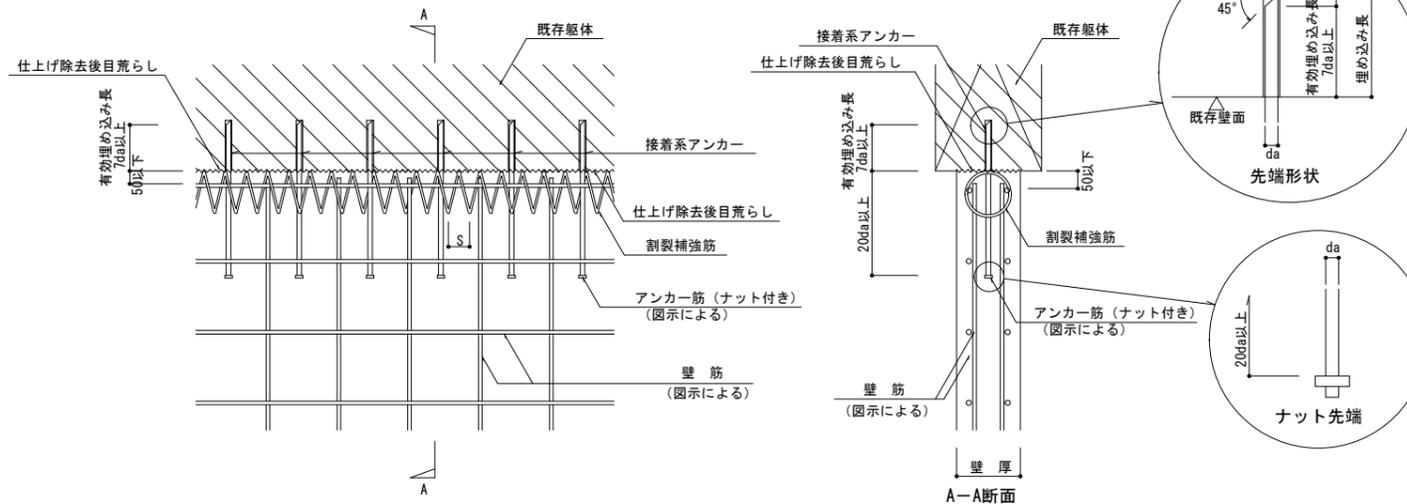
一般仕様

1. 使用材料

コンクリート	$F_c=24N/mm^2$	スラブ18
無収縮グラウト材	$F_m=30N/mm^2$ 以上	
無筋コンクリート	$F_c=18N/mm^2$	スラブ15
鉄筋	JIS G 3112 SD295A (D16以下) JIS G 3112 SD345 (D19以上) JIS G 3112 SR235 (割裂補強筋)	
アンカー筋	JIS G 3112 SD295A (D16以下) JIS G 3112 SD345 (D19以上)	
接着系アンカー	有機系カプセル型アンカー	
シャコネクター	有機系カプセル型アンカー SD295A (D10) [増し壁の場合に使用する]	

割裂補強筋配筋要領図 1/10

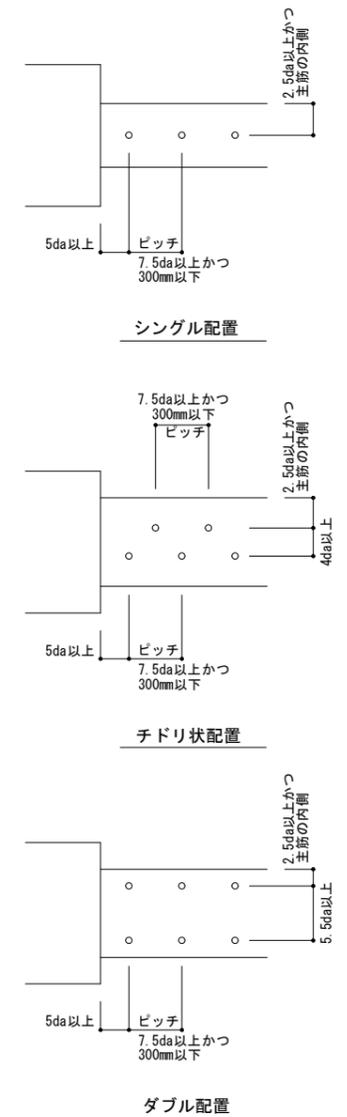
※1 d_a は鉄筋呼び径
※2 開口補強筋に接着系アンカーを用いる場合の有効埋め込み長は $10d_a$ 以上とする



注記) 特記なき壁等の除去は下図による。

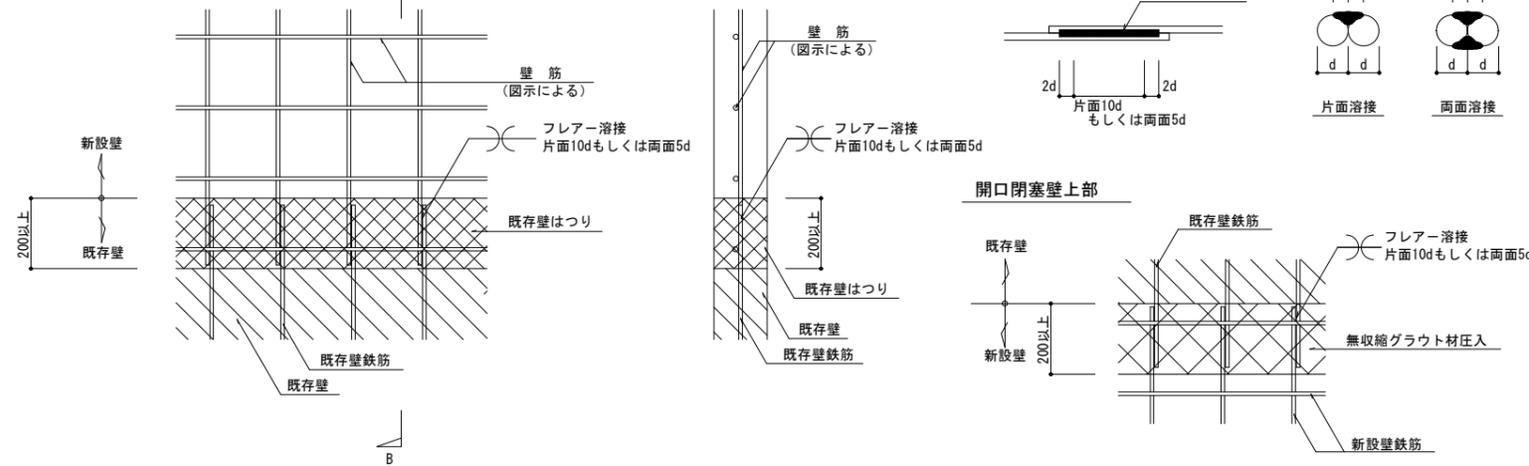
後施工アンカーの間隔 1/10

※ d_a は鉄筋呼び径



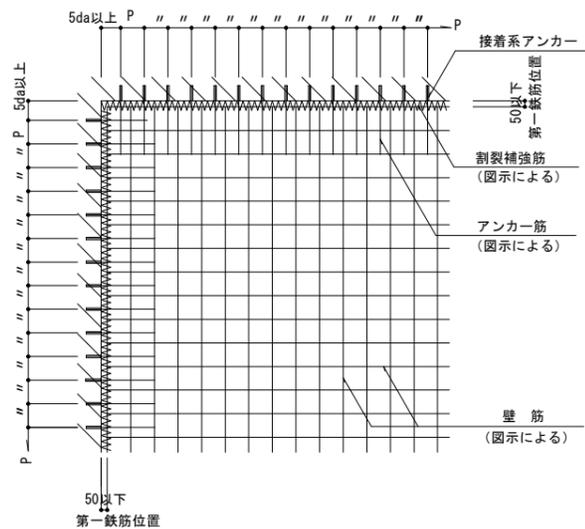
既存壁鉄筋利用時配筋要領図 1/10

※1 d は鉄筋呼び径を示す。
※2 開口閉塞時の壁頭は、新設壁上部同様に約20cmの範囲はグラウトモルタルを注入する。



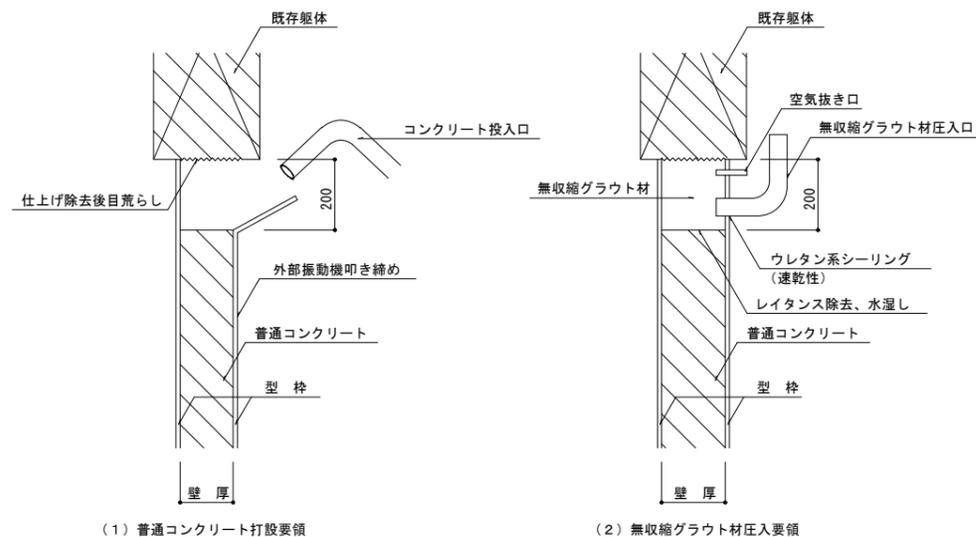
増設壁配筋要領図 1/30

※ Pは図示による。

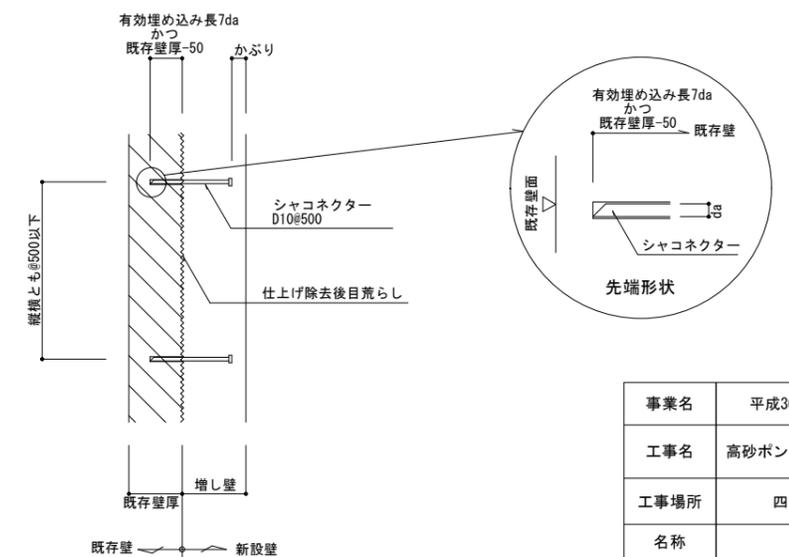


コンクリート及び無収縮グラウト材圧入要領図 1/10

(1) 普通コンクリート打設後、(2) 無収縮グラウト材を圧入する。

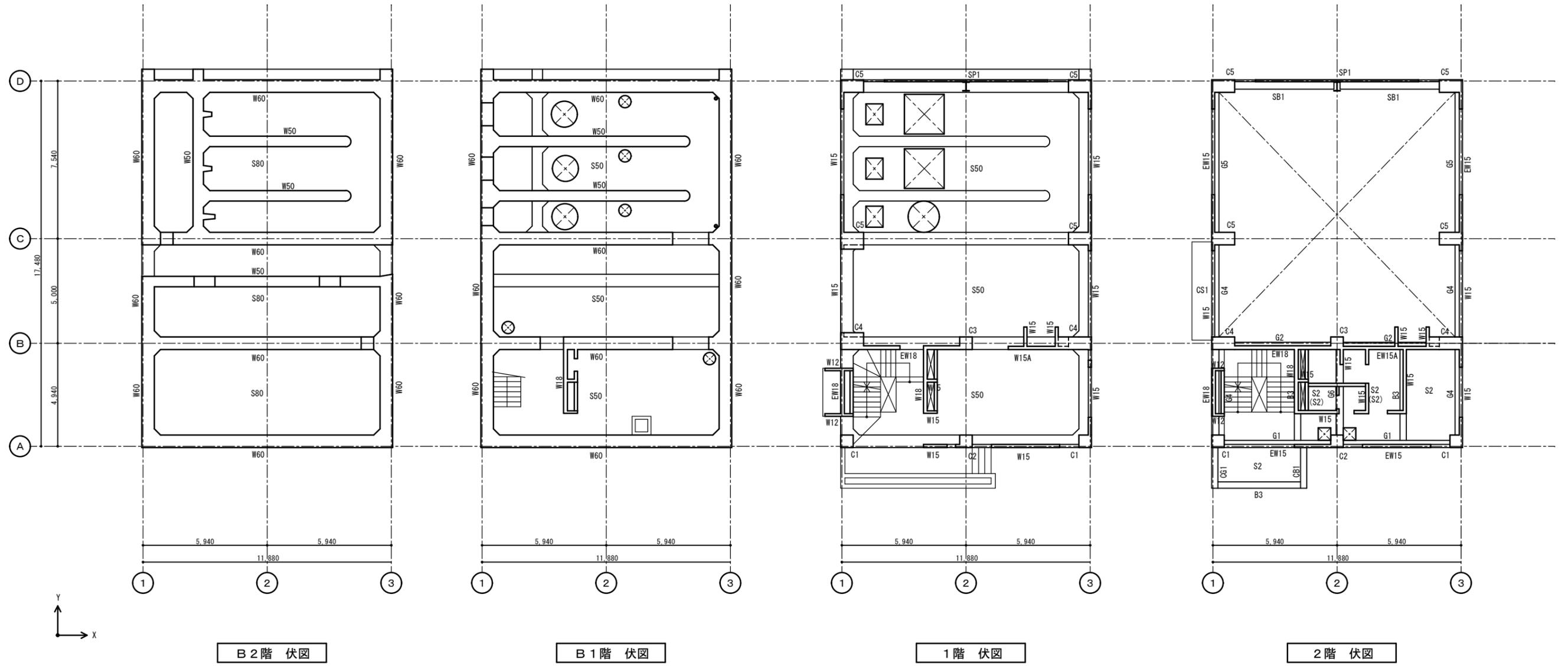


シャコネクター要領図 1/10



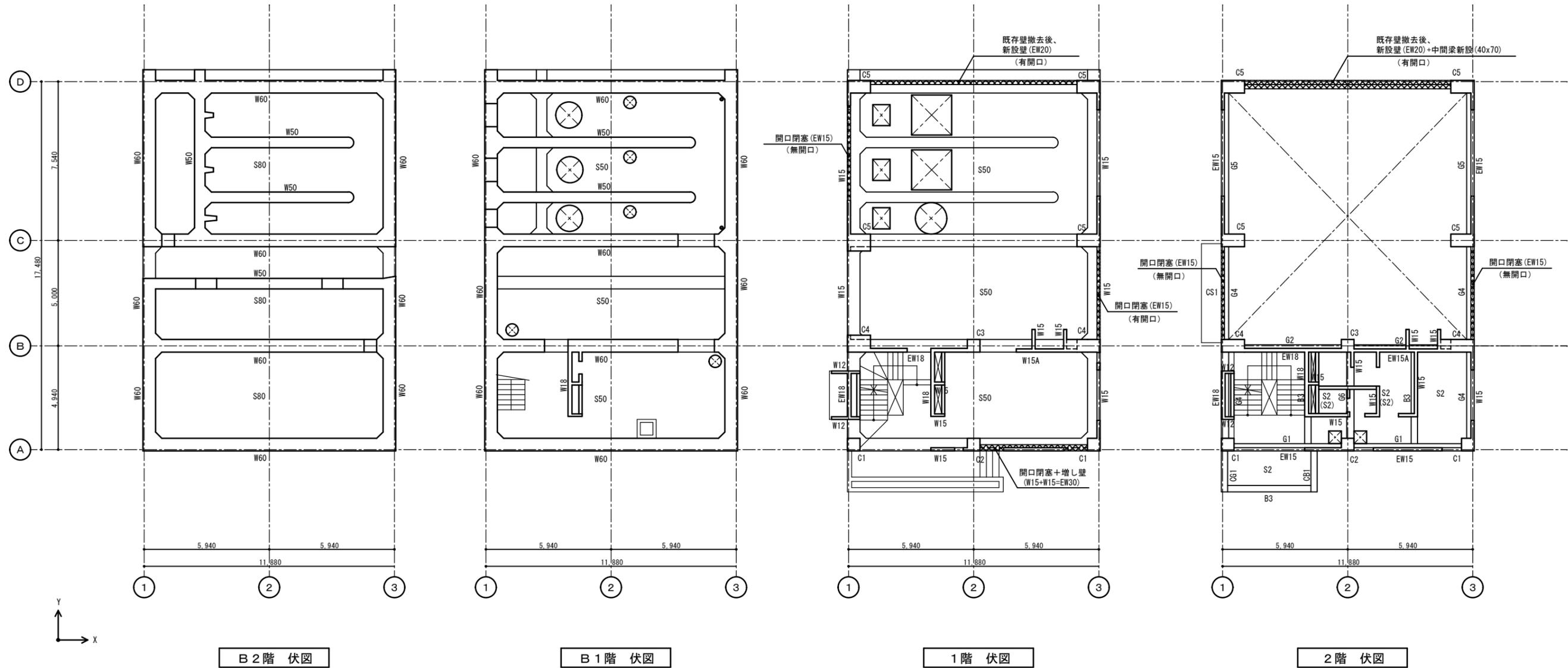
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(2)		
縮尺	NONE	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-2/87



【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-3/87



B 2階 伏図

改修なし

B 1階 伏図

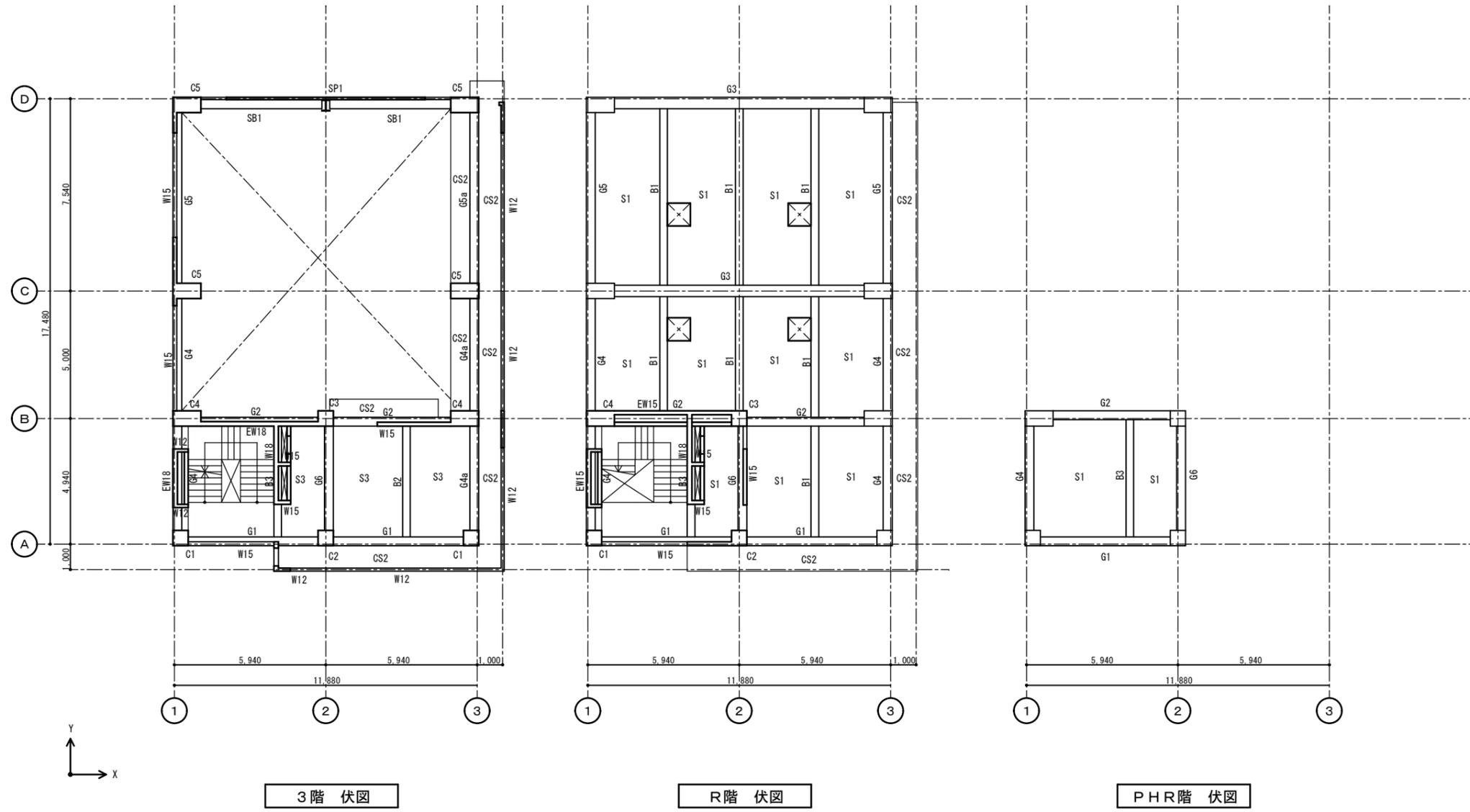
改修なし

1階 伏図

2階 伏図

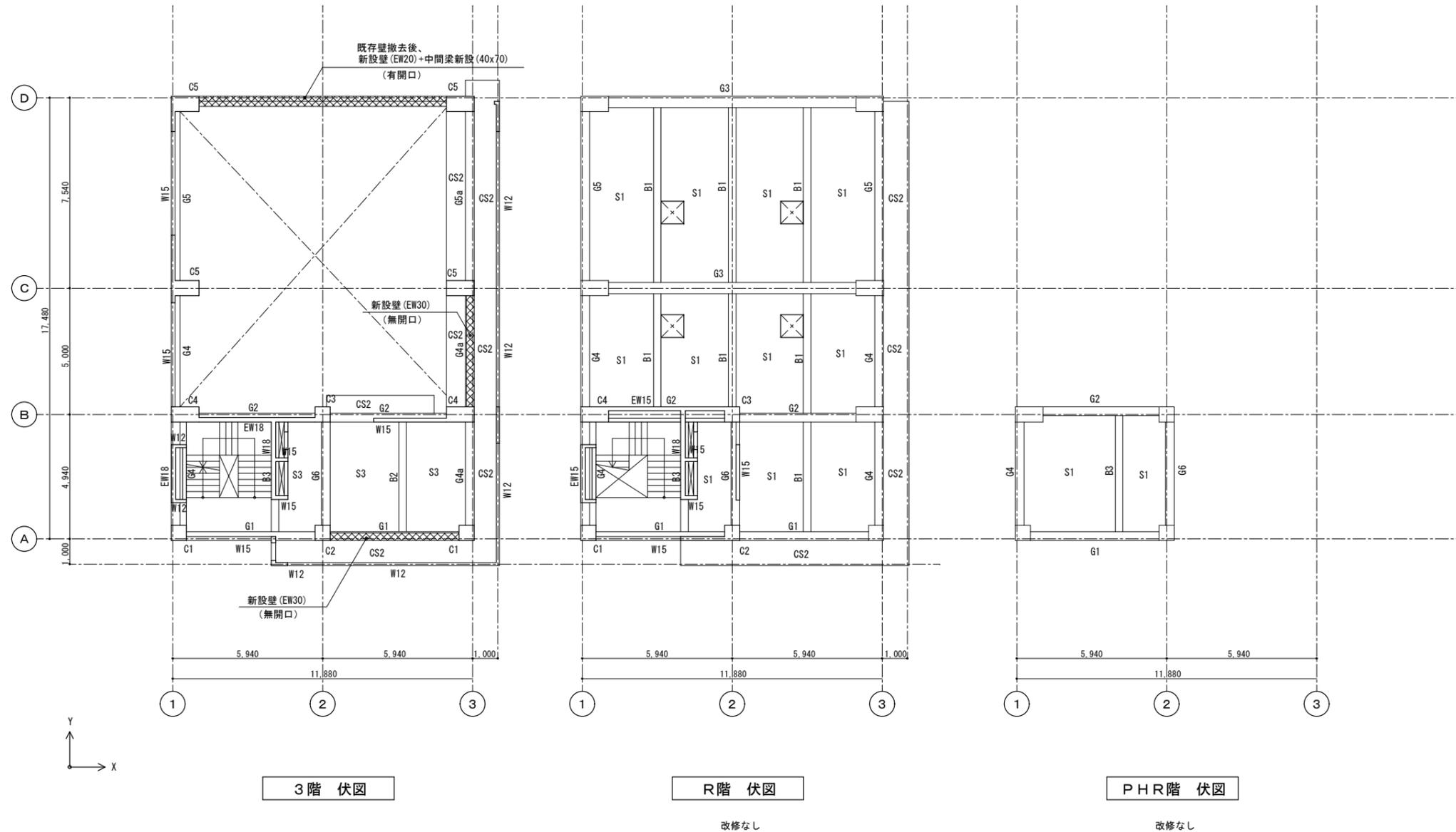
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-4/87



【雨水ポンプ棟】

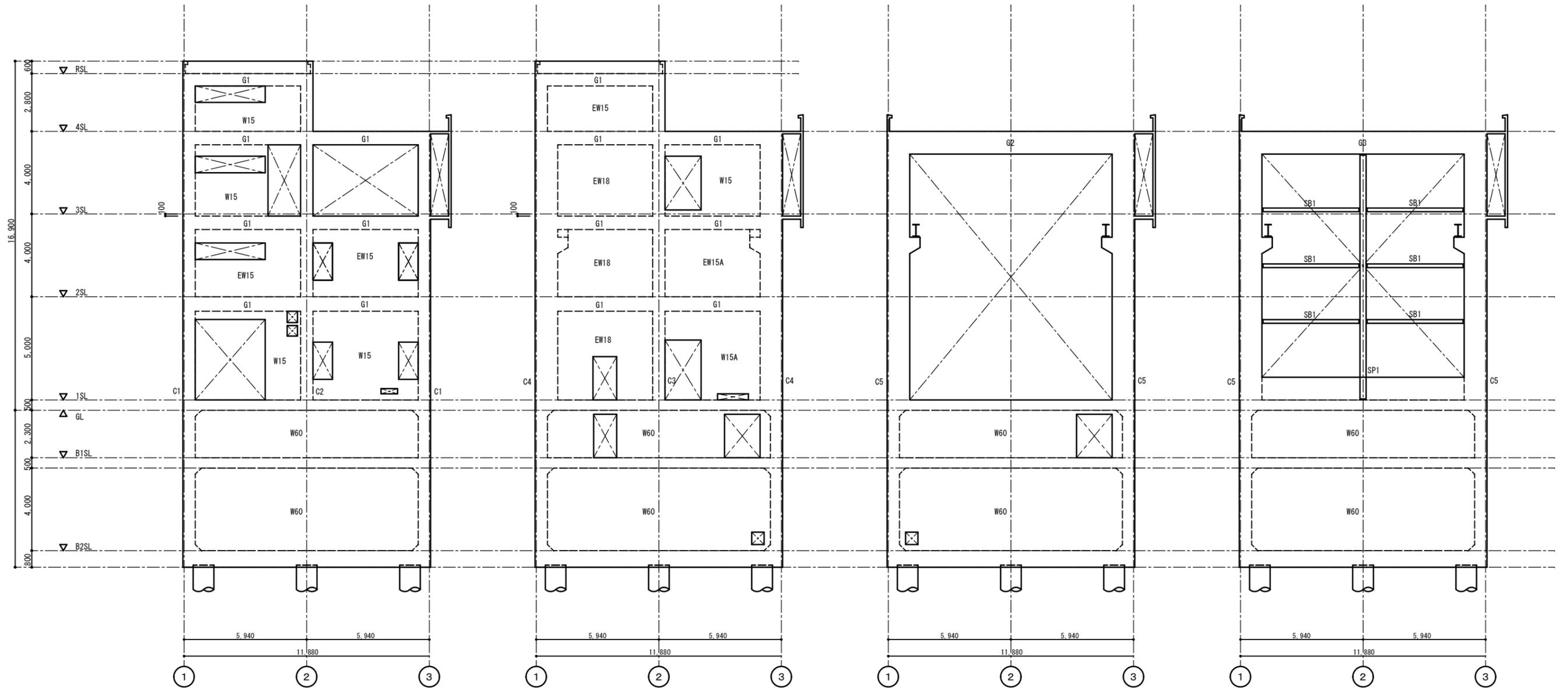
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-5/87



【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-6/87

改 修 前



A通 軸組図

B通 軸組図

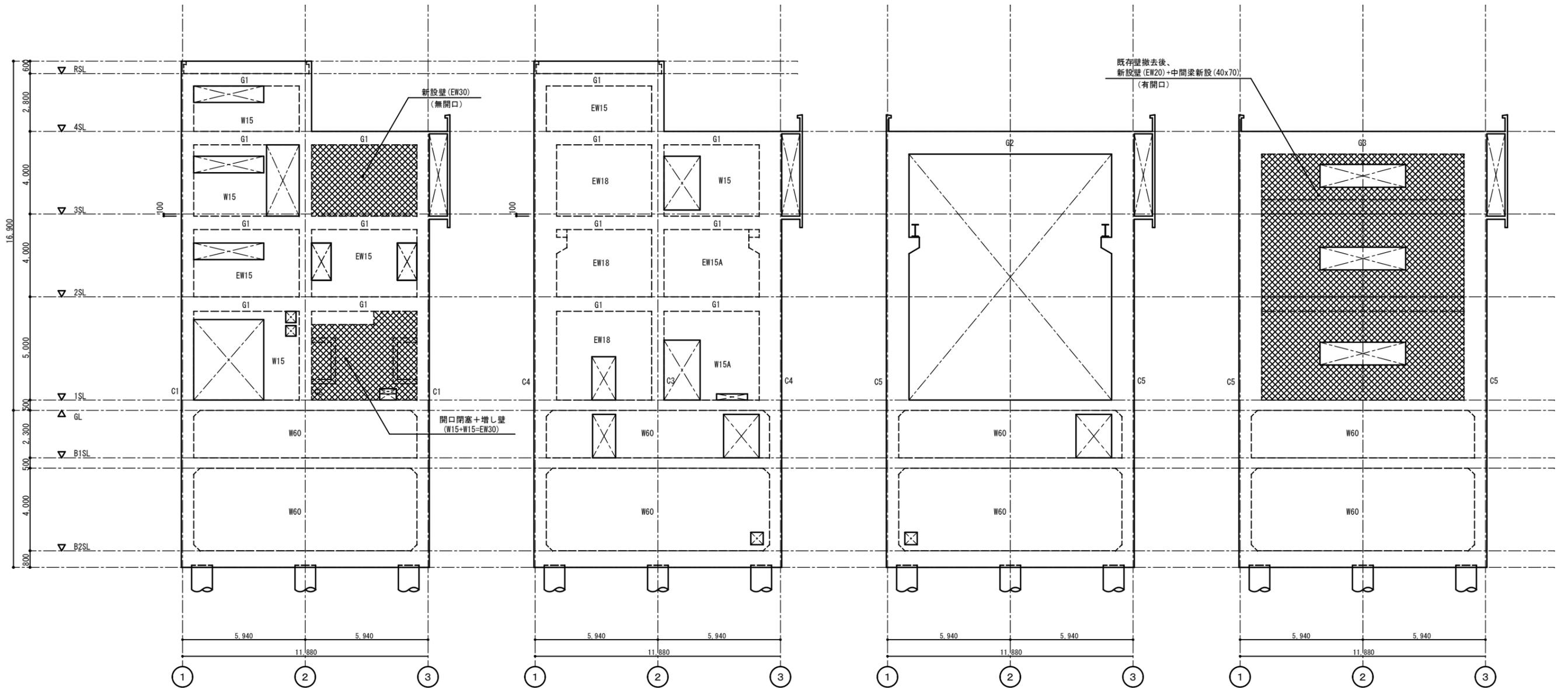
C通 軸組図

D通 軸組図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-7/87

改 修 後



A通 軸組図

B通 軸組図

改修なし

C通 軸組図

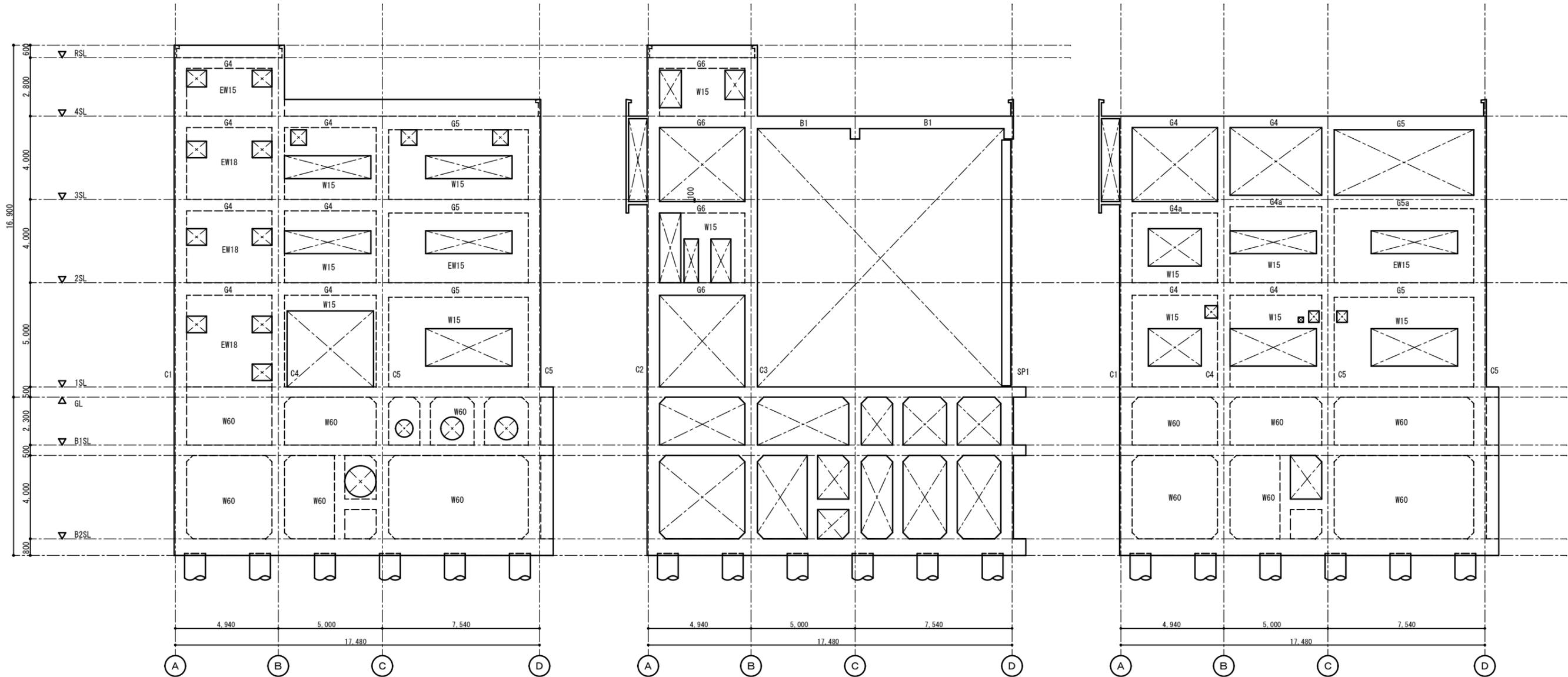
改修なし

D通 軸組図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-8/87

改 修 前



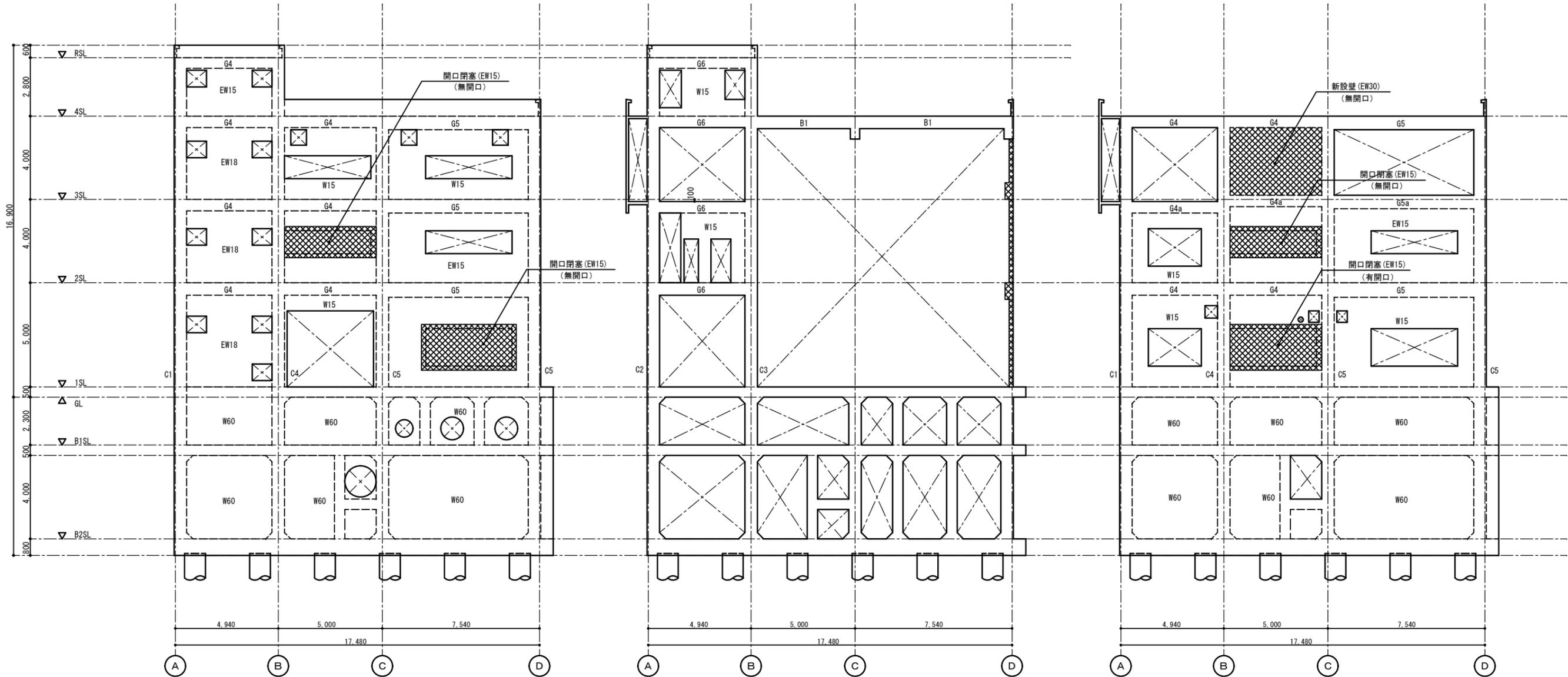
1通 軸組図

2通 軸組図

3通 軸組図

【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-9/87

改 修 後



1通 軸組図

2通 軸組図

3通 軸組図

改修なし

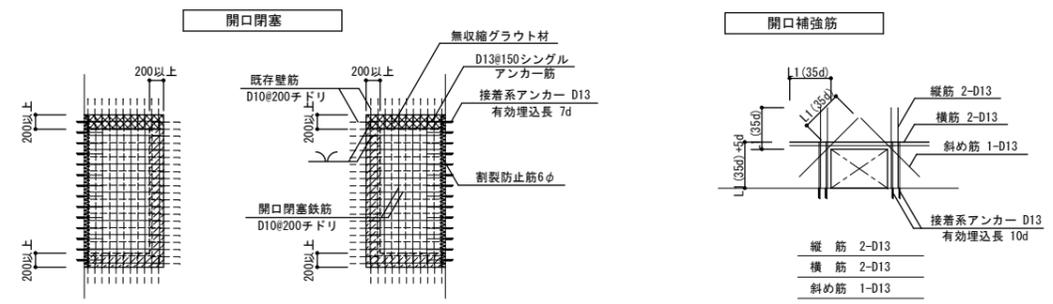
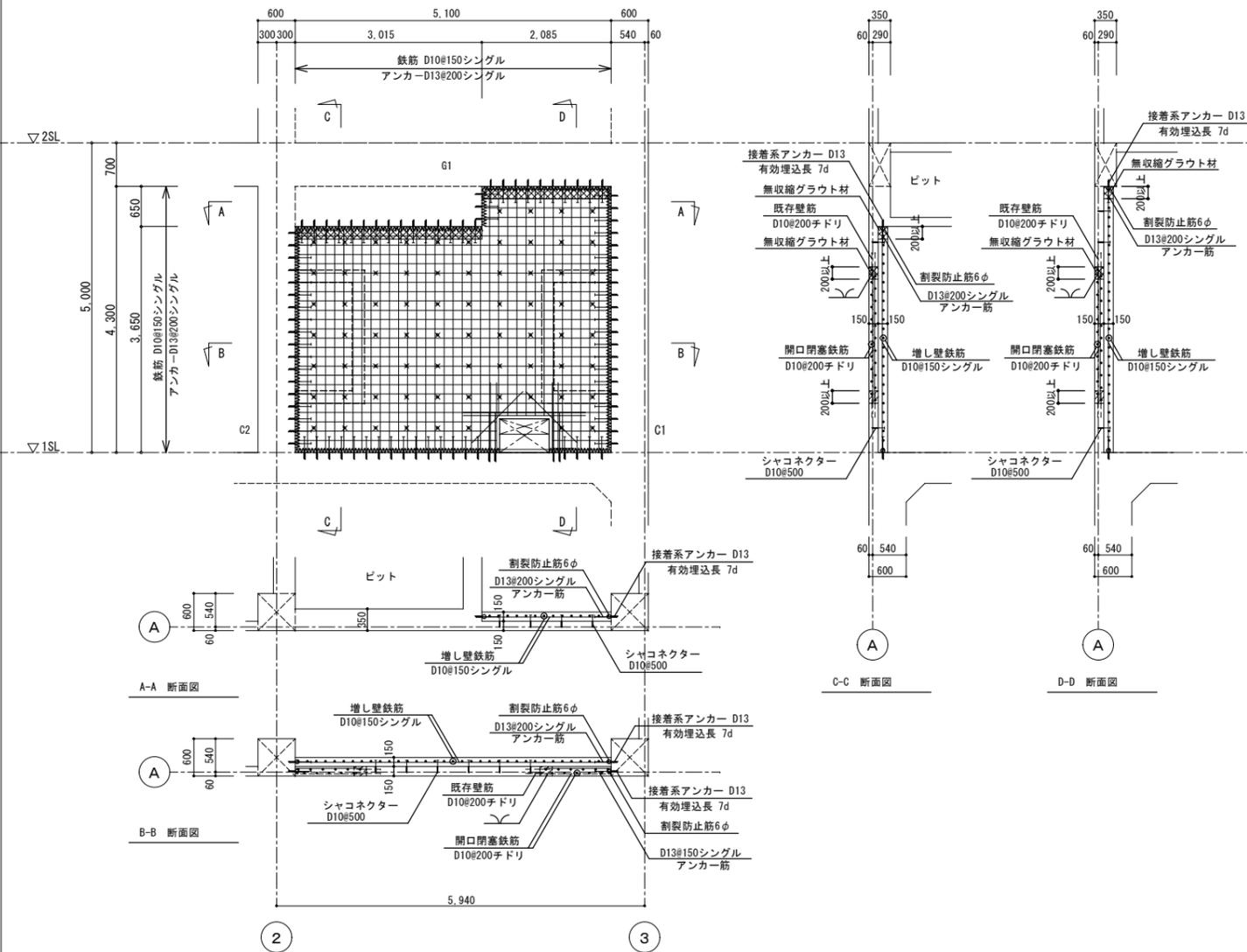
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-10/87

1階 A通×2-3間 (開口閉塞+増し壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

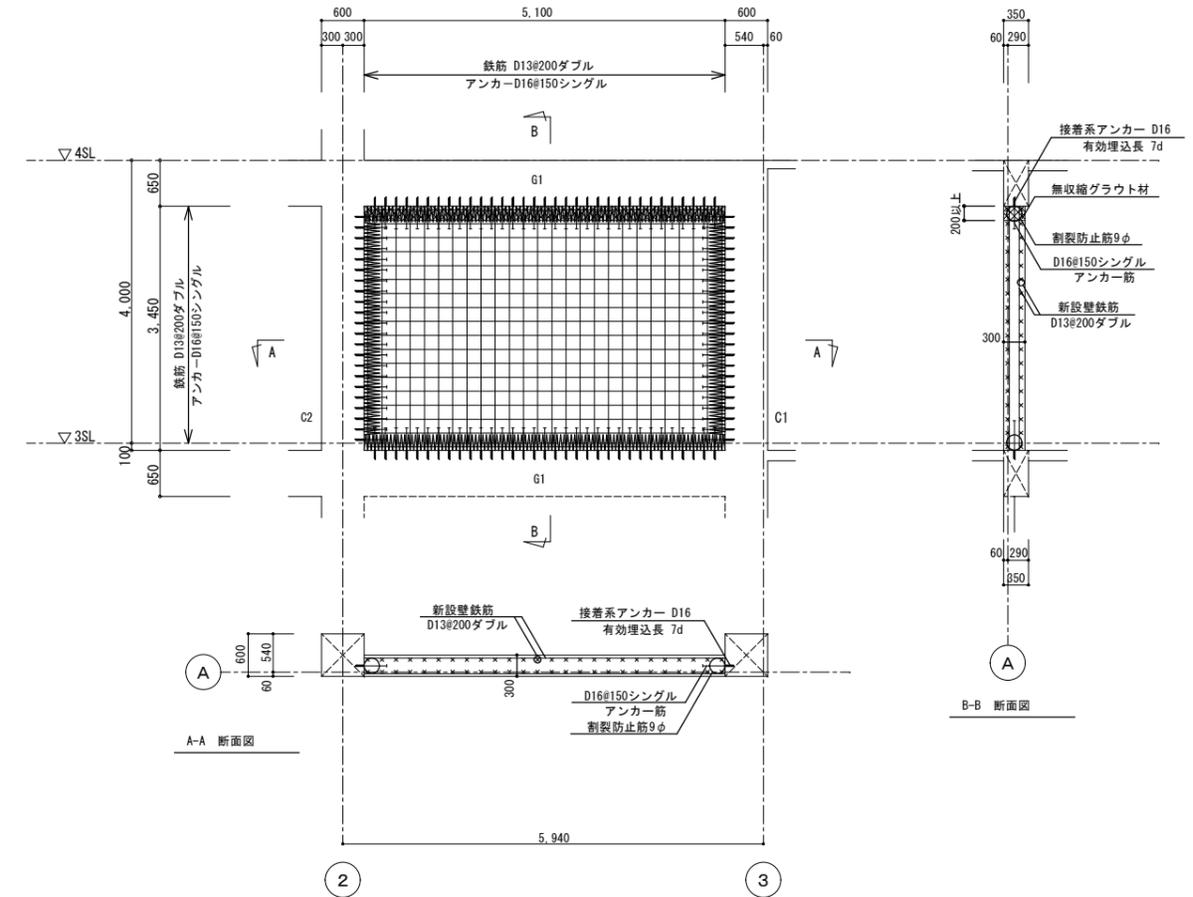
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シャコネクター	SD295A (D10)



3階 A通×2-3間 (新設壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シャコネクター	SD295A (D10)



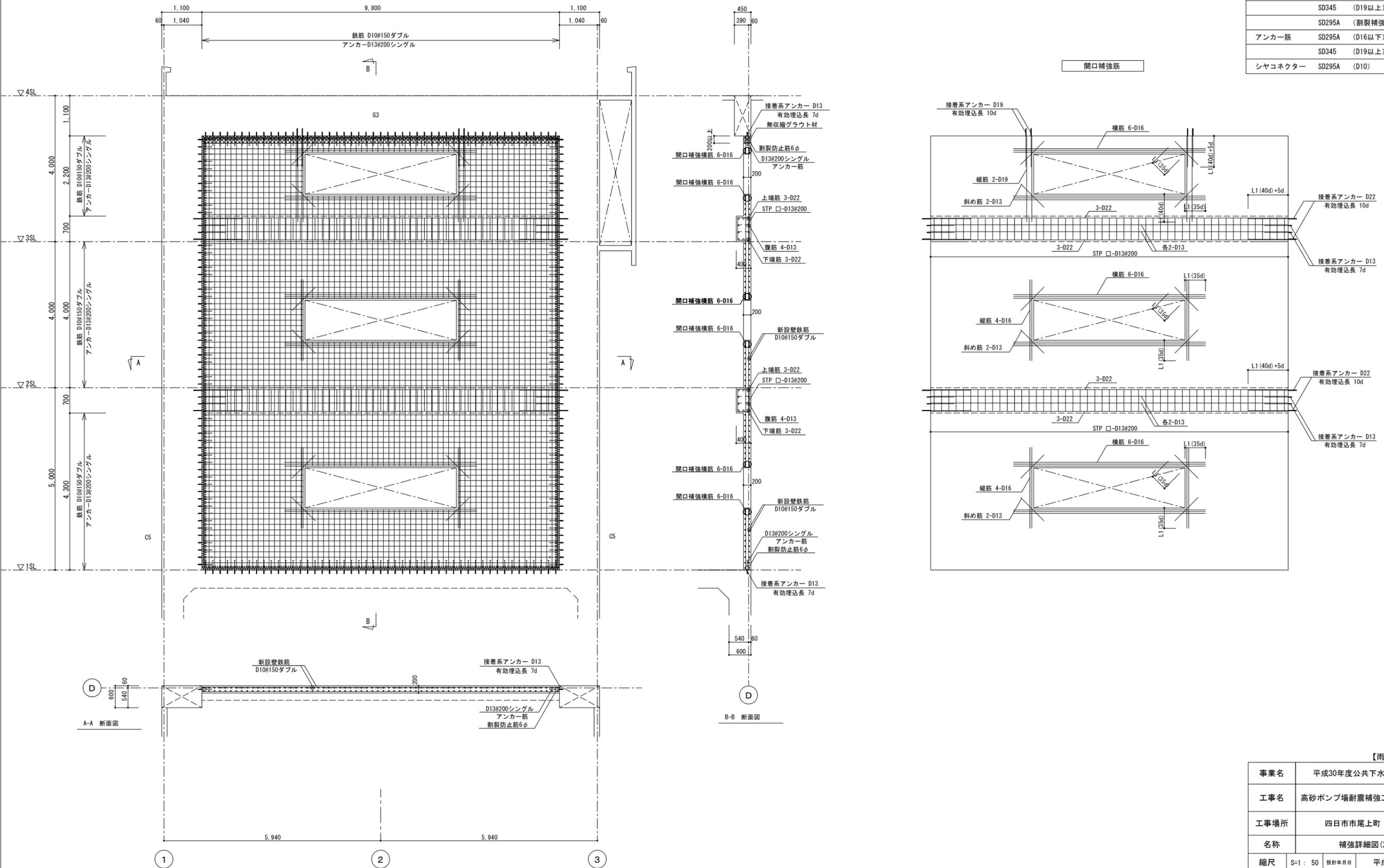
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(1)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-11/87

1 ~ 3 階 D 通 × 1 - 3 間 (新設壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



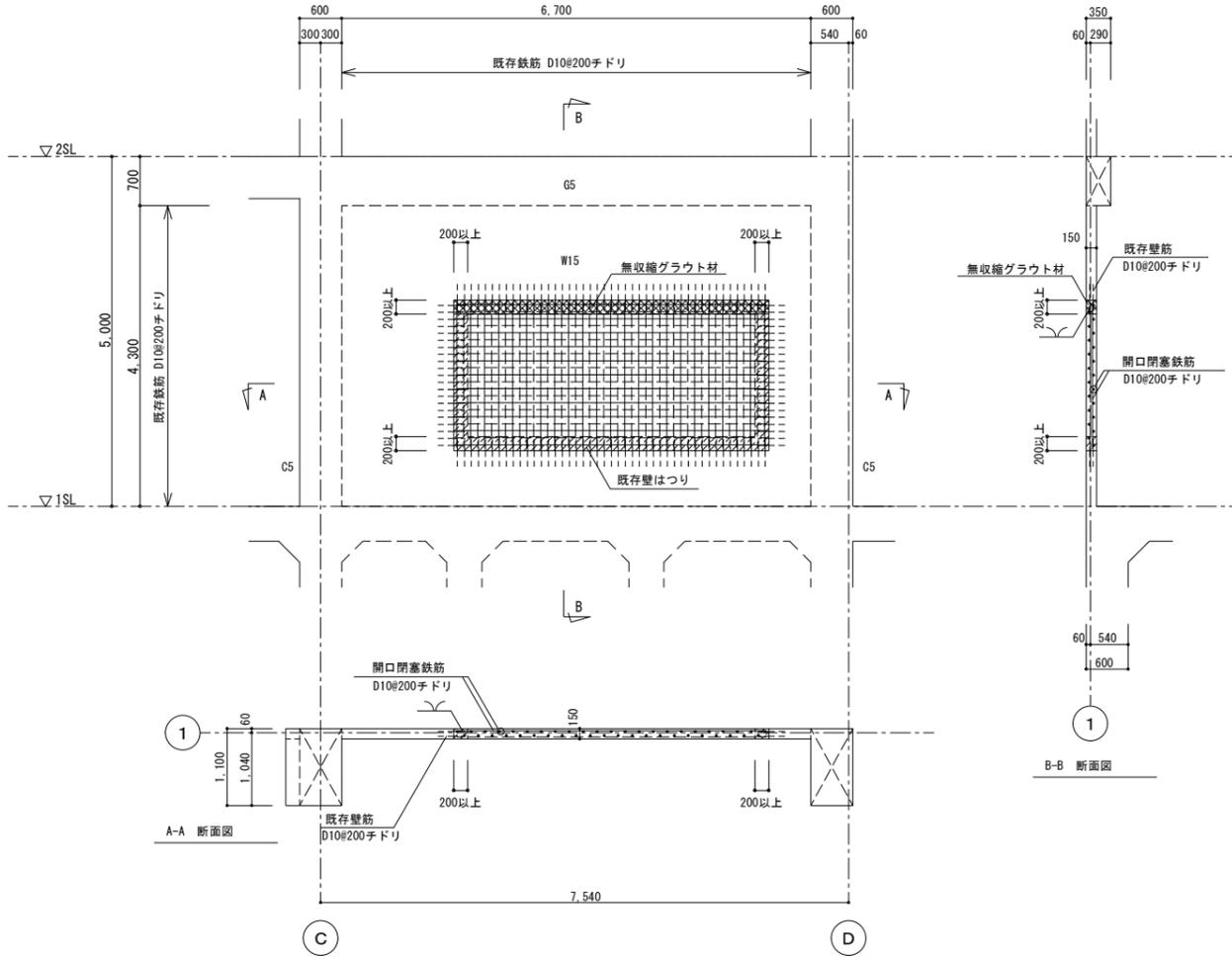
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(2)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-12/87

1階 1通×C-D間（開口閉塞）

- 註）・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10（片面100mmまたは両面50mm）とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

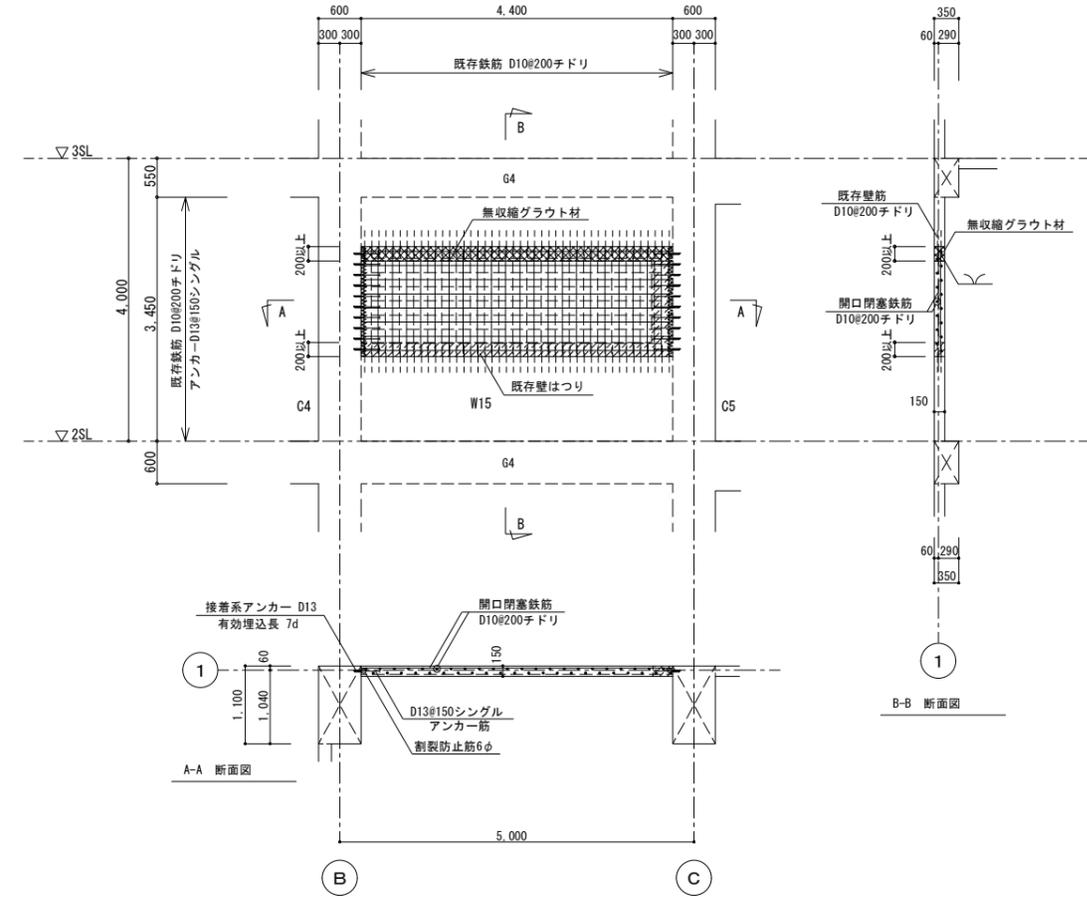
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



2階 1通×B-C間（開口閉塞）

- 註）・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10（片面100mmまたは両面50mm）とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



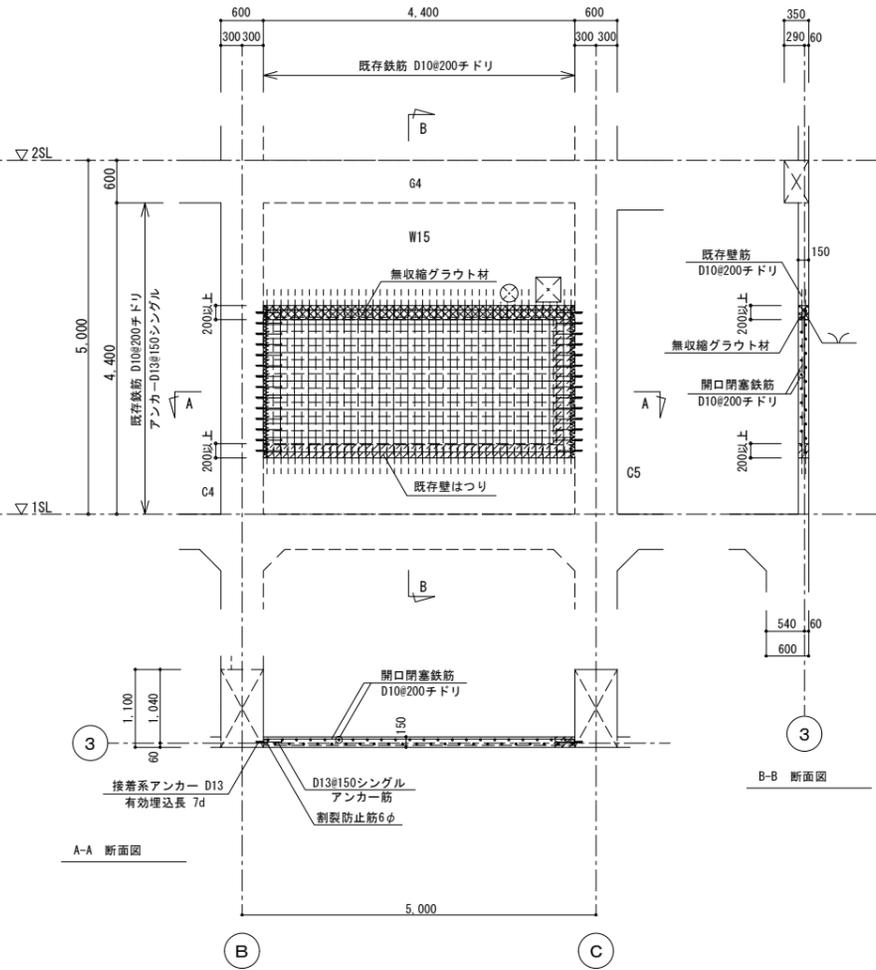
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-13/87

1階 3通×B-C間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ピード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

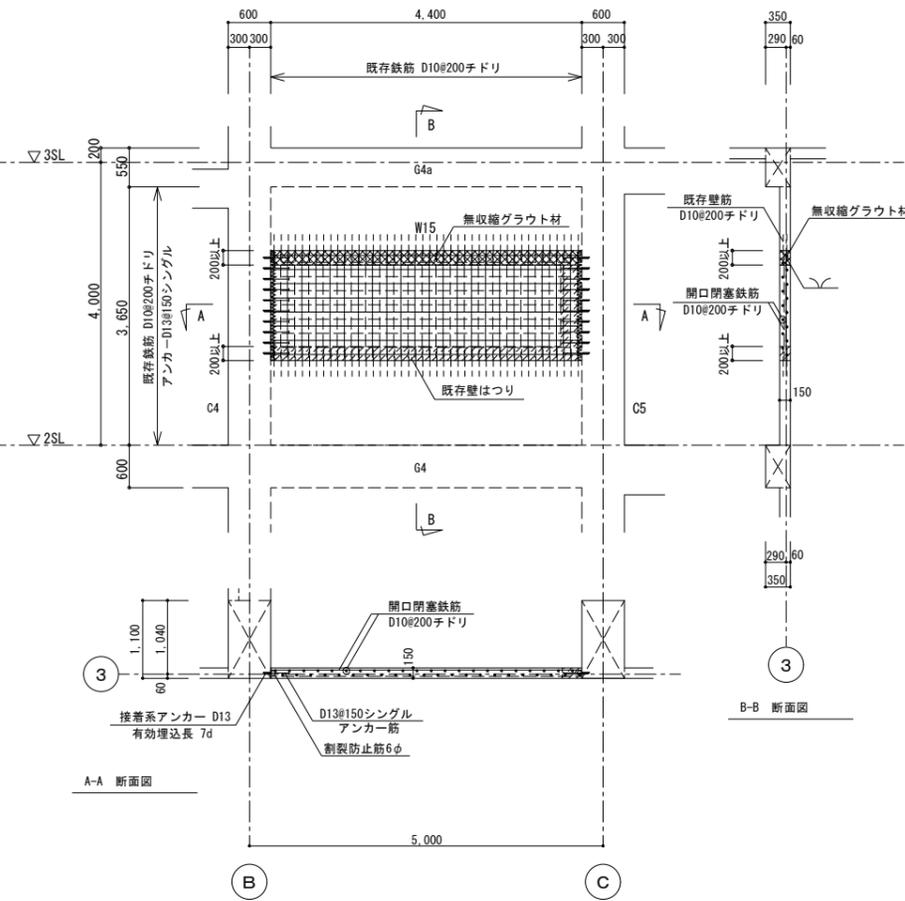
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



2階 3通×B-C間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ピード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

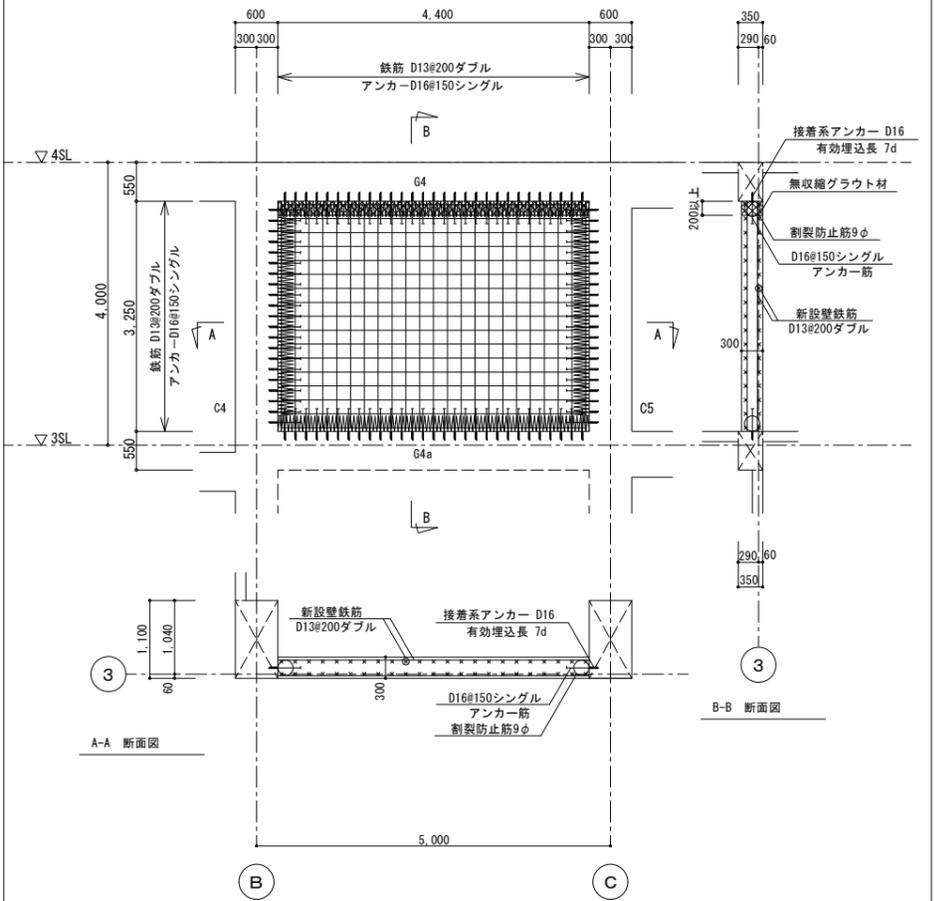
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



3階 3通×B-C間 (新設壁)

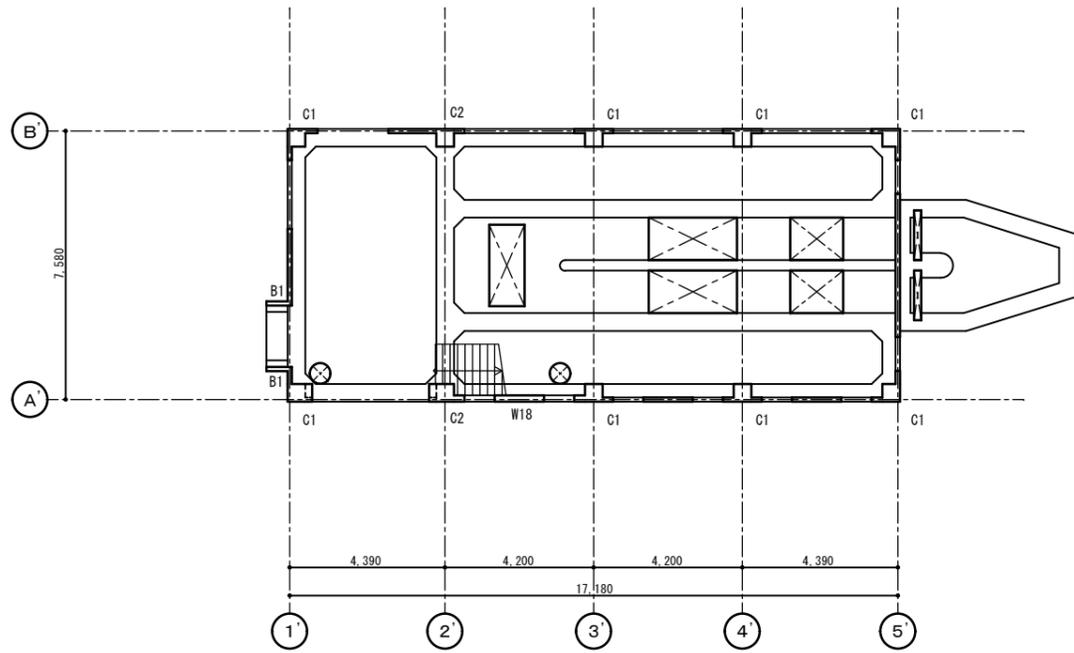
- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)

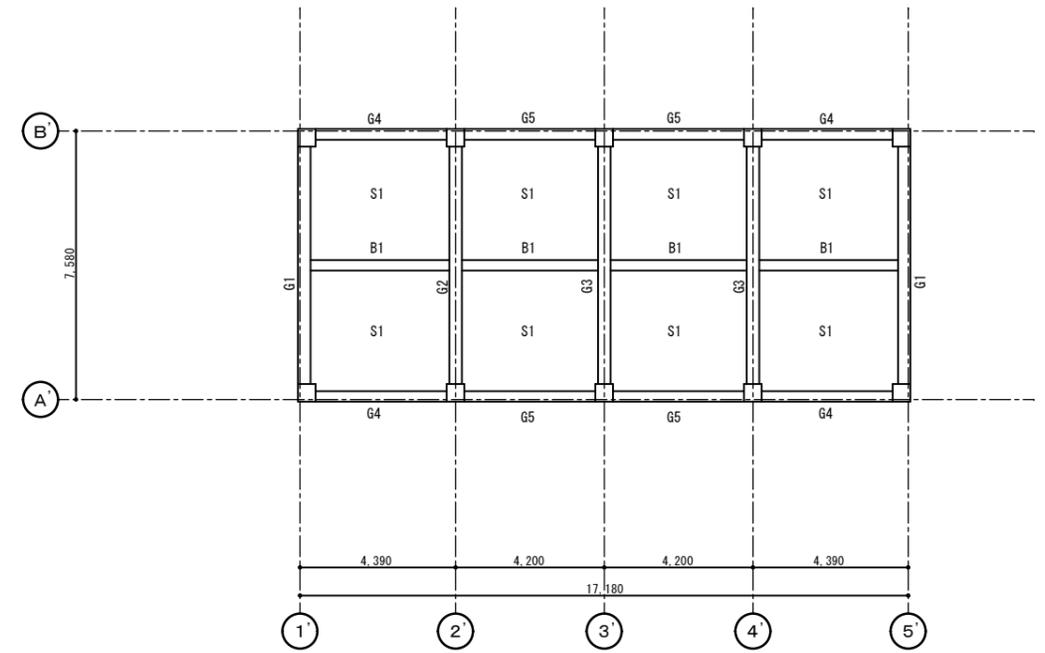


【雨水ポンプ棟】

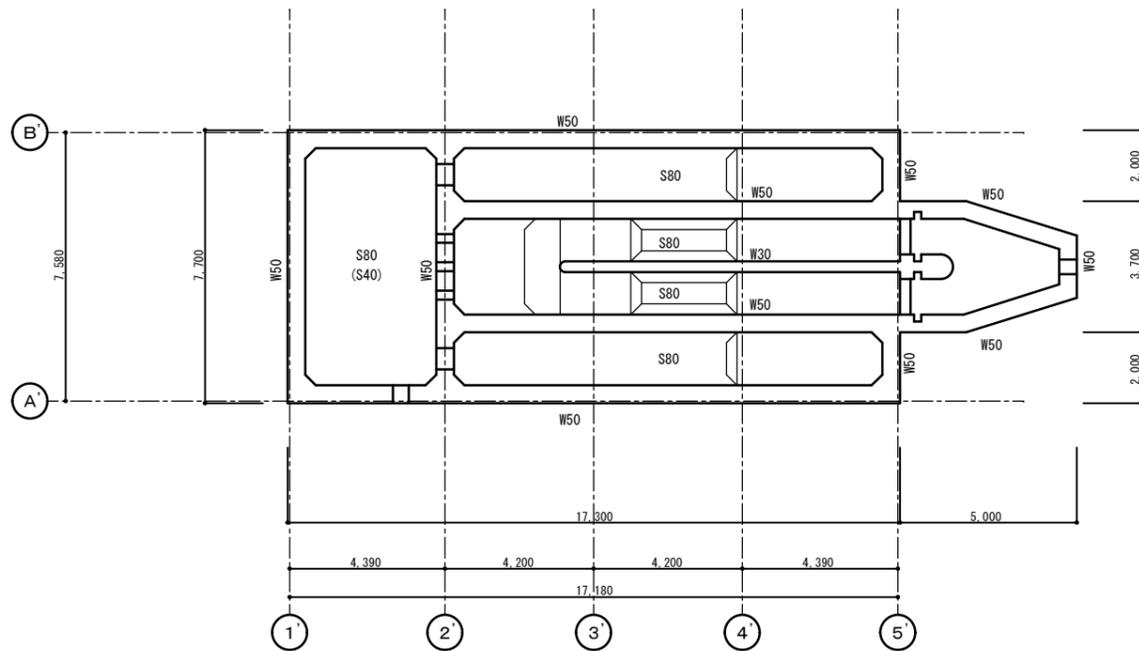
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-14/87



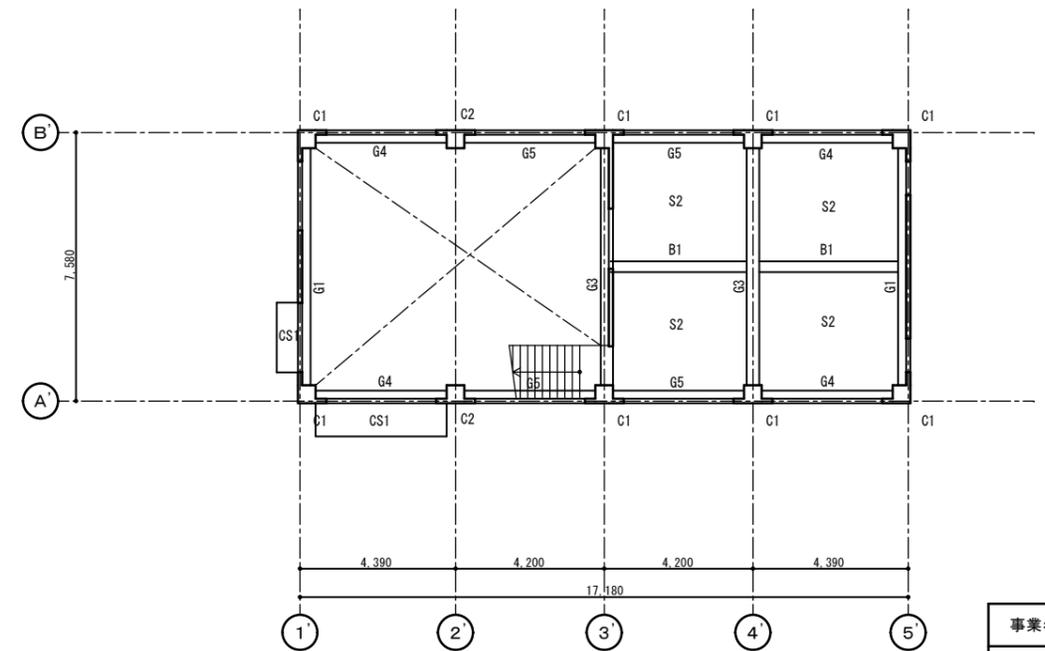
1階 伏図
特記なき限り、壁はW12



R階 伏図



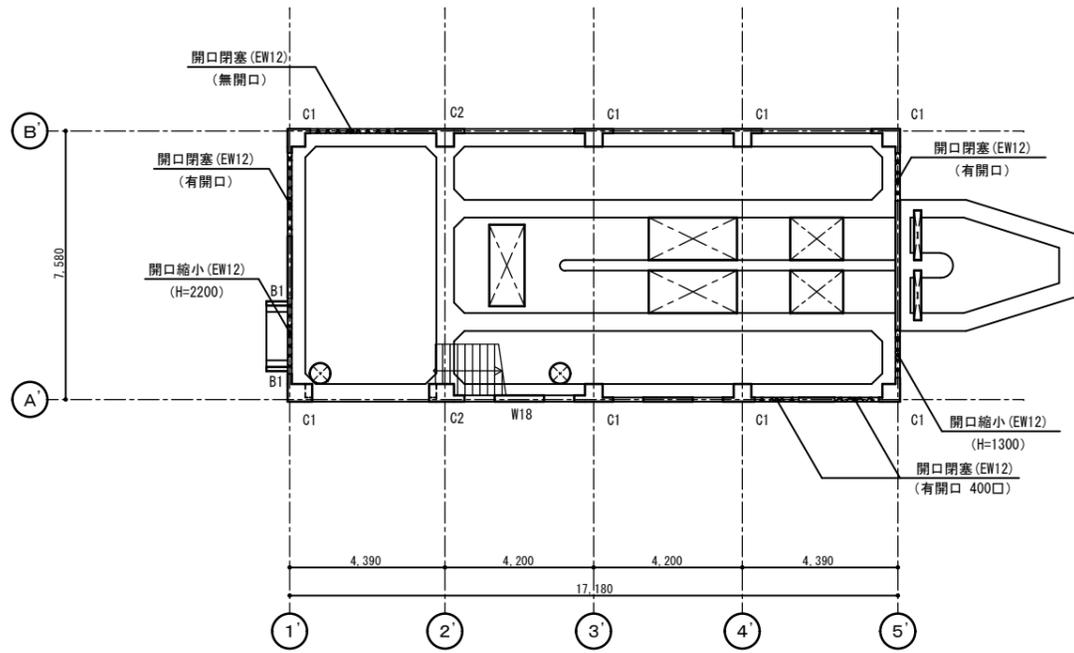
B1階 伏図



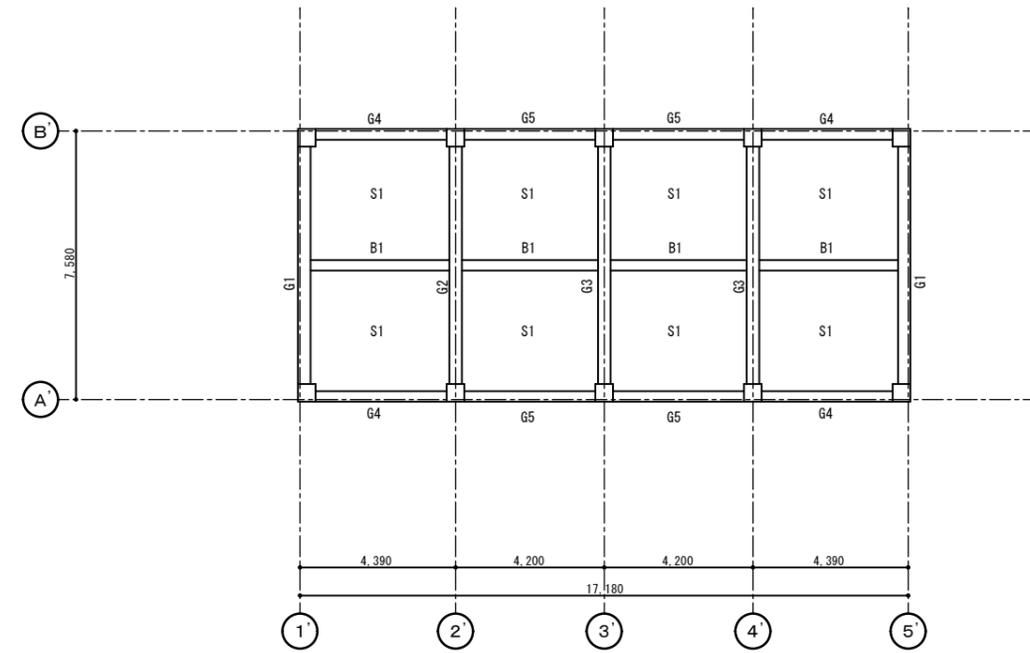
2階 伏図
特記なき限り、壁はW12



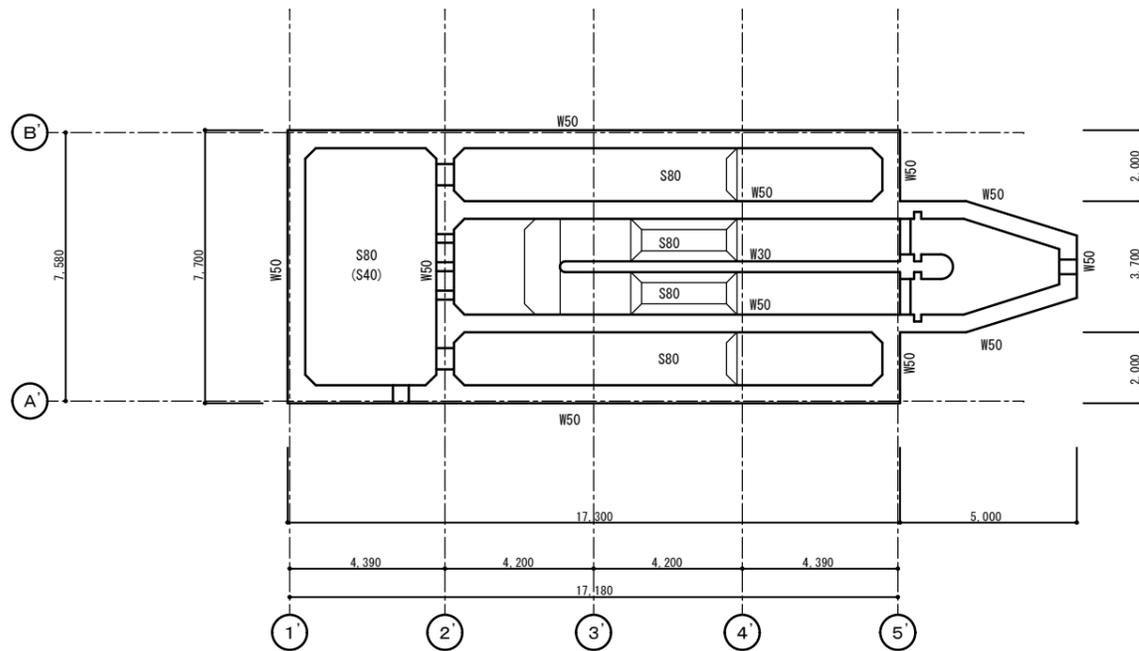
【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図		
縮尺	S=1 : 100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-15/87



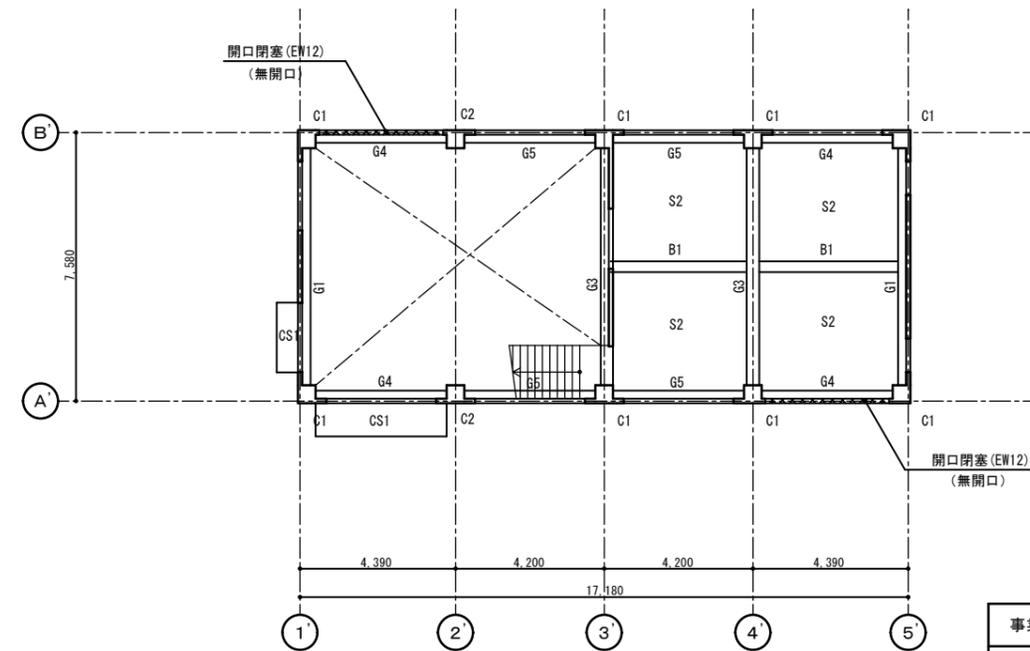
1階 伏図
特記なき限り、壁はW12



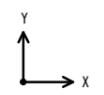
R階 伏図
改修なし



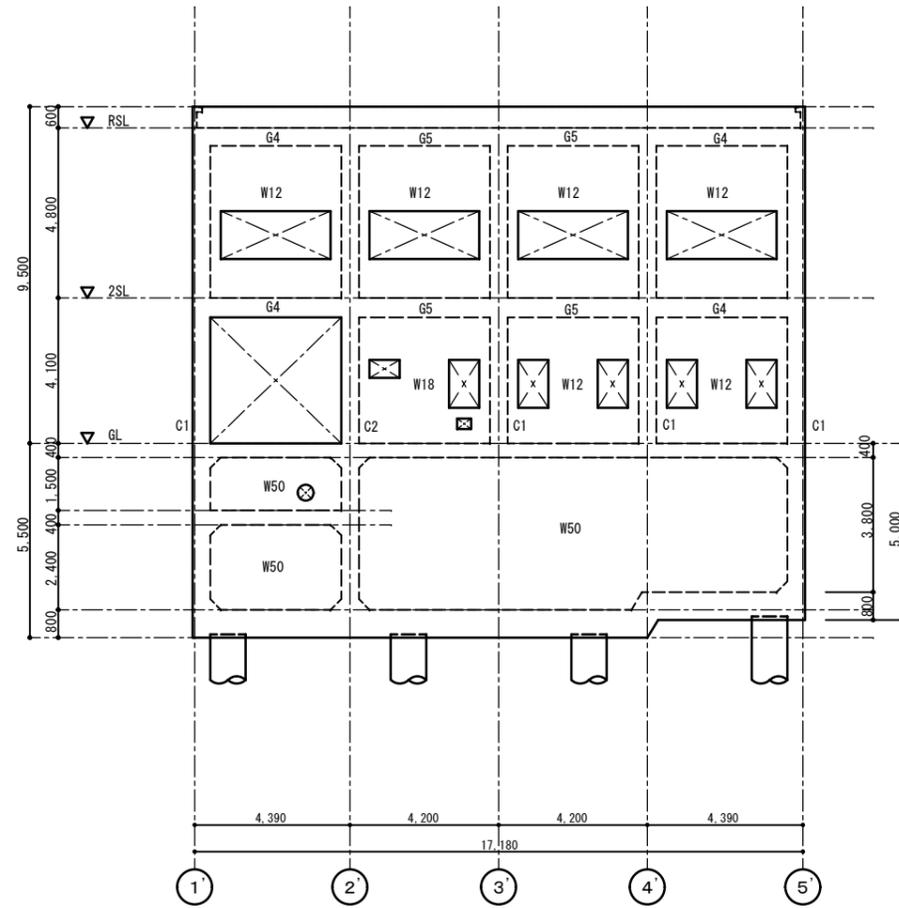
B1階 伏図
改修なし



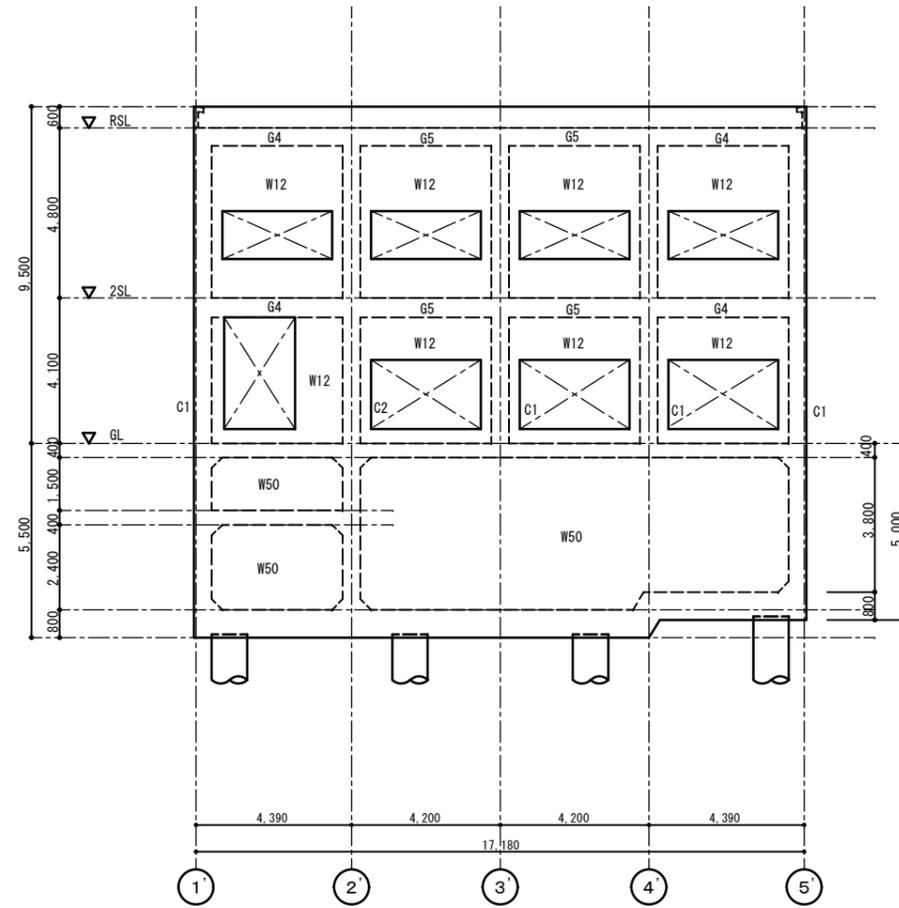
2階 伏図
特記なき限り、壁はW12



【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-16/87



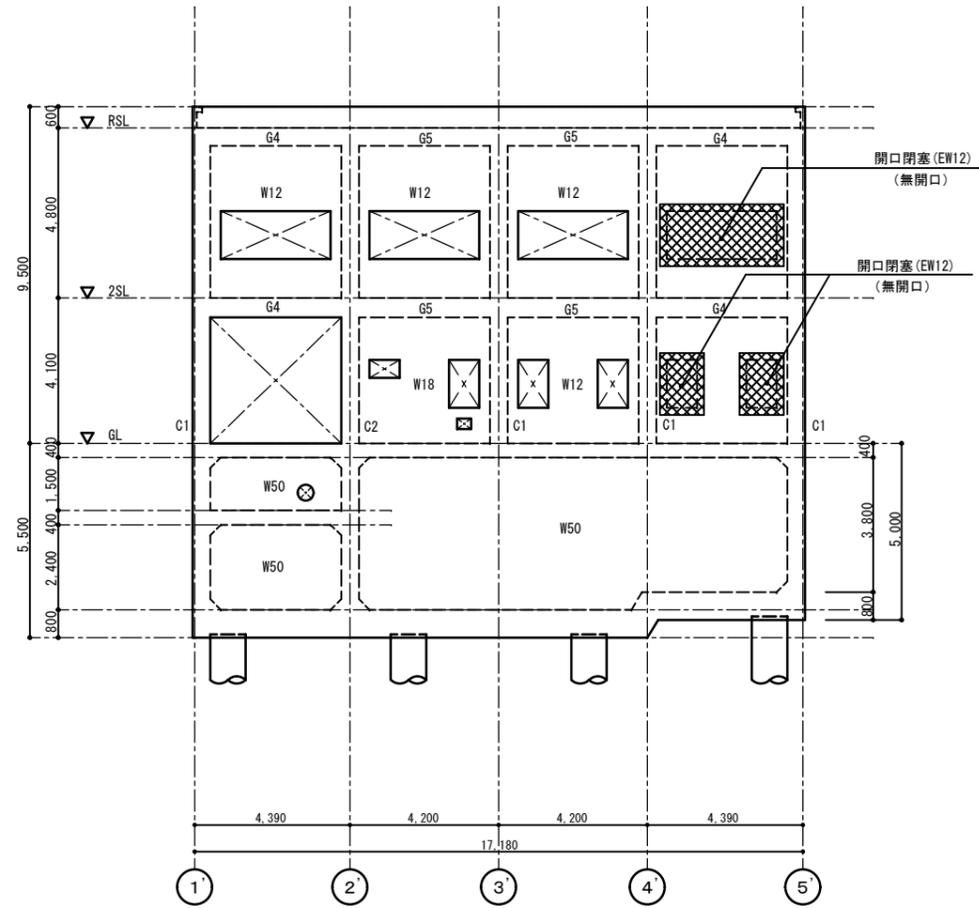
A'通 軸組図



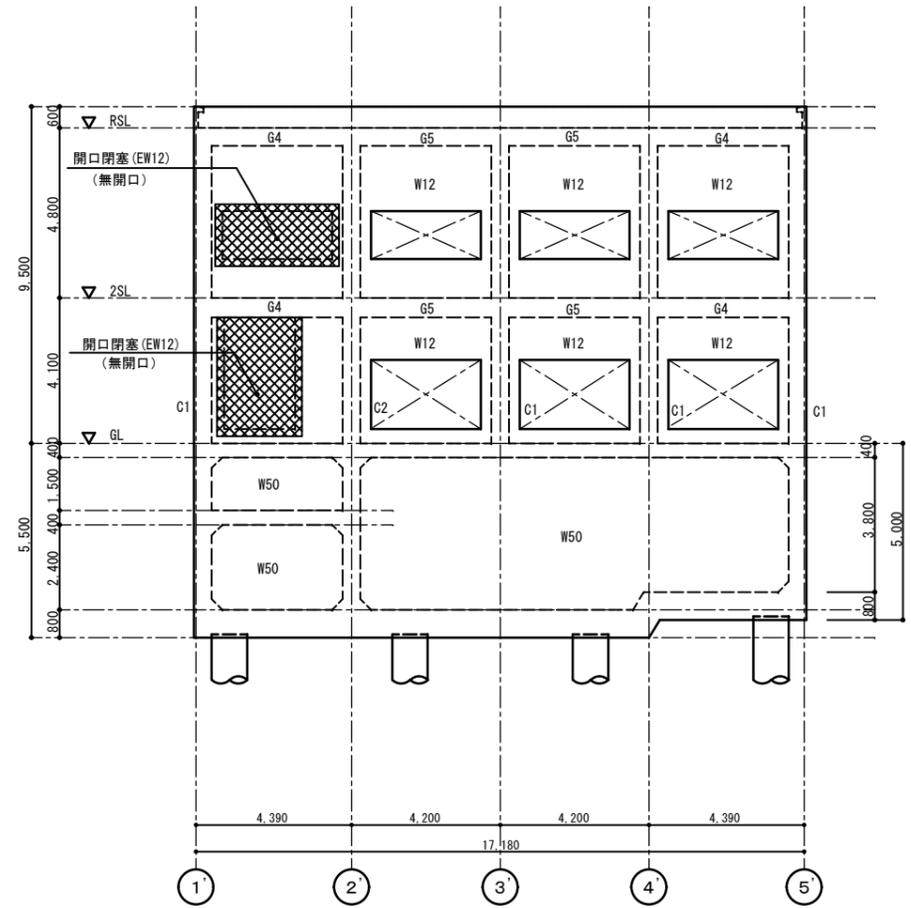
B'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-17/87



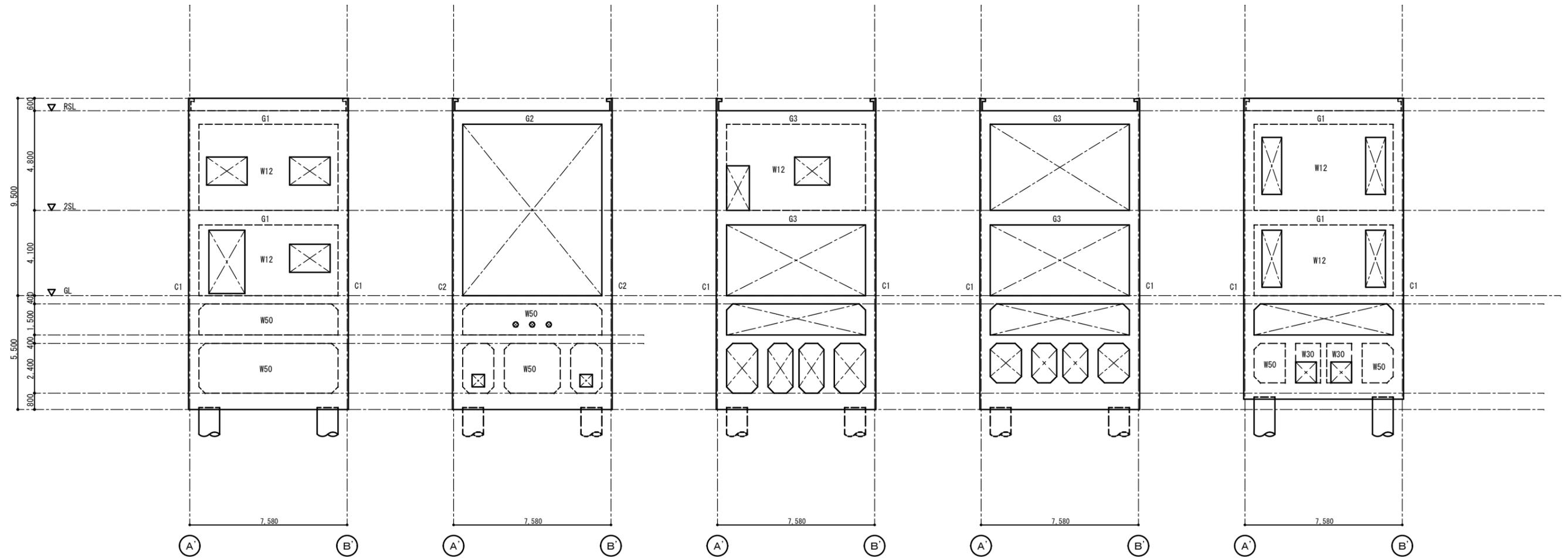
A'通 軸組図



B'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(1)		
縮尺	S=1 : 100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-18/87



1'通 軸組図

2'通 軸組図

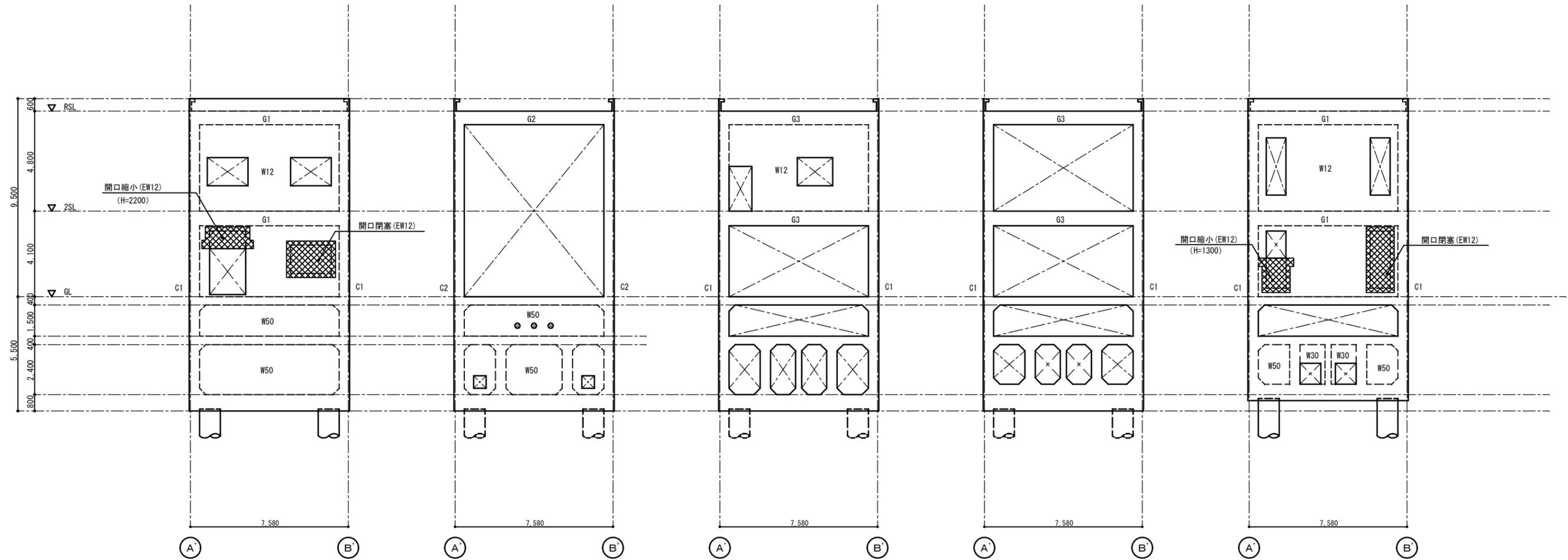
3'通 軸組図

4'通 軸組図

5'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-19/87



1'通 軸組図

2'通 軸組図

改修なし

3'通 軸組図

改修なし

4'通 軸組図

改修なし

5'通 軸組図

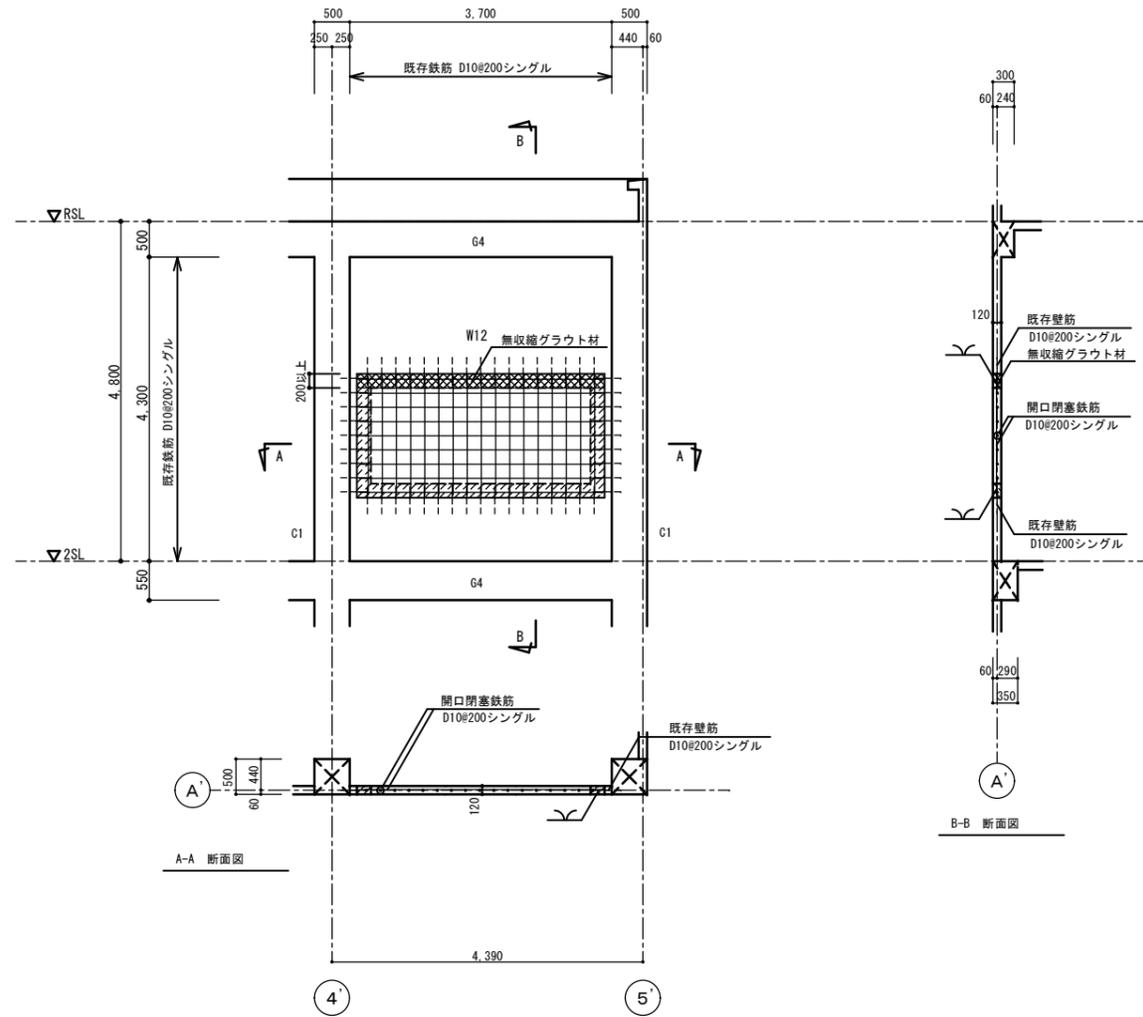
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-20/87

2階 A'通 × 4' - 5'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

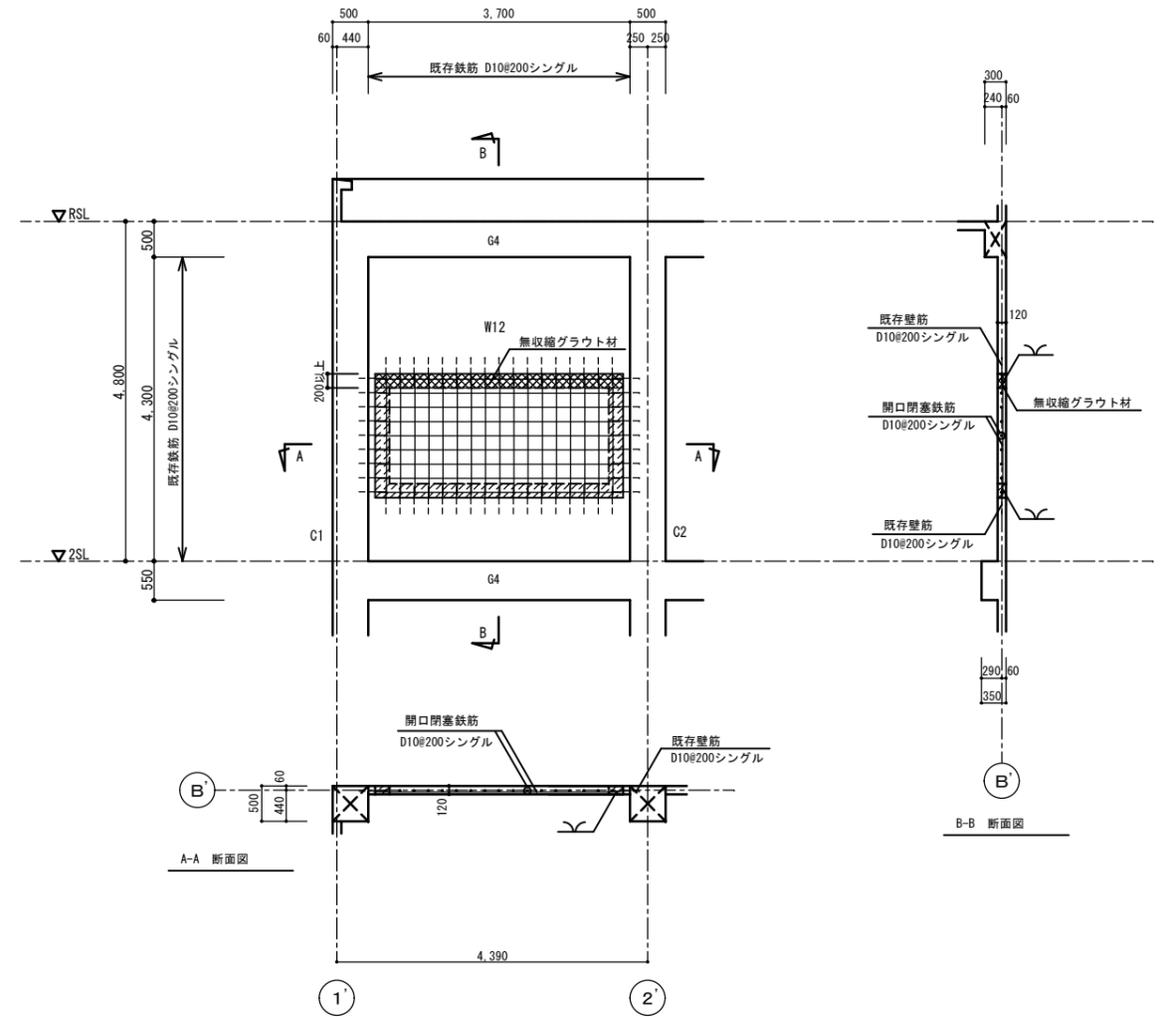
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)



2階 B'通 × 1' - 2'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)



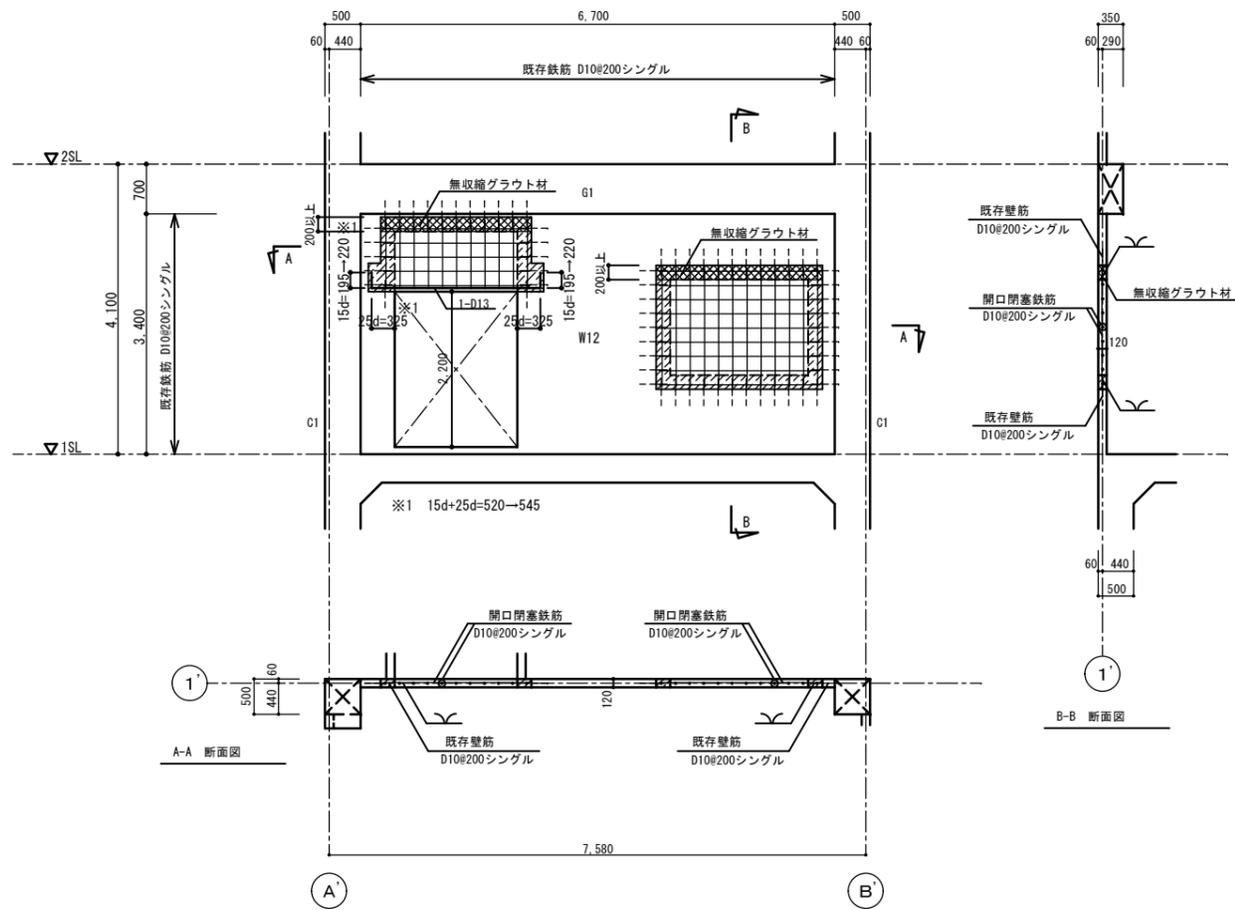
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(1)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-21/87

1階 1'通 × A'-B'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

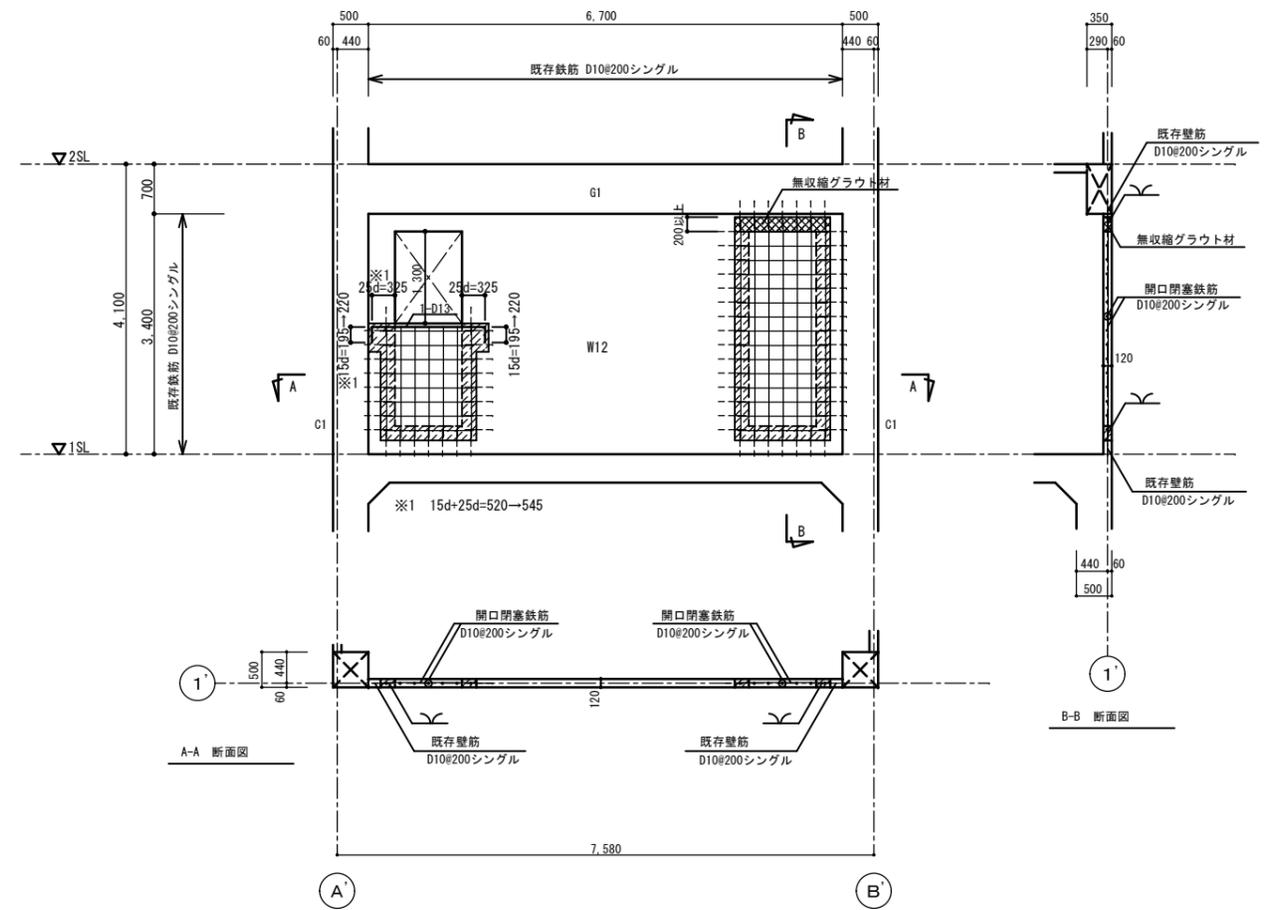
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)



1階 5'通 × A'-B'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)



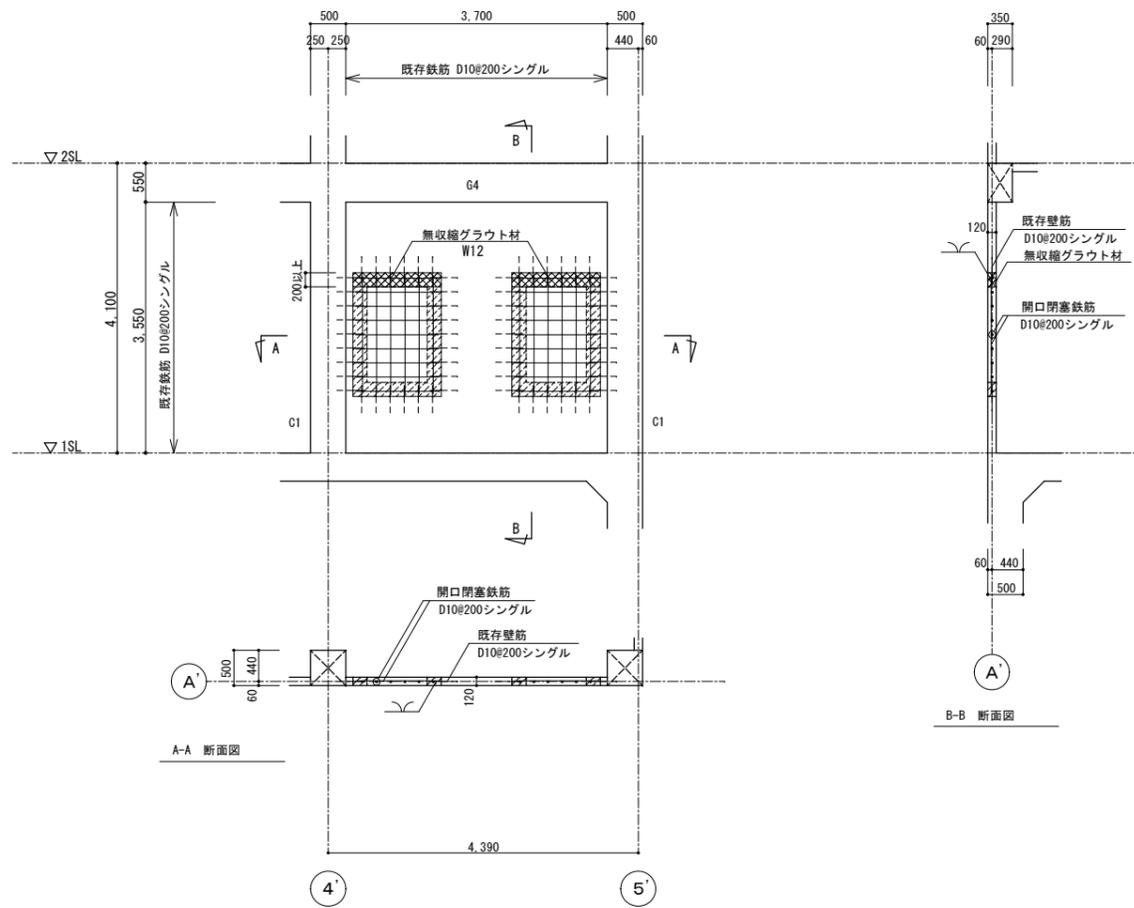
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-22/87

1階 A'通 × 4' - 5'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

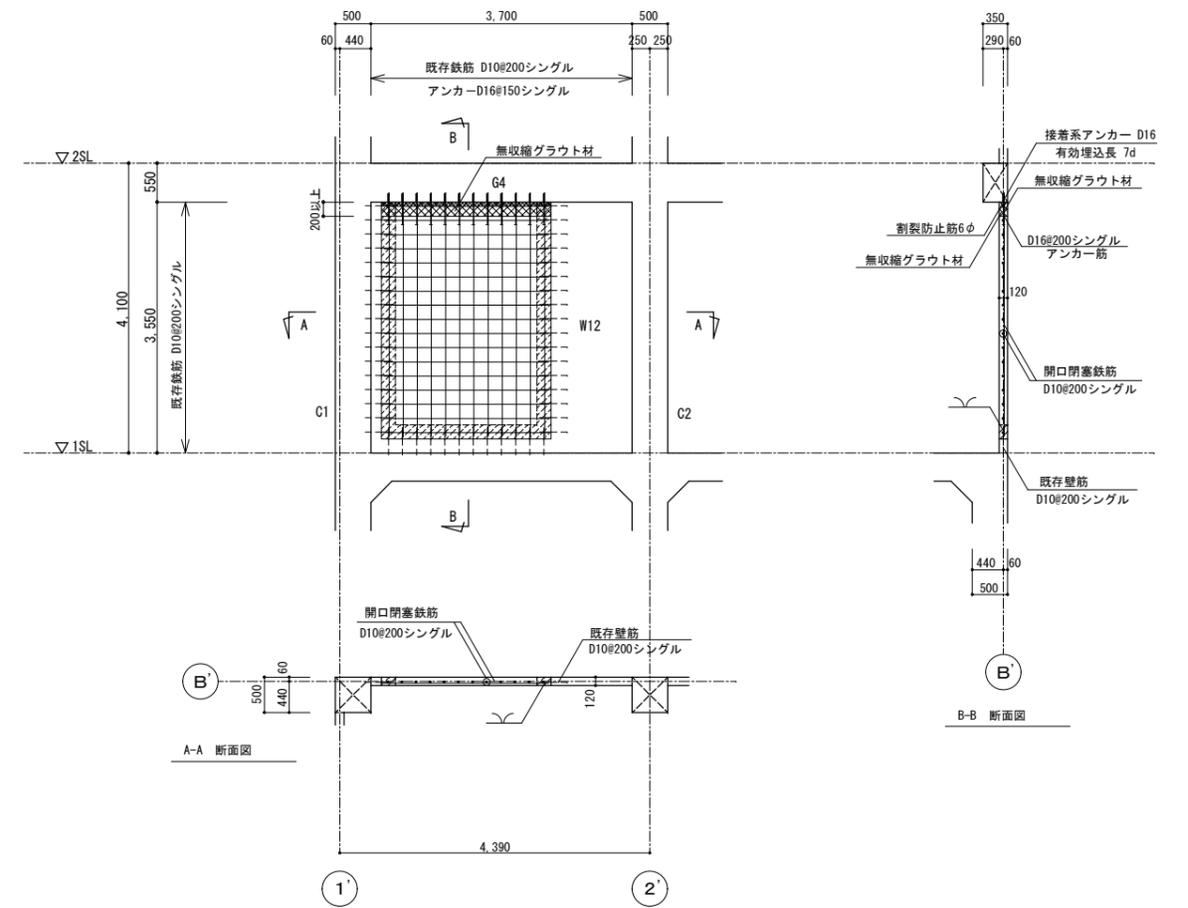
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)



1階 B'通 × 1' - 2'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。
 ・はつり範囲は、意匠図による。
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm ²)
鉄筋	SD295A (D16以下)
アンカー筋	SD295A (D16以下)



【汚水ポンプ棟】

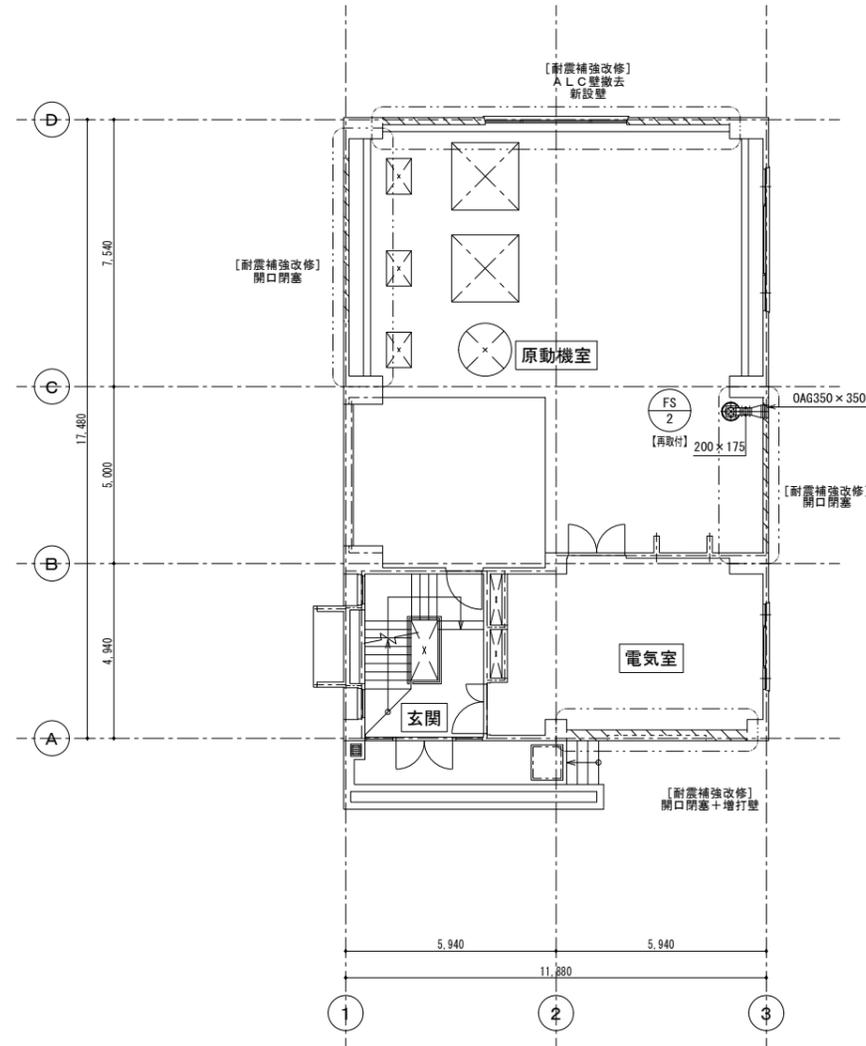
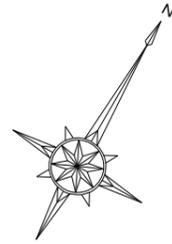
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(3)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-23/87

高砂ポンプ場耐震補強工事		設計図																																																																																																																																																																
<h3>仕様書</h3> <h4>I. 工事概要</h4> <p>1. 工事場所 四日市市尾上町 地内</p> <p>2. 建物概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>建築基準法による延べ面積 (㎡)</th> <th>消防法施行令別表第一</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨水ポンプ棟</td> <td>RC造</td> <td>地下1階/地上4階</td> <td>608.37</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>汚水ポンプ棟</td> <td>RC造</td> <td>地上2階</td> <td>195.33</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 工事項目 (○印の付いたものを適用する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物別及び屋外工事項目</th> <th colspan="2">工事項目</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td>雨水ポンプ棟</td> <td>汚水ポンプ棟</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・空気調和設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・換気設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排煙設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・自動制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衛生器具設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・給水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・給湯設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・消火設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・厨房設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガス設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・雨水利用設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水処理設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・撤去工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 指定部分 無 有 (部) 指定部分工期 平成 年 月 日</p> <p>5. 設備概要 (○印の付いたものを適用する。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方式及び種別</th> <th>設備概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調方式</td> <td>・パッケージ型空気調和機</td> </tr> <tr> <td>主要熱源機器</td> <td>・全熱交換機</td> </tr> <tr> <td>自動制御方式</td> <td>・電気式 ・電子式 ・デジタル式</td> </tr> <tr> <td>給水方式</td> <td>・高層タンク方式 ・ポンプ直送方式 ・水道直結方式 ・水道直結増圧方式</td> </tr> <tr> <td>排水方式</td> <td>建物内の汚水と雑排水 (・合流式 ・分流式) ポンプ排水 ・有 (・汚物 ・雑排水 ・湧水) ・無</td> </tr> <tr> <td>建物外放流先</td> <td>(1) 汚水 ・直放流下水管 ・公共下水道放流 (2) 雑排水 ・直放流下水管</td> </tr> <tr> <td>消火設備の種類</td> <td>・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結放水設備 ・連結送水管 ・不活性ガス消火設備 (・)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <h4>II. 工事仕様</h4> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁標準制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版 (以下「標準仕様書」という。)) 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年版 (以下「改修標準仕様書」という。)) 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成28年版 (以下「標準図」という。))</p> <p>2. 特記仕様 章、項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>章</th> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般共通事項 ()</td> <td>1 環境への配慮</td> <td>(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。</td> </tr> <tr> <td>2 材料・機材の品質等</td> <td>(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。</td> </tr> <tr> <td>3 技能士の活用</td> <td>○ 配管施工 (配管工事) ● 建築板金施工 (ダクト製作及び取付け) ○ 熱絶縁施工 (保温工事) ○ 冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ型空気調和機の据付け及び整備)</td> </tr> </tbody> </table>			建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考	雨水ポンプ棟	RC造	地下1階/地上4階	608.37			汚水ポンプ棟	RC造	地上2階	195.33															建物別及び屋外工事項目	工事項目						雨水ポンプ棟	汚水ポンプ棟				・空気調和設備						・換気設備	○	○				・排煙設備						・自動制御設備						・衛生器具設備						・給水設備						・排水設備						・給湯設備						・消火設備						・厨房設備						・ガス設備						・雨水利用設備						・排水処理設備						・撤去工事	○					方式及び種別	設備概要	空調方式	・パッケージ型空気調和機	主要熱源機器	・全熱交換機	自動制御方式	・電気式 ・電子式 ・デジタル式	給水方式	・高層タンク方式 ・ポンプ直送方式 ・水道直結方式 ・水道直結増圧方式	排水方式	建物内の汚水と雑排水 (・合流式 ・分流式) ポンプ排水 ・有 (・汚物 ・雑排水 ・湧水) ・無	建物外放流先	(1) 汚水 ・直放流下水管 ・公共下水道放流 (2) 雑排水 ・直放流下水管	消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結放水設備 ・連結送水管 ・不活性ガス消火設備 (・)									章	項目	特記事項	一般共通事項 ()	1 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。	2 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。	3 技能士の活用	○ 配管施工 (配管工事) ● 建築板金施工 (ダクト製作及び取付け) ○ 熱絶縁施工 (保温工事) ○ 冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ型空気調和機の据付け及び整備)
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考																																																																																																																																																													
雨水ポンプ棟	RC造	地下1階/地上4階	608.37																																																																																																																																																															
汚水ポンプ棟	RC造	地上2階	195.33																																																																																																																																																															
建物別及び屋外工事項目	工事項目																																																																																																																																																																	
	雨水ポンプ棟	汚水ポンプ棟																																																																																																																																																																
・空気調和設備																																																																																																																																																																		
・換気設備	○	○																																																																																																																																																																
・排煙設備																																																																																																																																																																		
・自動制御設備																																																																																																																																																																		
・衛生器具設備																																																																																																																																																																		
・給水設備																																																																																																																																																																		
・排水設備																																																																																																																																																																		
・給湯設備																																																																																																																																																																		
・消火設備																																																																																																																																																																		
・厨房設備																																																																																																																																																																		
・ガス設備																																																																																																																																																																		
・雨水利用設備																																																																																																																																																																		
・排水処理設備																																																																																																																																																																		
・撤去工事	○																																																																																																																																																																	
方式及び種別	設備概要																																																																																																																																																																	
空調方式	・パッケージ型空気調和機																																																																																																																																																																	
主要熱源機器	・全熱交換機																																																																																																																																																																	
自動制御方式	・電気式 ・電子式 ・デジタル式																																																																																																																																																																	
給水方式	・高層タンク方式 ・ポンプ直送方式 ・水道直結方式 ・水道直結増圧方式																																																																																																																																																																	
排水方式	建物内の汚水と雑排水 (・合流式 ・分流式) ポンプ排水 ・有 (・汚物 ・雑排水 ・湧水) ・無																																																																																																																																																																	
建物外放流先	(1) 汚水 ・直放流下水管 ・公共下水道放流 (2) 雑排水 ・直放流下水管																																																																																																																																																																	
消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結放水設備 ・連結送水管 ・不活性ガス消火設備 (・)																																																																																																																																																																	
章	項目	特記事項																																																																																																																																																																
一般共通事項 ()	1 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。																																																																																																																																																																
	2 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定め許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。																																																																																																																																																																
	3 技能士の活用	○ 配管施工 (配管工事) ● 建築板金施工 (ダクト製作及び取付け) ○ 熱絶縁施工 (保温工事) ○ 冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ型空気調和機の据付け及び整備)																																																																																																																																																																

4 工事用仮設物	構内につくることが ・ できる ・ できない
5 足場その他	・ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり措置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場 等 (・ 種 ・ 種 ・ 種) ・ 外部足場 等 (・ 種 ・ 種 ・ 種 ・ 種) ・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 構外搬出適切処理とする。 ・ 根切り土中の良質土 ・ 山砂の類
6 建設発生土の処理	系統図、機器等の取り扱い及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約 ㎡とする。
7 埋戻し土・盛土	機械設備工事機材承諾図様式集 (平成25年版) によるほか、監督職員の指示による。
8 運転操作説明板	○ 本工事 ・ 別途 調整項目 (測定箇所等は監督職員の指示による。) ○ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 飲料水の水质の測定
9 機材の承諾図	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。 ・ 50Hz ○ 60Hz
10 総合調整	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014年版 (独立行政法人建築研究所監修) による。(100kg以上の機器を対象とする。)
11 電動機	(1) 設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度
12 電源周波数	
13 容量等の表示	
14 耐震措置	設置場所 機器種別 ・ 特定の施設 一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層階 機器 2.0 1.5 1.5 1.0 屋上及び 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.0 塔屋 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 機器 1.0 0.6 0.6 0.4 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 地階・1階 機器 1.0 0.6 0.6 0.4 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階とは2~6階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの重要機器は次による。 [名称: ・ 記号: ・]、[名称: ・ 記号: ・] [名称: ・ 記号: ・]、[名称: ・ 記号: ・] 水槽類にはオイルタンクを含む。 (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。 (1) 地中埋設機 ・ 要 (図示による。) ・ 不要 (2) 埋設表示用テープ (2倍) ・ 要 (排水管を除く。) ・ 不要
15 地中埋設機等	(1) ステンレス配管の接合は、下記による。 ・ 呼び径60Su以下 (SAS322を満足した継手) (2) 溶接部の非破壊検査 ・ 要 (採取率 ・ 標準仕様書 (機械設備工事編) による ・ %)
16 配管	取り付け箇所及び仕様は図示による。 ・ 屋外露出部の (・ 機器類 ・ 配管類) には (・ 凍結防止ヒーター ・ 防凍保温) を行う。なお、配管類には弁類を含むものとする。 (対象機器類: ・) (対象配管類: ・ 給水管 ・ 消火管 (屋外のみ) ・ 膨張管 ・ ドレン管 (屋内のみ)) 凍結防止ヒーター: 自己サーモ式とし、防凍保温を施すものとする。 防凍保温: 標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5によるものとする。 但し、保温厚さは配管の呼び径25以下は50mm以上、呼び径32以上は40mm以上とする。 ・ 共同溝、トレンチの保温は (標準仕様書第2編の施工箇所) を適用する。 ・ 多湿箇所は下記の場所とする。(天井内共通湿潤箇所とする。) (・ 浴室 (ユニットは除く) ・ シャワー室 (ユニットは除く) ・ 脱衣室 ・) ・ 屋内露出 (・ 実験室 ・) の保温外装は (・ アルミガラスクロス ・) とする。
17 絶縁継手	露出機材の塗装仕上げは下記による。 ・ 屋外: ・ ドレン管 (・ 指定色塗装 ・) ・ 金属電線管 (・ 内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ ・ 指定色塗装) ・ 屋内: ・ EPS、ビット層を除く露出配管、電線管類 (・ 指定色塗装 ・) 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 (・) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
18 保温	(1) (・ 槽内 ・ 土間) の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製 (SUS304) とする。 事前調査 ○ 本工事 調査項目 ・ 既存資料調査 調査範囲 ・ 図示 調査方法 ・ 図示 ・ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。 ・ 石綿含有分析調査 (定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)
19 塗装	24 既存躯体への穿孔 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
20 電線類	25 試験 (1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 給水管の水道用硬質塩化ビニル管HIVIは、0.75MPaでの耐圧試験とする。 既設配管との接続の場合は、監督職員の承諾を得れば、漏れ、詰まりがない事を目視での確認で良いこととする。 既設配管は保温、埋設直前に、 給水給湯系: 24時間常圧耐圧確認 排水系: 通水確認
21 天井仕上区分	26 地工事又は他工種との取合い 工事区分表による。ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議する。
22 吊り及び支持	
23 施工調査	

空気調和設備 ()	1 設計用温度湿度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="4">屋内</th> </tr> <tr> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>一般系統</th> <th>OA系統</th> <th colspan="2">一般系統 (ACP系統)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>34.7℃</td> <td>57.7%</td> <td>2.8℃</td> <td>5.0%</td> <td>2.4℃</td> <td>4.5%</td> <td>28℃ (参考) 50% (参考)</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1.2℃</td> <td>51.8%</td> <td>1.9℃</td> <td>4.0%</td> <td>2.4℃</td> <td>4.5%</td> <td>19℃ (参考) 40% (参考)</td> </tr> </tbody> </table> <p>伸縮継手、掃出口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 ・ 低圧ダクト (・ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1500mm以下の部分)) ・ アングルフランジ工法) とする。 ・ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 取り付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) 外壁ガラリに直接取り付けられるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。</p>		外気		屋内				湿度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	OA系統	一般系統 (ACP系統)		夏季	34.7℃	57.7%	2.8℃	5.0%	2.4℃	4.5%	28℃ (参考) 50% (参考)	冬季	1.2℃	51.8%	1.9℃	4.0%	2.4℃	4.5%	19℃ (参考) 40% (参考)
		外気		屋内																											
		湿度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	OA系統	一般系統 (ACP系統)																									
	夏季	34.7℃	57.7%	2.8℃	5.0%	2.4℃	4.5%	28℃ (参考) 50% (参考)																							
	冬季	1.2℃	51.8%	1.9℃	4.0%	2.4℃	4.5%	19℃ (参考) 40% (参考)																							
	2 鋼板製煙道	(1) 防凍ダンパー 復帰方式 (・ 遠隔 ・) (2) ピストンダンパー 復帰方式 (・ 遠隔 ・)																													
	3 ダクト	(1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 塩化ビニリング鋼管 (HVA) (2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 塩化ビニリング鋼管 (VA) (3) 油管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒) (4) 高気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒) ・ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) (・ Sch40) 送 管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (白) (・ Sch80) (5) 高温水管 ・ ステンレス鋼管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) (6) 膨張管、空気抜き管、 ・ 配管用炭素鋼管 (白) 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 (7) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管 (8) ドレン管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ ビニル管 (VP) (屋外: VP、貯-VP 屋内: 保温付VP)																													
	4 風量測定口	JIS又はJV (・ 5K ・ 10K (図示部分)) 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ・ 鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。																													
	5 チャンパー	油面制御盤には (・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・) の継手を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 ・ 選りダクト (RAダクト) (保温範囲は、 ・ 図示による ・) ・ 外気取入れダクト (OAダクト) (保温範囲は、 ・ 図示による ・) ・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ・ 冷媒管の外装の種類は (・ 図示による ・)																													
	6 ダンパー	① ダクト ○ 低圧ダクト (・ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1500mm以下の部分)) ・ アングルフランジ工法) とする。 ・ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ・ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。																													
7 配管材料	取り付け箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。																														
8 弁類	浴室 (シャワー室、脱衣室を含む。) 系統 ・ (排気ガス) 系統																														
9 油面制御装置	空気調和設備の当該項目による。																														
10 保温及び消音内貼り	・ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト (・ 保温範囲及び仕様は図示による ・) ・ 全熱交換ユニット用の排気用ダクト (・ 保温範囲及び仕様は図示による ・) ・ (・ 厨房 ・ 湯沸室) 用の隠へい部ダクト (仕様はh・(イ)・IX) とし範囲は図示による。																														
換気設備	① ダクト	(1) 地中埋設機 ・ 要 (図示による。) ・ 不要 (2) 埋設表示用テープ (2倍) ・ 要 (排水管を除く。) ・ 不要																													
	② 風量測定口																														
	③ ダンパー																														
	4 排気ダクトのシール																														
排煙設備	1 ダクト																														
	2 排煙口の形式																														
	3 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)																														
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書平成20年版 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。																													
自動制御設備	1 システム構成その他	別図による。																													
	2 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属配線とする。 天井内隠へいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。																													
衛生器具設備	1 衛生器具付属水栓	水栓栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。																													
	2 洗面器	手洗器は止水栓付とする。																													
給水設備	1 配管材料	(1) 給水引込管 (直結部分) は水道事業者の指定による (・ ポリエチレン管) (2) 地中埋設配管 (コンクリート埋込) ・ 塩化ビニリング鋼管 (VD) ・ ビニル管 (HIVP) (3) その他の一般配管 (上水) (加温) ・ 塩化ビニリング鋼管 (VA) (図示の箇所) (雑用水) ・ 塩化ビニリング鋼管 (VA)																													
	2 水栓	台所流し用の水栓は泡沫式とする。 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。																													
	3 量水器	・ 親メーター (貸与品) (・ 直読式 ・ バルス式) ・ 子メーター (買い取り) (・ 直読式 ・ バルス式) 遠隔表示器付																													
	4 量水器弁	・ 水道事業者指定品 (・ 貸与品 ・ 買い取り (材質: ・)) ・ 標準図MC形																													
	5 弁類	JIS又はJV ・ 水道直結部分 (・ 10K ・) ・ その他の部分 (・ 5K ・)																													
	6 管の地中埋設深さ	・ 逆止弁の衝撃吸収はライニング不要とする。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 管の上端より原則として、一般敷地は (30cm) 構内通路は (60cm) 以上とする。																													
	7 水栓柱	・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ 不凍水栓 ・ ステンレス製																													
	8 建物導入部配管	・ 標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) による。 ・ ポリエチレン配管の施工要領は図示による。																													
	9 引込納付金等	・ 要 ・ 不要																													
	10 保温	次のタンクの保温を行う。 ・ 鋼板製タンク ・ ステンレス製タンク																													

排水設備	1 配管材料	(1) 屋内 汚水管 ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 雑排水管 ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 通気管 ・ 排水用炭素鋼管 (白) ・ ビニル管 (VP) ・ 耐火二層管 ポンプアップ排水管 ・ 排水用ノクターンエポキシ塗装鋼管 (2) 屋外 第一崩まで ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ ビニル管 (VP) ・ ビニル管 (VP) ・ リサイクルビニル管 (RS-VU)
	2 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トランプより1サイズアップとする。 台所流し等の床上面出部分の配管は、ビニル管 (VP) でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除 流しとの接続管は、ビニル管 (VP) とする。
	3 満水試験継手	取り付け箇所は図示による。
	4 放流納付金等	・ 要 ・ 不要
給湯設備	1 配管材料	・ ステンレス鋼管 ・ 塩化ビニリング鋼管 (HVA) ※地中埋設配管は、WH T L P
	2 弁類	・ ステンレス配管を使用する場合の材質は、ステンレス製とする。 JIS又はJV (・ 5K ・ 10K (図示部分))
消火設備	1 配管材料	(1) 屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 配管用炭素鋼管 (白) 地中 ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ・ 外面被覆鋼管 (VS) (2) 連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (白) (・ Sch40) 地中 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (白) (・ Sch40)
	2 建物導入部配管	標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) による。
	3 不活性ガス消火設備	別図による。
	4 消火設備	別図による。
厨房設備	1 システム	・ ドライシステム ・ 図示による。
	2 機器の機能等	
ガス設備	1 ガス種別	・ 都市ガス (供給者名: 発熱量 MJ/m3 (N)) ・ 液化石油ガス
	2 配管材料	・ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガス (1) 一般: ・ 配管用炭素鋼管 (白) (2) 地中: ・ ポリエチレン管 ・ 外面被覆鋼管 (VL)
	3 充てん容器	別途 (・ 50kg ・) × 4本
	4 集合装置	標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 4本組。
	5 転倒防止等	標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) の (・ (a) ・ (b)) による。
	6 メーター	・ 親メーター (貸与品) (・ 直読式 ・ バルス式 (バルス発信器は ・ 買い取り)) ・ 子メーター (買い取り) (・ 直読式 ・ バルス式)
雨水利用設備	7 ガス漏れ警報器	・ 本工事 (図示による。) ・ 別途工事
	8 漏洩検知装置	・ 要 ・ 不要
	9 電気防食	・ 要 ・ 不要
	10 引込負担金等	・ 要 ・ 不要
	1 仕様等	別図による。
	2 設備方式	・ 排水再利用 ・ 浄化槽 ・ 厨房除害
排水処理設備	1 仕様等	別図による。
	2 設備方式	・ 排水再利用 ・ 浄化槽 ・ 厨房除害
撤去工事	① 撤去内容	図示による
	2 支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。
発生材の処理	3 石綿含有材撤去	撤去方法 ・ 図示による
	4 冷媒 (700g) の回収	冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。 (1) 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。 (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し (イ) フロン類回収証明書 引き渡すを要するものは、金属類 (・ 機器 ・ ダクト ・ 配管 ・ その他の金物)、 (・ ・ ・ ・) とする。 特別管理産業廃棄物は (・ ・ ・ ・) とする。 再生资源化を図るもの (・ ・ ・ ・) とする。 引き渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とし、搬出費及び処分費は (・ 本工事 ・ 別途) とする。
【雨水ポンプ棟】		
事業名	平成30年度公共下水道事業	
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事	
工事場所	四日市市尾上町 地内	
名称	機械特記仕様書 (1)	
縮尺	-	設計年月日 平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号	AM-1/87

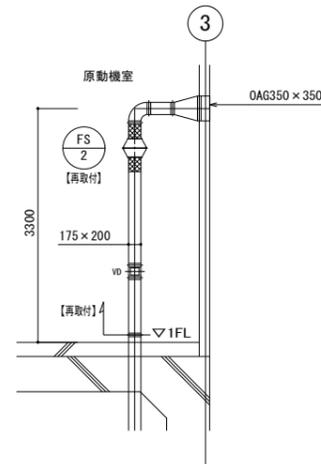


1階平面図 1/100

改修機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FS-2	給気ファン	1階 原動機室系統	形式 斜流ファン 250φ × 400m ³ /h × 120Pa	1	100	0.1		1	1階 原動機室	【再取付】

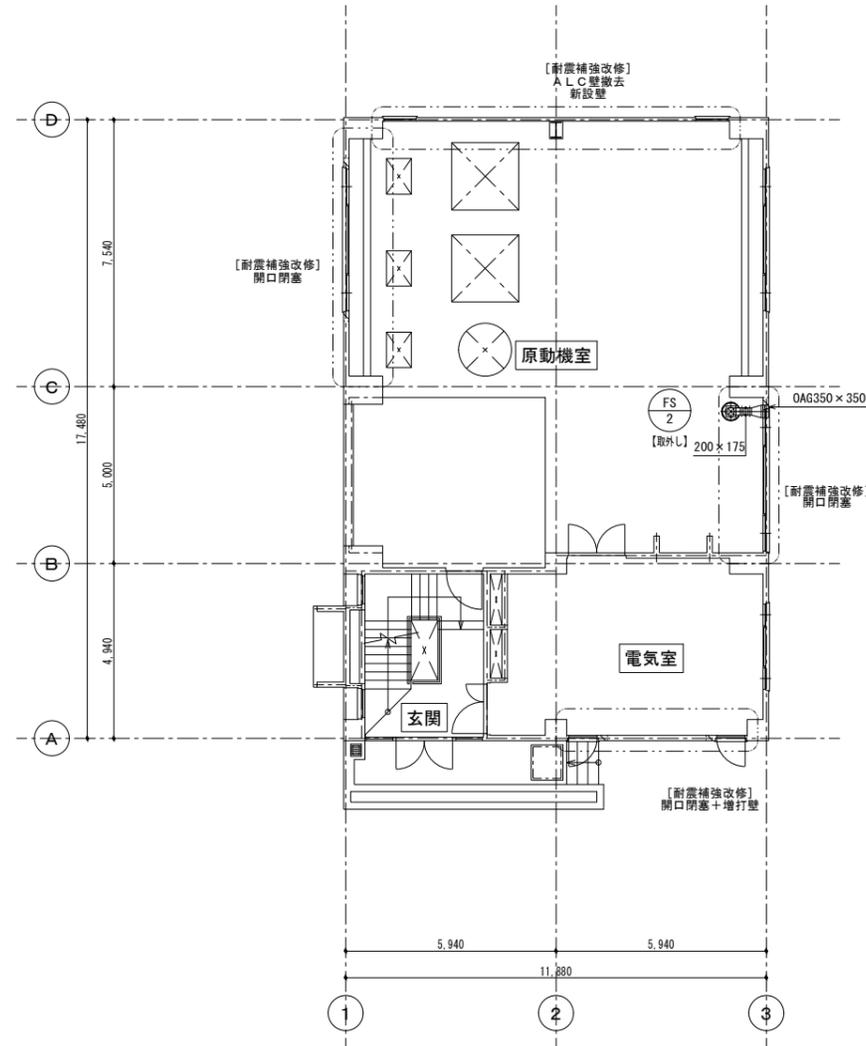
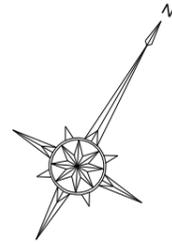
1. 電気容量は参考値とする。



部分断面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修後)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AM-3/87

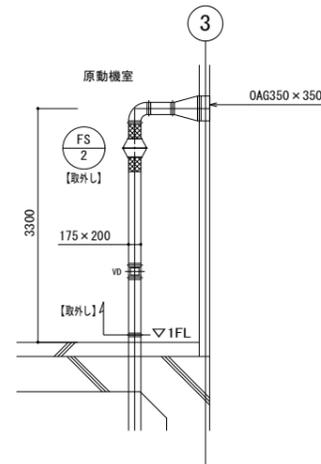


1階平面図 1/100

撤去機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FS-2	給気ファン	1階 原動機室系統	形式 斜流ファン 250φ × 400m ³ /h × 120Pa	1	100	0.1		1	1階 原動機室	【取外し】

1. 電気容量は参考値とする。

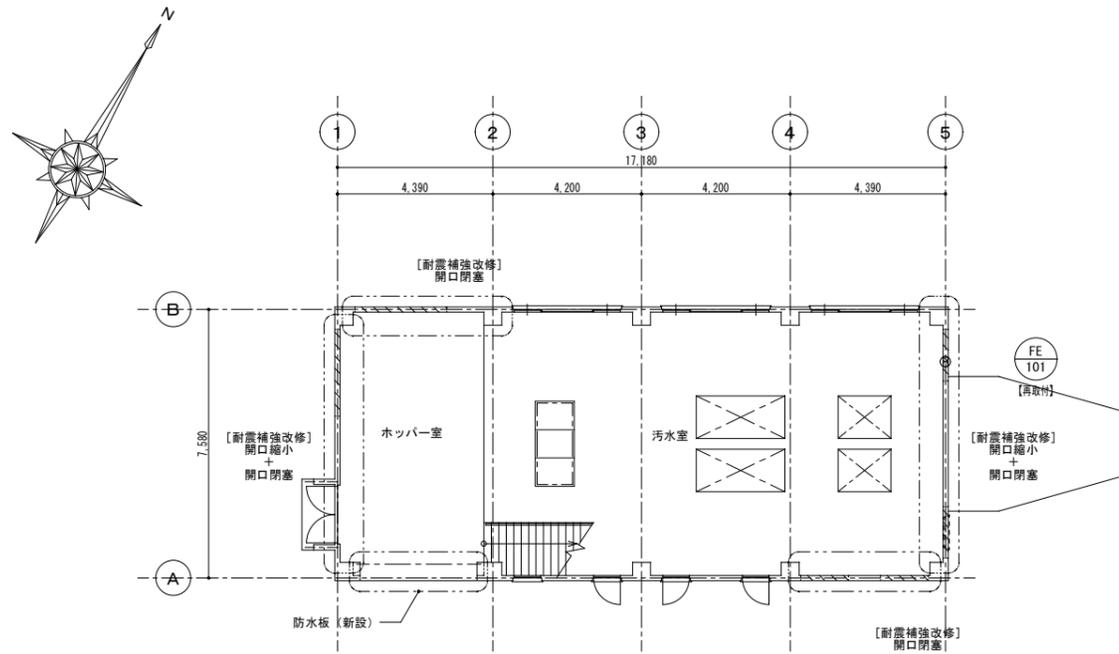


部分断面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AM-4/87

改 修 後



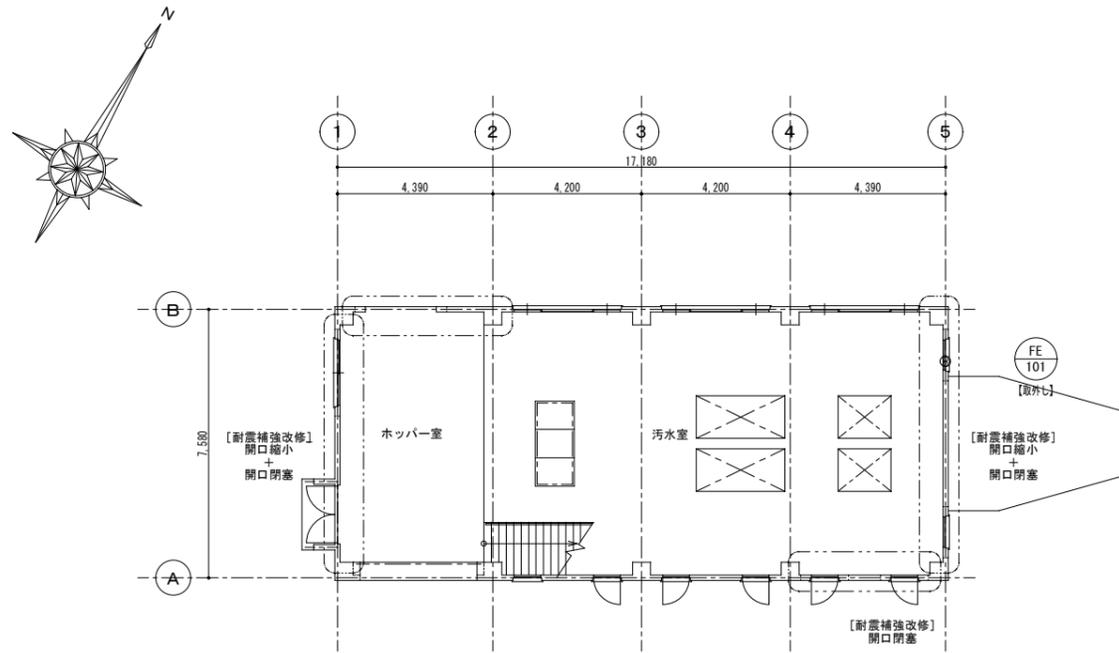
1階平面図 1/100

改修機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FE-101	排気ファン	1階 汚水室系統	形式 有圧換気扇 350φ × 42m ³ /h × -Pa	1	100	0.1		1	1階 汚水室	【再取付】

1. 電気容量は参考値とする。

改 修 前



1階平面図 1/100

撤去機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FE-101	排気ファン	1階 汚水室系統	形式 有圧換気扇 350φ × 42m ³ /h × -Pa	1	100	0.1		1	1階 汚水室	【取外し】

1. 電気容量は参考値とする。

【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修後・改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成29年12月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AM-5/87

高砂ポンプ場耐震補強工事

工事設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 四日市市尾上町 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
雨水ポンプ棟	RC造	地下1階/地上4階	608.37	15項	再構築
汚水ポンプ棟	RC造	地上2階	195.33	15項	再構築

3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外工事種目	工事種別				屋外
	雨水ポンプ棟	汚水ポンプ棟			
○電気火災予防設備	改修	改修			
重火力発電設備					
電気自動車用充電設備					
電気保安設備					
受変電設備					
多相電圧調整設備					
構内情報通信網設備					
○構内交換設備	改修				
情報表示設備					
映像・音響設備					
拡声装置					
誘導支援設備					
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備					
火災報知設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
○構内通信線路					改修
テレビ電波障害除去工事					
建築工事					
機械設備工事					

4. 指定部分 ○無 有 対象部分 ()
指定部分工期 平成 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁審判部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

- 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版) (以下、「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成28年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (平成28年版) (以下、「標準図」という。)

2. 特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
1 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力 風速 (V=34m/s) 地表面粗度区分 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ) 積雪荷重 垂直積雪量 (0.3m)
2 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保護材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成27年2月閣議決定)」による。

項目	特記事項																																																												
③ 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。																																																												
④ 電源周波数	50Hz ○ 60Hz																																																												
⑤ 電気工作物の種類	○ 事業用電気工作物 ○ 一般用電気工作物 ○ 電気保安技術者要																																																												
6 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。																																																												
⑦ 工用仮設物	すべて受注者の負担とする。 構内につくることが ○ できる ・ できない																																																												
8 足場その他	別契約の関係受注者が設置したものは、無償で使用できる。 本工事で設置とする。(改修標準仕様書 第1編 2.2.2によるほか下記による。) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場の種別 (種) ・ 外部足場の種別 (種)																																																												
9 仮設備工事	仮設備期間 (・ 図示 ・) 仮電源等 (・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・)																																																												
10 養生	養生範囲 (・ ・) 養生方法 (・ ・)																																																												
11 施工調査	事前調査 ・ 本工事 調査項目 ・ 既存資料調査 調査範囲 ・ 図示 調査方法 ・ 図示 ・ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に定走式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。 ・ 石綿含有分析調査 (定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)																																																												
12 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を出す。なお、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、1枚以上/部位とする。																																																												
13 穿孔作業	既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。																																																												
14 耐震安全性の分類と耐震施工	(1) 「官庁施設の総合耐震計画基準 (平成19年12月5日国土交通大臣官庁官庁審判部制定)」による耐震安全性の分類は下記による。 構造体 I 類 II 類 III 類 建築非構造部材 A 類 B 類 建築設備 甲類 乙類 (2) 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。(100kg以上の機器を対象とする。) 1)設計用水平地震力 機器の重量[kN]に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。 設計用水平震度 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">○ 一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="2">屋上及び塔屋</td><td>水 槽 類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> 上層階とは、2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。 中間階とは、地階、1階を除く各層で上層階に該当しないものとする。 重要機器 ○ 配電盤 ○ 発電装置 ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 火災報知受信機 ○ 中央監視制御装置	設置場所	機器種別	特定の施設		○ 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	屋上及び塔屋	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○ 一般の施設																																																							
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																								
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																								
屋上及び塔屋	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																								
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																								
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																								
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																													

項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
15 建設発生土の処理	構外搬出適切処理とする。 処理後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑩ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑪ 金属製電線管の塗装・仕上げ	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。 屋外 (内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所: 全て 塗装箇所: 屋上を除くすべての箇所) ○ 屋内 (内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所 全て)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑱ フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、○金属製 (ステンレス、新金属も含む) 樹脂製 とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
19 電線類	EM-UIPケーブルは、用途に応じ色分けすること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20 二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
21 インバータ装置の規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。 <table border="1"><thead><tr><th>電動機出力 (kW)</th><th>0.4</th><th>0.75</th><th>1.5</th><th>2.2</th><th>3.7</th><th>5.5</th><th>7.5</th><th>11</th><th>15</th><th>18.5</th><th>22</th><th>30</th><th>37</th><th>45</th></tr></thead><tbody><tr><td>規約効率 (%)</td><td>86.0</td><td>88.5</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td><td>94.0</td><td>94.5</td><td>94.5</td><td>95.0</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td></tr></tbody></table> 備考 (1) 規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。 (2) 規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
22 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定	高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="13">200V三相誘導電動機回路の器具容量等</th></tr><tr><th rowspan="2">電動機</th><th colspan="6">器具容量</th><th colspan="6">コンデンサ回路の配線</th></tr><tr><th>定格電流 [A]</th><th>配線用遮断器等 [A]</th><th>MCCB</th><th>MCCB</th><th>電流計 [A]</th><th>コイル回路 [A]</th><th colspan="3">接続する電線の最小寸法 [mm]</th><th colspan="2">コンデンサ [μF]</th></tr><tr><th>(参考値)</th><th>直入始動</th><th>Y-Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>EM-IE</th><th>IV</th><th>長さ3m以下</th><th>50Hz</th><th>60Hz</th><th colspan="2"></th></tr></thead><tbody><tr><td>0.2</td><td>1.8</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>3</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>15</td><td>10</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>0.4</td><td>3.2</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>20</td><td>15</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>0.75</td><td>4.8</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>30</td><td>20</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>1.5</td><td>8</td><td>30</td><td>—</td><td>15</td><td>10</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>40</td><td>30</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>2.2</td><td>11.1</td><td>40</td><td>—</td><td>20</td><td>10</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>50</td><td>40</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>3.7</td><td>17.4</td><td>75</td><td>—</td><td>30</td><td>20</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>75</td><td>50</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>5.5</td><td>26</td><td>100</td><td>60</td><td>50</td><td>30</td><td>3.5</td><td>5.5</td><td>2.0</td><td>100</td><td>75</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>7.5</td><td>34</td><td>125</td><td>75</td><td>60</td><td>50</td><td>3.5</td><td>5.5</td><td>2.0</td><td>150</td><td>100</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>11</td><td>48</td><td>125</td><td>125</td><td>75</td><td>60</td><td>8.0</td><td>14</td><td>2.0</td><td>200</td><td>150</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>15</td><td>65</td><td>125</td><td>150</td><td>125</td><td>60</td><td>8.0</td><td>14</td><td>2.0</td><td>250</td><td>200</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>18.5</td><td>79</td><td>150</td><td>175</td><td>125</td><td>100</td><td>14</td><td>22</td><td>3.5</td><td>300</td><td>250</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>22</td><td>93</td><td>175</td><td>200</td><td>150</td><td>100</td><td>14</td><td>22</td><td>3.5</td><td>400</td><td>300</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>30</td><td>124</td><td>250</td><td>300</td><td>200</td><td>150</td><td>14</td><td>22</td><td>5.5</td><td>500</td><td>400</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>37</td><td>152</td><td>300</td><td>350</td><td>225</td><td>200</td><td>14</td><td>22</td><td>8.0</td><td>600</td><td>500</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>45</td><td>190</td><td>400</td><td>450</td><td></td><td>200</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>55</td><td>228</td><td>450</td><td>500</td><td></td><td>250</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th colspan="13">400V三相誘導電動機回路の器具容量等</th></tr><tr><th rowspan="2">電動機</th><th colspan="6">器具容量</th><th colspan="6">コンデンサ回路の配線</th></tr><tr><th>定格電流 [A]</th><th>配線用遮断器等 [A]</th><th>MCCB</th><th>MCCB</th><th>電流計 [A]</th><th>コイル回路 [A]</th><th colspan="3">接続する電線の最小寸法 [mm]</th><th colspan="2">コンデンサ [μF]</th></tr><tr><th>(参考値)</th><th>直入始動</th><th>Y-Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>Δ始動</th><th>EM-IE</th><th>IV</th><th>長さ3m以下</th><th>50Hz</th><th>60Hz</th><th colspan="2"></th></tr></thead><tbody><tr><td>0.2</td><td>0.9</td><td>15</td><td>—</td><td>—</td><td>3</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>5</td><td>5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>0.4</td><td>1.6</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>3</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>5</td><td>5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>0.75</td><td>2.4</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>7.5</td><td>5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>1.5</td><td>4</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>10</td><td>7.5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>2.2</td><td>5.5</td><td>20</td><td>—</td><td>15</td><td>10</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>15</td><td>10</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>3.7</td><td>8.7</td><td>30</td><td>—</td><td>15</td><td>10</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>20</td><td>15</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>5.5</td><td>13</td><td>40</td><td>30</td><td>30</td><td>15</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>25</td><td>20</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>7.5</td><td>17</td><td>75</td><td>40</td><td>30</td><td>20</td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>2.0</td><td>40</td><td>25</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>11</td><td>24</td><td>100</td><td>60</td><td>50</td><td>30</td><td>3.5</td><td>5.5</td><td>2.0</td><td>50</td><td>40</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>15</td><td>32</td><td>125</td><td>75</td><td>60</td><td>30</td><td>3.5</td><td>5.5</td><td>2.0</td><td>75</td><td>50</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>18.5</td><td>39</td><td>125</td><td>100</td><td>75</td><td>60</td><td>3.5</td><td>9.6</td><td>2.0</td><td>75</td><td>75</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>22</td><td>46</td><td>125</td><td>100</td><td>100</td><td>60</td><td>8.0</td><td>14</td><td>2.0</td><td>100</td><td>75</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>30</td><td>62</td><td>125</td><td>150</td><td>125</td><td>60</td><td>8.0</td><td>14</td><td>2.0</td><td>125</td><td>100</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>37</td><td>76</td><td>150</td><td>175</td><td>125</td><td>100</td><td>8.0</td><td>14</td><td>3.5</td><td>150</td><td>125</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>45</td><td>95</td><td>200</td><td>225</td><td>150</td><td>100</td><td>8.0</td><td>14</td><td>3.5</td><td>200</td><td>150</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>55</td><td>115</td><td>225</td><td>300</td><td>175</td><td>150</td><td>14</td><td>22</td><td>5.5</td><td>250</td><td>200</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>75</td><td>155</td><td>300</td><td>350</td><td>225</td><td>150</td><td>14</td><td>22</td><td>8.0</td><td>300</td><td>250</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>90</td><td>180</td><td>350</td><td>400</td><td>300</td><td>200</td><td>22</td><td>38</td><td>8.0</td><td>300</td><td>250</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>110</td><td>220</td><td>450</td><td>500</td><td>350</td><td>250</td><td>22</td><td>38</td><td>8.0</td><td>397</td><td>300</td><td colspan="2"></td></tr></tbody></table>	200V三相誘導電動機回路の器具容量等													電動機	器具容量						コンデンサ回路の配線						定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	MCCB	MCCB	電流計 [A]	コイル回路 [A]	接続する電線の最小寸法 [mm]			コンデンサ [μF]		(参考値)	直入始動	Y-Δ始動	Δ始動	Δ始動	Δ始動	EM-IE	IV	長さ3m以下	50Hz	60Hz			0.2	1.8	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	15	10			0.4	3.2	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	20	15			0.75	4.8	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	30	20			1.5	8	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	40	30			2.2	11.1	40	—	20	10	2.0	2.0	2.0	50	40			3.7	17.4	75	—	30	20	2.0	2.0	2.0	75	50			5.5	26	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	100	75			7.5	34	125	75	60	50	3.5	5.5	2.0	150	100			11	48	125	125	75	60	8.0	14	2.0	200	150			15	65	125	150	125	60	8.0	14	2.0	250	200			18.5	79	150	175	125	100	14	22	3.5	300	250			22	93	175	200	150	100	14	22	3.5	400	300			30	124	250	300	200	150	14	22	5.5	500	400			37	152	300	350	225	200	14	22	8.0	600	500			45	190	400	450		200								55	228	450	500		250								400V三相誘導電動機回路の器具容量等													電動機	器具容量						コンデンサ回路の配線						定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	MCCB	MCCB	電流計 [A]	コイル回路 [A]	接続する電線の最小寸法 [mm]			コンデンサ [μF]		(参考値)	直入始動	Y-Δ始動	Δ始動	Δ始動	Δ始動	EM-IE	IV	長さ3m以下	50Hz	60Hz			0.2	0.9	15	—	—	3	2.0	2.0	2.0	5	5			0.4	1.6	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	5	5			0.75	2.4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	7.5	5			1.5	4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	10	7.5			2.2	5.5	20	—	15	10	2.0	2.0	2.0	15	10			3.7	8.7	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	20	15			5.5	13	40	30	30	15	2.0	2.0	2.0	25	20			7.5	17	75	40	30	20	2.0	3.5	2.0	40	25			11	24	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	50	40			15	32	125	75	60	30	3.5	5.5	2.0	75	50			18.5	39	125	100	75	60	3.5	9.6	2.0	75	75			22	46	125	100	100	60	8.0	14	2.0	100	75			30	62	125	150	125	60	8.0	14	2.0	125	100			37	76	150	175	125	100	8.0	14	3.5	150	125			45	95	200	225	150	100	8.0	14	3.5	200	150			55	115	225	300	175	150	14	22	5.5	250	200			75	155	300	350	225	150	14	22	8.0	300	250			90	180	350	400	300	200	22	38	8.0	300	250			110	220	450	500	350	250	22	38	8.0	397	300		
200V三相誘導電動機回路の器具容量等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
電動機	器具容量						コンデンサ回路の配線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	MCCB	MCCB	電流計 [A]	コイル回路 [A]	接続する電線の最小寸法 [mm]			コンデンサ [μF]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
(参考値)	直入始動	Y-Δ始動	Δ始動	Δ始動	Δ始動	EM-IE	IV	長さ3m以下	50Hz	60Hz																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.2	1.8	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	15	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.4	3.2	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	20	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.75	4.8	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	30	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1.5	8	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	40	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2.2	11.1	40	—	20	10	2.0	2.0	2.0	50	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3.7	17.4	75	—	30	20	2.0	2.0	2.0	75	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5.5	26	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	100	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
7.5	34	125	75	60	50	3.5	5.5	2.0	150	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
11	48	125	125	75	60	8.0	14	2.0	200	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
15	65	125	150	125	60	8.0	14	2.0	250	200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
18.5	79	150	175	125	100	14	22	3.5	300	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
22	93	175	200	150	100	14	22	3.5	400	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
30	124	250	300	200	150	14	22	5.5	500	400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
37	152	300	350	225	200	14	22	8.0	600	500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
45	190	400	450		200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
55	228	450	500		250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
400V三相誘導電動機回路の器具容量等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
電動機	器具容量						コンデンサ回路の配線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	MCCB	MCCB	電流計 [A]	コイル回路 [A]	接続する電線の最小寸法 [mm]			コンデンサ [μF]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
(参考値)	直入始動	Y-Δ始動	Δ始動	Δ始動	Δ始動	EM-IE	IV	長さ3m以下	50Hz	60Hz																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.2	0.9	15	—	—	3	2.0	2.0	2.0	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.4	1.6	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0.75	2.4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	7.5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1.5	4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	10	7.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2.2	5.5	20	—	15	10	2.0	2.0	2.0	15	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3.7	8.7	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	20	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5.5	13	40	30	30	15	2.0	2.0	2.0	25	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
7.5	17	75	40	30	20	2.0	3.5	2.0	40	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
11	24	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	50	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
15	32	125	75	60	30	3.5	5.5	2.0	75	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
18.5	39	125	100	75	60	3.5	9.6	2.0	75	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
22	46	125	100	100	60	8.0	14	2.0	100	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
30	62	125	150	125	60	8.0	14	2.0	125	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
37	76	150	175	125	100	8.0	14	3.5	150	125																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
45	95	200	225	150	100	8.0	14	3.5	200	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
55	115	225	300	175	150	14	22	5.5	250	200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
75	155	300	350	225	150	14	22	8.0	300	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
90	180	350	400	300	200	22	38	8.0	300	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
110	220	450	500	350	250	22	38	8.0	397	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

項目	特記事項																																																																																																																																	
23 接地極	接地極の材料は下記による。なお、接地棒EB (14φ)の長さは1,500mm以上とし、10φはW=30 L=900mm以上、14φは、W=40 L=1,200mm以上としても差し支えない。 <table border="1"><thead><tr><th>接地の種類</th><th>記号</th><th>接地抵抗値</th><th>接地極</th></tr></thead><tbody><tr><td>共同接地</td><td>E_{共通}</td><td>Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—1極</td></tr><tr><td>○ 共同接地</td><td>E_{共通}</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—3極</td></tr><tr><td>△ 兼重</td><td>E_△</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—2極</td></tr><tr><td>○ △ 兼重</td><td>E_△</td><td>Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—2極</td></tr><tr><td>○ □ 兼重</td><td>E_□</td><td>100Ω以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ ○ 兼重</td><td>E_○</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—2極</td></tr><tr><td>○ 高圧避雷器用</td><td>E_H</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—3極</td></tr><tr><td>低圧避雷器用</td><td>E_L</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—2極</td></tr><tr><td>構造体接地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 交換機用</td><td>E_△</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—3極</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_△</td><td>10Ω以下</td><td>EB (14φ) × 3連—3極</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_△</td><td>100Ω以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ 電話引込口の保安器用</td><td>E_△</td><td>100Ω以下</td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>○ 測定用</td><td>E_△</td><td></td><td>EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr></tbody></table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	共同接地	E _{共通}	Ω以下	EB (14φ) × 3連—1極	○ 共同接地	E _{共通}	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極	△ 兼重	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極	○ △ 兼重	E _△	Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極	○ □ 兼重	E _□	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ ○ 兼重	E _○	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極	○ 高圧避雷器用	E _H	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極	低圧避雷器用	E _L	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極	構造体接地				○ 交換機用	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極	通信用	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極	通信用	E _△	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ 電話引込口の保安器用	E _△	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)	○ 測定用	E _△		EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																					
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																																																																																															
共同接地	E _{共通}	Ω以下	EB (14φ) × 3連—1極																																																																																																																															
○ 共同接地	E _{共通}	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極																																																																																																																															
△ 兼重	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極																																																																																																																															
○ △ 兼重	E _△	Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極																																																																																																																															
○ □ 兼重	E _□	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																															
○ ○ 兼重	E _○	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極																																																																																																																															
○ 高圧避雷器用	E _H	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極																																																																																																																															
低圧避雷器用	E _L	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—2極																																																																																																																															
構造体接地																																																																																																																																		
○ 交換機用	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極																																																																																																																															
通信用	E _△	10Ω以下	EB (14φ) × 3連—3極																																																																																																																															
通信用	E _△	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																															
○ 電話引込口の保安器用	E _△	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																															
○ 測定用	E _△		EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																																																															
24 天井仕上げ表示	図面において、室名に () を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。																																																																																																																																	
⑫ 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。 <table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>測点</th><th>取付高さ [mm]</th></tr></thead><tbody><tr><td>ブラケット (一般)</td><td>床面 ~ 中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>〃 (鏡掛)</td><td>〃</td><td>2,500</td></tr><tr><td>〃 (鏡上)</td><td>鏡上端 ~ 中心</td><td>150</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>スイッチ (一般)</td><td>床面 ~ 中心</td><td>1,200</td></tr><tr><td>〃 (多機能使用)</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>コンセント、電話引込口、テレビ端子 (一般)</td><td>〃</td><td>400</td></tr><tr><td>〃 (和室)</td><td>〃</td><td>150</td></tr><tr><td>〃 (台座)</td><td>台上面 ~ 中心</td><td>150</td></tr><tr><td>コンセント (土間)</td><td>床面 ~ 中心</td><td>800 ~ 1,300</td></tr><tr><td>コンセント (電動車いす充電用)</td><td>〃</td><td>900</td></tr><tr><td>引込開閉器箱 (低圧)</td><td>床面 ~ 上端</td><td>1,500</td></tr><tr><td>分電盤、制御盤、突触盤</td><td>床面 ~ 中心</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>開閉器箱</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>電磁開閉器用押しボタン</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>接地用端子箱</td><td>地上、床面 ~ 中心</td><td>500</td></tr><tr><td>試験用接続端子箱</td><td>床面 ~ 下端</td><td>800</td></tr><tr><td>接地極埋設機</td><td>地上 ~ 中心</td><td>600</td></tr><tr><td>給油ボックス</td><td>地上 ~ 給油口</td><td>1,000</td></tr><tr><td>室内端子盤 (廊下・室内)</td><td>床面 ~ 下端</td><td>300</td></tr><tr><td>中間端子盤 (EPS・電気室)</td><td>床面 ~ 中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>壁付電話機</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>視時計</td><td>〃</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>子時計、スピーカ</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>アッテネータ</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>表示盤</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>発信器 (出表示用)</td><td>〃</td><td>1,200</td></tr><tr><td>外部受付用インターホン (子機)</td><td>〃</td><td>標準図による</td></tr><tr><td>壁付インターホン (上記以外)</td><td>〃</td><td>1,100</td></tr><tr><td>呼出ボタン (多機能使用)</td><td>〃</td><td>900</td></tr><tr><td>復帰ボタン (〃)</td><td>〃</td><td>1,300</td></tr><tr><td>廊下表示灯 (〃)</td><td>〃</td><td>2,000</td></tr><tr><td>テレビ機器収納箱</td><td>天井下 ~ 上端</td><td>200</td></tr><tr><td>火報受信機 (複合盤)</td><td>床面 ~ 操作部</td><td>800 ~ 1,500</td></tr><tr><td>副受信機</td><td>床面 ~ 中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>機器収納箱 (火災報知設備)</td><td>〃</td><td>800 ~ 1,500</td></tr><tr><td>発信機</td><td>〃</td><td>800 ~ 1,500</td></tr><tr><td>警報ベル</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.9</td></tr><tr><td>表示灯 (火災報知設備)</td><td>〃</td><td>(天井高) × 0.8</td></tr><tr><td>運動制御器 (自動閉鎖)</td><td>〃</td><td>1,500</td></tr><tr><td>ガス漏れ検知器 (重ガス)</td><td>〃</td><td>300</td></tr><tr><td>ガス漏れ検知器 (軽ガス)</td><td>天井面 ~ 中心</td><td>(天井高) - 200</td></tr></tbody></table> (参考) 天井面を基準とする取付高は、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。天井高さが3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。	名称	測点	取付高さ [mm]	ブラケット (一般)	床面 ~ 中心	2,100	〃 (鏡掛)	〃	2,500	〃 (鏡上)	鏡上端 ~ 中心	150				スイッチ (一般)	床面 ~ 中心	1,200	〃 (多機能使用)	〃	1,200	コンセント、電話引込口、テレビ端子 (一般)	〃	400	〃 (和室)	〃	150	〃 (台座)	台上面 ~ 中心	150	コンセント (土間)	床面 ~ 中心	800 ~ 1,300	コンセント (電動車いす充電用)	〃	900	引込開閉器箱 (低圧)	床面 ~ 上端	1,500	分電盤、制御盤、突触盤	床面 ~ 中心	1,500 (上端1,900以下)	開閉器箱	〃	1,500	電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200	接地用端子箱	地上、床面 ~ 中心	500	試験用接続端子箱	床面 ~ 下端	800	接地極埋設機	地上 ~ 中心	600	給油ボックス	地上 ~ 給油口	1,000	室内端子盤 (廊下・室内)	床面 ~ 下端	300	中間端子盤 (EPS・電気室)	床面 ~ 中心	1,500	壁付電話機	〃	1,300	視時計	〃	1,500 (上端1,900以下)	子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9	アッテネータ	〃	1,200	表示盤	〃	(天井高) × 0.9	発信器 (出表示用)	〃	1,200	外部受付用インターホン (子機)	〃	標準図による	壁付インターホン (上記以外)	〃	1,100	呼出ボタン (多機能使用)	〃	900	復帰ボタン (〃)	〃	1,300	廊下表示灯 (〃)	〃	2,000	テレビ機器収納箱	天井下 ~ 上端	200	火報受信機 (複合盤)	床面 ~ 操作部	800 ~ 1,500	副受信機	床面 ~ 中心	1,500	機器収納箱 (火災報知設備)	〃	800 ~ 1,500	発信機	〃	800 ~ 1,500	警報ベル	〃	(天井高) × 0.9	表示灯 (火災報知設備)	〃	(天井高) × 0.8	運動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500	ガス漏れ検知器 (重ガス)	〃	300	ガス漏れ検知器 (軽ガス)	天井面 ~ 中心	(天井高) - 200
名称	測点	取付高さ [mm]																																																																																																																																
ブラケット (一般)	床面 ~ 中心	2,100																																																																																																																																
〃 (鏡掛)	〃	2,500																																																																																																																																
〃 (鏡上)	鏡上端 ~ 中心	150																																																																																																																																
スイッチ (一般)	床面 ~ 中心	1,200																																																																																																																																
〃 (多機能使用)	〃	1,200																																																																																																																																
コンセント、電話引込口、テレビ端子 (一般)	〃	400																																																																																																																																
〃 (和室)	〃	150																																																																																																																																
〃 (台座)	台上面 ~ 中心	150																																																																																																																																
コンセント (土間)	床面 ~ 中心	800 ~ 1,300																																																																																																																																
コンセント (電動車いす充電用)	〃	900																																																																																																																																
引込開閉器箱 (低圧)	床面 ~ 上端	1,500																																																																																																																																
分電盤、制御盤、突触盤	床面 ~ 中心	1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																
開閉器箱	〃	1,500																																																																																																																																
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200																																																																																																																																
接地用端子箱	地上、床面 ~ 中心	500																																																																																																																																
試験用接続端子箱	床面 ~ 下端	800																																																																																																																																
接地極埋設機	地上 ~ 中心	600																																																																																																																																
給油ボックス	地上 ~ 給油口	1,000																																																																																																																																
室内端子盤 (廊下・室内)	床面 ~ 下端	300																																																																																																																																
中間端子盤 (EPS・電気室)	床面 ~ 中心	1,500																																																																																																																																
壁付電話機	〃	1,300																																																																																																																																
視時計	〃	1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																
アッテネータ	〃	1,200																																																																																																																																
表示盤	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																
発信器 (出表示用)	〃	1,200																																																																																																																																
外部受付用インターホン (子機)	〃	標準図による																																																																																																																																
壁付インターホン (上記以外)	〃	1,100																																																																																																																																
呼出ボタン (多機能使用)	〃	900																																																																																																																																
復帰ボタン (〃)	〃	1,300																																																																																																																																
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000																																																																																																																																
テレビ機器収納箱	天井下 ~ 上端	200																																																																																																																																
火報受信機 (複合盤)	床面 ~ 操作部	800 ~ 1,500																																																																																																																																
副受信機	床面 ~ 中心	1,500																																																																																																																																
機器収納箱 (火災報知設備)	〃	800 ~ 1,500																																																																																																																																
発信機	〃	800 ~ 1,500																																																																																																																																
警報ベル	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																																
表示灯 (火災報知設備)	〃	(天井高) × 0.8																																																																																																																																
運動制御器 (自動閉鎖)	〃	1,500																																																																																																																																
ガス漏れ検知器 (重ガス)	〃	300																																																																																																																																
ガス漏れ検知器 (軽ガス)	天井面 ~ 中心	(天井高) - 200																																																																																																																																
26 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。																																																																																																																																	

【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電気特記仕様書 (1)		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-1/87

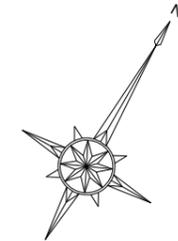
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
② 工用電力、水等	・本工事に必要な工用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、受注者の負担とする。 ○市支給とする。ただし、構内既存施設より利用可能な範囲に限る。	③ 鋼製電線管	特記なき鋼製電線管(19.25、・・・75)の表示は全て厚鋼電線管とする。	<現場代理人に関する事項> 工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。	
28 産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物税が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。	39 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。	この契約による業務を行うに当たり個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報をいう。))	
29 工事の保険	・建設工事保険(管理財物担保特約に加入)(保険証券の写しを提出) ・請負業者賠償責任保険(保険証券の写しを提出) 加入期間は工事期間を原則とする。(必要に応じて延長するものとする。)	40 再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁測定のうち、取り付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報をいう。))を含む。以下同じ。)を取り扱	
30 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度(加入証明書を提出) 建設業退職金共済制度に加入し、掛金収納書を提出する。 共済証紙購入額 請負額(消費税含む)の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は不足分を追加購入すること。	41 タンブラスイッチ	タンブラスイッチは、図面に特記なき場合、ネーム付とする。		
31 工事実績情報の登録	工事請負代金額500万円以上の工事は、工事実績情報(CORINS)の登録手続きを行うこと。	42 配線器具等	配線器具(スイッチ、コンセント他)の現場納り等による仕様、数量については監督員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。		
32 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出のこと。なお、警備業者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。	43 機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督員の承諾を得れば、可とする。		
33 監督職員事務所	・設けない ・設ける	44 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、P F管(単層管)の波付管以上を使用する。 位置ボックスは金属製とし、電力用には接地を施す。		
34 完成時の提出図書	監督職員の指示により下記のものを出す。 ・工事完成図(竣工図(修正済みの設計図)+施工図) 完成図 C A Dデータ P D Fデータ(C D-R) 完成図(A 4版に製本したもの) 完成図(機械設備図と併せて二つ折り製本したもの、3部) ・保金に関する資料等 ・工事写真(紙、C D-R)	45 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。		
35 発生材の処理	・引渡しを要するもの ・引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。 ・特別管理産業廃棄物(P C B使用機器) P C B使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 ・再使用又は再資源化を図るもの	46 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。		
④ 工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真 埋設部、いんべい部、施工工程、材料等 完成写真 ※撮影用機にデジタルカメラを用い、サービスサイズ程度の大きさとA4用紙に印刷し、提出する。 ※次の図書を参考とする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方 建築設備編」 ○工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。	47 自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督員の承諾を受けて図面と多少相違してもさしつかえない。		
⑤ 随時検査	設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受検すること。	48 地中配線の埋設深さ等	地中配線の特記なき埋設深さは、0.6m以上とする。 高圧、特別高圧以外の地中配管にも埋設標識シート(2倍)を ・設ける ・設けない		
		49 仮工事条件	監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1. 施工可能日 ・土、日曜日、祝日施工有り ・指定なし ・その他() 2. 施工可能時間帯 ・指定有り(時～ 時) ・指定なし		
		50 地中配線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・鉄製(箇所) ・コンクリート製(箇所)		
		⑥ 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。		
		52 一般照明の照度測定	一般照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。		
		⑦ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。		

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市尾上町 地内
名称	電気特記仕様書(2)
縮尺	- 設計年月日 平成30年1月
工種	設計者 オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号 AE-2/87

改 修 後

(注 記)		3. 凡 例	
1. 図中にて太線 (——) で記すものは新設、細線 (---) で記すものは既設のままを示す。 また、配管配線については下記による。		○	照明器具 FL40W-2 灯
配線、新設		○	照明器具 FL40W-1 灯
配管、既設のまま		①	露出コンセント 2P15A
配管の種類については下記とする。		○	丸型露出ボックス
露出配管		⊗	プルボックス
		⊗	貫通補修箇所
2. 特記なき配管配線は下記とする。		4. 図中にて (再) を付する機器は一時的取り外し品再取付とする。	
→ 2.0	EM-1E2.0×2 (G16)	5. 新設配管貫通位置はすべて浸水深500以上とする。	
→ 1.8	EM-1E1.6×2 (G16)	6. 図中のプルボックスサイズは下記とする。	
		⊗15	150×150×100 SS
		⊗21	200×200×100 SS
		⊗32	300×300×200 SS
		⊗21S	200×200×100 SUS-WP



GPS携帯EM-TKEE0.5-10P (22)

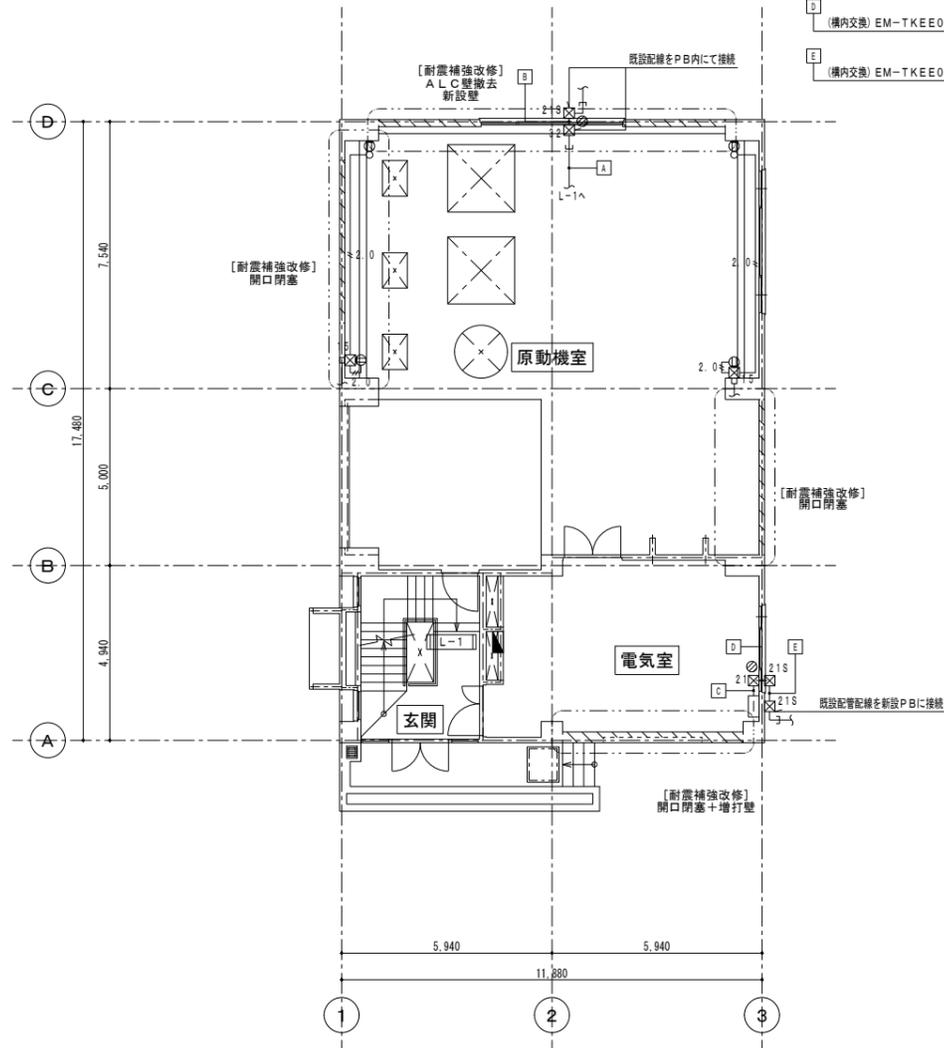
- ④ 1V3.5'×2 (ピット内コログシ)
- ④ 1V5.5'×2 (ピット内コログシ)
- ④ 1V8'×2 (ピット内コログシ)

- ⑤ 1EM-1E3.5'×2 (スリーブ内)
- ⑤ 1EM-1E5.5'×2 (スリーブ内)
- ⑤ 1EM-1E8'×2 (スリーブ内)

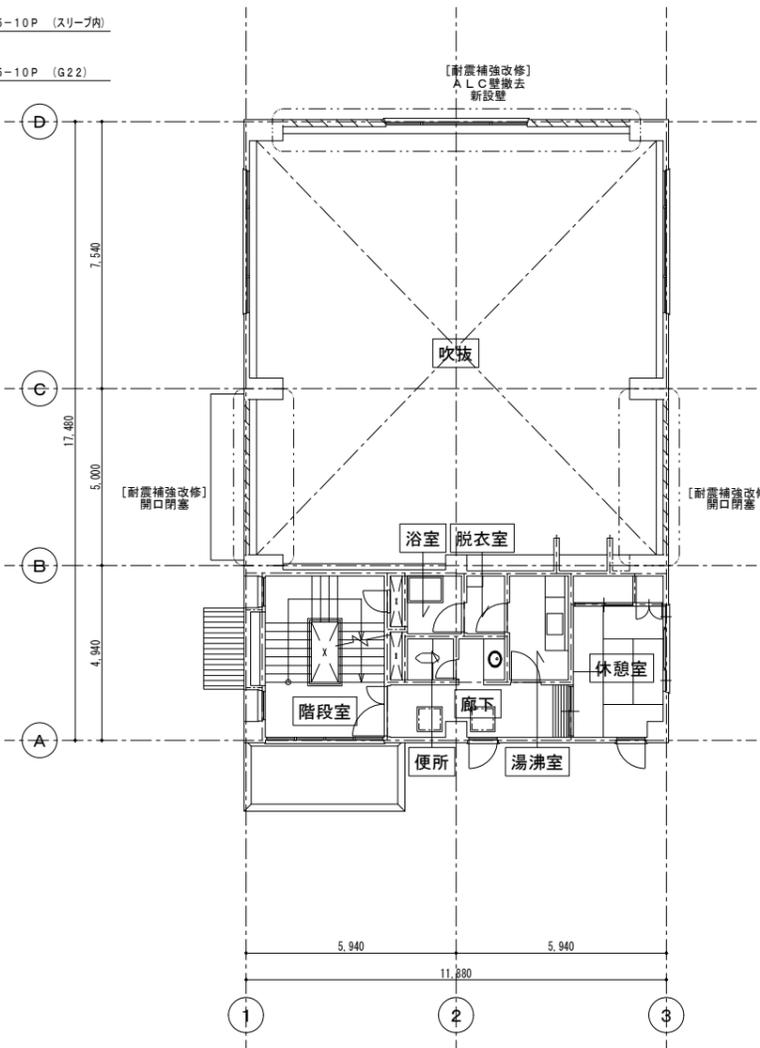
⑥ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (G22)

⑦ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (スリーブ内)

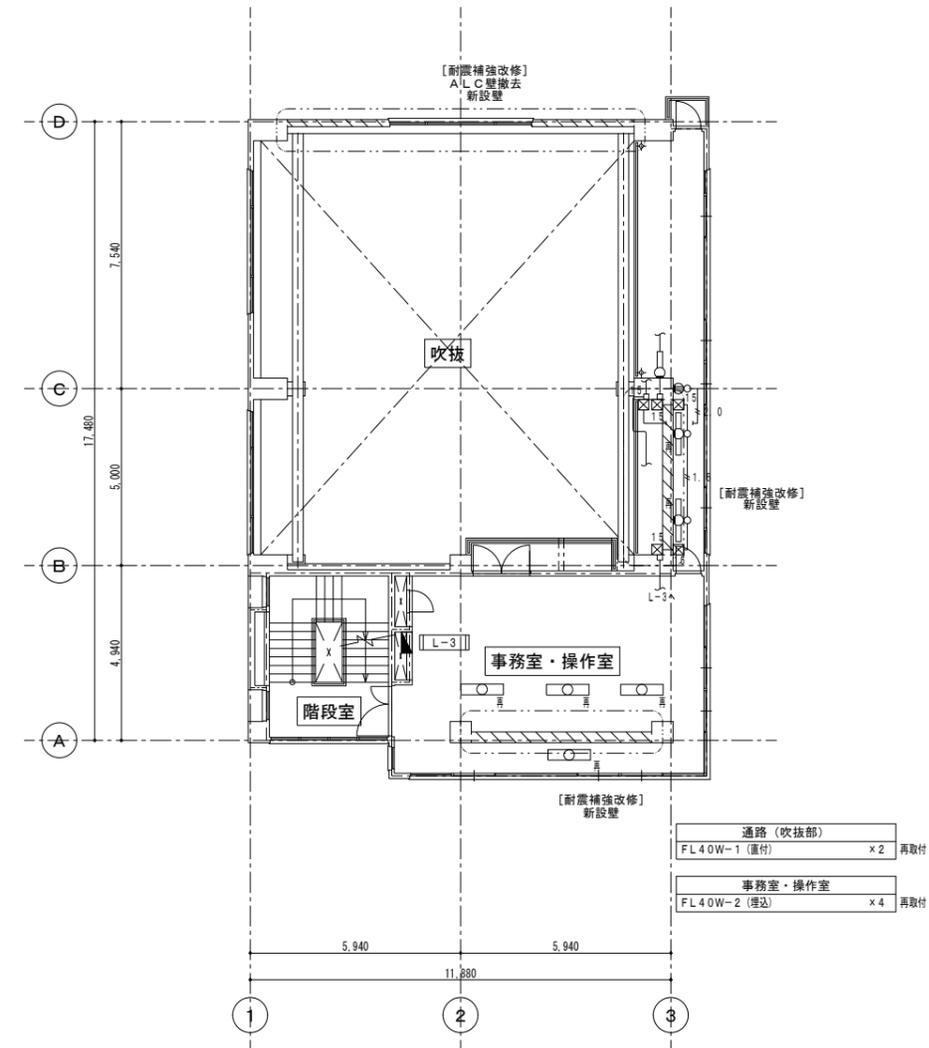
⑧ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (G22)



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



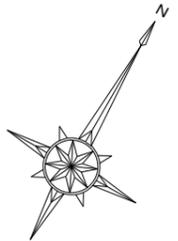
3階平面図 1/100

通路 (吹抜部)	FL40W-1 (置付)	×2	再取付
事務室・操作室	FL40W-2 (埋込)	×4	再取付

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補修工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電灯・弱電設備 1・2・3階平面図 (改修後)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-3/87

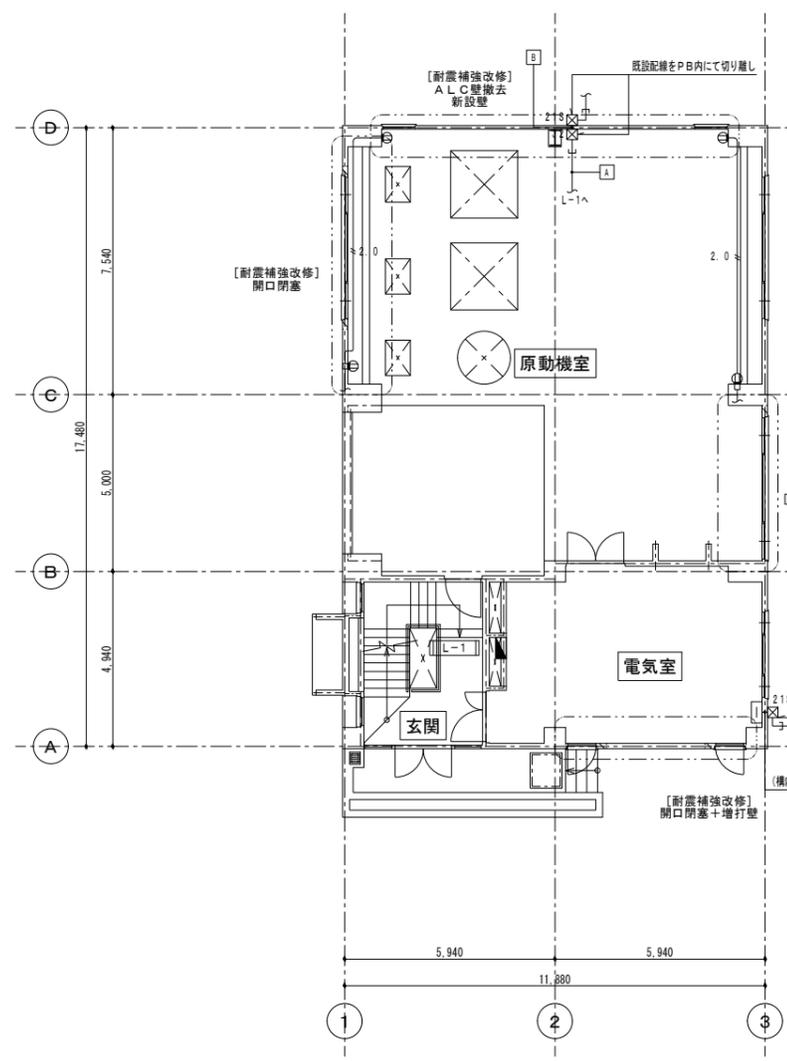
改 修 前



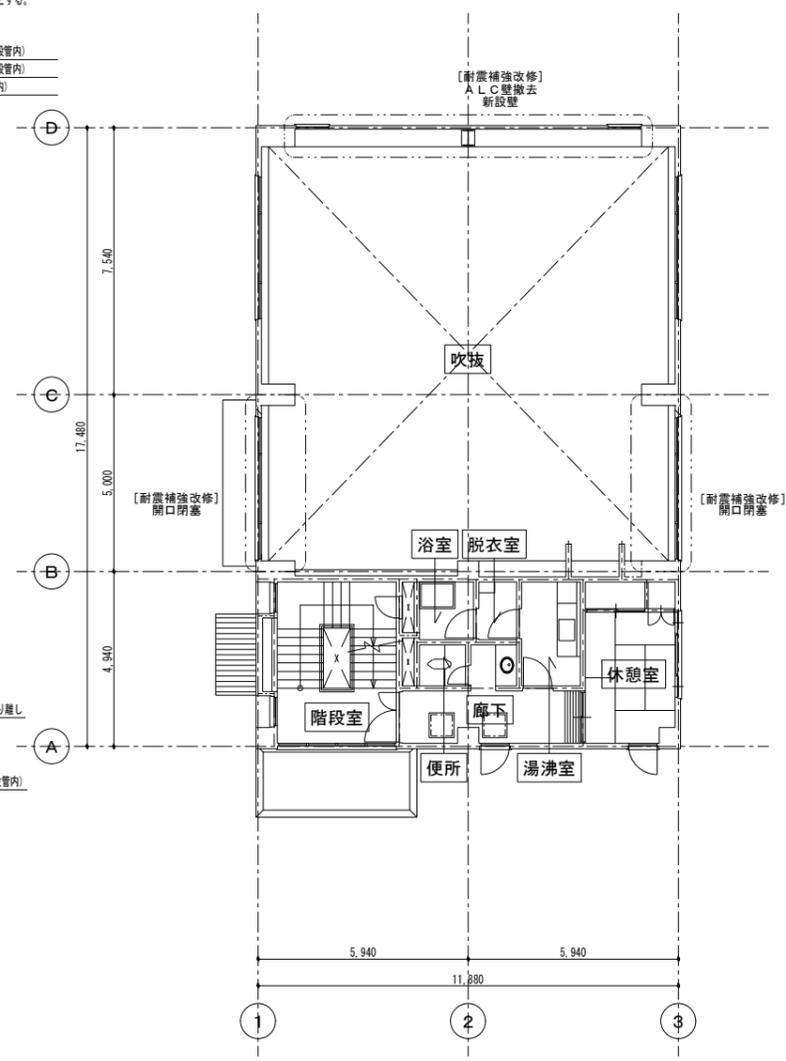
(注 記)		3. 凡 例	
1. 図中にて太線 (——) で記すものは撤去、細線 (---) で記すものは既設のままを示す。 また、配管配線については下記による。		○	照明器具 FL40W-2灯
配管配線共、撤去 (隠蔽配管は配線のみ撤去、配管は放棄とする)		○	照明器具 FL40W-1灯
配管配線共、既設のまま		⊕	埋込コンセント 2P15A
		×	プルボックス
配管の種類については下記とする。		4. 図中にて (再) を付する機器は一時取り外し後、再取付とする。	
打込配管		5. 既設配管貫通孔はすべてモルタル埋めとする。	
床インベイ配管		6. 図中のプルボックスサイズは下記とする。	
2. 特記なき配管配線は下記とする。		×	32 300×300×200 SS
2.0	IV2.0×2 (既設管内)	×	215 200×200×100 SUS-WP
2.6	IV1.6×2 (既設管内)		

- A
- 1) IV3.5'×2 (ビット内コロガシ)
 - 2) IV5.5'×2 (ビット内コロガシ)
 - 3) IV8'×2 (ビット内コロガシ)
- ※上記配線、切り離し後存置とする。

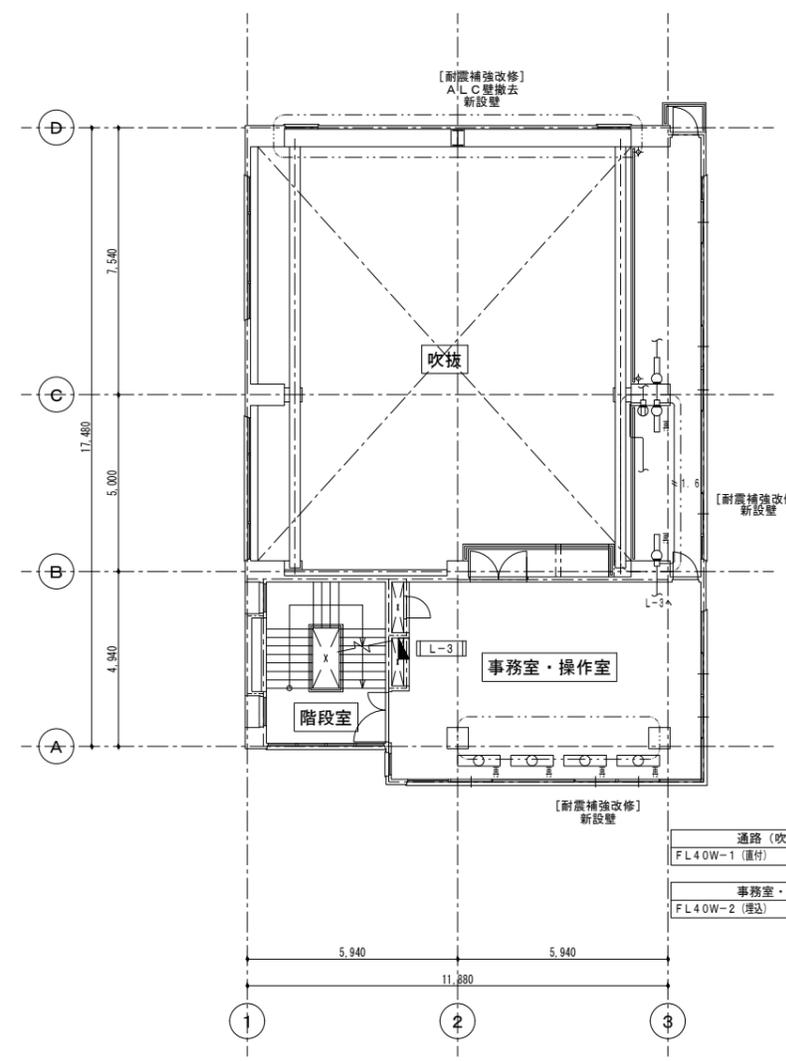
- B
- 1) IV3.5'×2 (既設管内)
 - 2) IV5.5'×2 (既設管内)
 - 3) IV8'×2 (既設管内)



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

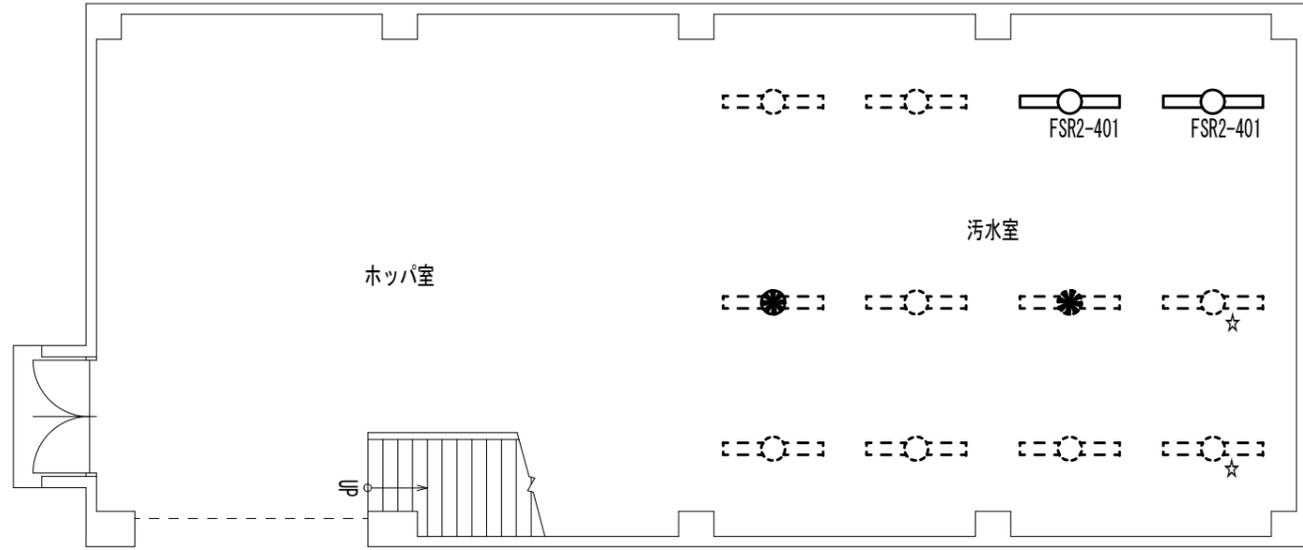


3階平面図 1/100

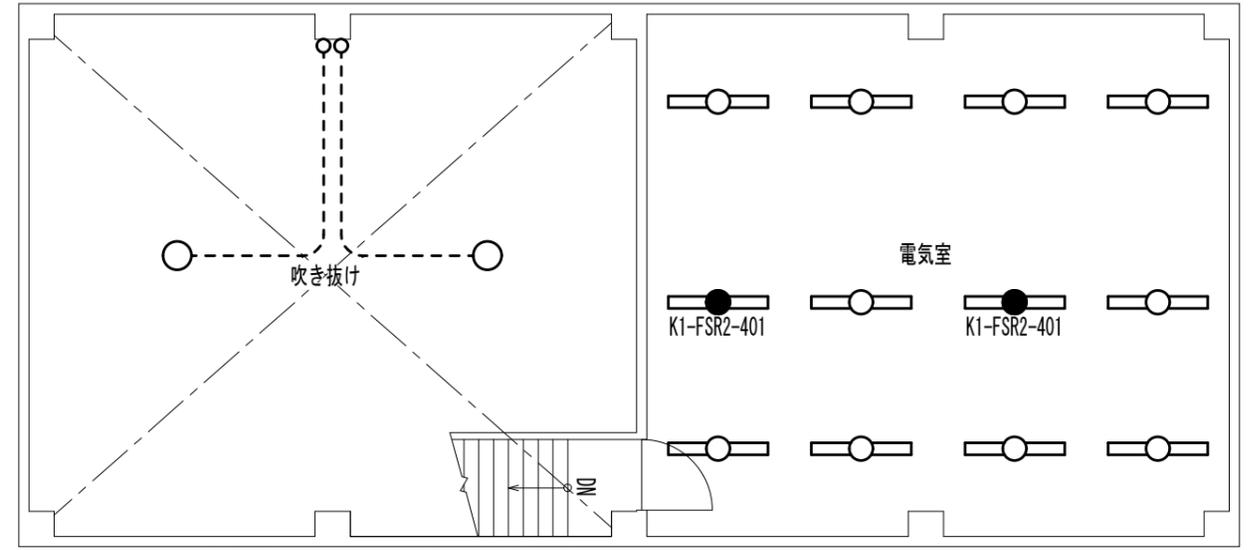
通路 (吹抜部)	FL40W-1 (直付)	× 2	再取付有
事務室・操作室	FL40W-2 (埋込)	× 4	再取付有

【雨水ポンプ棟】

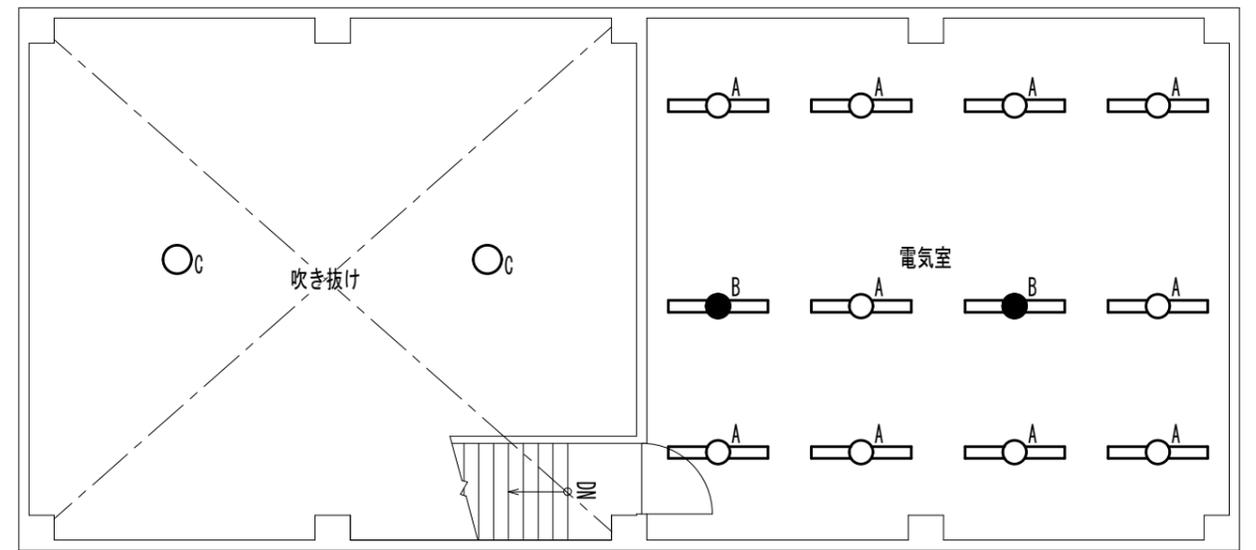
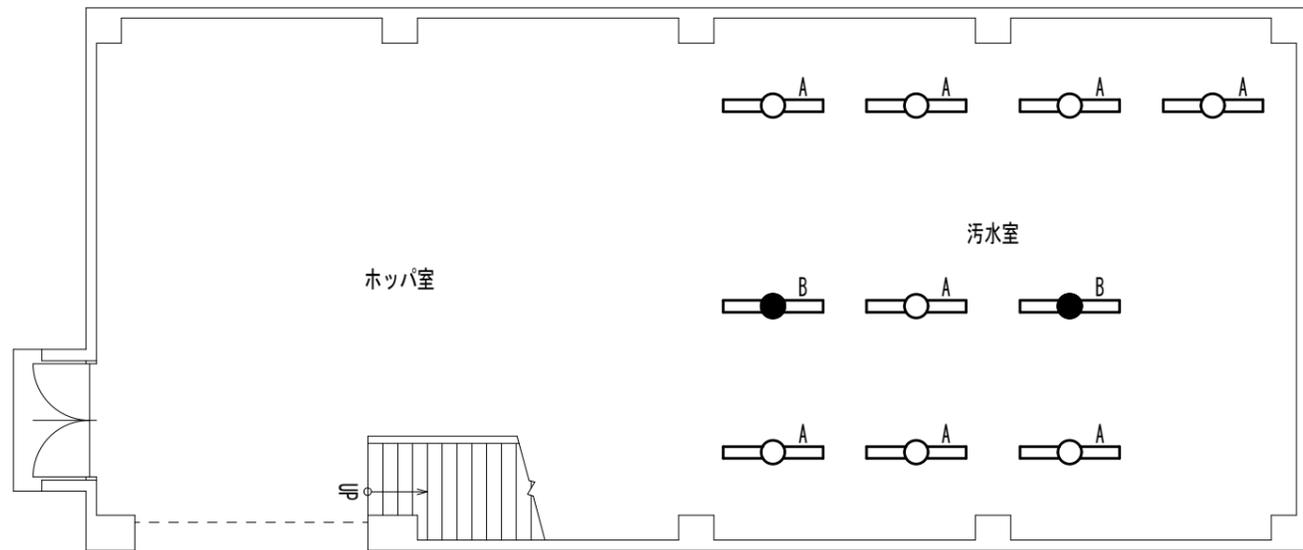
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電灯・弱電設備 1・2・3階平面図 (改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-4/87

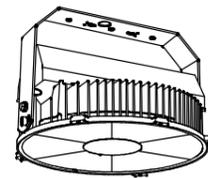


※点線は、吊下取付台のみ存在することを示す。
 ※撤去：蛍光灯・吊下台(2灯)、吊下取付台(☆を付した箇所を除く)。



※撤去：水銀灯(500W 2台)及びワイヤ、ハンドル等一式
 ※撤去：蛍光灯・吊下台(12灯)(特記無き器具は、FSR2-401)

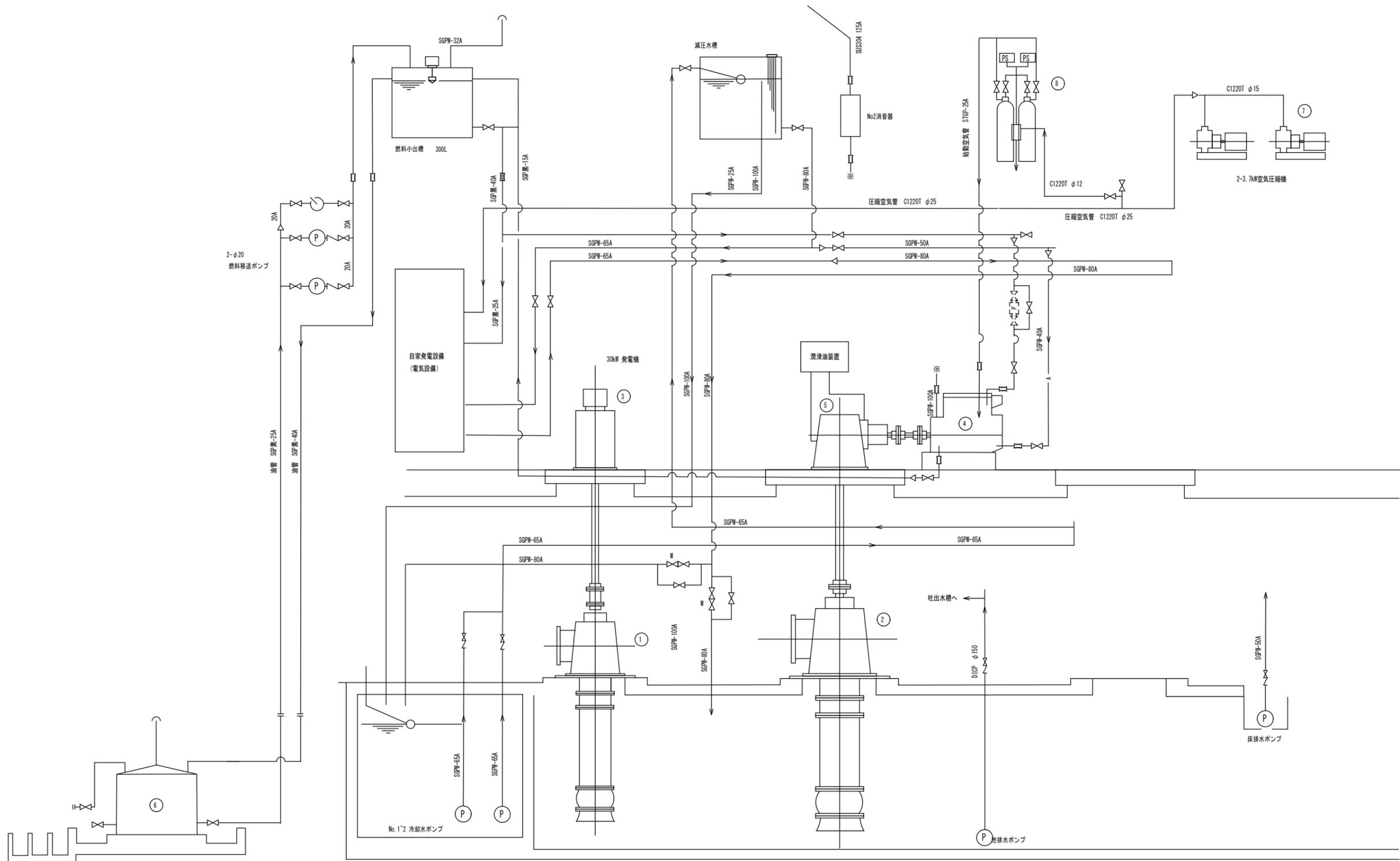


A	LED直付天井灯(LSS9-3200LM)	18	B	LED直付天井灯(非常用照明)	4	C	LED直付天井灯(LSR1W-20000LM)	2
 LED制御装置は、一般形(LN)		 器具光束 約3100 lm 常時：ライトバー点灯 非常時：非常用本体組込LED点灯 光源寿命：40000時間(85%照度) 点検スイッチ、充電モニタ付 LED制御装置は、一般形(LN) 東芝ライテック LEKTJ407323D-LS9相当		 LED制御装置は、初期照度補正形(LJ)				

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配線系統図(更新・撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	AE-5/87

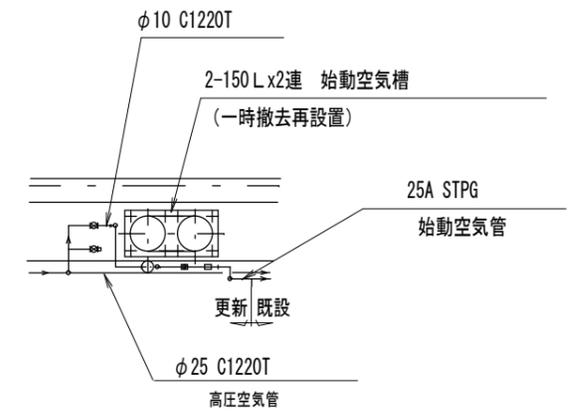
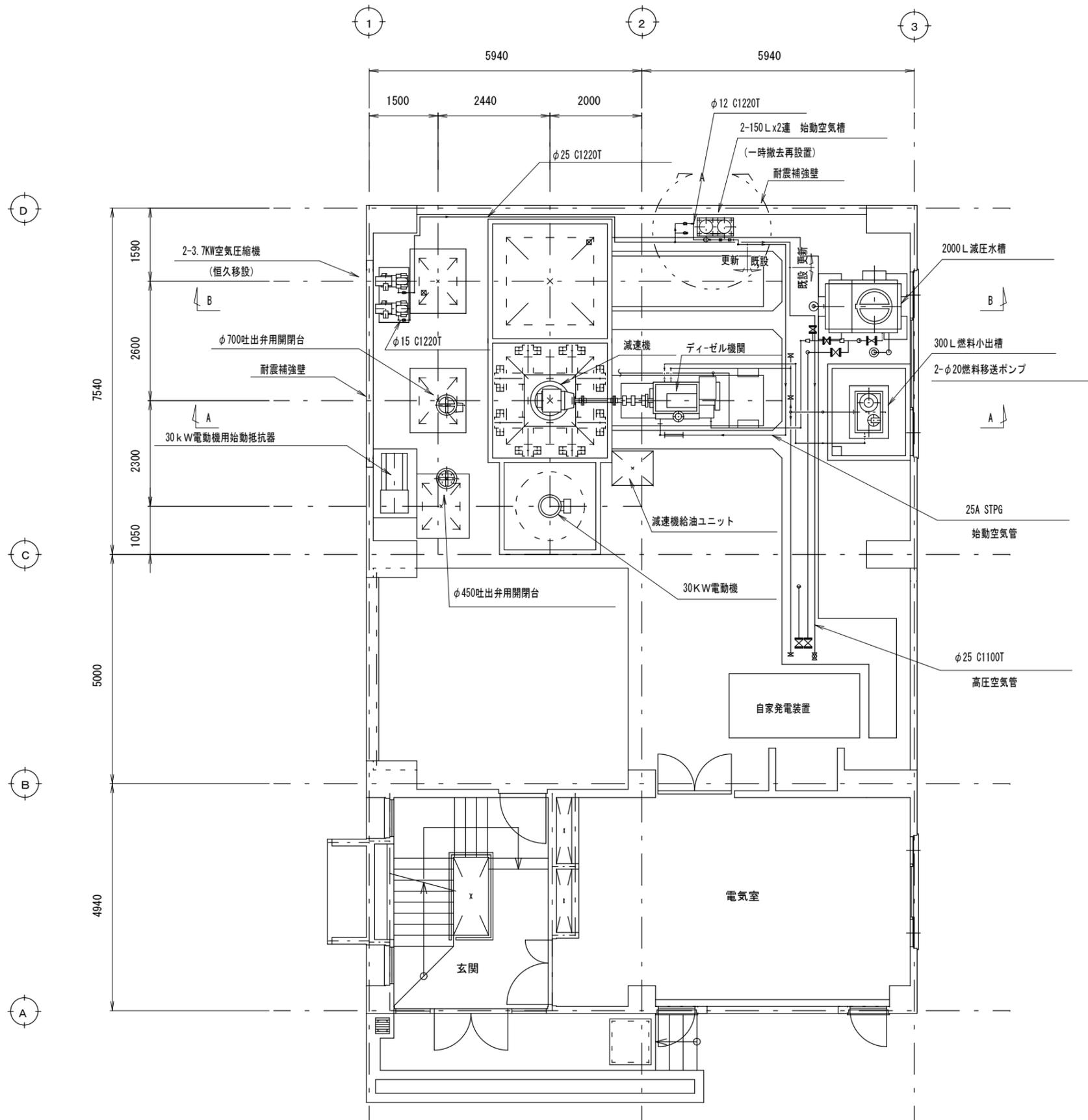
記号	名称
▽	仕切弁
■	玉形弁
∟	逆止弁
⊞	電動弁
⊞	ボールタップ
△	レギュサ
⊞	伸縮継手
⊞	ウィングポンプ
⊞	ベント
⊞	⊞



機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
機器名称	No.1 雨水ポンプ	No.2,3 雨水ポンプ	No.1 雨水ポンプ用電動機	No.2,3雨水ポンプ用ディーゼル機関	No.2,3雨水ポンプ用減速機	重油タンク	No.1,2 空気圧縮機	No.2 雨水ポンプ用空気槽
型式	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	巻線形電動機	ディーゼル機関	かさ歯車減速機	屋外タンク式	空冷式空気圧縮機	縦式定置型
仕様	φ450×21.6 m /分×0m	φ700×57.9m /分×5.0m ²	-	79kW	-	1950L	18.3m /h×30kg/cm ²	150L×2連
電動機	-	-	30kW	-	-	-	3.7kW	-
数量	1 - 1	1 - 2	1 - 1	1 - 2	1 - 2	1 - 1	2 2 2	1 - 1
備考							移設	一時撤去・再設置

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市尾上町 地内
名称	雨水ポンプ設備フロー図（撤去・再設置）
縮尺	S-NONE 設計年月日 平成30年1月
工種	設計者 オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号 PM-1/87

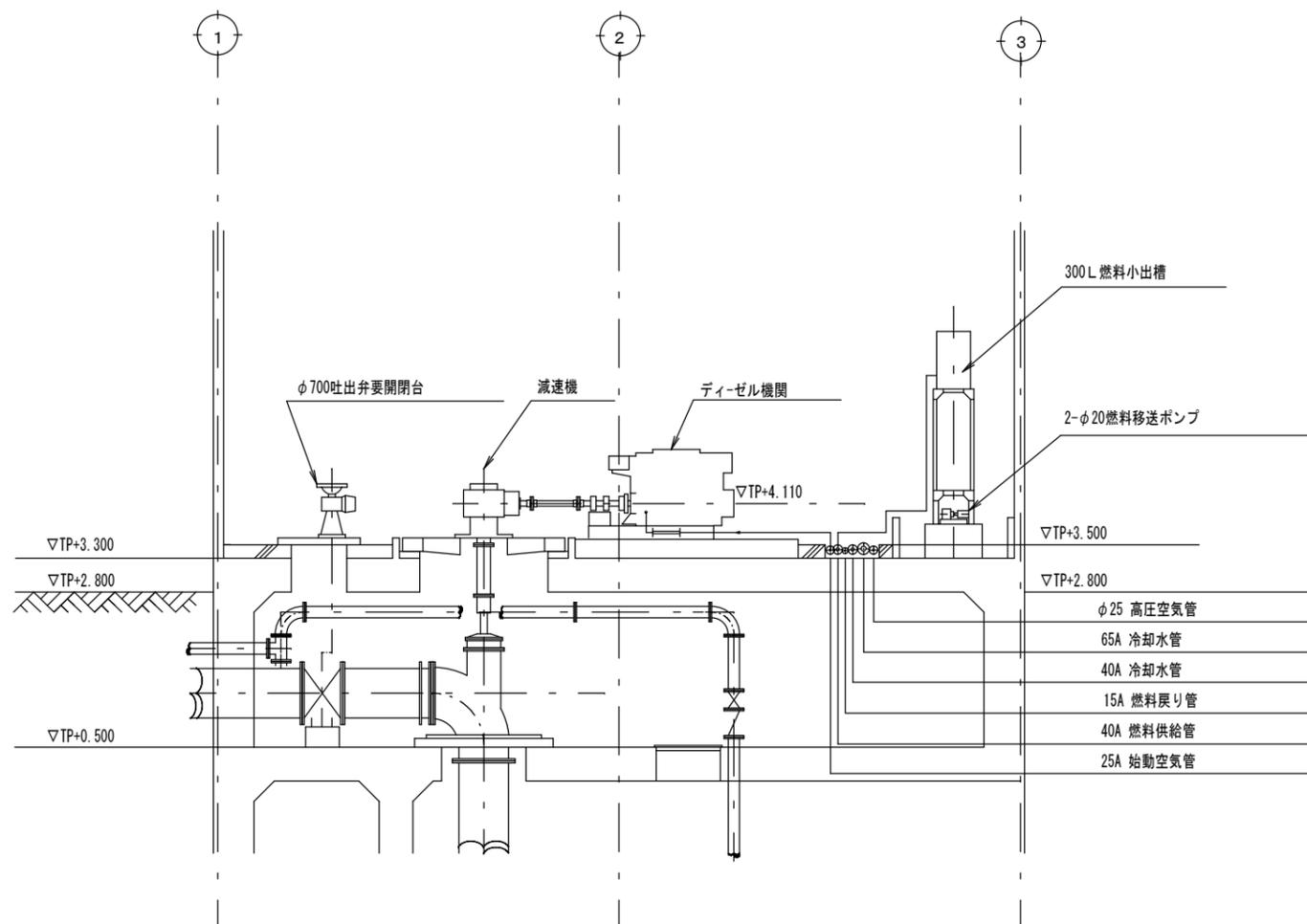


A部 詳細 SCALE : 1/30

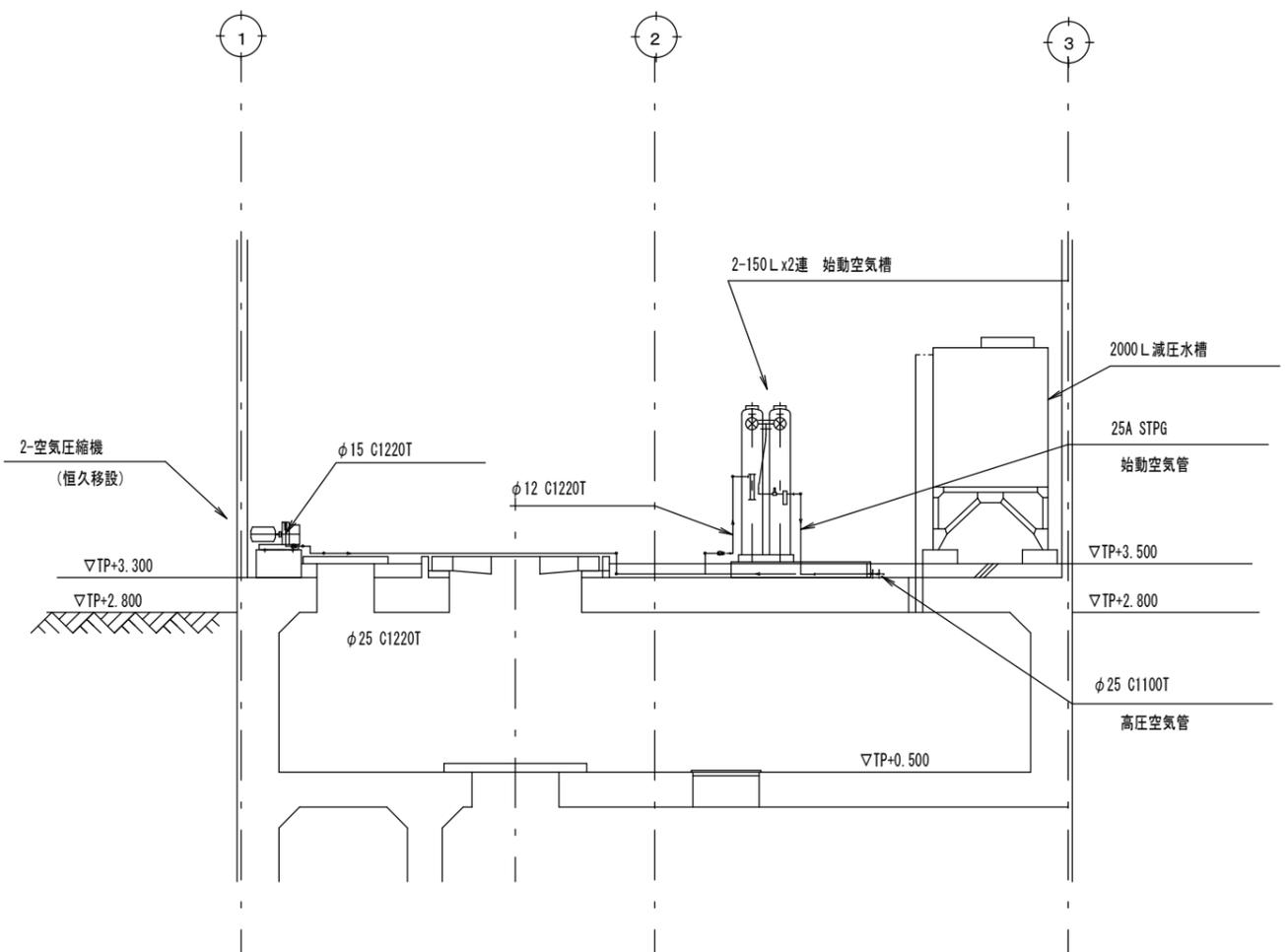
1階 平面図

【雨水ポンプ機】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (再設置)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-2/87



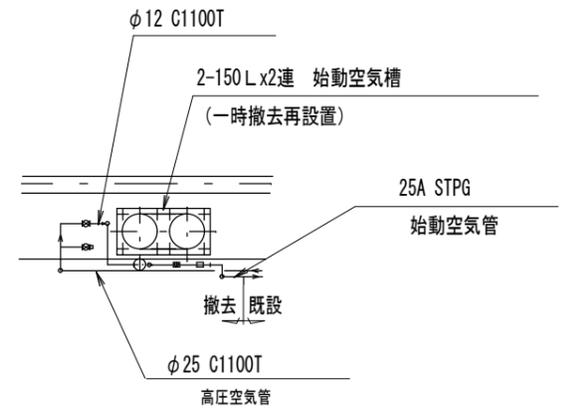
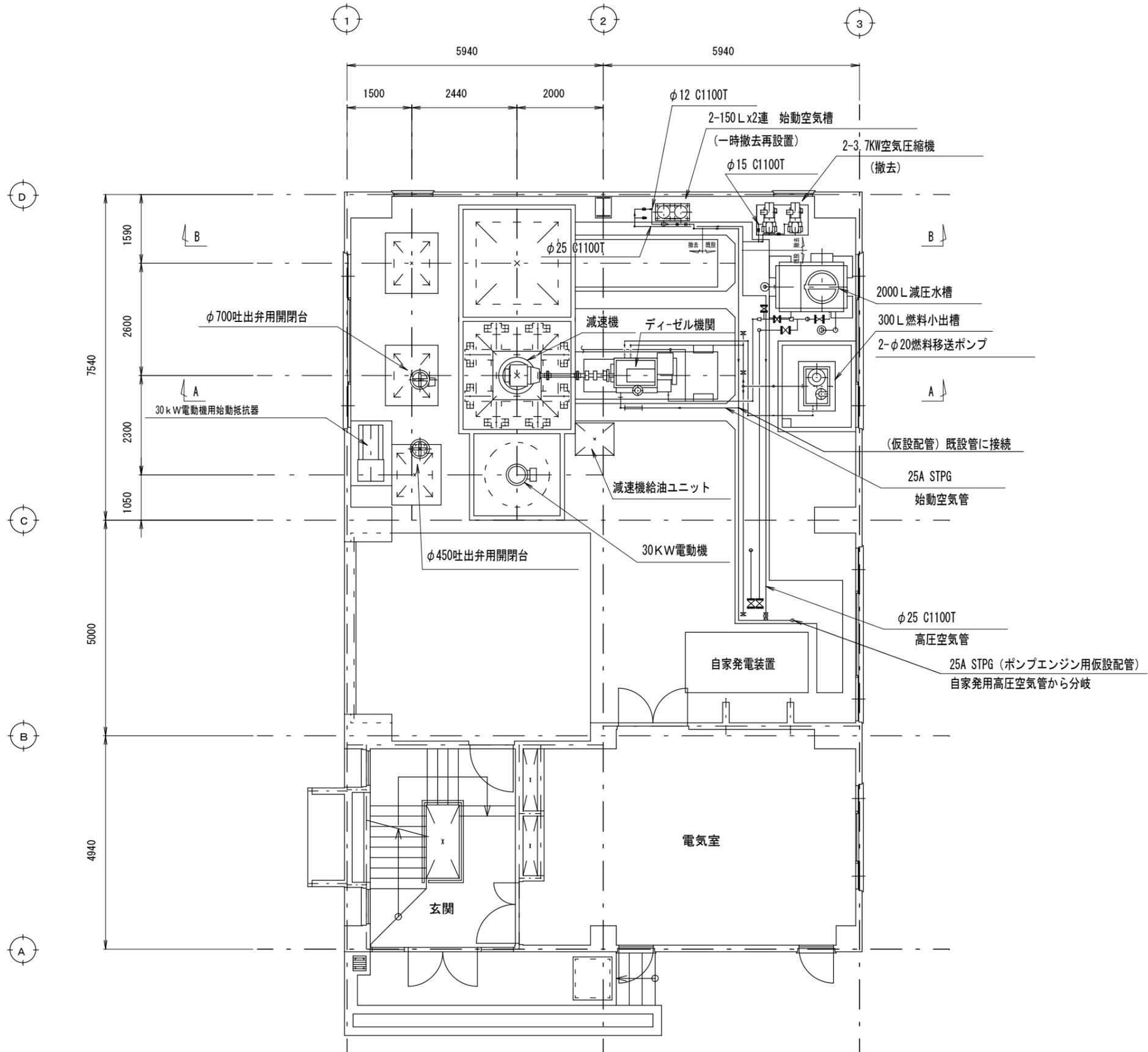
A-A 断面図



B-B 断面図

【雨水ポンプ機】

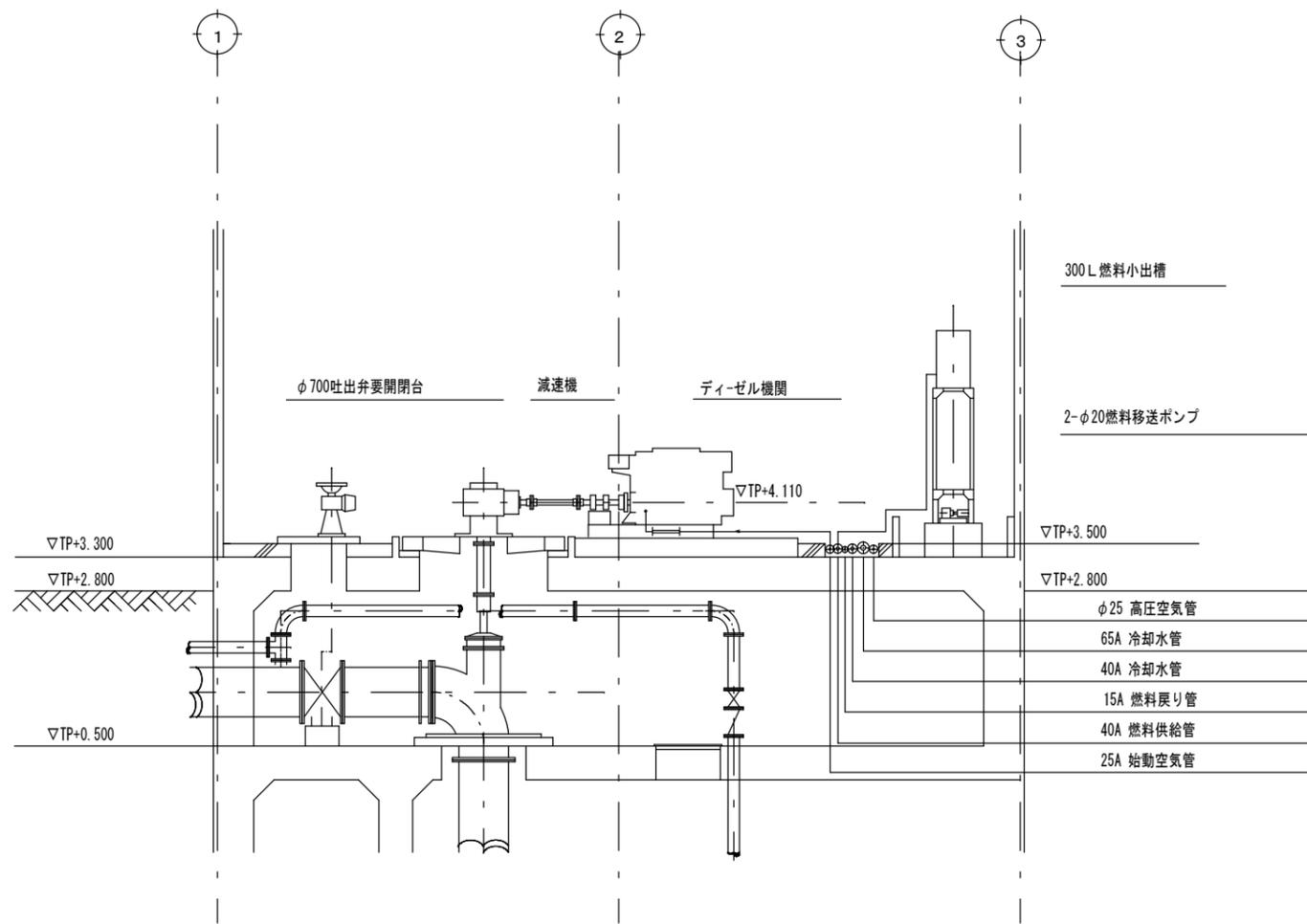
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場前震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F断面図 (再設置)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-3/87



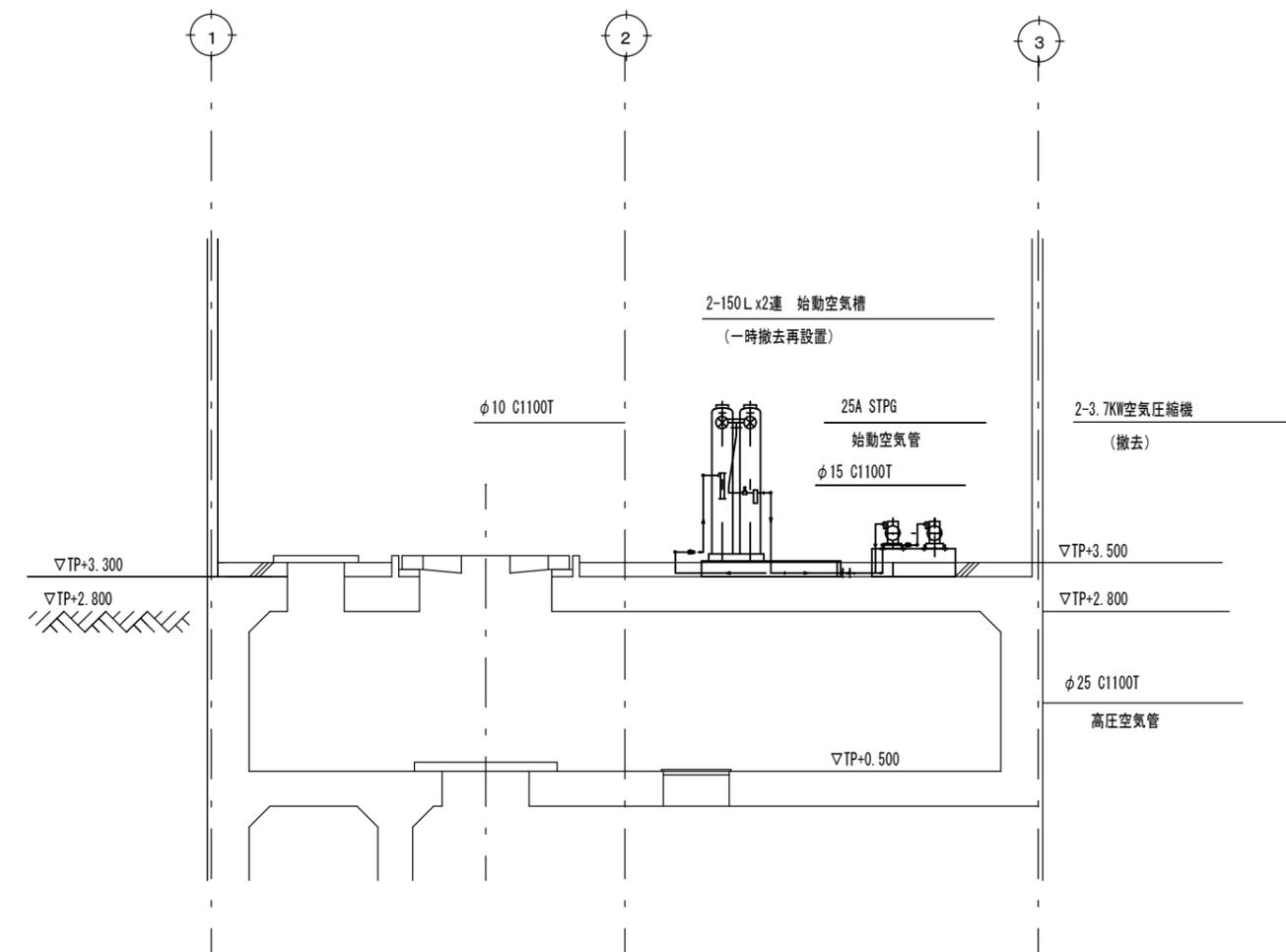
A部 詳細 SCALE : 1/30

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-4/87



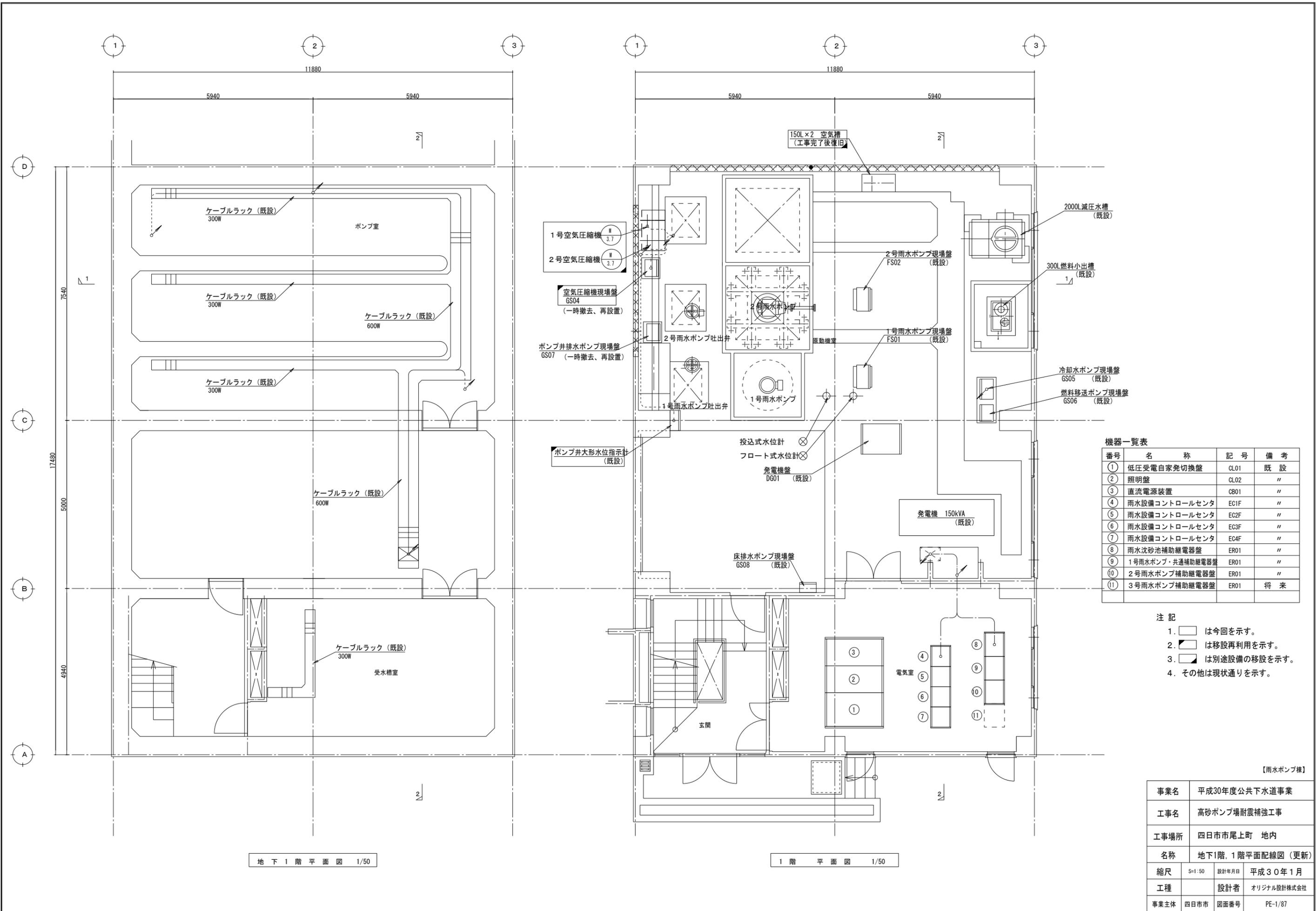
A-A 断面図



B-B 断面図

【雨水ポンプ機】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-5/87



機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	低圧受電自家発切換盤	CL01	既設
②	照明盤	CL02	〃
③	直流電源装置	CB01	〃
④	雨水設備コントロールセンタ	EC1F	〃
⑤	雨水設備コントロールセンタ	EC2F	〃
⑥	雨水設備コントロールセンタ	EC3F	〃
⑦	雨水設備コントロールセンタ	EC4F	〃
⑧	雨水沈砂池補助継電器盤	ER01	〃
⑨	1号雨水ポンプ・共通補助継電器盤	ER01	〃
⑩	2号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	〃
⑪	3号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	将来

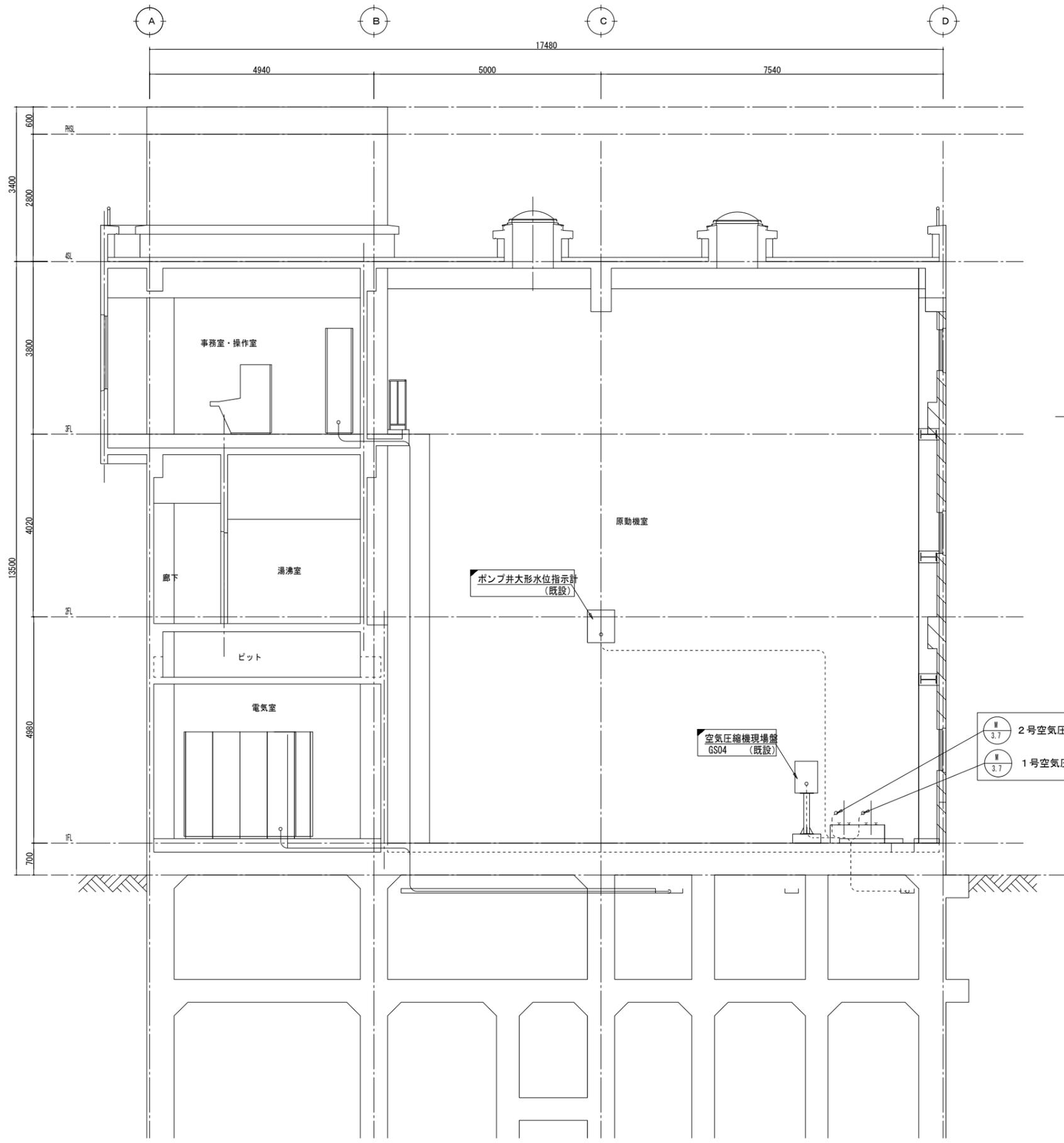
- 注記
- は今回を示す。
 - ◻ は移設再利用を示す。
 - ◻ は別途設備の移設を示す。
 - その他は現状通りを示す。

地下1階平面図 1/50

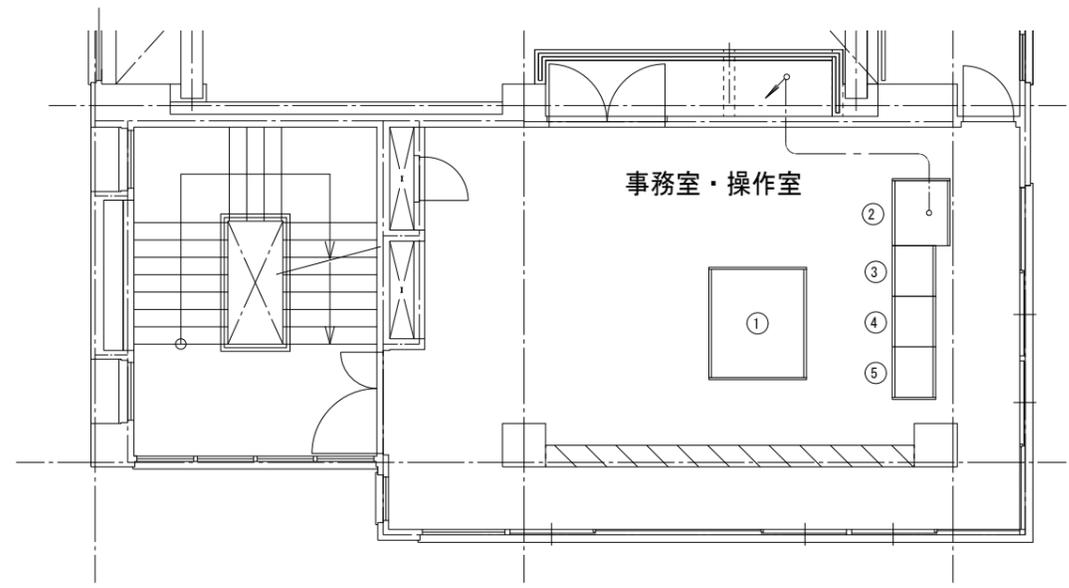
1階平面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	地下1階, 1階平面配線図 (更新)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-1/87



雨水棟断面図 1/50



3階操作室平面図 1/50

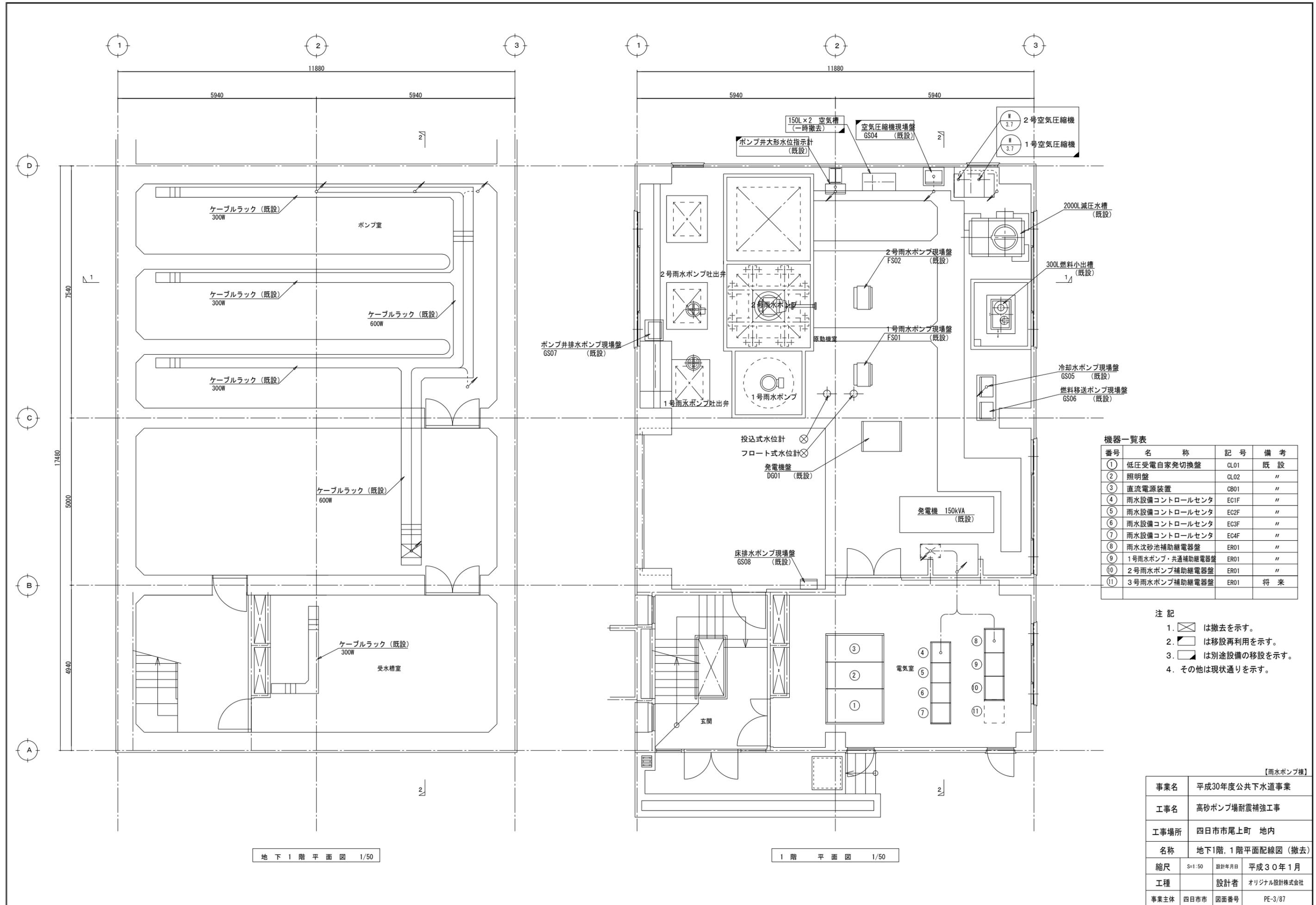
機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	監視操作盤	HDO1	既設
②	中央計装盤	ME01	〃
③	中央継電器盤 (1)	HP01	〃
④	中央継電器盤 (2)	HP02	〃
⑤	遠方監視制御盤	NTM1	〃

- 注記
- は今回を示す。
 - ◻ は移設再利用を示す。
 - ◻ は別途設備の移設を示す。
 - その他は現状通りを示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	3階操作室平面・断面配線図 (更新)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	PE-2/87



機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	低圧受電自家発切換盤	CL01	既設
②	照明盤	CL02	〃
③	直流電源装置	CB01	〃
④	雨水設備コントロールセンタ	EC1F	〃
⑤	雨水設備コントロールセンタ	EC2F	〃
⑥	雨水設備コントロールセンタ	EC3F	〃
⑦	雨水設備コントロールセンタ	EC4F	〃
⑧	雨水沈砂池補助継電器盤	ER01	〃
⑨	1号雨水ポンプ・共通補助継電器盤	ER01	〃
⑩	2号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	〃
⑪	3号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	将来

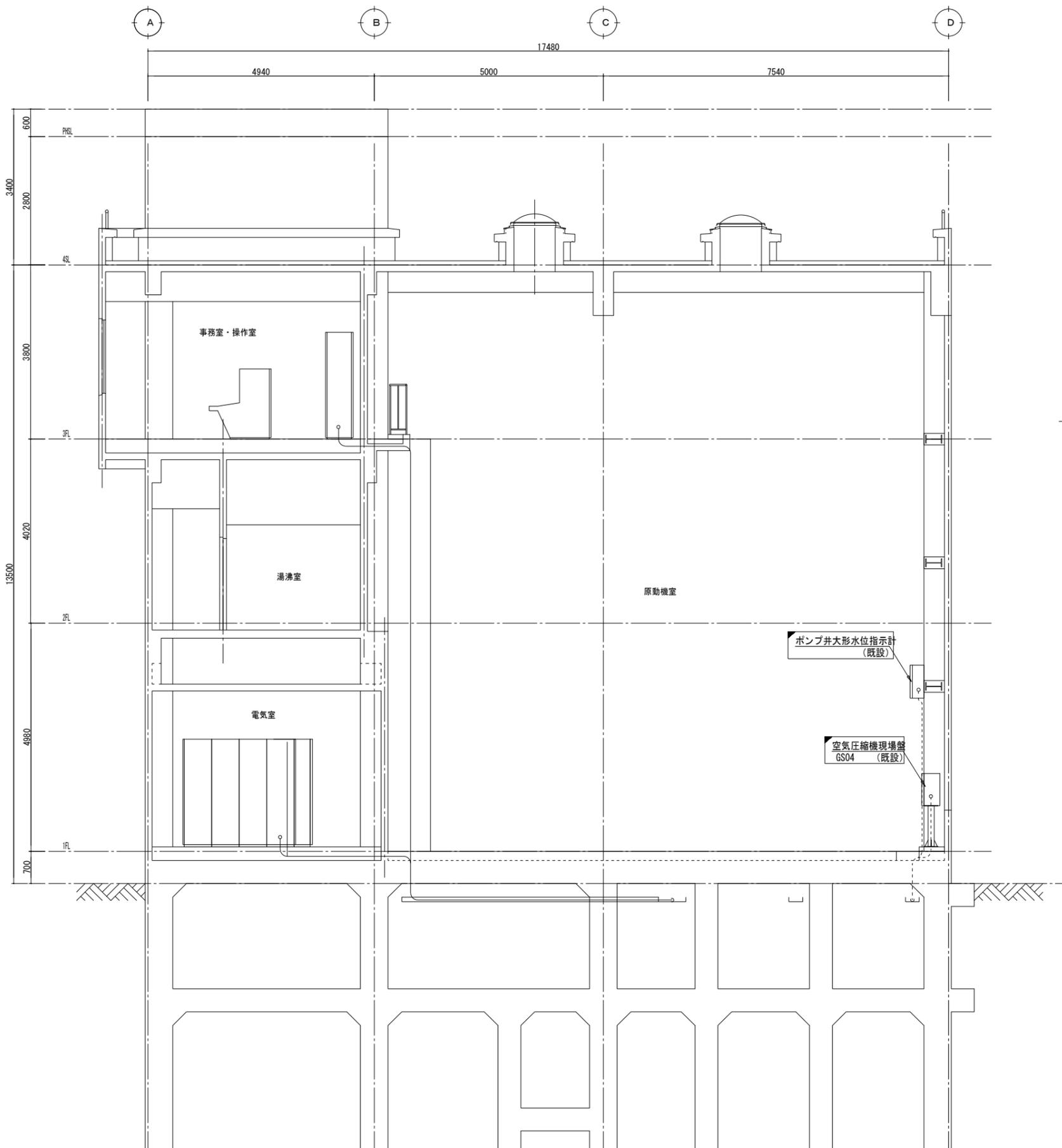
- 注記
1. は撤去を示す。
 2. は移設再利用を示す。
 3. は別途設備の移設を示す。
 4. その他は現状通りを示す。

地下1階平面図 1/50

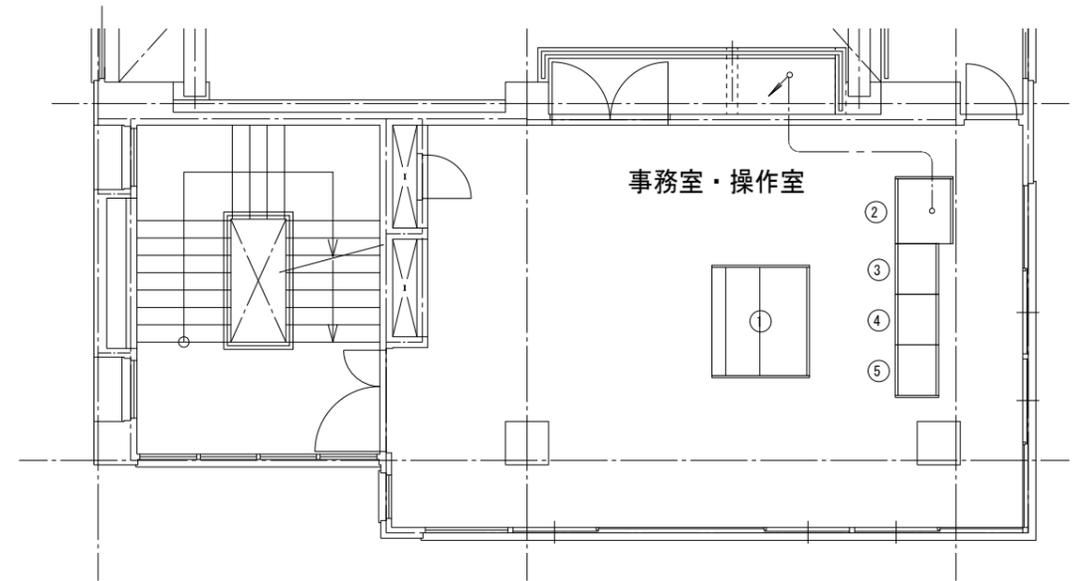
1階平面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	地下1階, 1階平面配線図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	PE-3/87



雨水棟断面図 1/50



3階操作室平面図 1/50

機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	監視操作盤	HDO1	既設
②	中央計装盤	ME01	〃
③	中央継電器盤 (1)	HP01	〃
④	中央継電器盤 (2)	HP02	〃
⑤	遠方監視制御盤	NTM1	〃

注記

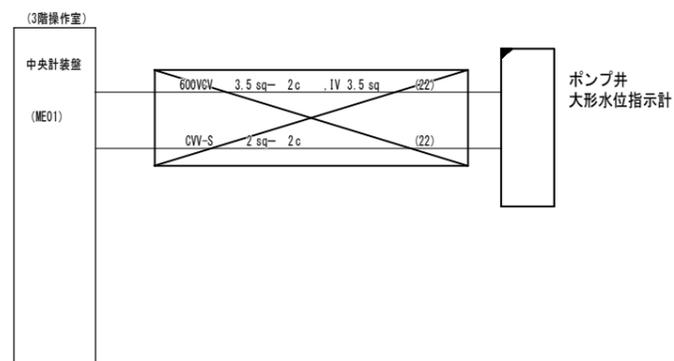
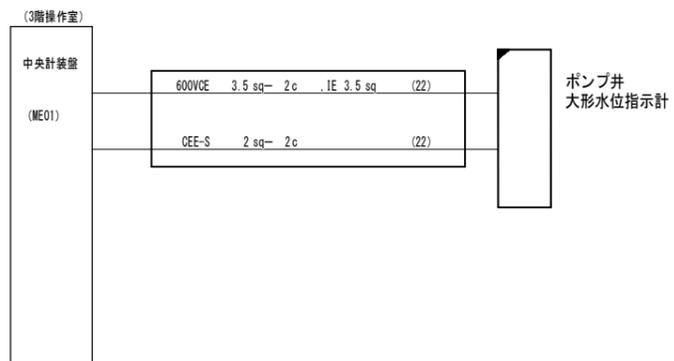
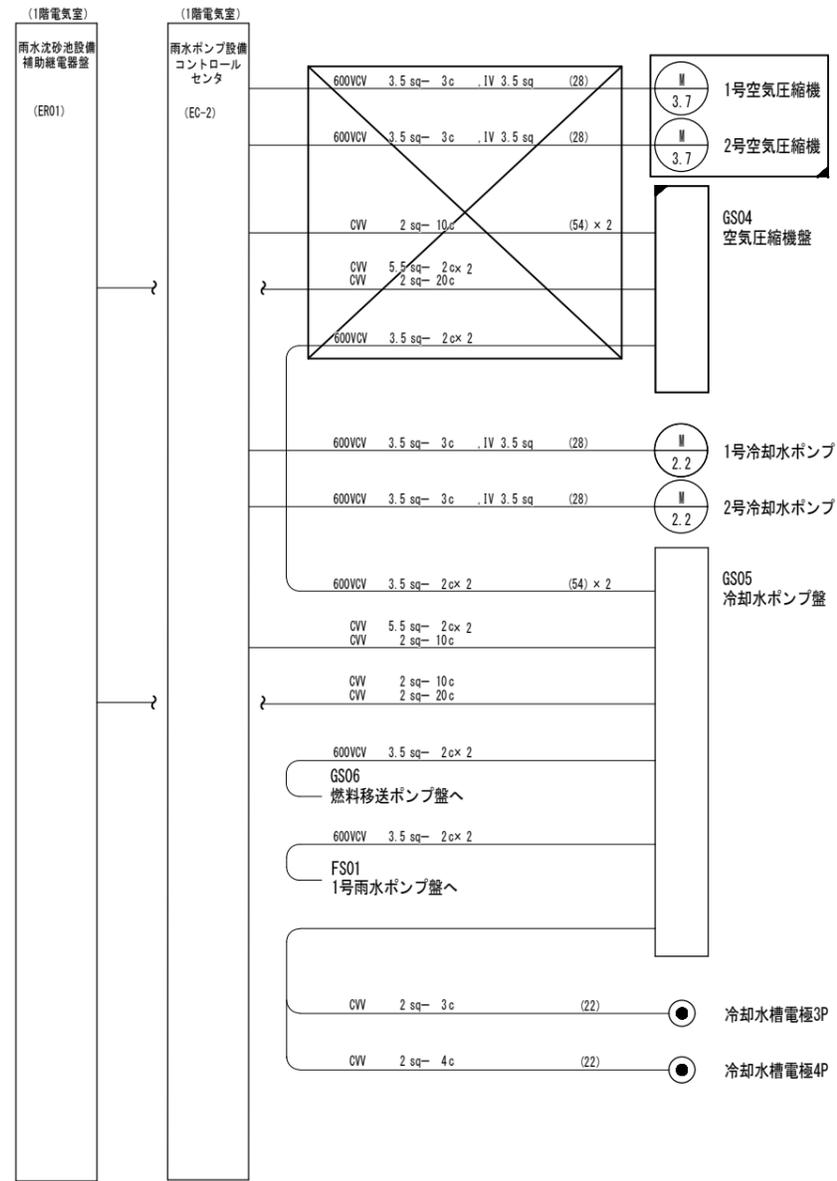
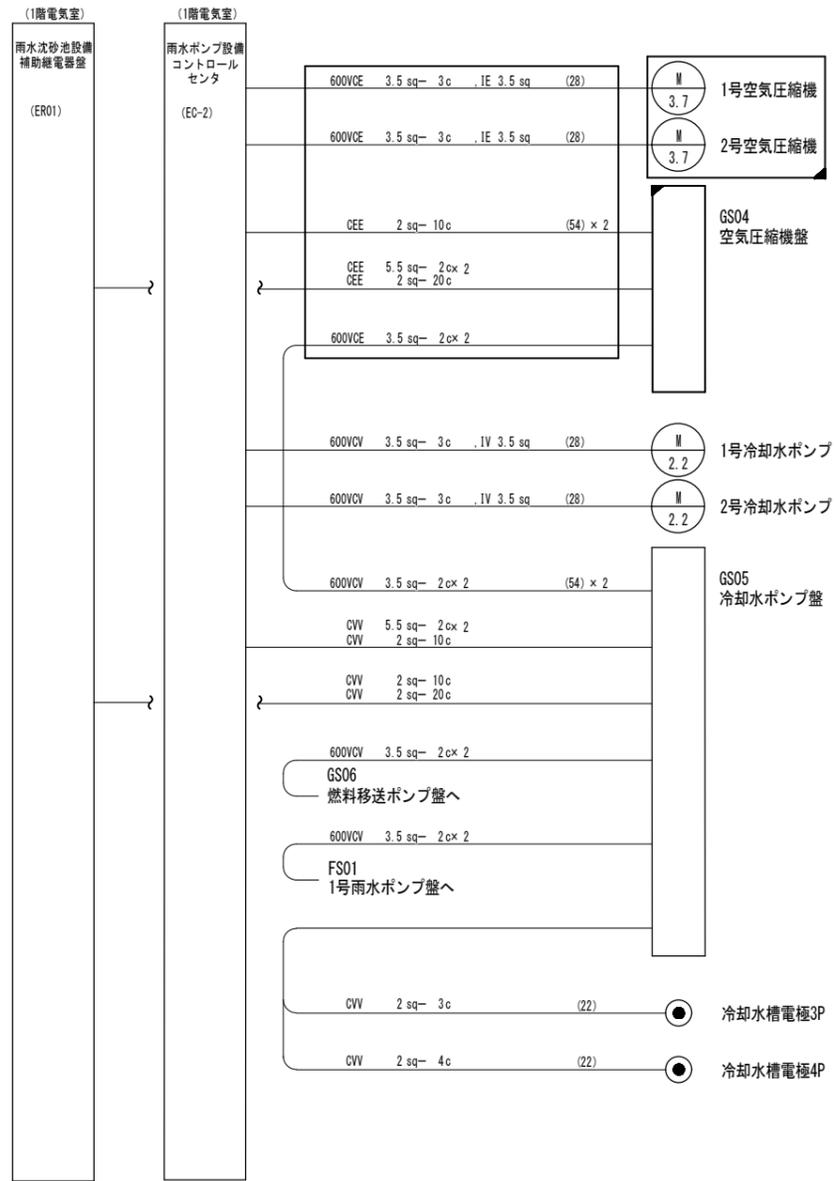
1. は撤去を示す。
2. は移設再利用を示す。
3. は別途設備の移設を示す。
4. その他は現状通りを示す。

(雨水ポンプ棟)

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	3階操作室平面・断面配線図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-4/87

更 新

撤 去



注 記

1. □ は今回を示す。
2. ⊗ は撤去を示す。
3. ◻ は移設再利用を示す。
4. ◻ は別途設備の移設を示す。
5. その他は現状通りを示す。
6. 特記なき電線管は、厚鋼電線管を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配線系統図 (更新・撤去)		
縮尺	S-NON	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-5/87